

平成 20 年度 戸塚区区民意識アンケート調査

報告書

平成 20 年 12 月

横浜市戸塚区

目 次

I 調査の概要	1
1 調査の目的	3
2 調査項目	3
3 調査設計	3
4 回収結果	3
5 報告書の手引き	3
6 調査回答者の属性	4
II 調査結果	11
生活環境全般に対する重要度・満足度について（問1）	14
①バス・電車の便	20
②道路環境の整備	23
③違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策	26
④最寄り駅周辺のまちづくり	29
⑤街並み景観の整備	32
⑥商店街や企業の振興	35
⑦緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備	38
⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化	41
⑨災害対策	44
⑩防犯対策	47
⑪保育など子育て支援	50
⑫学校教育の充実や青少年の健全育成	53
⑬病院や救急医療などの地域医療	56
⑭駅舎のバリアフリーなどの誰もが移動しやすいまちづくり	59
⑮高齢者福祉	62
⑯障がい者福祉	65
⑰区民利用施設の充実	68
⑱広報・広聴など区政への市民参加の推進	71
⑲身近な行政窓口・相談サービス	74
⑳以上を総合して、生活環境全般の満足度	77
【重要度】と【満足度】の関係	80
【重要度】と【以前と比較した変化】の関係	82
【満足度】と【以前と比較した変化】の関係	84
健康づくりについて	86
現在の健康状態（問2）	86
今後の健康状態（問3）	88
健康づくりに必要なこと（問4）	90

健康づくりへの取組み（問 5）	92
健康づくりのための環境整備（問 6）	94
知りたい健康づくりの情報（問 7）	96
運動に取組むきっかけになる環境（問 8）	98
「はまちゃん体操」の認知度（問 9）	100
温暖化防止対策（CO—DO30）について	102
横浜市の脱温暖化行動方針（CO—DO30）の認知度（問 10）	102
脱温暖化行動方針に関する情報取得元（問 10—1）	104
「地球温暖化」の取組みについて知っているもの（問 11）	106
温暖化防止対策（省エネ、リサイクルなど）への取組み（問 12）	108
現在取り組んでいる温暖化防止対策（問 12—1）	110
取り組める温暖化防止対策（問 12—2）	112
温暖化防止対策へのきっかけになること（問 12—3）	114
取り組めそうな温暖化防止対策（問 12—4）	116
温暖化防止対策に関心がない理由（問 12—5）	118
温暖化防止対策に取り組まない理由（問 12—6）	120
今後参加してみたい地球温暖化防止への取組（問 13）	122
地球温暖化防止のために区民が取り組むべきこと（問 14）	124
地球温暖化防止のために区役所が取り組むべきこと（問 15）	126
市税の口座振替納税について	128
市税の口座振替納税の認知度（問 16）	128
市税の口座振替納税を利用している理由（問 16—1）	130
市税の口座振替納税を利用しない理由（問 16—2）	132
市税の口座振替納税を利用するきっかけとなること（問 16—3）	134
口座振替納税利用のきっかけとなる申込用紙設置施設（問 16—4）	136
定住意向について	138
戸塚区への定住意向（問 17）	138
希望する移転先（問 17—1）	140
その他	142
インターネット利用の有無（問 18）	142
III 自由回答	145
IV 資料（調査票）	155

I 調査の概要

1 調査の目的

区民の戸塚区政に対する意識や、区民が区役所に望むサービスなどを把握することで、今後の区政運営に役立てることを目的とする。

2 調査項目

今回の調査では、次の4つのテーマについて調査を行った。

- (1) 生活環境全般に対する重要度・満足度について
- (2) 健康づくりについて
- (3) 温暖化防止対策（CO—DO 30）について
- (4) 市税の口座振替納税について

3 調査設計

- (1) 調査地域 戸塚区全域
- (2) 調査対象 戸塚区内に居住する16歳以上の男女個人
- (3) 標本数 3,000人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送法（郵送配布・郵送回収、はがきによる督促1回）
- (6) 調査期間 平成20年9月12日～10月10日
- (7) 調査実施機関 株式会社サーベイリサーチセンター

4 回収結果

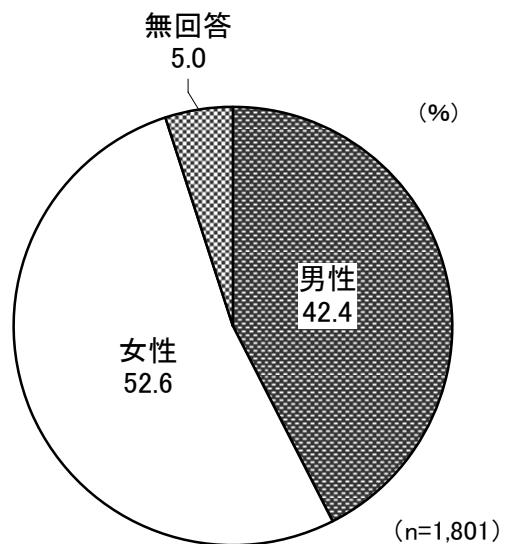
- (1) 有効回収数 1,801件
- (2) 有効回収率 60.0%

5 報告書の手引き

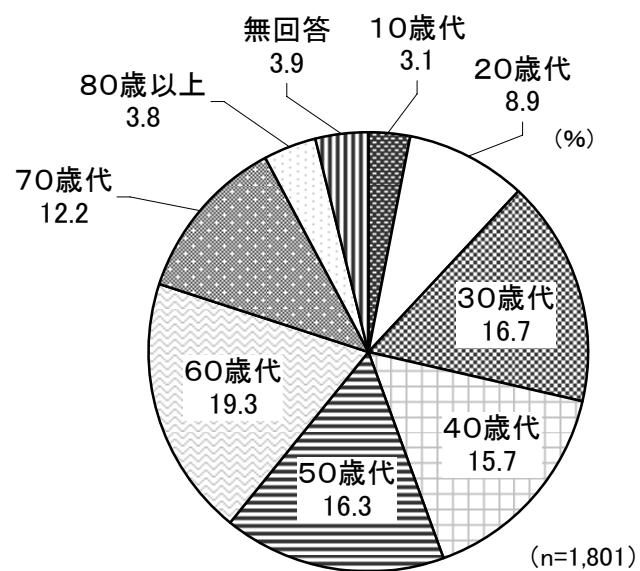
- (1) 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基準として、小数第2位を四捨五入して算出している。したがって、数値の合計が100%にならない場合がある。
- (2) 回答の比率(%)は、その質問の回答者数を基準として算出している。したがって複数回答形式の設問の場合、回答比率の合計は通常100%を超える。
- (3) 図表中の「n」は、その設問への回答者数を表す。
- (4) 本文や設問中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している。

6 調査回答者の属性

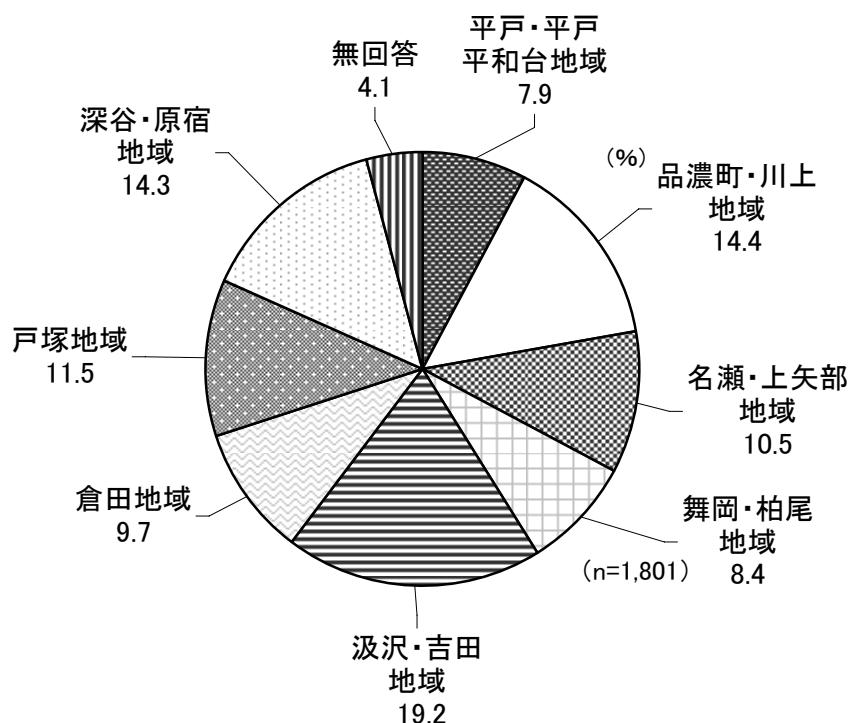
(1) 性別



(2) 年齢



(3) 居住地域

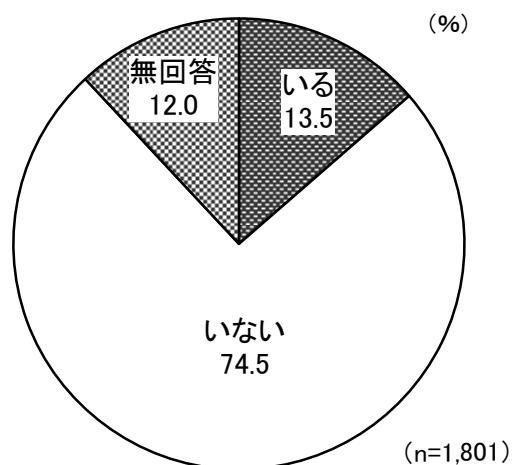


※ 居住地域区分

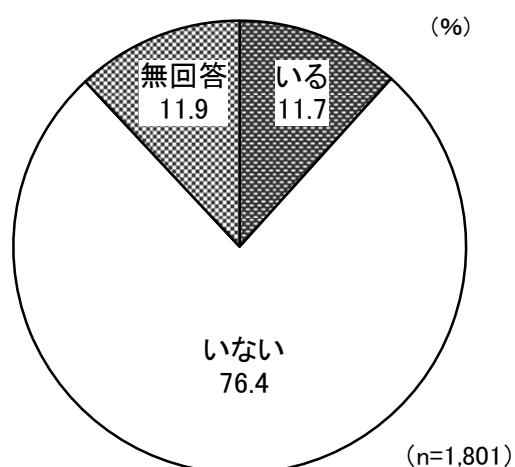
地域名	該当町丁目
平戸・平戸平和台地域	平戸町、平戸一～五丁目
品濃町・川上地域	品濃町、上品濃、川上町、前田町、秋葉町
名瀬・上矢部地域	名瀬町、上矢部町
舞岡・柏尾地域	舞岡町、南舞岡一～四丁目、柏尾町、上柏尾町
汲沢・吉田地域	汲沢町、汲沢一～八丁目、矢部町、鳥が丘、吉田町
倉田地域	上倉田町、下倉田町
戸塚地域	戸塚町
深谷・原宿地域	深谷町、俣野町、原宿一～五丁目、小雀町、東俣野町、影取町

(4) 家族形態

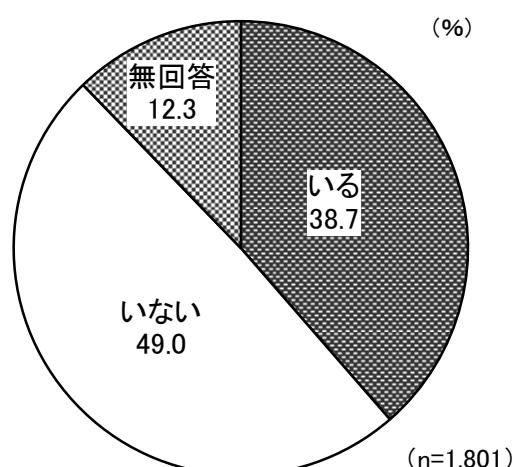
A 同居している未就学児童の有無



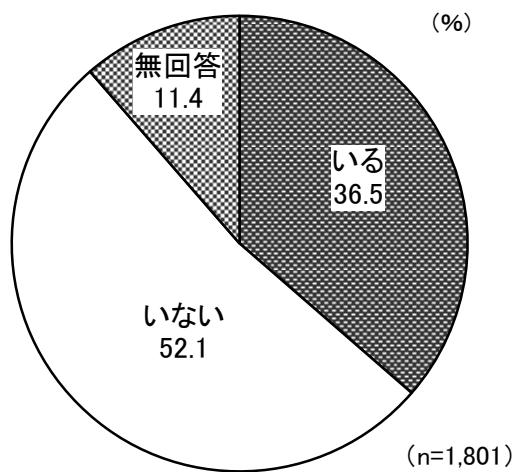
B 同居している小学生児童の有無



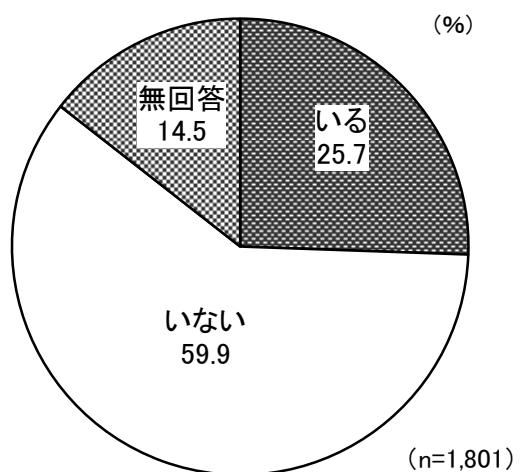
C 同居・別居を問わず、65～74歳の家族の有無



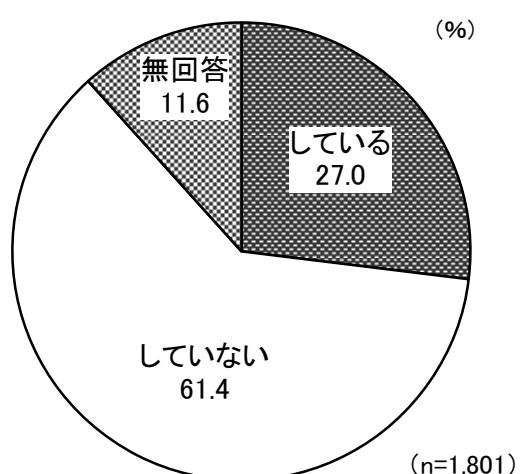
D 同居・別居を問わず、75歳以上の家族の有無



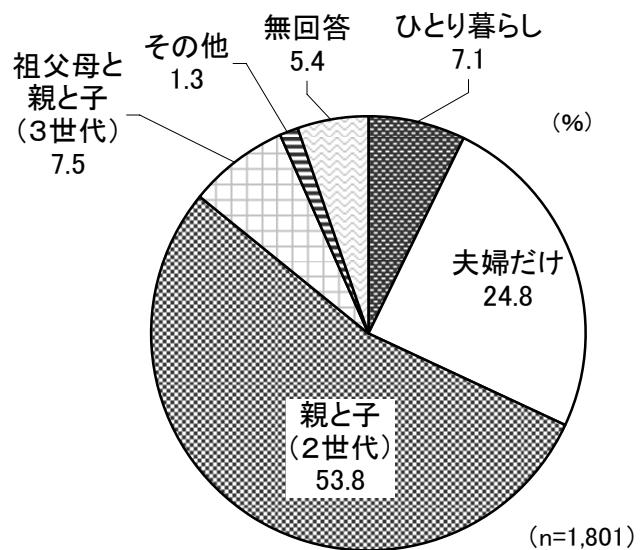
E 日中、家で子どもの世話をする人の有無



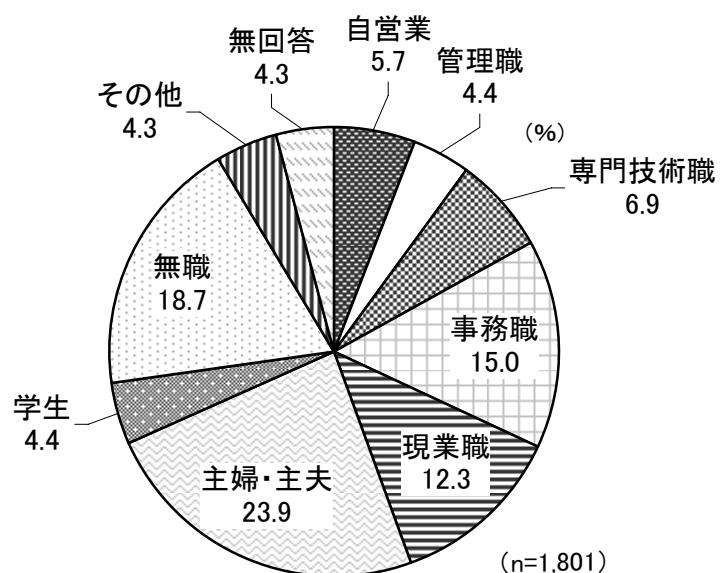
F 共働きか否か



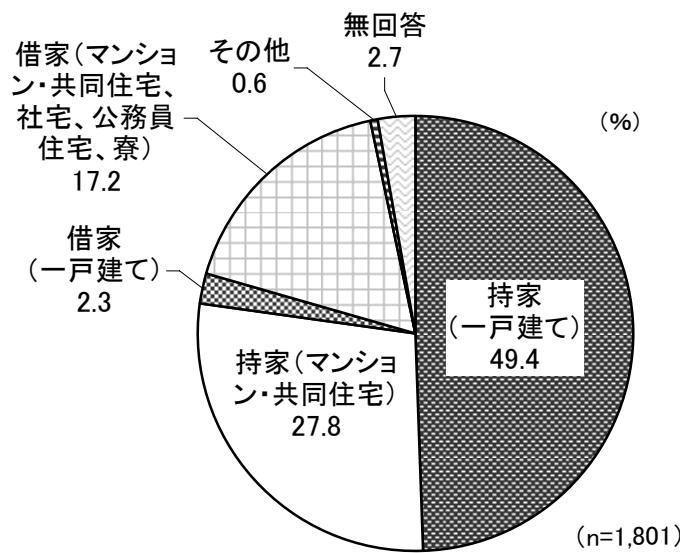
(5) 家族構成



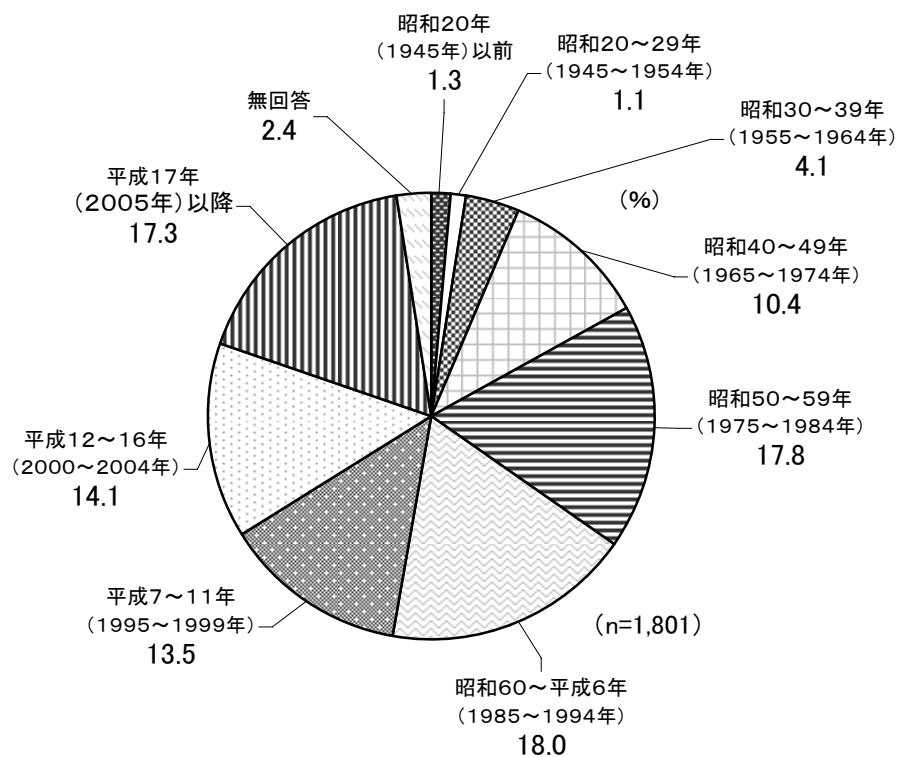
(6) 職業



(7) 住居形態



(8) 居住開始時期



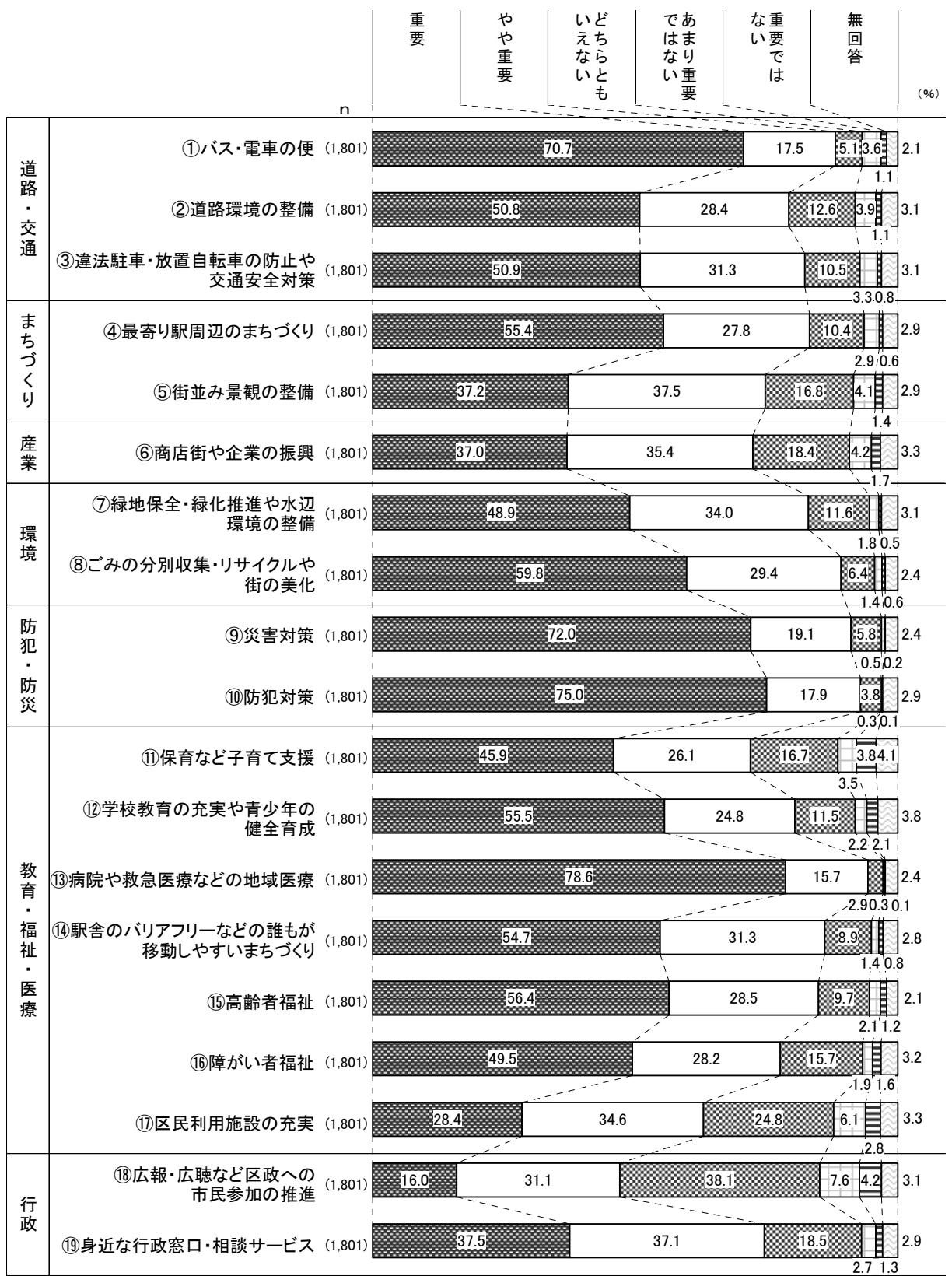
II 調查結果

生活環境全般に対する重要度・満足度について

問1 あなたは以下(①~⑯)のことがらについて、

【1】あなたにとって、どの程度重要だと思いますか。(それぞれについて○は1つだけ)

図表 生活環境全般に対する重要度（全項目比較）



生活環境全般に対する重要度

「道路・交通」に関する項目である「①バス・電車の便」「②道路環境の整備」「③違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策」について、『重要』層（「重要」と「やや重要」の合計。以下全て同じ。）は「①バス・電車の便」（88.2%）が8割台半ばを超えて高い。また、「②道路環境の整備」「③違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策」の『重要』層は、それぞれ8割前後となっている。

「まちづくり」に関する項目である「④最寄り駅周辺のまちづくり」「⑤街並み景観の整備」の『重要』層については、「④最寄り駅周辺のまちづくり」（83.2%）が8割台、「⑤街並み景観の整備」（74.7%）が7割台半ばとなっている。

「産業」に関する項目である「⑥商店街の企業の振興」については、『重要』層（72.3%）が7割台となっている。

「環境」に関する項目である「⑦緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」については、『重要』層がいずれも8割を超え、「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」（89.2%）については約9割で高くなっている。

「防犯・防災」に関する項目である「⑨災害対策」「⑩防犯対策」については、『重要』層がいずれも9割台で高くなっている。

「教育・福祉・医療」に関する項目である「⑪保育など子育て支援」「⑫学校教育の充実や青少年の健全育成」「⑬病院や救急医療などの地域医療」「⑭駅舎のバリアフリーなどの誰もが移動しやすいまちづくり」「⑮高齢者福祉」「⑯障がい者福祉」「⑰区民利用施設の充実」については、「⑬病院や救急医療などの地域医療」の『重要』層（94.2%）が9割台半ばとなり、全項目で最も高い。また、「⑭駅舎のバリアフリーなどの誰もが移動しやすいまちづくり」「⑮高齢者福祉」の『重要』層はそれぞれ8割台半ばとなり、「⑫学校教育の充実や青少年の健全育成」「⑯障がい者福祉」の『重要』層はそれぞれ8割前後となっている。

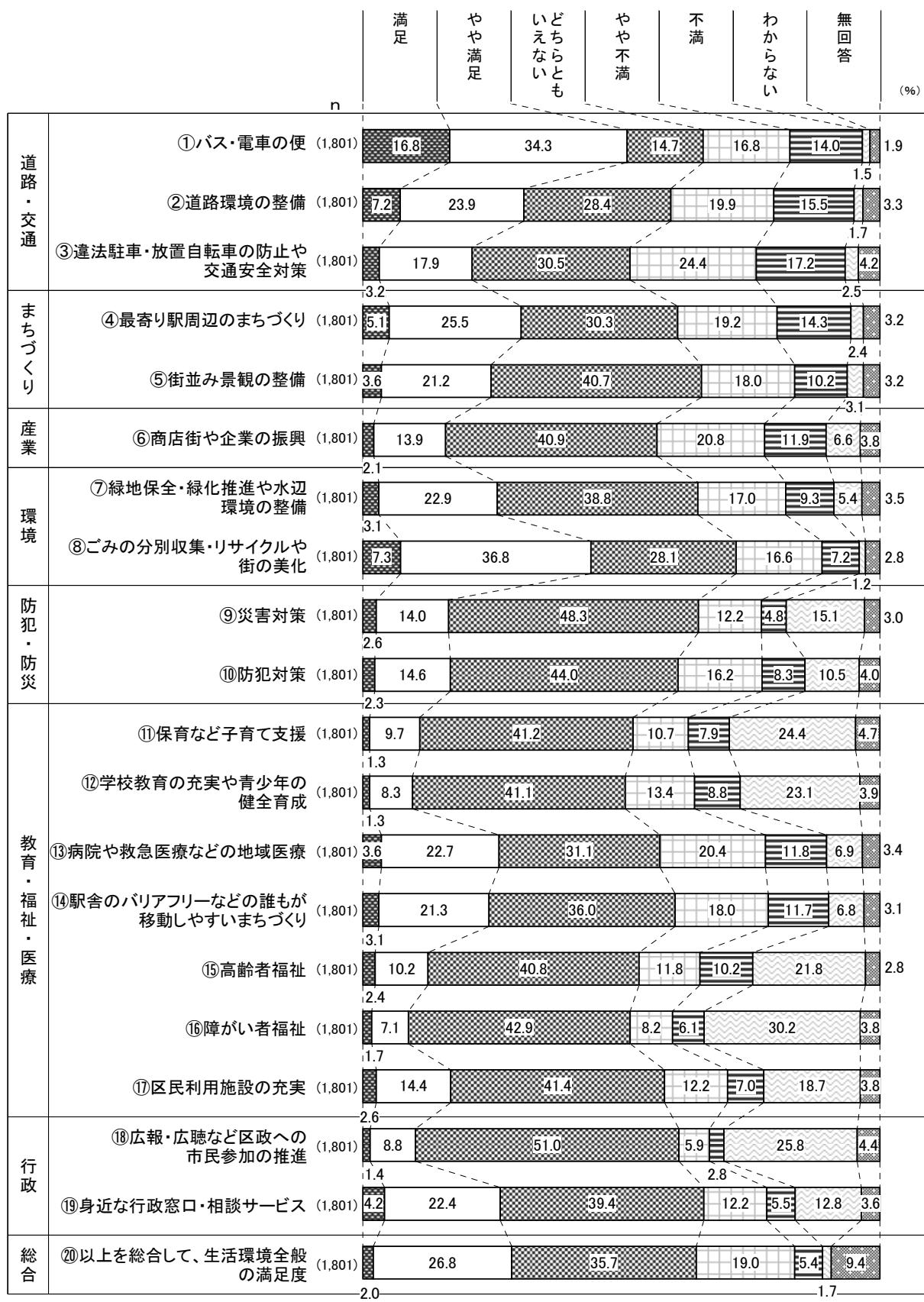
一方、「⑰区民利用施設の充実」の『重要』層（63.0%）は6割台となっており、他の項目と比較すると低くなっている。

「行政」に関する項目である「⑱広報・広聴など区政への市民参加の推進」「⑲身近な行政窓口・相談サービス」については、「⑱広報・広聴など区政への市民参加の推進」の『重要』層（47.1%）が5割に満たず、全項目で最も低い。一方、「⑲身近な行政窓口・相談サービス」の『重要』層（74.6%）は7割台半ばとなっている。

問1 あなたは以下(①~⑩)のことがらについて、

【2】現在、どの程度満足していますか。(それについて○は1つだけ)

図表 生活環境全般に対する満足度(全項目比較)



生活環境全般に対する満足度

「道路・交通」に関する項目である「①バス・電車の便」「②道路環境の整備」「③違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策」については、『満足』層（「満足」と「やや満足」の合計。以下全て同じ。）が「①バス・電車の便」（51.1%）が5割台で、全項目で最も高くなっている。

一方、「②道路環境の整備」「③違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策」については、『不満』層（「やや不満」と「不満」の合計。以下全て同じ。）がそれぞれ3割台となっている。特に「③違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策」の『不満』層（41.6%）は4割台となっており、全項目で最も高くなっている。

「まちづくり」に関する項目である「④最寄り駅周辺のまちづくり」「⑤街並み景観の整備」については、ともに『不満』層が『満足』層を上回っている。

「産業」に関する項目である「⑥商店街の企業の振興」については、『不満』層（32.7%）が3割台で、『満足』層（16.0%）を大きく上回っている。

「環境」に関する項目である「⑦緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」については、「⑦緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備」は『不満』層（26.3%）が『満足』層（26.0%）をやや上回るもの、意見が分かれている。一方、「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」は『満足』層（44.1%）が4割台半ばで高く、『不満』層（23.8%）を大きく上回っている。

「防犯・防災」に関する項目である「⑨災害対策」「⑩防犯対策」については、「⑨災害対策」は『不満』層（17.0%）が『満足』層（16.6%）をやや上回るもの、意見が分かれている。一方、「⑩防犯対策」は『不満』層（24.5%）が、『満足』層（16.9%）を上回っている。

「教育・福祉・医療」に関する項目である「⑪保育など子育て支援」「⑫学校教育の充実や青少年の健全育成」「⑬病院や救急医療などの地域医療」「⑭駅舎のバリアフリーなどの誰もが移動しやすいまちづくり」「⑮高齢者福祉」「⑯障がい者福祉」「⑰区民利用施設の充実」については、7項目全てにおいて『不満』層が『満足』層を上回っている。特に「⑫学校教育の充実や青少年の健全育成」の『満足』層（9.7%）や「⑯障がい者福祉」の『満足』層（8.8%）は、それぞれ1割にも満たず、低くなっている。

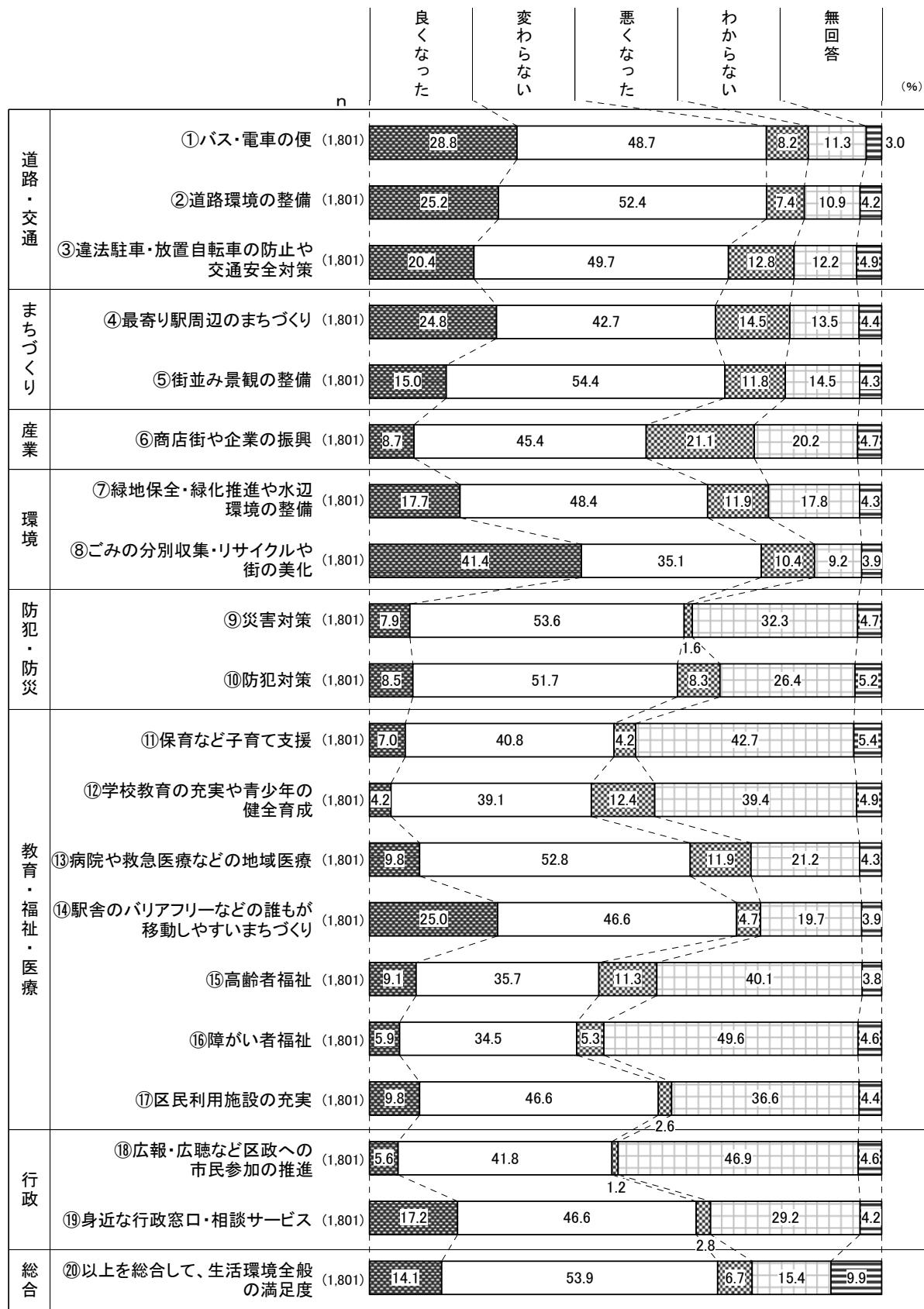
「行政」に関する項目である「⑱広報・広聴など区政への市民参加の推進」「⑲身近な行政窓口・相談サービス」については、「⑱広報・広聴など区政への市民参加の推進」は『満足』層（10.2%）が『不満』層（8.7%）をやや上回るもの、意見が分かれている。「⑲身近な行政窓口・相談サービス」は『満足』層（26.6%）が『不満』層（17.7%）を上回っている。

「⑳以上を総合して、生活環境全般の満足度」については、『満足』層（28.8%）が『不満』層（24.5%）をやや上回っている。

問1 あなたは以下（①～⑩）のことがらについて、

【3】また、以前に比べてどのように変化していると思いますか。（それについて〇は1つだけ）

図表 生活環境全般の以前と比較した変化（全項目比較）



生活環境全般の以前と比較した変化

「道路・交通」に関する項目である「①バス・電車の便」「②道路環境の整備」「③違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策」については、「変わらない」がいずれも5割前後であるが、「良くなった」がいずれも2割台となっており、他の項目よりも比較的高くなっている。

「まちづくり」に関する項目である「④最寄り駅周辺のまちづくり」「⑤街並み景観の整備」については、「④最寄り駅周辺のまちづくり」は「良くなった」(24.8%)が2割台半ばで比較的高い。一方、「⑤街並み景観の整備」は「変わらない」(54.4%)が5割台半ばとなり、全項目で最も高くなっている。

「産業」に関する項目である「⑥商店街の企業の振興」については、「悪くなった」(21.1%)が約2割となり、全項目で最も高くなっている。

「環境」に関する項目である「⑦緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」については、「⑦緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備」は「変わらない」(48.4%)が4割台半ばを超えて最も高い。

一方、「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」は「良くなった」(41.4%)が4割台となり、全項目で最も高い。なお、全選択肢の中で「良くなった」の占める割合が最も高いのは、全項目で「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」のみである。

「防犯・防災」に関する項目である「⑨災害対策」「⑩防犯対策」については、ともに「変わらない」が5割を超えて高くなっている。

「教育・福祉・医療」に関する項目である「⑪保育など子育て支援」「⑫学校教育の充実や青少年の健全育成」「⑬病院や救急医療などの地域医療」「⑭駅舎のバリアフリーなどの誰もが移動しやすいまちづくり」「⑮高齢者福祉」「⑯障がい者福祉」「⑰区民利用施設の充実」については、「⑬病院や救急医療などの地域医療」「⑭駅舎のバリアフリーなどの誰もが移動しやすいまちづくり」「⑰区民利用施設の充実」の3項目で、「変わらない」が4割台半ばを超えて高い。なお、「⑭駅舎のバリアフリーなどの誰もが移動しやすいまちづくり」については、「良くなった」(25.0%)が2割台半ばで比較的高くなっている。

一方、「⑪保育など子育て支援」「⑫学校教育の充実や青少年の健全育成」「⑮高齢者福祉」「⑯障がい者福祉」については、「わからない」が最も高くなっている。

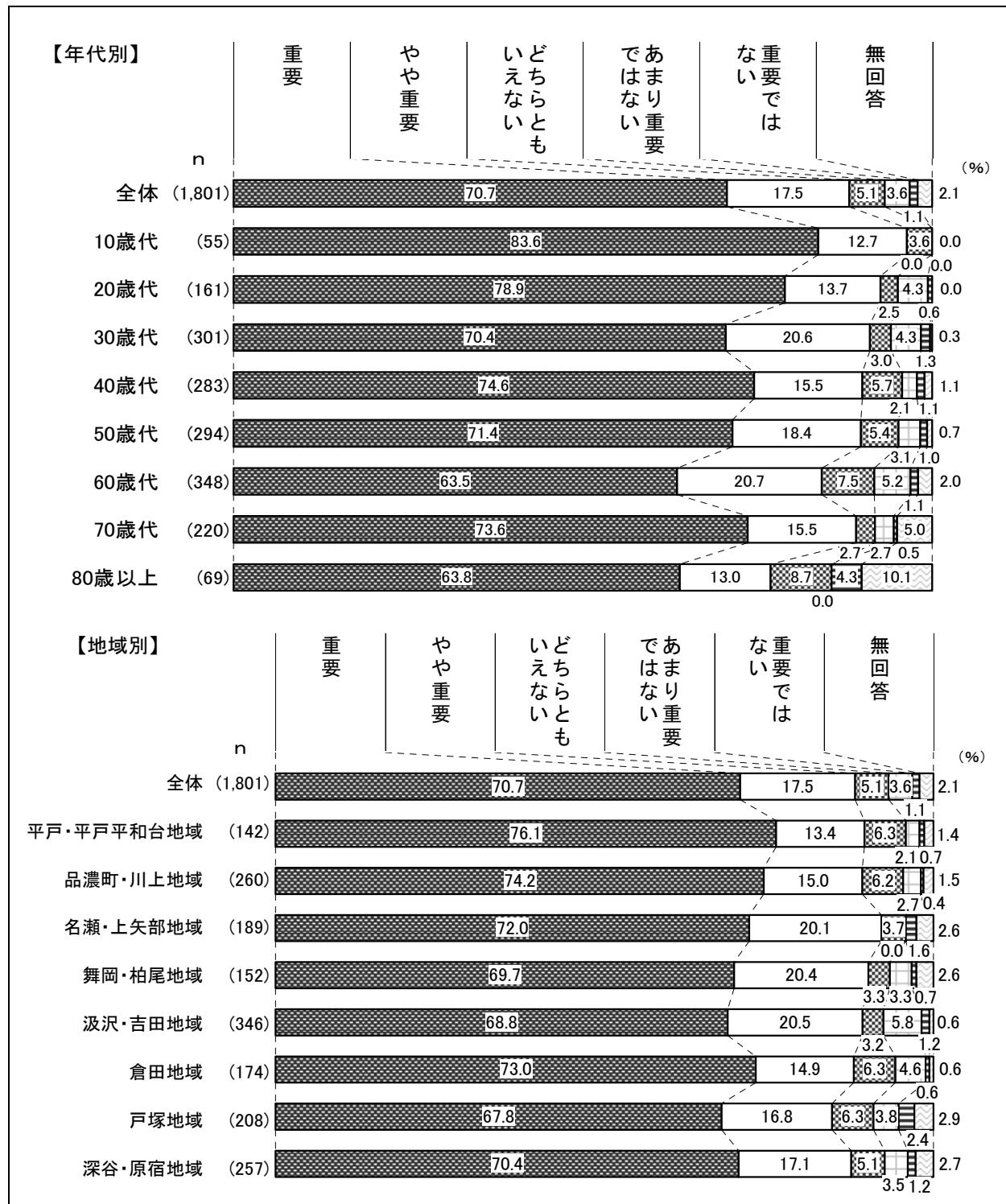
「行政」に関する項目である「⑱広報・広聴など区政への市民参加の推進」「⑲身近な行政窓口・相談サービス」については、「⑱広報・広聴など区政への市民参加の推進」は「わからない」(46.9%)が4割台半ばを超えて最も高い。一方、「⑲身近な行政窓口・相談サービス」は「変わらない」(46.6%)が4割台半ばを超えて最も高くなっている。

「⑳以上を総合して、生活環境全般の満足度」については、「変わらない」(53.9%)が5割台で最も高くなっている。

①バス・電車の便（重要度）

「バス・電車の便」の重要度を年代別でみると、『重要』層は10歳代（96.4%）で9割台半ばを超えて最も高い。ついで20歳代（92.5%）、30歳代（91.0%）がそれぞれ9割台で続き、全体的に年代が低いと、重要度が高くなる傾向にある。一方、80歳以上（76.8%）は8割に満たず、最も低くなっている。

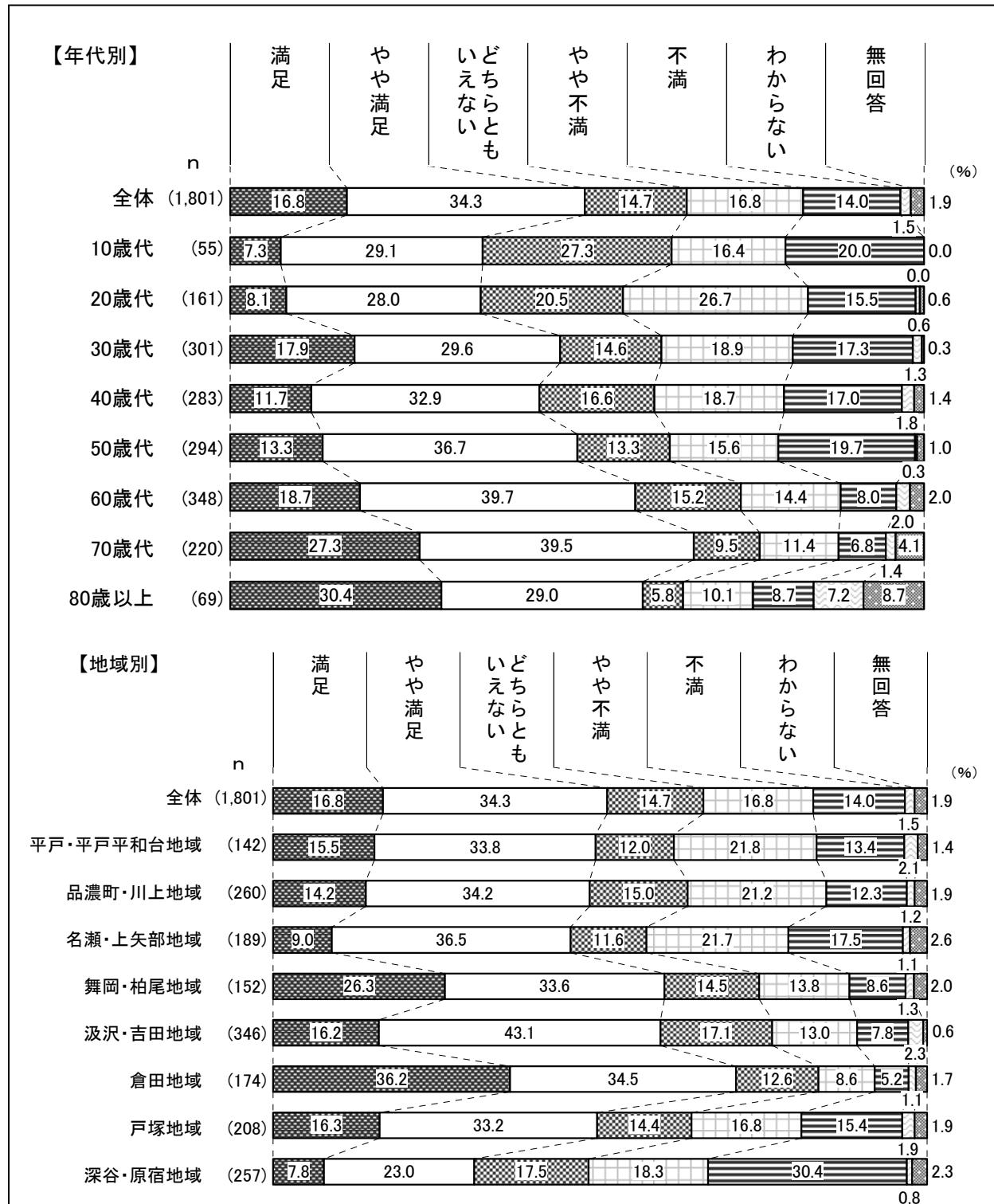
地域別でみると、『重要』層は名瀬・上矢部地域（92.1%）が9割台で最も高い。一方、戸塚地域（84.6%）は8割台半ばで最も低くなっている。



①バス・電車の便（満足度）

「バス・電車の便」の満足度を年代別でみると、『満足』層は、70歳代（66.8%）が6割台半ばを超えて最も高い。ついで80歳以上（59.4%）、60歳代（58.3%）と続き、全体的に年代が高いと、満足度が高くなる傾向にある。一方、『不満』層は20歳代（42.2%）が4割台で最も高くなっている。

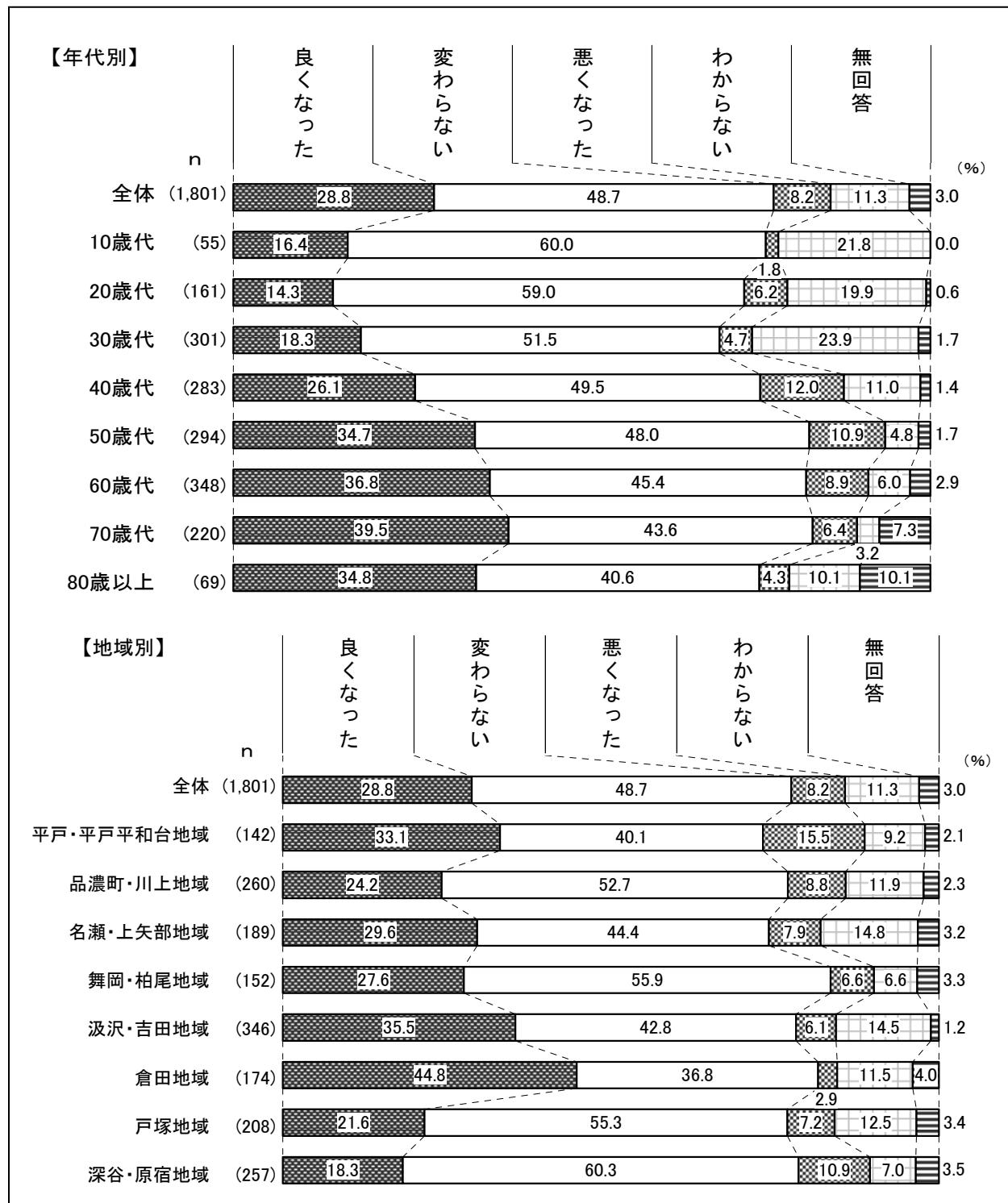
地域別でみると、『満足』層は倉田地域（70.7%）が約7割で最も高い。一方、『不満』層は深谷・原宿地域（48.6%）が4割台半ばを超えて最も高い。なお、『不満』層が『満足』層よりも高いのは、深谷・原宿地域のみである。



①バス・電車の便（以前と比較した変化）

「バス・電車の便」の以前と比較した変化を年代別でみると、「良くなった」については70歳代(39.5%)が約4割で最も高い。ついで60歳代(36.8%)、80歳以上(34.8%)、50歳代(34.7%)がそれぞれ3割台半ば前後で続いている。全体的に年代が高いと、「良くなった」が高くなる傾向にある。

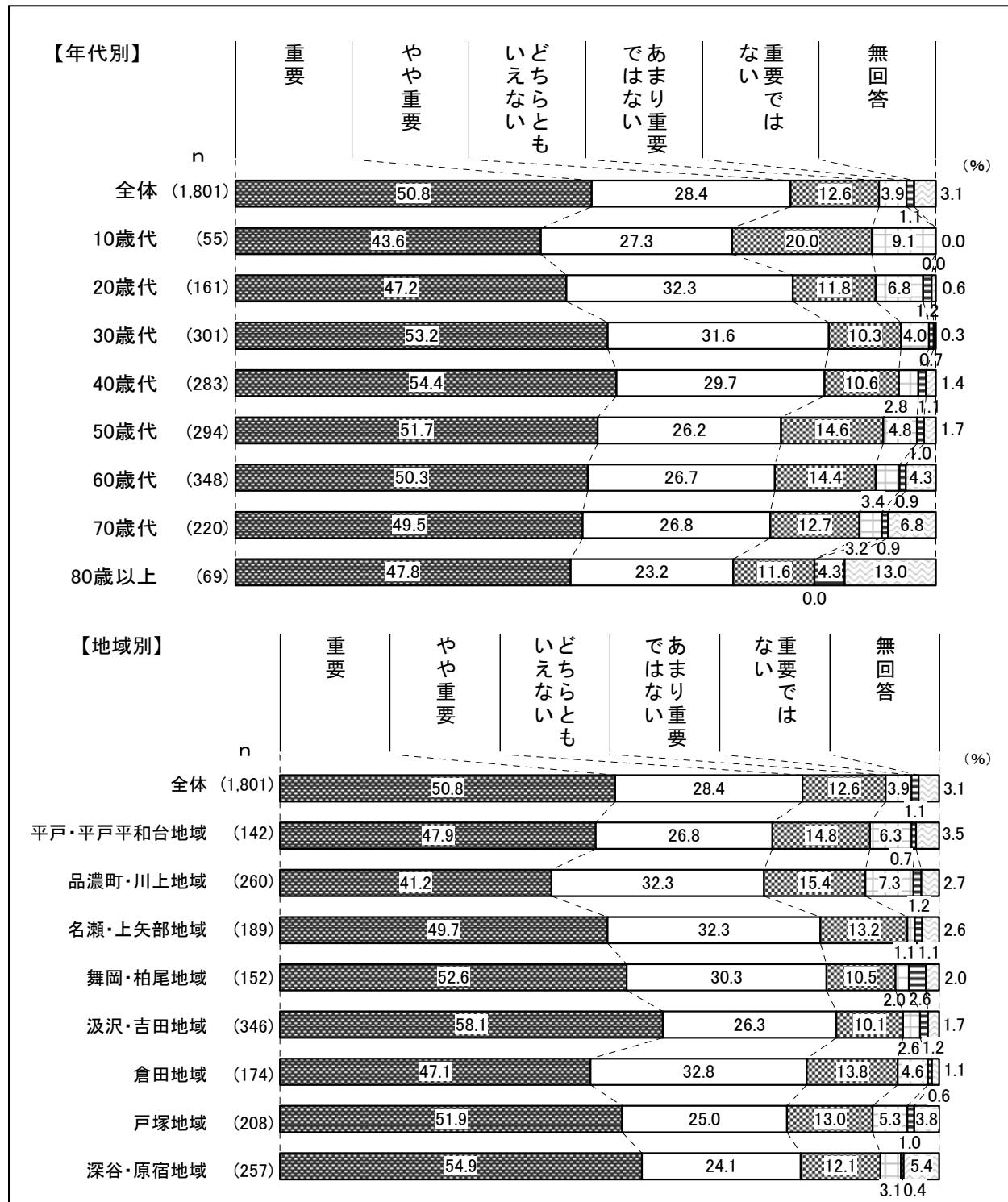
地域別でみると、「良くなった」は倉田地域(44.8%)が4割台半ばで最も高い。なお、「良くなった」の割合が最も高いのは、倉田地域のみである。他の地域については、「変わらない」の割合が最も高くなっている。



②道路環境の整備（重要度）

「道路環境の整備」の重要度を年代別でみると、『重要』層は30歳代(84.7%)、40歳代(84.1%)がそれぞれ8割台で高くなっている。

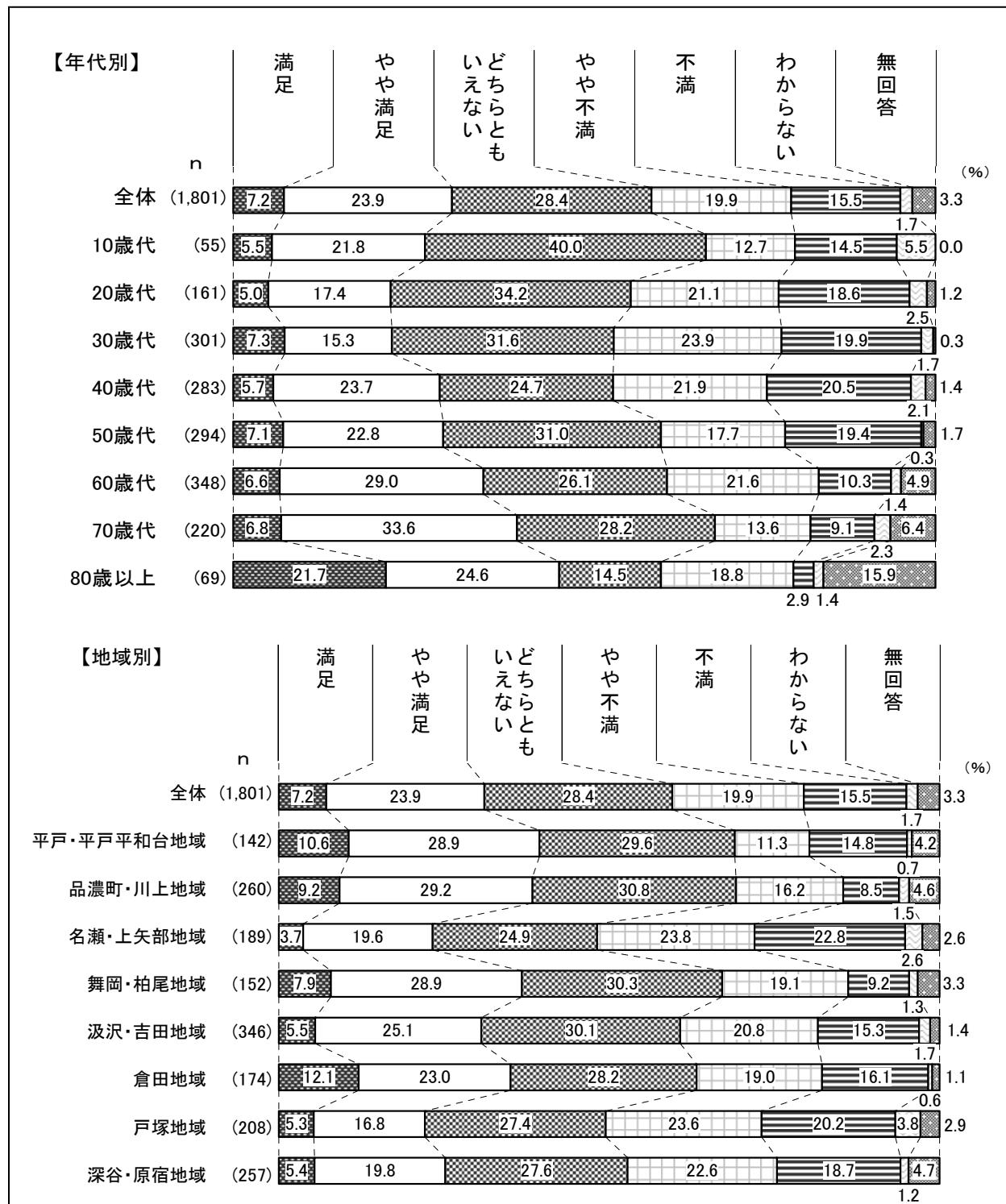
地域別でみると、『重要』層は汲沢・吉田地域(84.4%)が8割台半ばで最も高い。ついで舞岡・柏尾地域(82.9%)、名瀬・上矢部地域(82.0%)が8割台で続いている。



②道路環境の整備（満足度）

「道路環境の整備」の満足度を年代別でみると、『満足』層は80歳以上（46.4%）が4割台を超えて高い。ついで70歳代（40.5%）、60歳代（35.6%）が続き、全体的に年代が高いと、満足度が高くなる傾向にある。

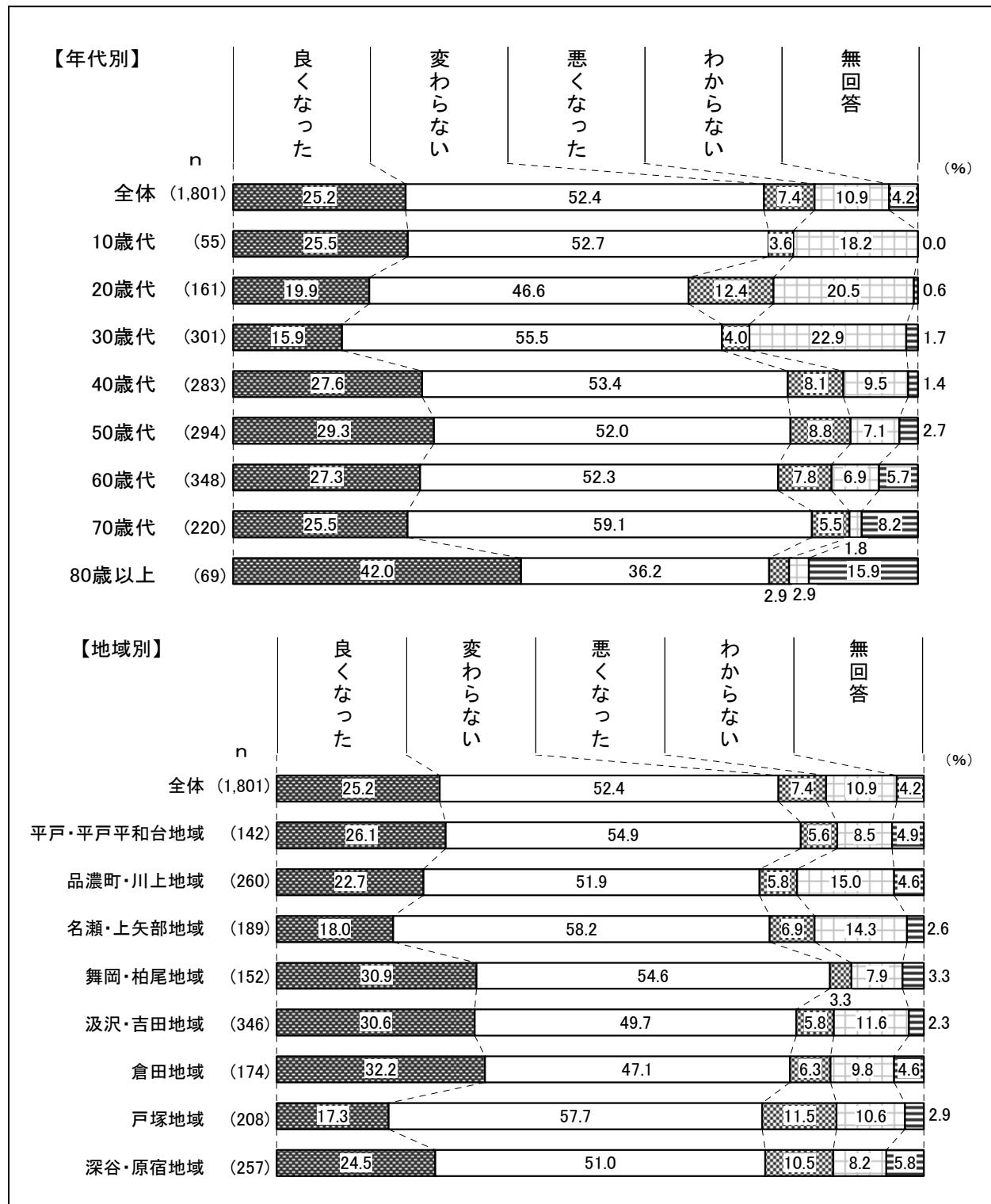
地域別でみると、『満足』層は平戸・平戸平和台地域（39.4%）、品濃町・川上地域（38.5%）、舞岡・柏尾地域（36.8%）がそれぞれ3割台半ばを超えて高く、『不満』層を上回っている。一方、『不満』層は品濃町・川上地域（46.6%）が4割台半ばを超えて最も高く、ついで戸塚地域（43.8%）、深谷・原宿地域（41.2%）が4割台で続いている。



②道路環境の整備（以前と比較した変化）

「道路環境の整備」の以前と比較した変化を年代別でみると、「良くなった」は80歳以上(42.0%)が4割台で最も高い。なお、「良くなった」の割合が最も高いのは、80歳以上のみである。他の年代については、「変わらない」が最も高くなっている。

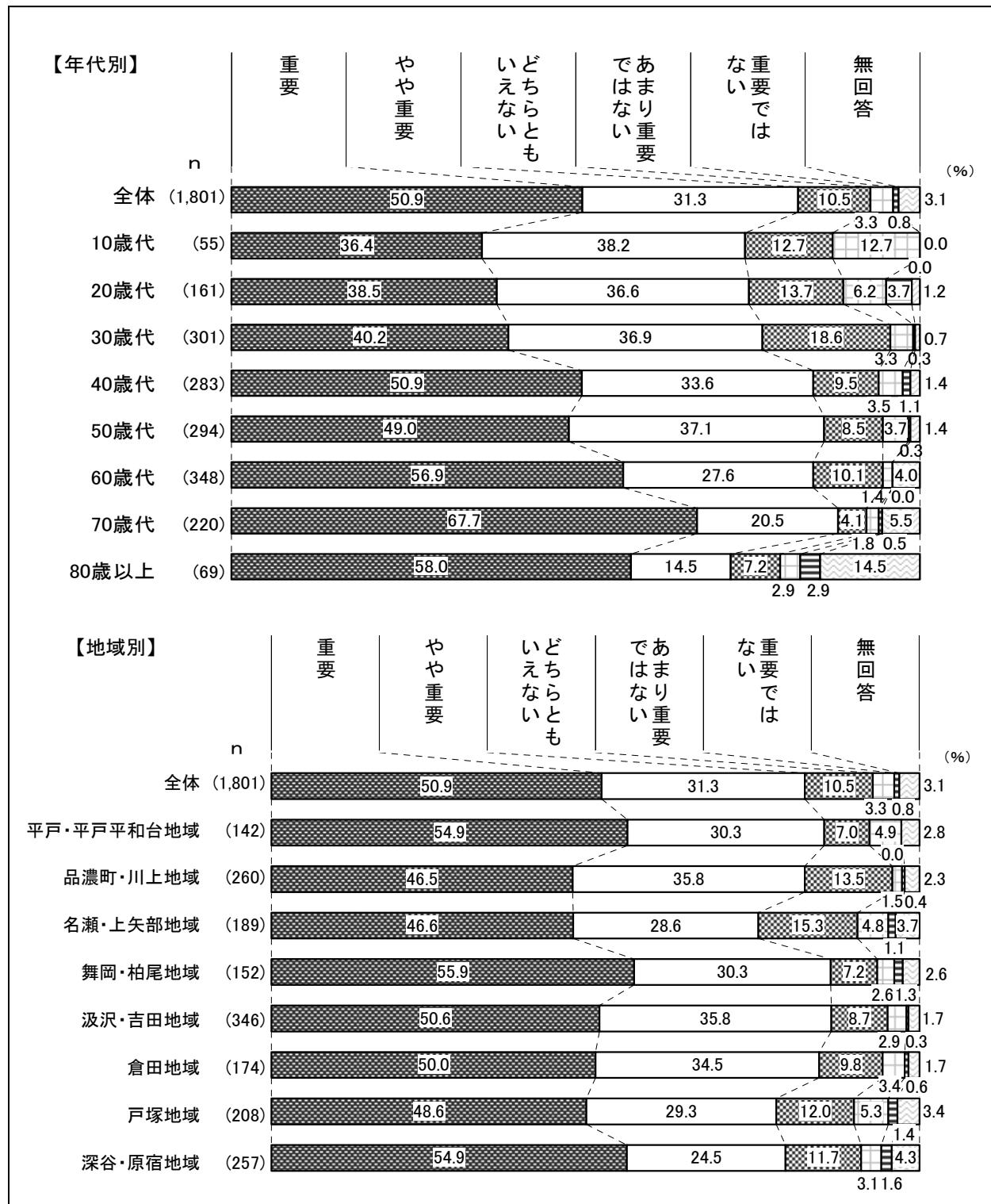
地域別でみると、「良くなった」は倉田地域(32.2%)、舞岡・柏尾地域(30.9%)、汲沢・吉田地域(30.6%)がそれぞれ3割台で比較的高くなっている。



③違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策（重要度）

「違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策」の重要度を年代別でみると、『重要』層は70歳代(88.2%)が8割台半ばを超えて最も高い。ついで40歳代から60歳代がそれぞれ8割台半ばで続いている。一方、80歳以上(72.5%)は7割台で最も低くなっている。

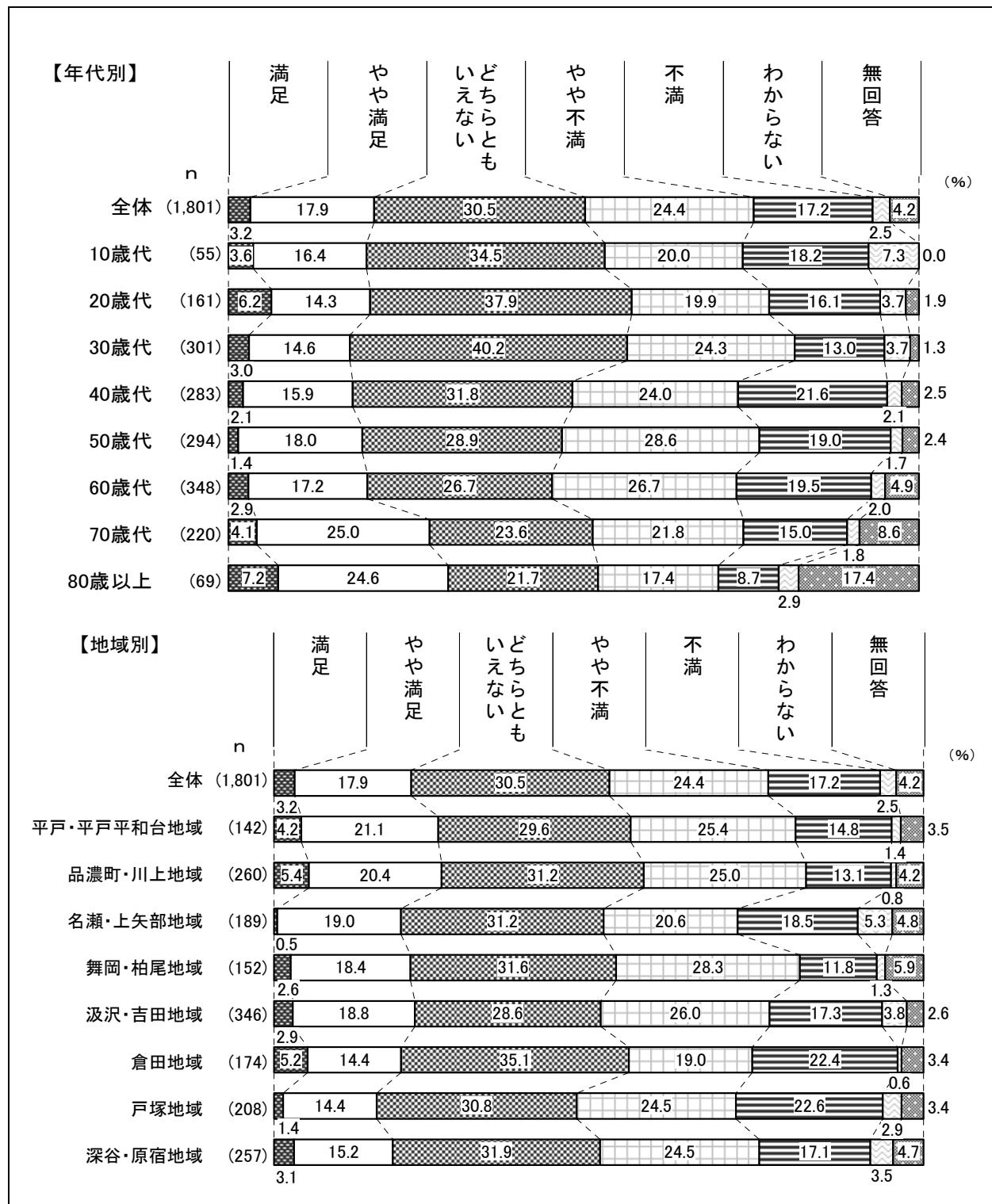
地域別でみると、汲沢・吉田地域(86.4%)、舞岡・柏尾地域(86.2%)、平戸・平戸平和台地域(85.2%)、倉田地域(84.5%)がそれぞれ8割台半ばとなっている。



③違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策（満足度）

「違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策」の満足度を年代別でみると、全ての世代で『不満』層が『満足』層を上回っている。特に40歳代から60歳代の『不満』層は、いずれも4割台半ばで高くなっている。

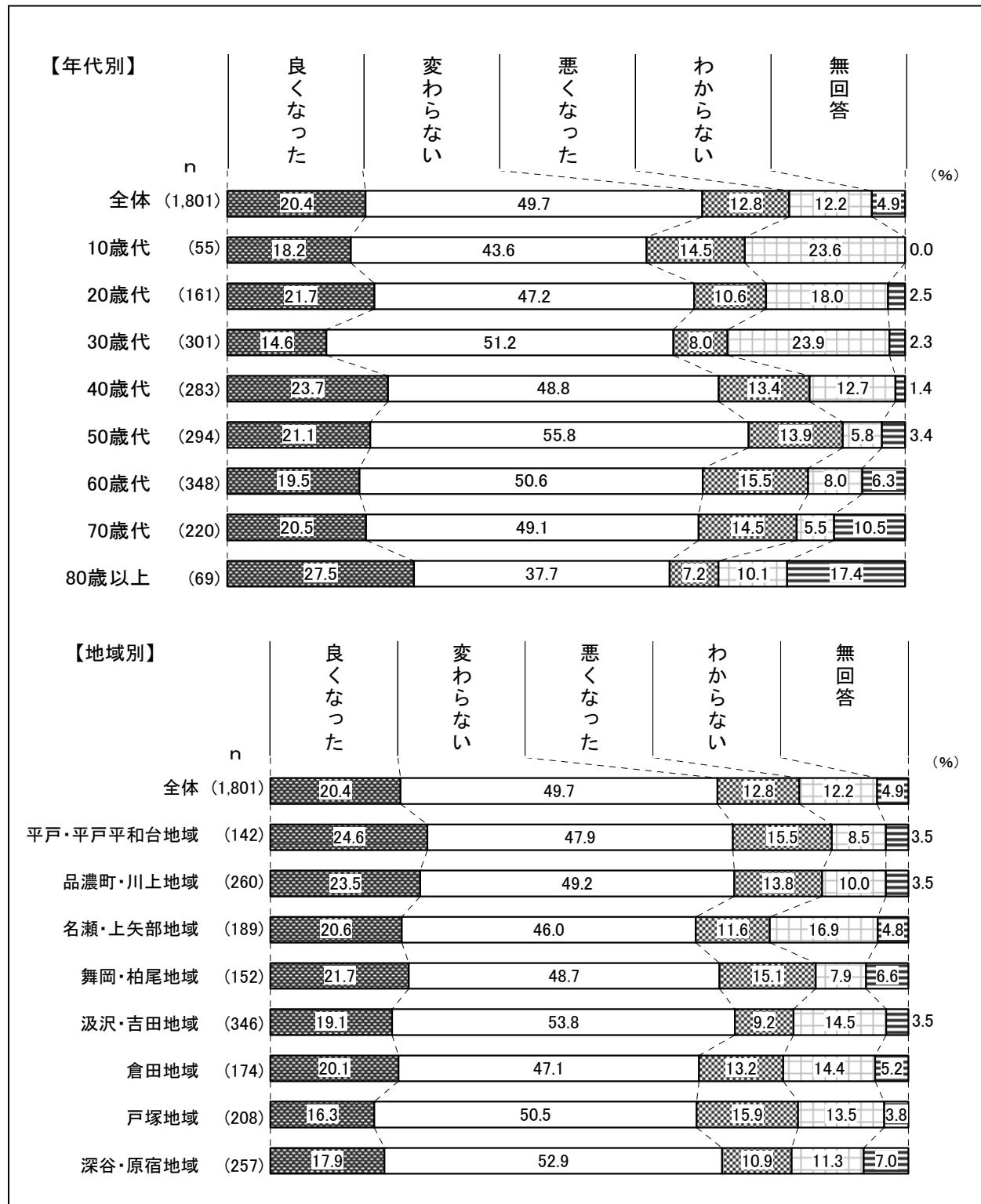
地域別でみると、全ての地域で『不満』層が『満足』層を上回っている。『不満』層については戸塚地域（47.1%）が4割台半ばを超えて最も高くなっている。



③違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策（以前と比較した変化）

「違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策」の以前と比較した変化を年代別でみると、「良くなった」は30歳代（14.6%）が1割台半ばで、最も低くなっている。

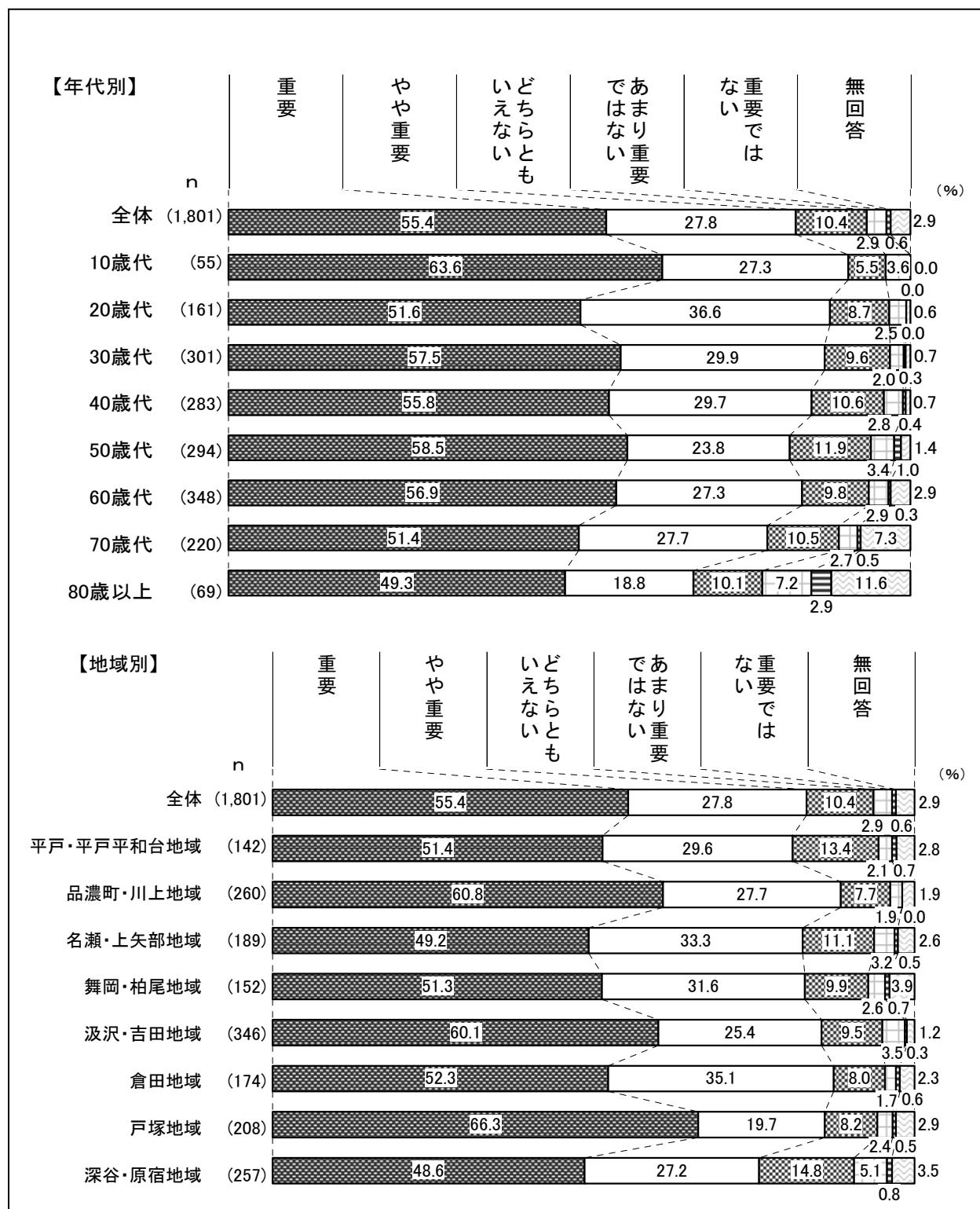
地域別でみると、いずれの地域も「良くなった」が「悪くなった」を上回るが、戸塚地域については「良くなった」（16.3%）と「悪くなった」（15.9%）にあまり差がなく、意見が分かれている。



④最寄り駅周辺のまちづくり（重要度）

「最寄り駅周辺のまちづくり」の重要度を年代別でみると、『重要』層は10歳代（90.9%）が約9割で最も高く、ついで20歳代（88.2%）、30歳代（87.4%）が8割台半ばを超えて続いている。一方、80歳以上（68.1%）は7割に満たず、他の年代と比べてやや低い。全体的に年代が高いと、重要度が低くなる傾向にある。

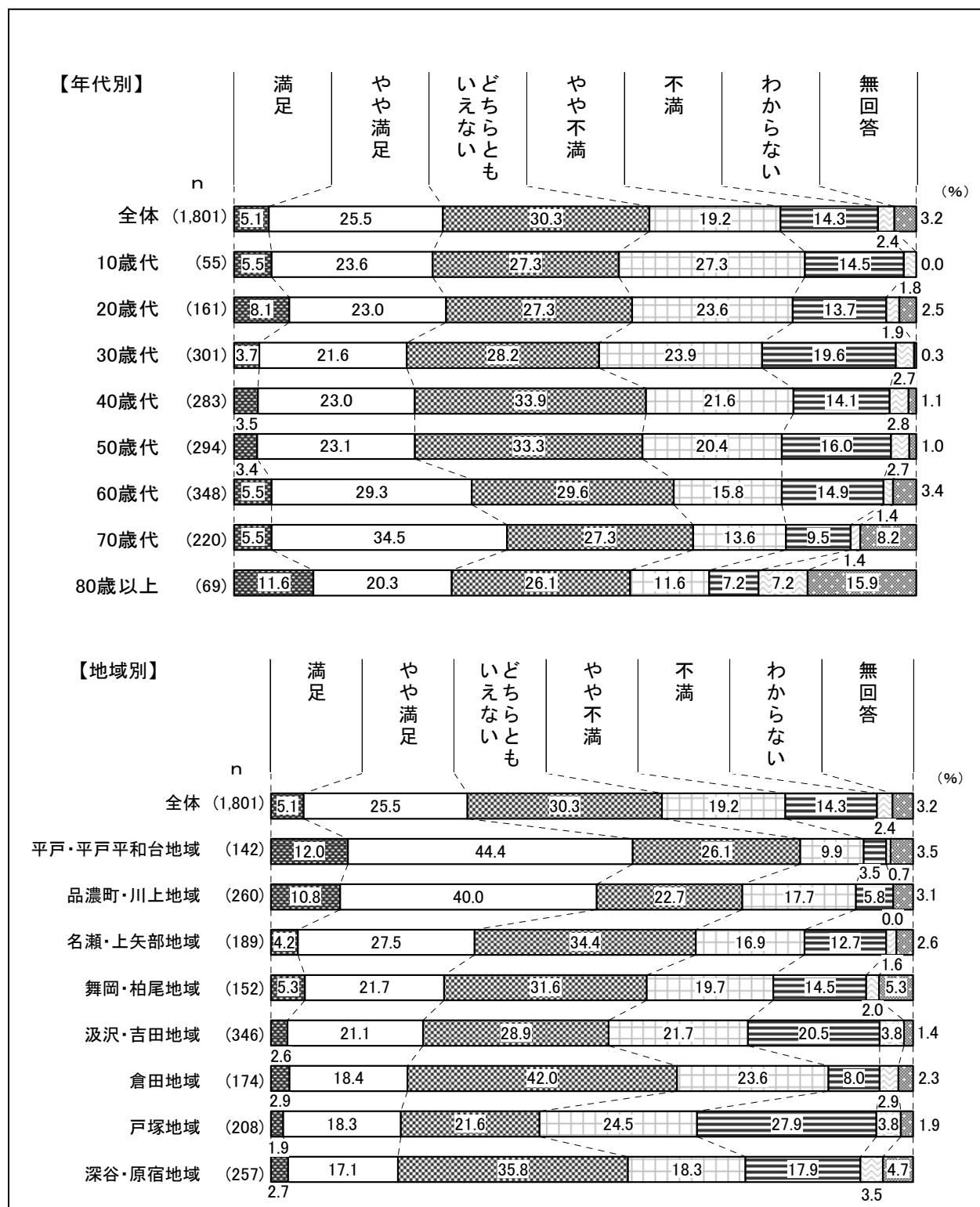
地域別でみると、品濃町・川上地域（88.5%）が8割台半ばを超えて最も高い。一方、深谷・原宿地域（75.9%）は7割台半ばで他の地域と比べてやや低くなっている。



④最寄り駅周辺のまちづくり（満足度）

「最寄り駅周辺のまちづくり」の満足度を年代別でみると、10歳代から50歳代の年代で『不満』層が『満足』層を上回るが、60歳代から80歳以上の年代では『満足』層が『不満』層を上回っている。

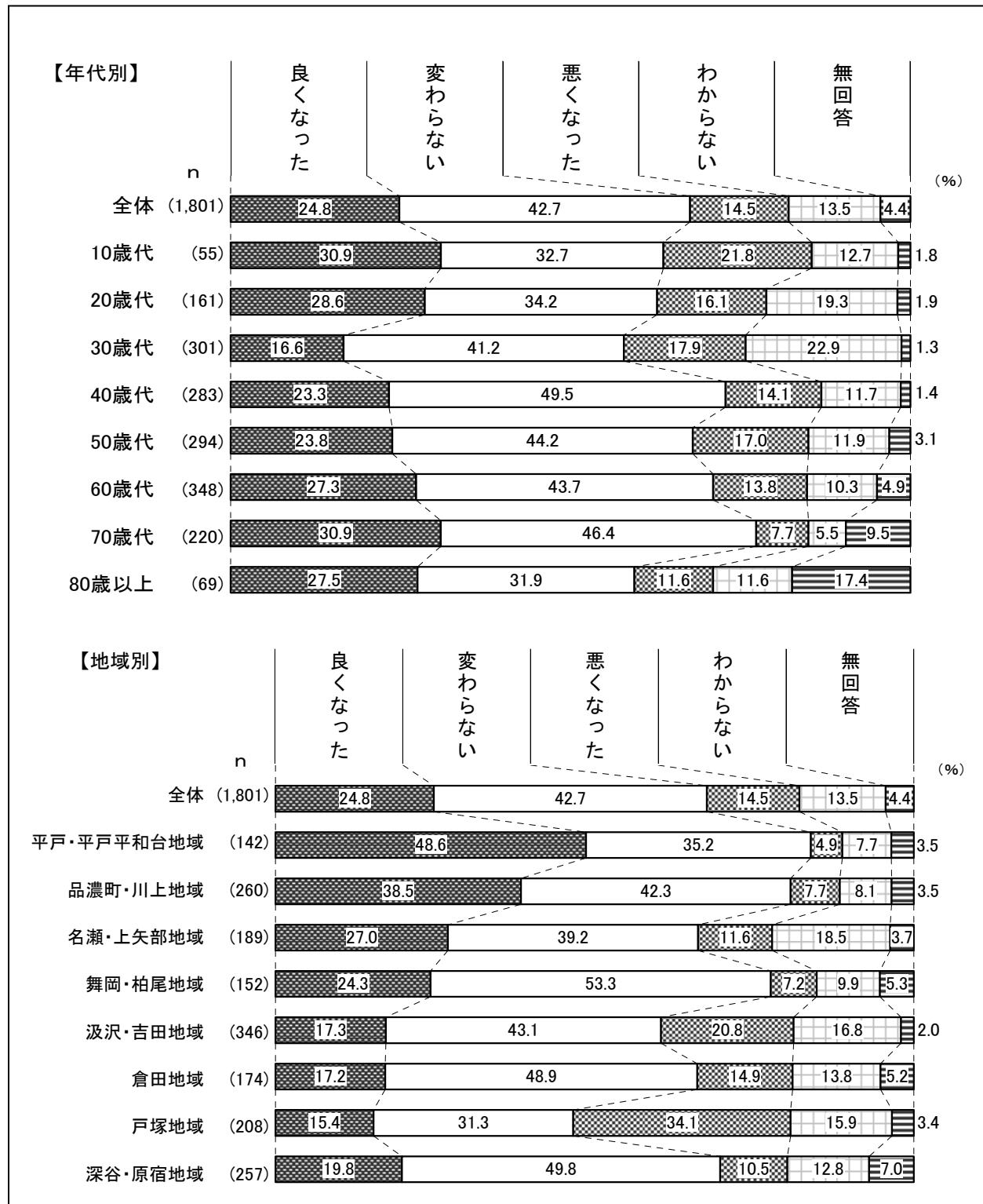
地域別でみると、『満足』層は平戸・平戸平和台地域（56.3%）が5割台半ばで最も高い。ついで品濃町・川上地域（50.8%）が約5割で続いている。一方、『不満』層は戸塚地域（52.4%）が5割台で最も高くなっている。



④最寄り駅周辺のまちづくり（以前と比較した変化）

「最寄り駅周辺のまちづくり」の以前と比較した変化を年代別でみると、30歳代については、全ての年代の中で「悪くなった」(17.9%)が「良くなった」(16.6%)を上回る唯一の年代である。

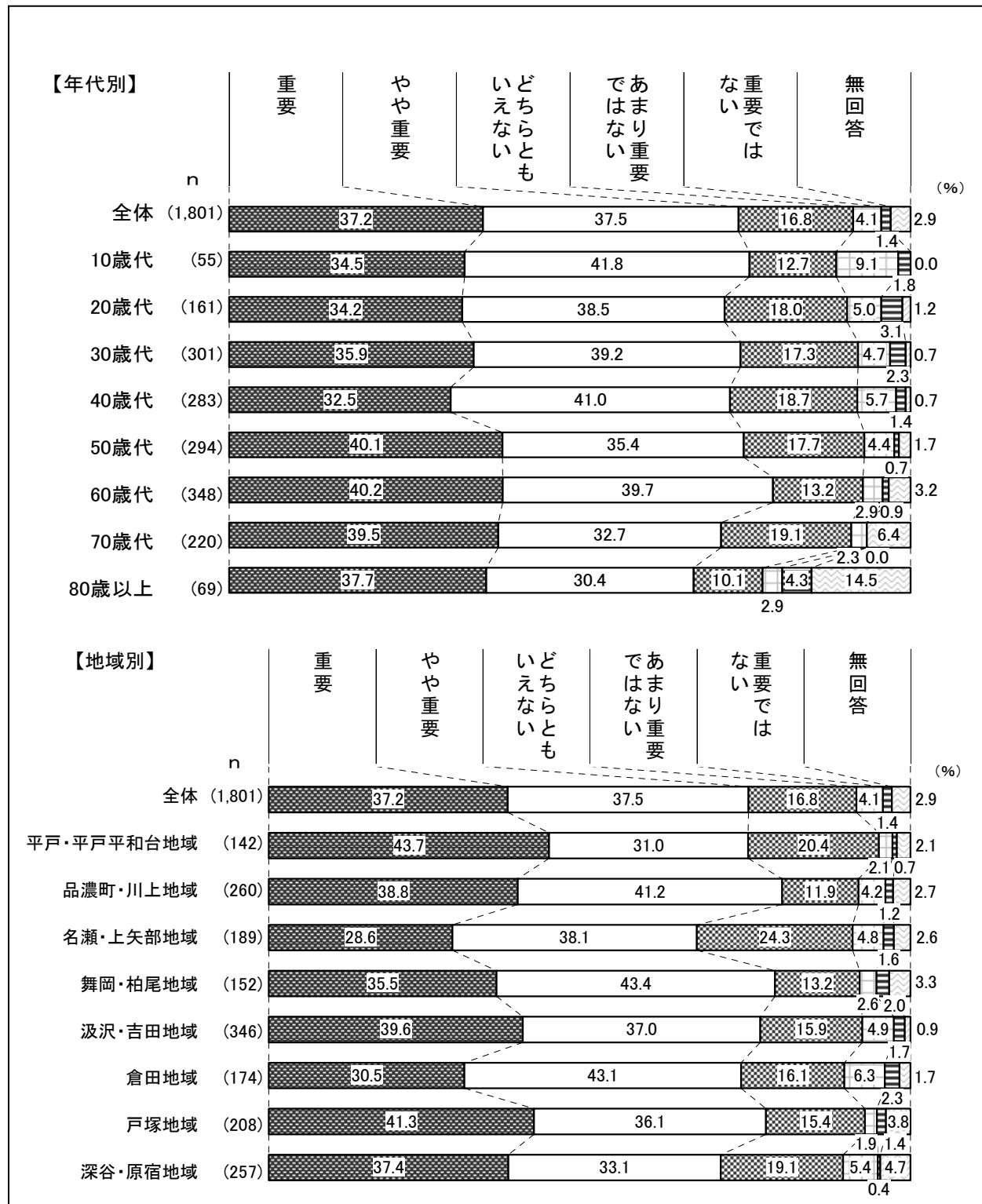
地域別でみると、「良くなった」は平戸・平戸平和台地域(48.6%)で4割台半ばを超えて最も高い。「良くなった」が「変わらない」を上回るのは、平戸・平戸平和台地域のみである。一方、「悪くなった」は戸塚地域(34.1%)が3割台で最も高い。なお、「悪くなった」が「良くなった」や「変わらない」を上回るのは、戸塚地域のみである。



⑤街並み景観の整備（重要度）

「街並み景観の整備」の重要度を年代別でみると、『重要』層は60歳代（79.9%）が約8割で最も高い。一方、80歳以上（68.1%）は7割に満たず、他の年代と比べてやや低くなっている。

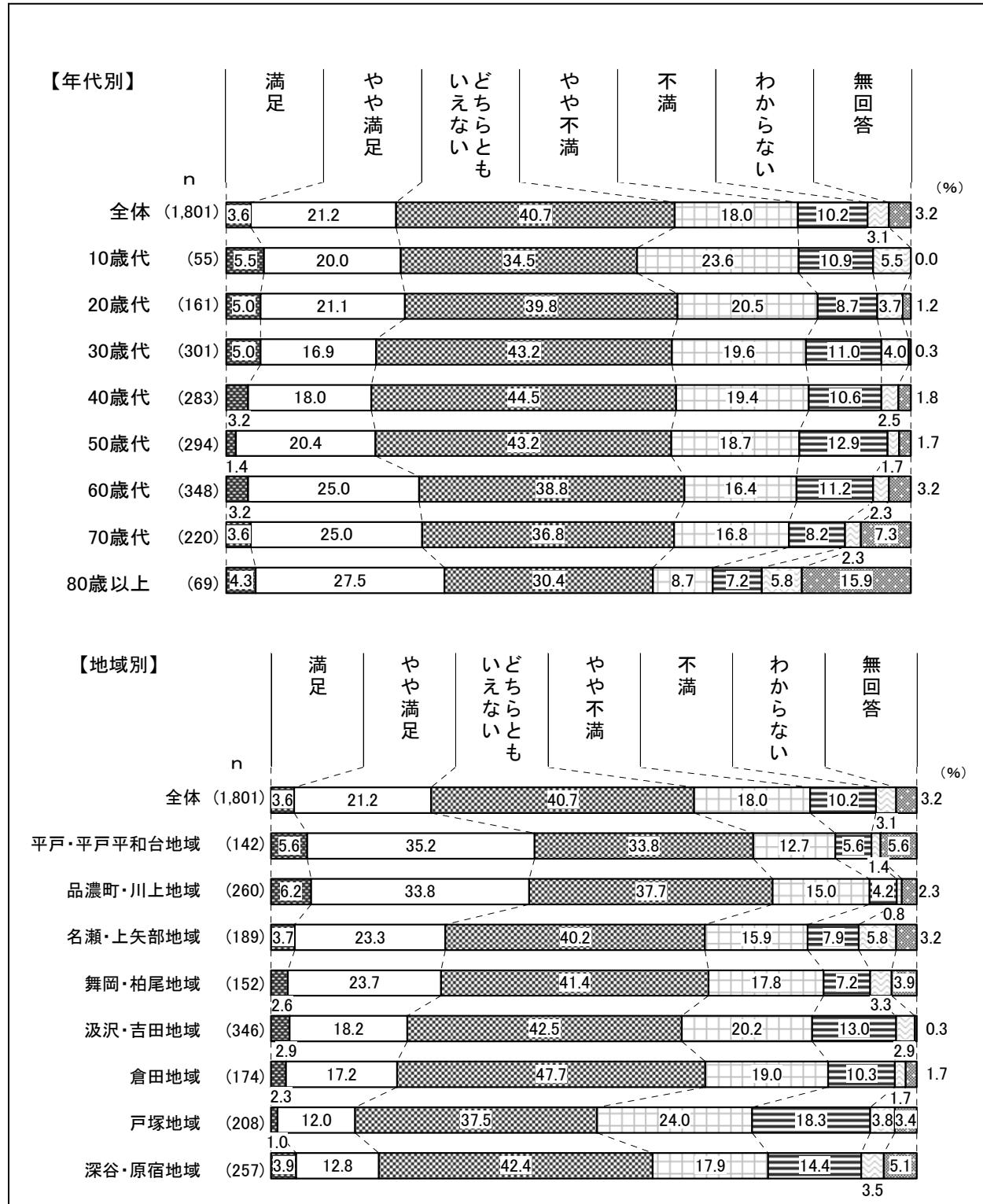
地域別でみると、『重要』層は品濃町・川上地域（80.0%）が8割で最も高い。一方、名瀬・上矢部地域（66.7%）は7割に満たず、他の地域と比べてやや低くなっている。



⑤街並み景観の整備（満足度）

「街並み景観の整備」の満足度を年代別でみると、10歳代から50歳代で『不満』層が『満足』層を上回るが、60歳代から80歳以上では『満足』層が『不満』層を上回っている。

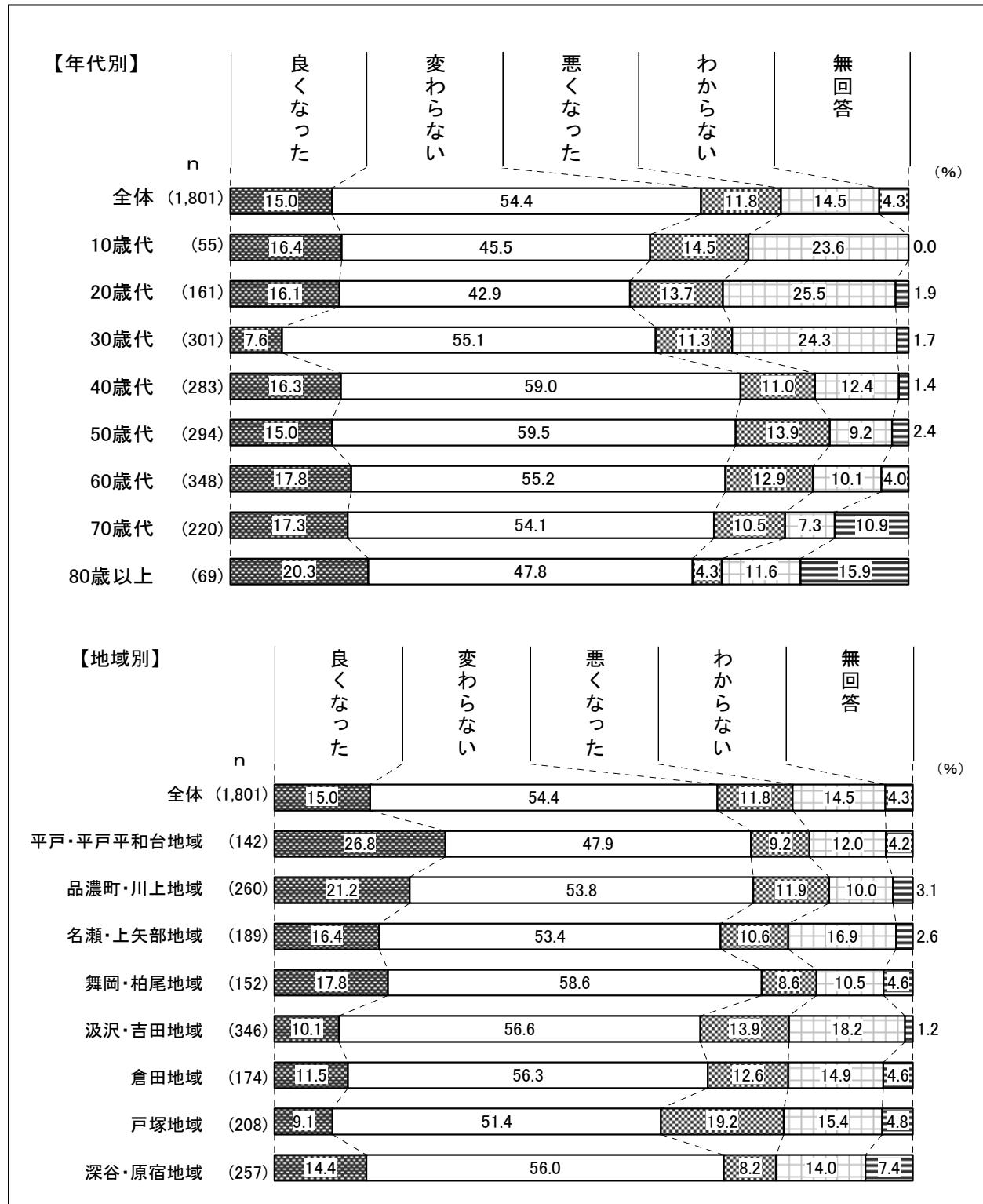
地域別でみると、『満足』層は平戸・平戸平和台地域（40.8%）、品濃町・川上地域（40.0%）がそれぞれ約4割で高い。一方、『不満』層は戸塚地域（42.3%）が4割台で最も高くなっている。



⑤街並み景観の整備（以前と比較した変化）

「街並み景観の整備」の以前と比較した変化を年代別でみると、30歳代については、全ての年代の中で「悪くなった」(11.3%)が「良くなつた」(7.6%)を上回る唯一の年代である。

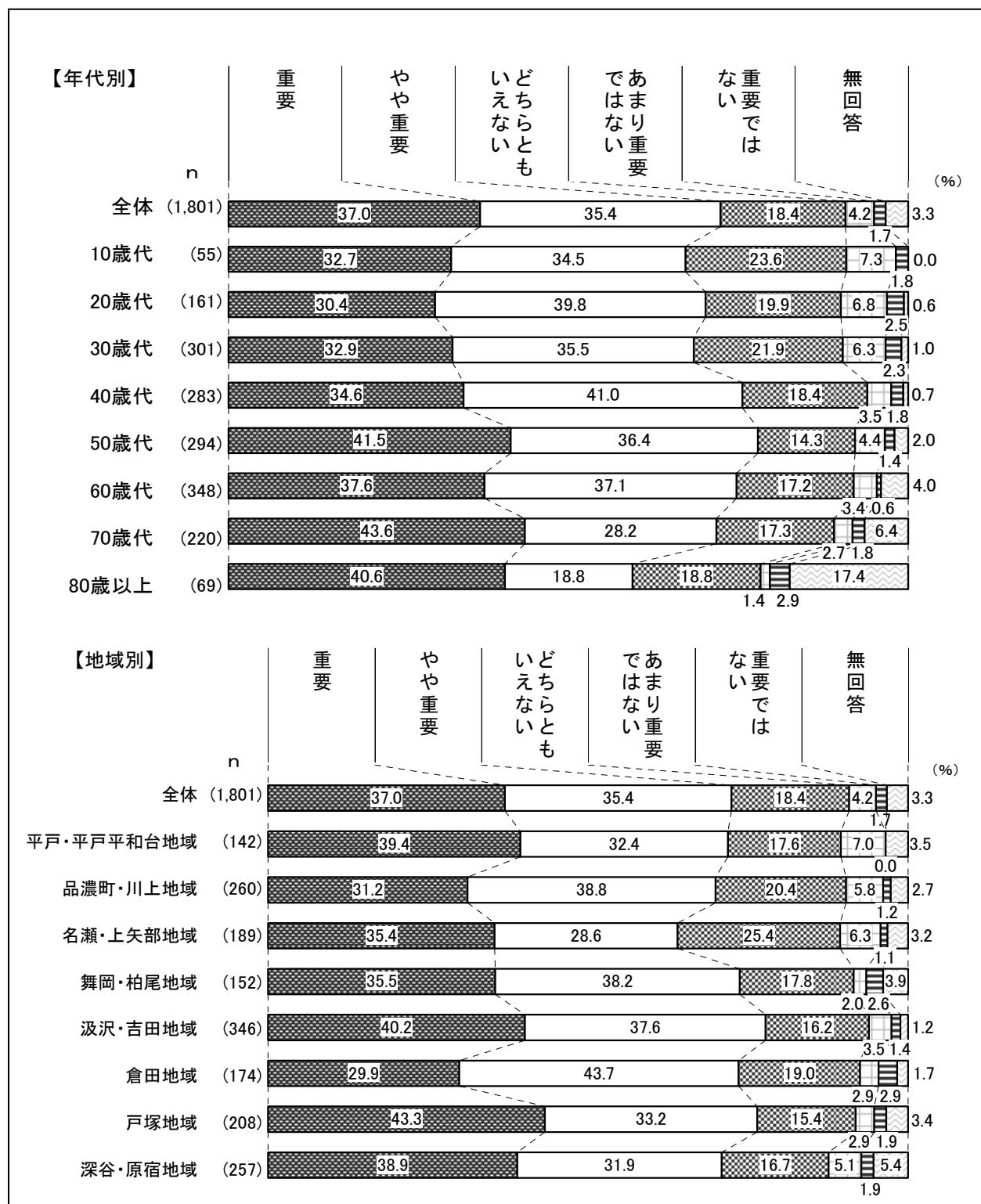
地域別でみると、「良くなつた」は平戸・平戸平和台地域(26.8%)が2割台半ばを超えて最も高い。一方、「悪くなった」は戸塚地域(19.2%)が約2割で最も高くなっている。



⑥商店街や企業の振興（重要度）

「商店街や企業の振興」の重要度を年代別でみると、『重要』層は50歳代（77.9%）が7割台半ばを超えて高く、ついで40歳代（75.6%）、60歳代（74.7%）がそれぞれ7割台半ばで続いている。一方、80歳以上（59.4%）は約6割で、他の年代と比べて低くなっている。

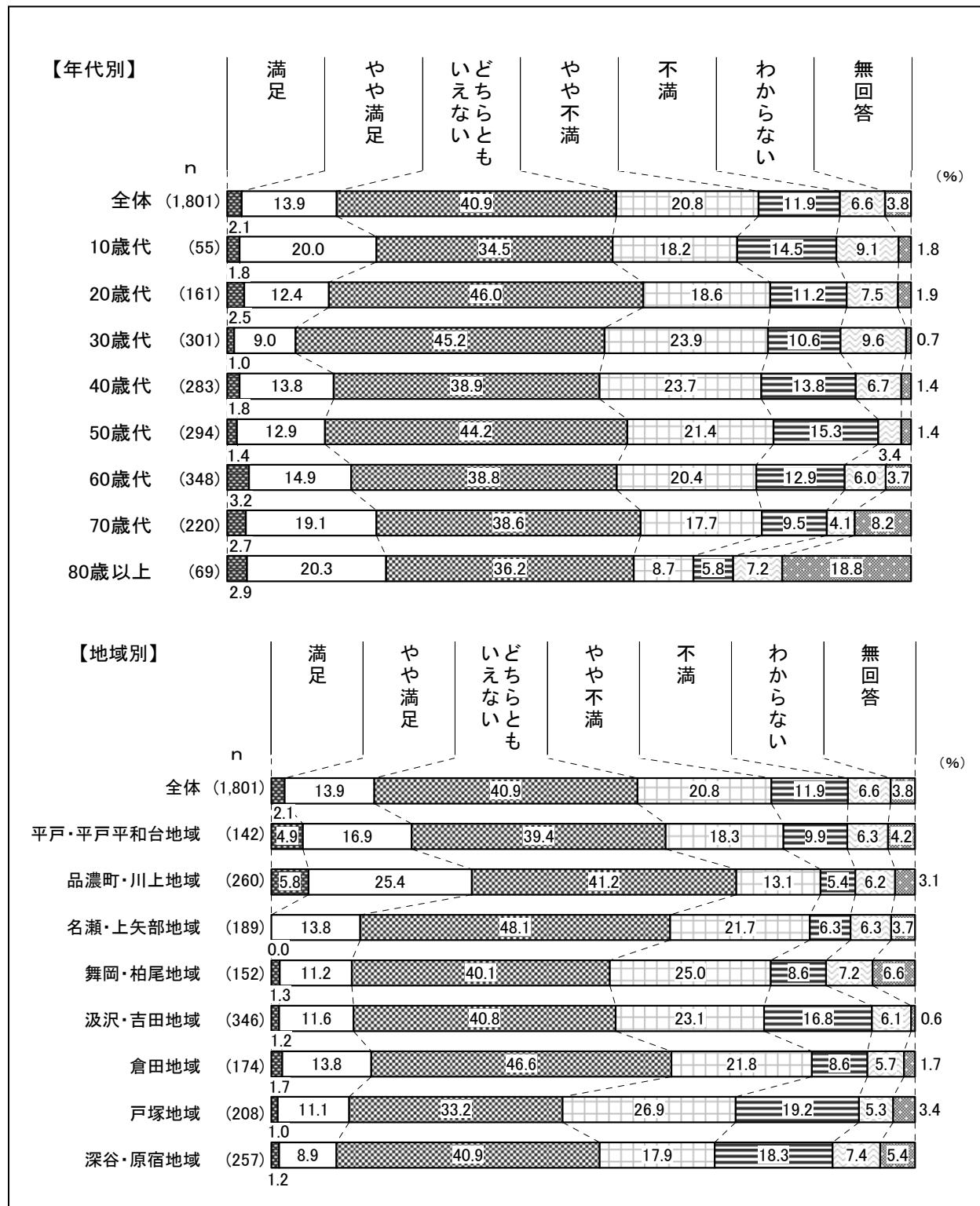
地域別でみると、『重要』層は汲沢・吉田地域（77.7%）、戸塚地域（76.4%）がそれぞれ7割台半ばを超えて高い。一方、名瀬・上矢部地域（64.0%）は6割台で、他の地域と比べて低くなっている。



⑥商店街や企業の振興（満足度）

「商店街や企業の振興」の満足度を年代別でみると、80歳以上で『満足』層が『不満』層を上回るもの、他の年代は全て『不満』層が『満足』層を上回っている。

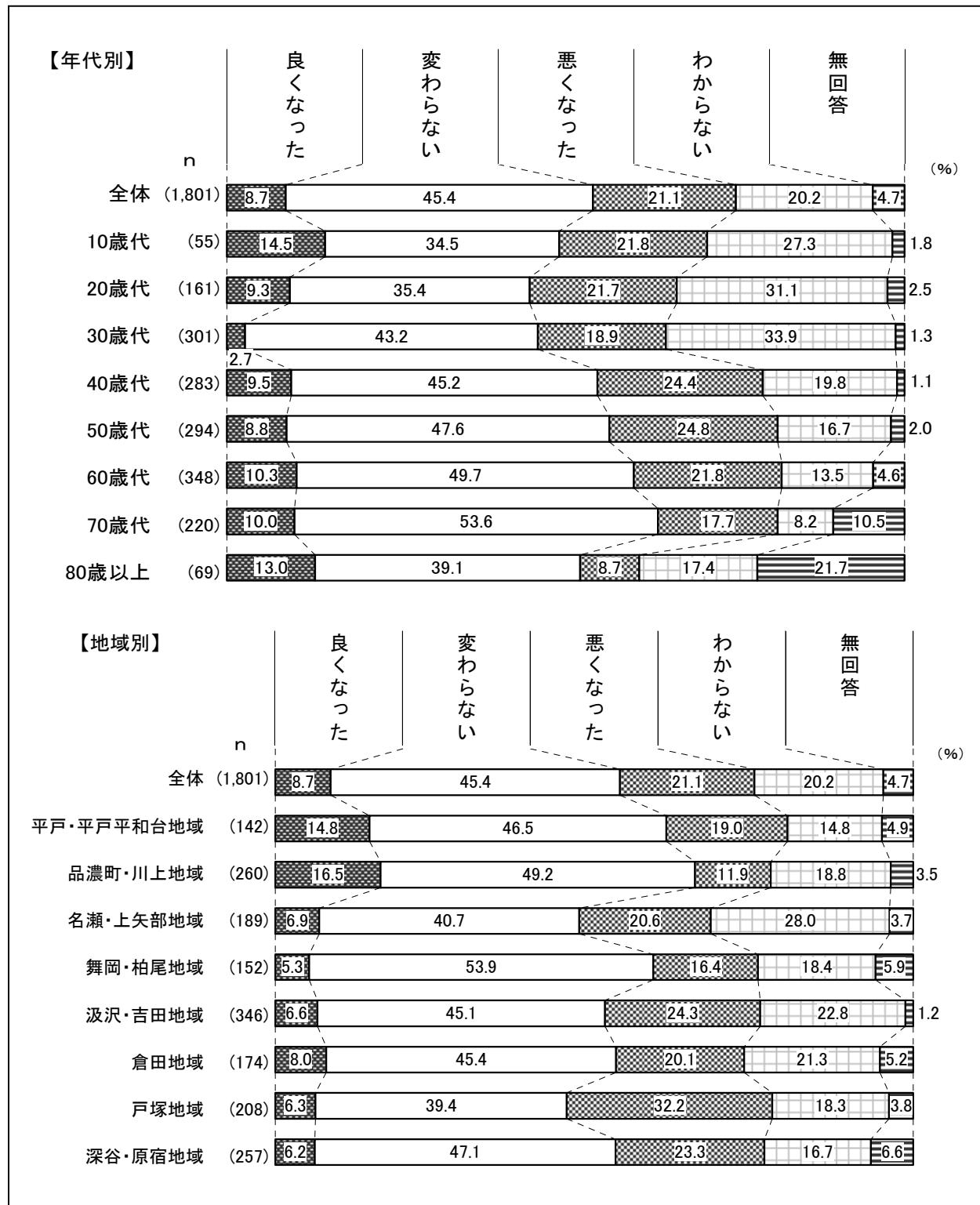
満足度を地域別でみると、『満足』層は品濃町・川上地域（31.2%）が3割台で最も高い。なお、『満足』層が『不満』層を上回るのは、品濃町・川上地域のみである。一方、『不満』層は戸塚地域（46.2%）が4割台半ばで高くなっている。



⑥商店街や企業の振興（以前と比較した変化）

「商店街や企業の振興」の以前と比較した変化を年代別でみると、「悪くなった」は50歳代(24.8%)、40歳代(24.4%)がそれぞれ2割台半ばとなっている。

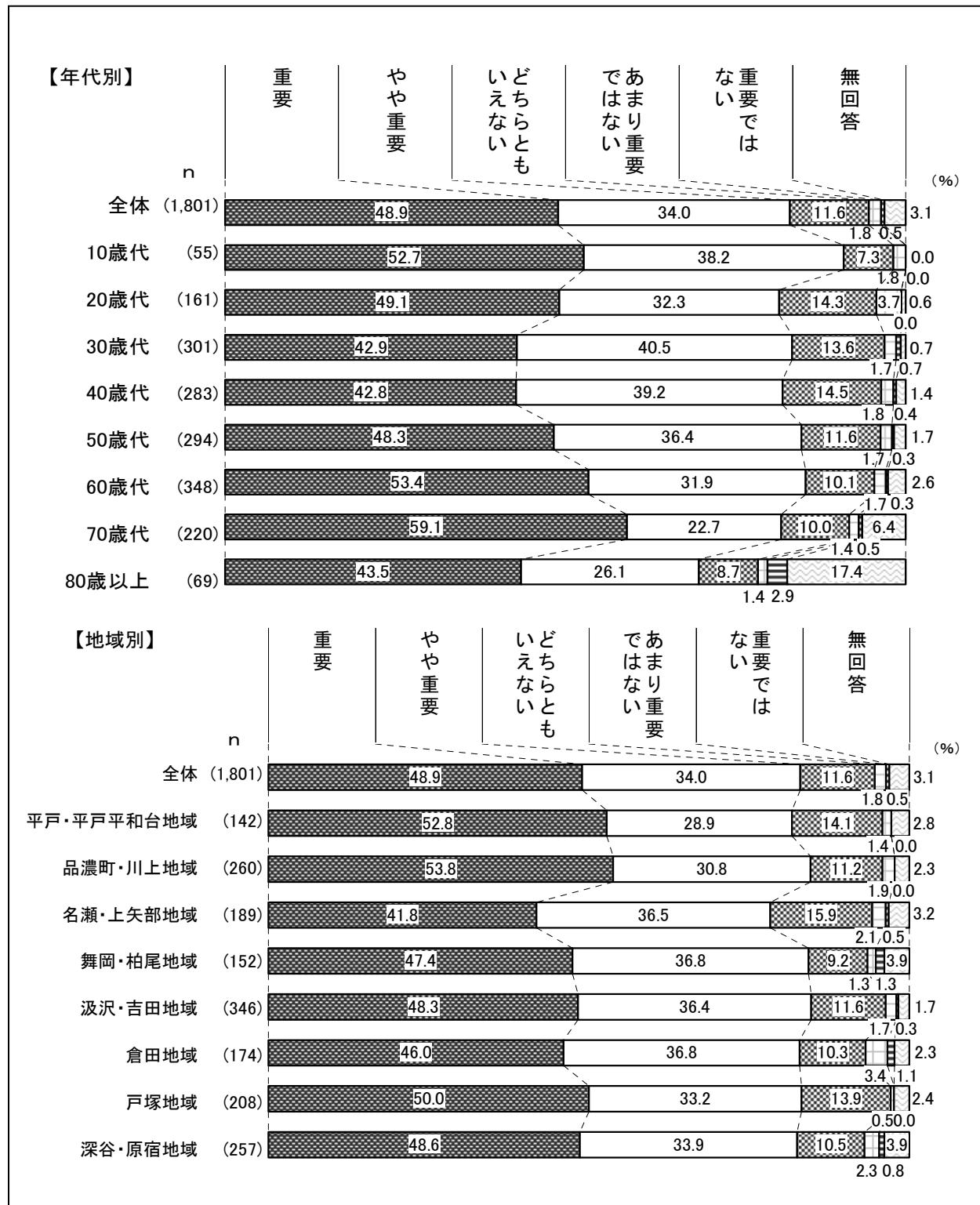
地域別でみると、「悪くなった」は戸塚地域(32.2%)が3割台で最も高くなっている。



⑦緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備（重要度）

「緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備」の重要度を年代別でみると、『重要』層は10歳代(90.9%)が約9割で最も高く、80歳以上(69.6%)が約7割で最も低くなっている。

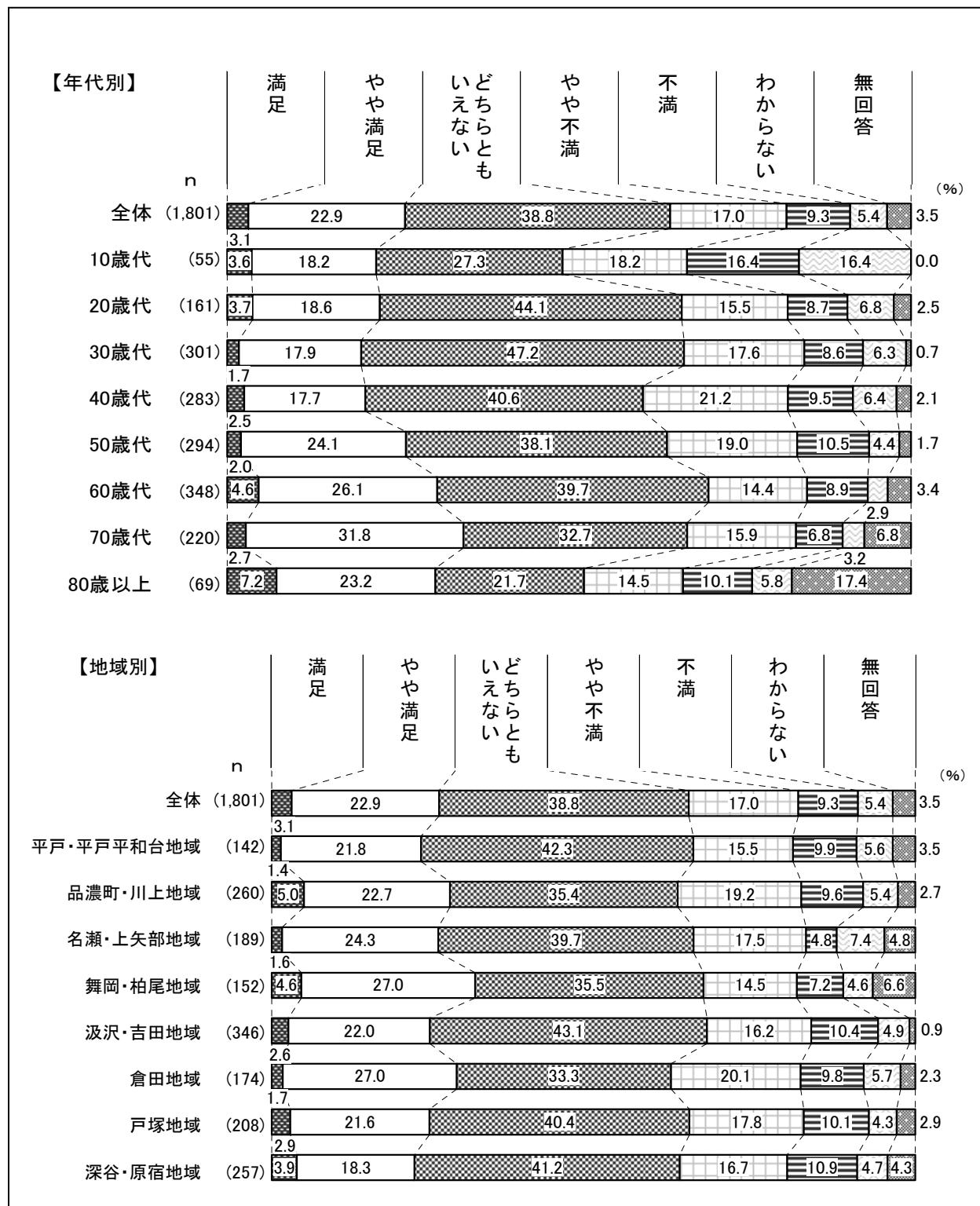
地域別でみると、『重要』層は名瀬・上矢部地域(78.3%)が8割に満たず、他の地域と比べてやや低くなっている。



⑦緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備（満足度）

「緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備」の満足度を年代別でみると、10歳代から50歳代は『満足』層が『不満』層よりも低く、60歳代から80歳以上は『満足』層が『不満』層よりも高くなっている。

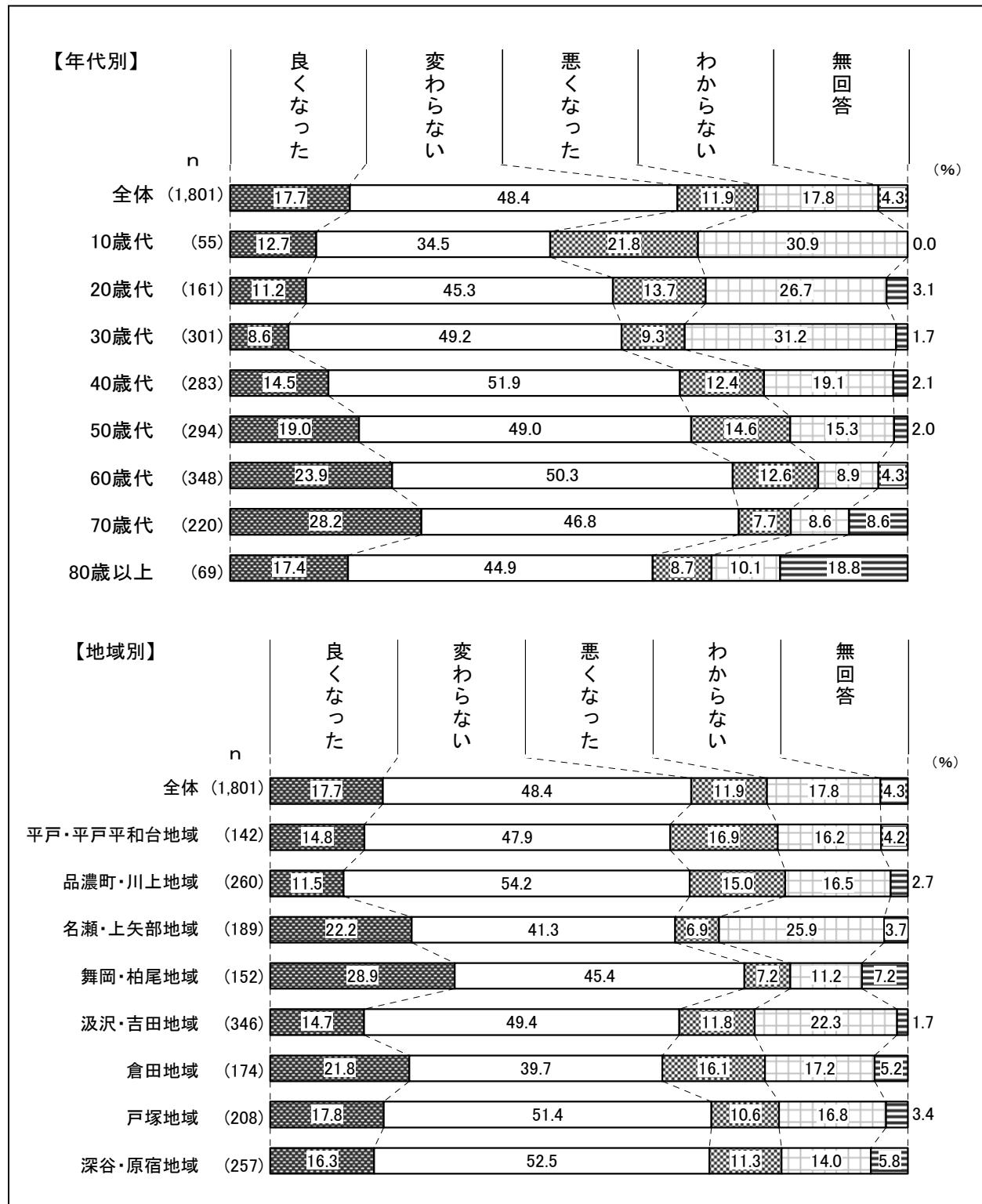
地域別でみると、『満足』層は舞岡・柏尾地域(31.6%)が3割台で最も高いが、全体的に『満足』層と『不満』層にはあまり大きな差がなく、意見が分かれている。



⑦緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備（以前と比較した変化）

「緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備」の以前と比較した変化を年代別でみると、10歳代から30歳代は「悪くなった」が「良くなった」よりも高く、40歳代から80歳以上は「良くなった」が「悪くなった」よりも高くなっている。

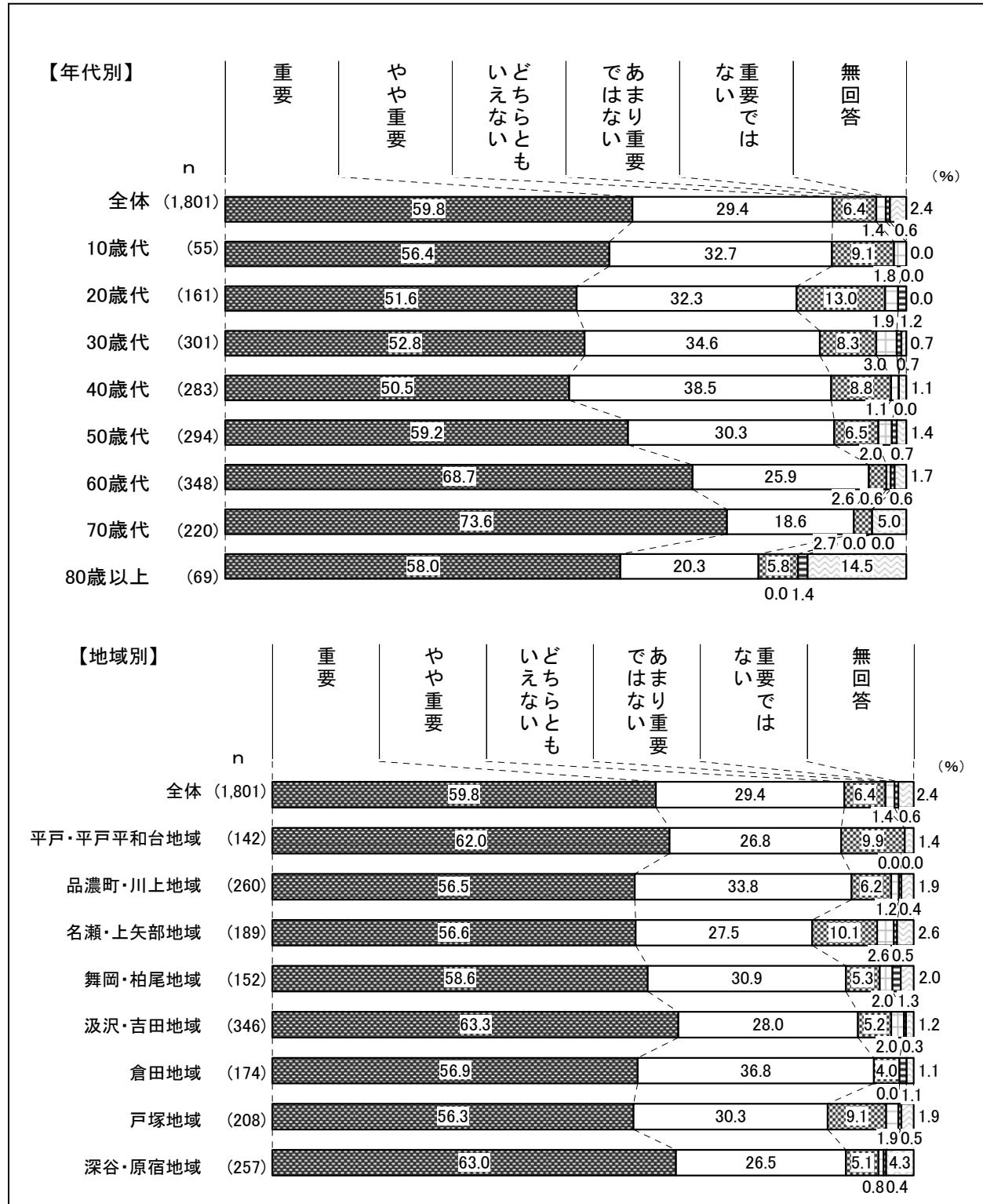
地域別でみると、「良くなった」は舞岡・柏尾地域（28.9%）が2割台半ばを超えて最も高くなっている。



⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化（重要度）

「ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」の重要度について年代別でみると、『重要』層は 60 歳代 (94.5%) が 9 割台半ばで最も高い。ついで 70 歳代 (92.3%) が 9 割台で続いている。

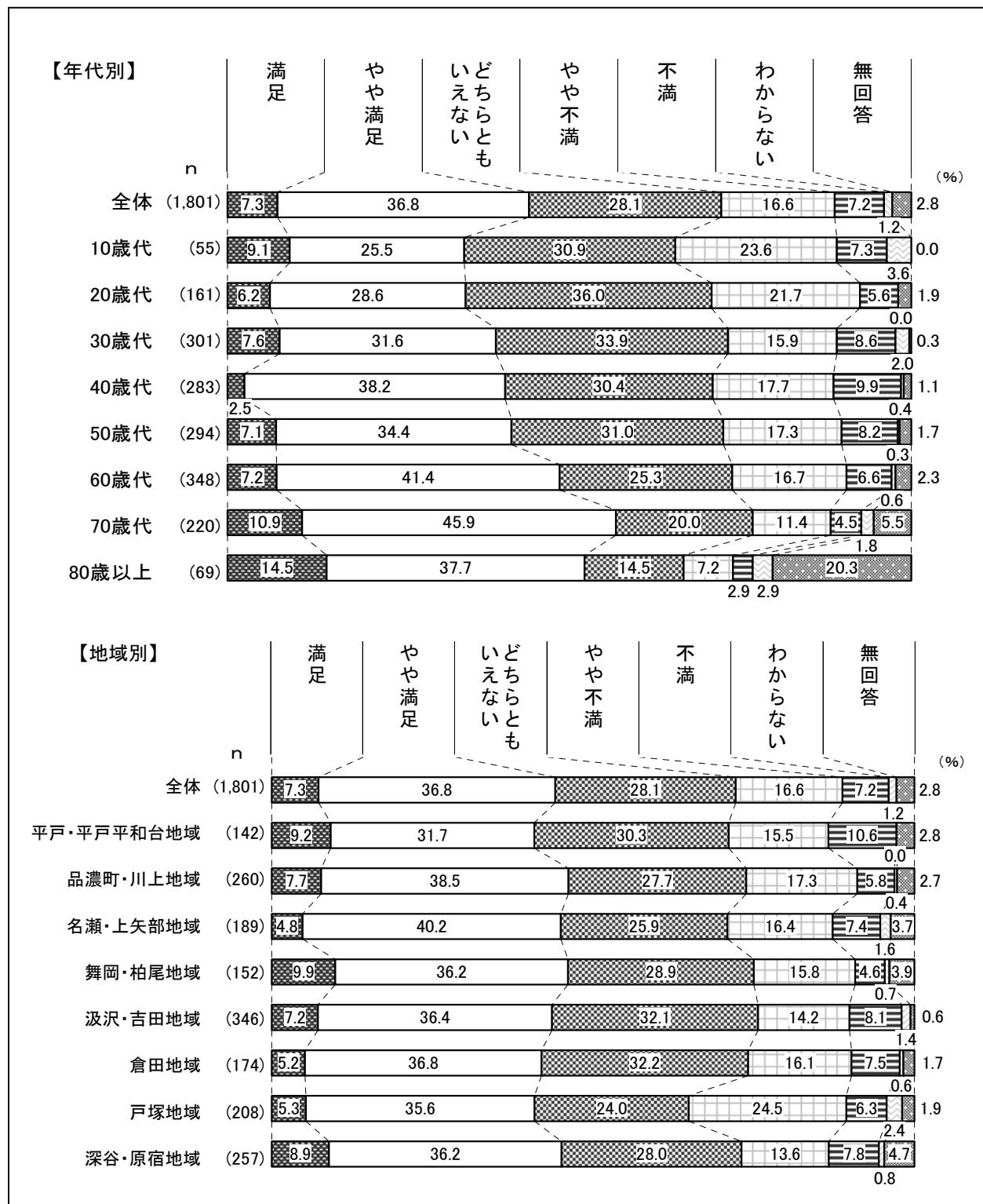
地域別でみると、『重要』層は倉田地域 (93.7%)、汲沢・吉田地域 (91.3%)、品濃町・川上地域 (90.4%) がそれぞれ 9 割台となっている。



⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化（満足度）

「ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」の満足度について年代別でみると、『満足』層は70歳代(56.8%)が5割台半ばを超えて最も高く、ついで80歳以上(52.2%)が5割台で続いている。全体的に年代が高いと、満足度が高くなる傾向にある。

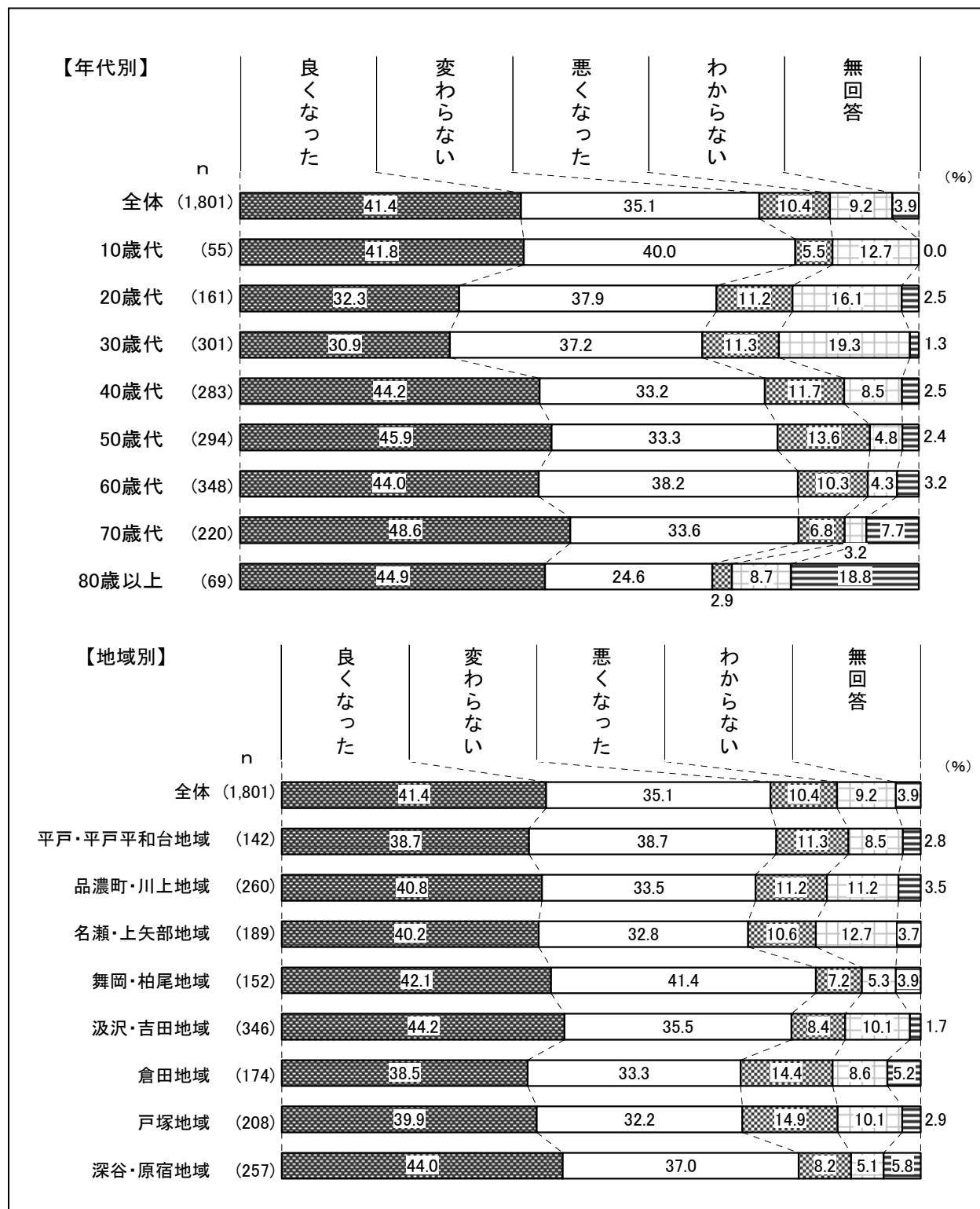
地域別でみると、『満足』層は品濃町・川上地域(46.2%)、舞岡・柏尾地域(46.1%)、深谷・原宿地域(45.1%)、名瀬・上矢部地域(45.0%)が、それぞれ4割台半ばを超えている。一方、『不満』層は戸塚地域(30.8%)が約3割で、他の地域と比べて高くなっている。



⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化（以前と比較した変化）

「ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」の以前と比較した変化について年代別でみると、「良くなつた」は70歳代(48.6%)が4割台半ばを超えて最も高い。

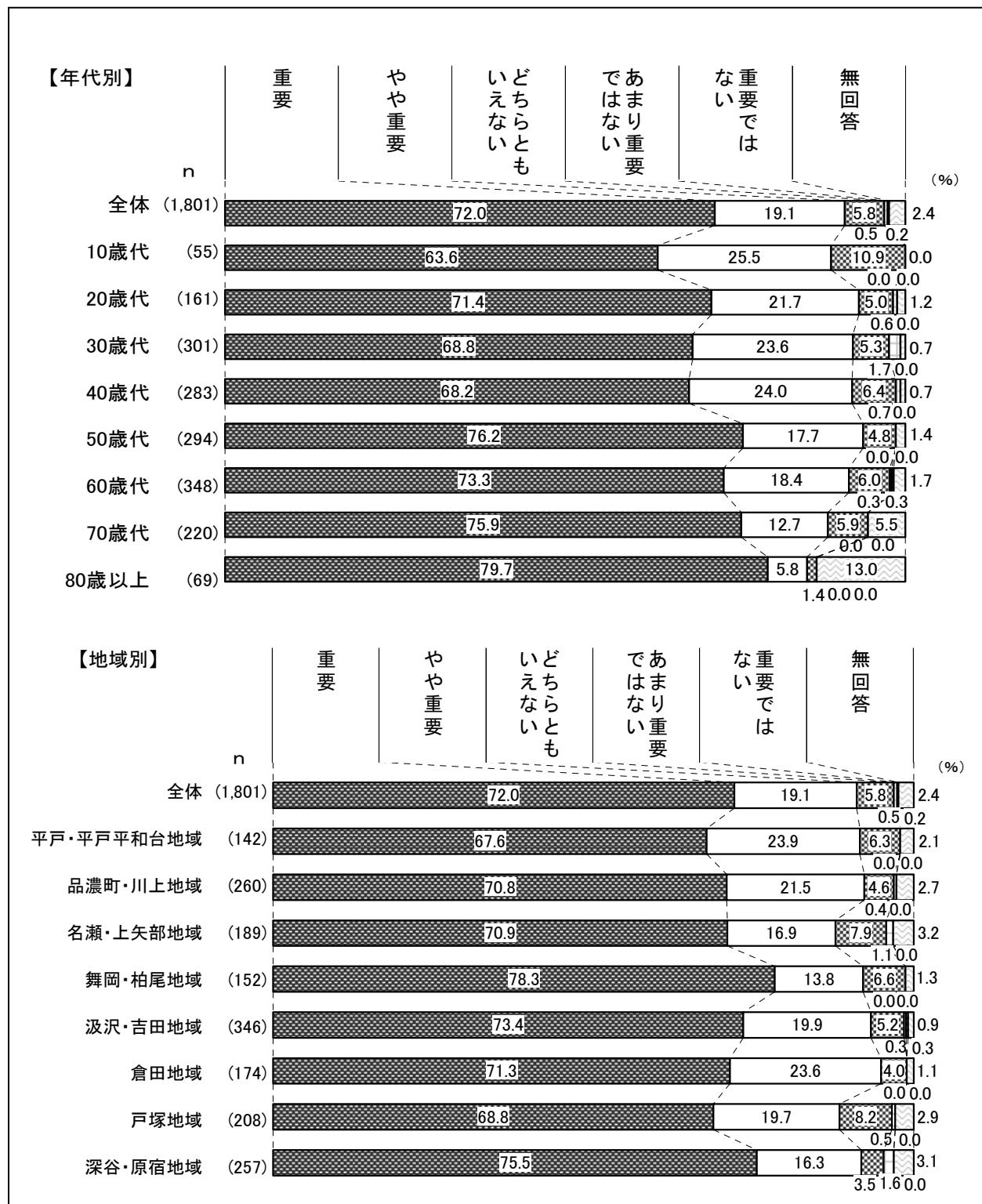
地域別でみると、「良くなつた」は汲沢・吉田地域(44.2%)、深谷・原宿地域(44.0%)が他の地域と比べてやや高い。一方、「変わらない」は舞岡・柏尾地域(41.4%)が4割台で最も高い。また、平戸・平戸平和台地域は「良くなつた」(38.7%)と変わらない(38.7%)が同じ割合で意見が分かれている。



⑨災害対策（重要度）

「災害対策」の重要度を年代別でみると、『重要』層は50歳代（93.9%）が最も高い。80歳以上（85.5%）が8割台半ばで他の年代と比べてやや低いものの、他の年代では9割前後で全体的には高くなっている。

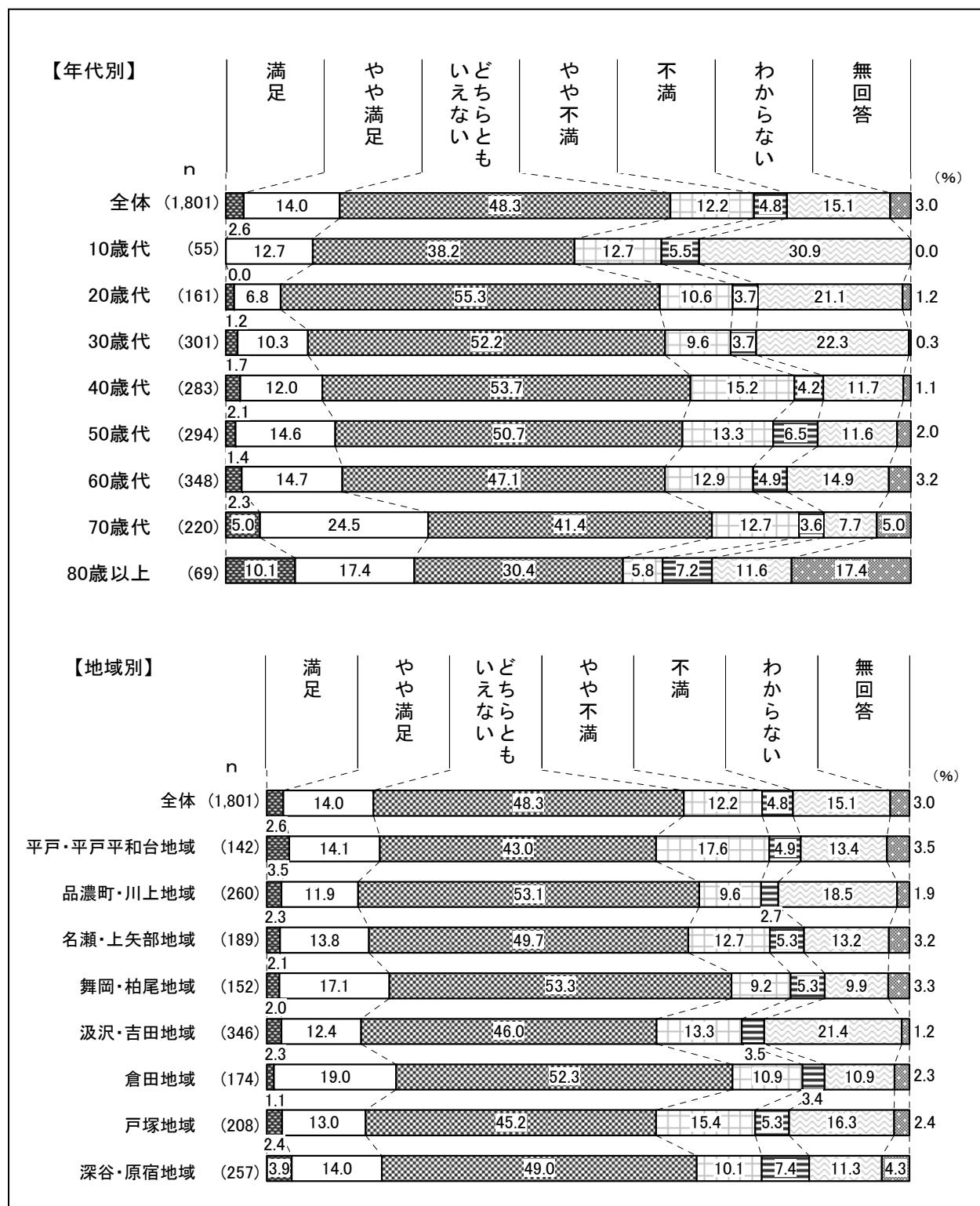
地域別でみると、『重要』層は倉田地域（94.8%）が9割台半ばで最も高い。どの地域も9割前後で全体的に高くなっている。



⑨災害対策（満足度）

「災害対策」の満足度を年代別でみると、10歳代から60歳代までは『満足』層が『不満』よりも低く、70歳代と80歳以上は『満足』層が『不満』層よりも高い。『満足』層は70歳代（29.5%）、80歳以上（27.5%）がそれぞれ2割台半ばを超え、他の年代と比べて高くなっている。

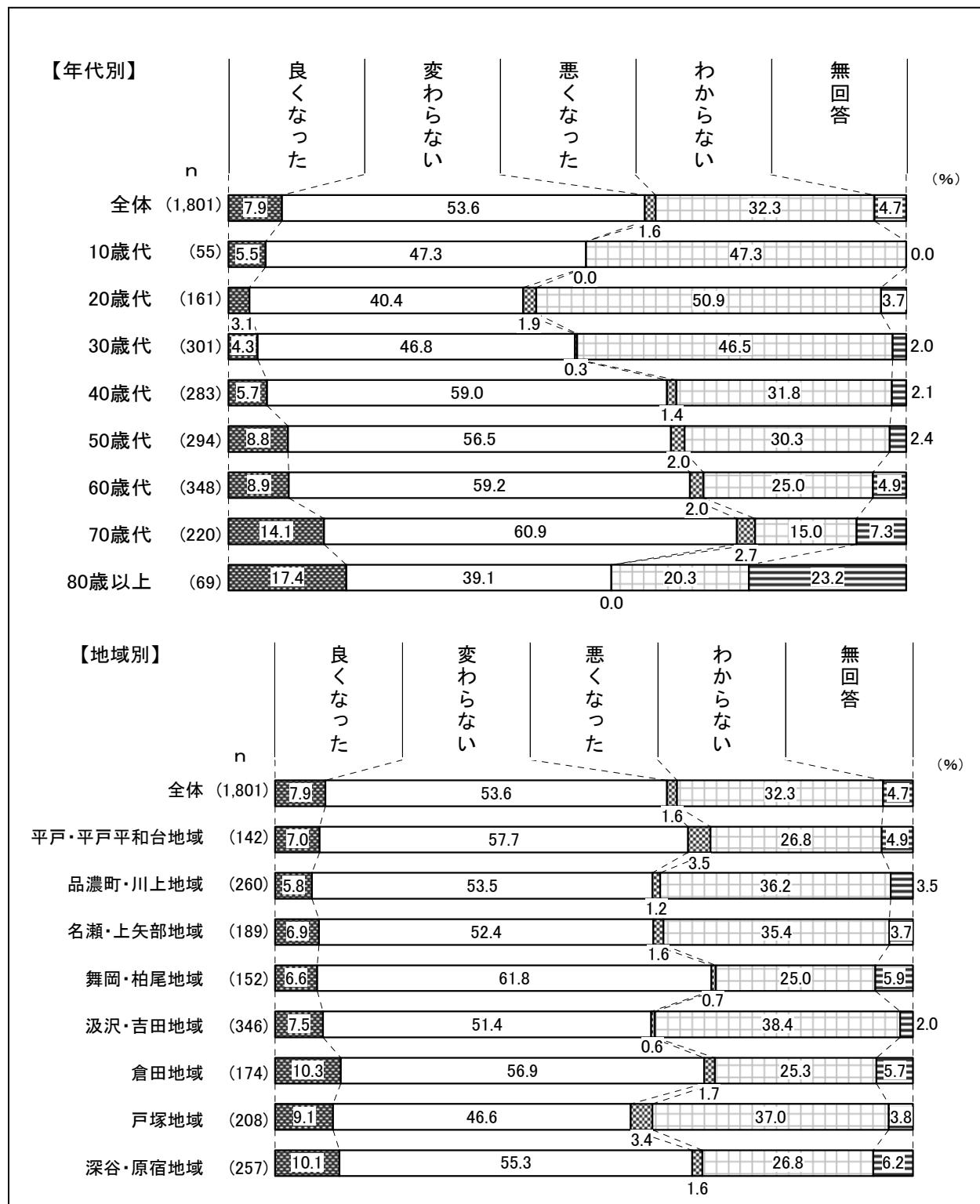
地域別でみると、『満足』層は倉田地域（20.1%）が約2割で最も高くなっている。一方、『不満』層は平戸・平戸平和台地域（22.5%）、戸塚地域（20.7%）が2割台となっている。



⑨災害対策（以前と比較した変化）

「災害対策」の以前と比較した変化を年代別でみると、「良くなった」は80歳以上（17.4%）が1割台半ばを超えて最も高い。ついで70歳代（14.1%）が1割台で続いている。全体的に、年代が高いと割合が高くなる傾向にある。

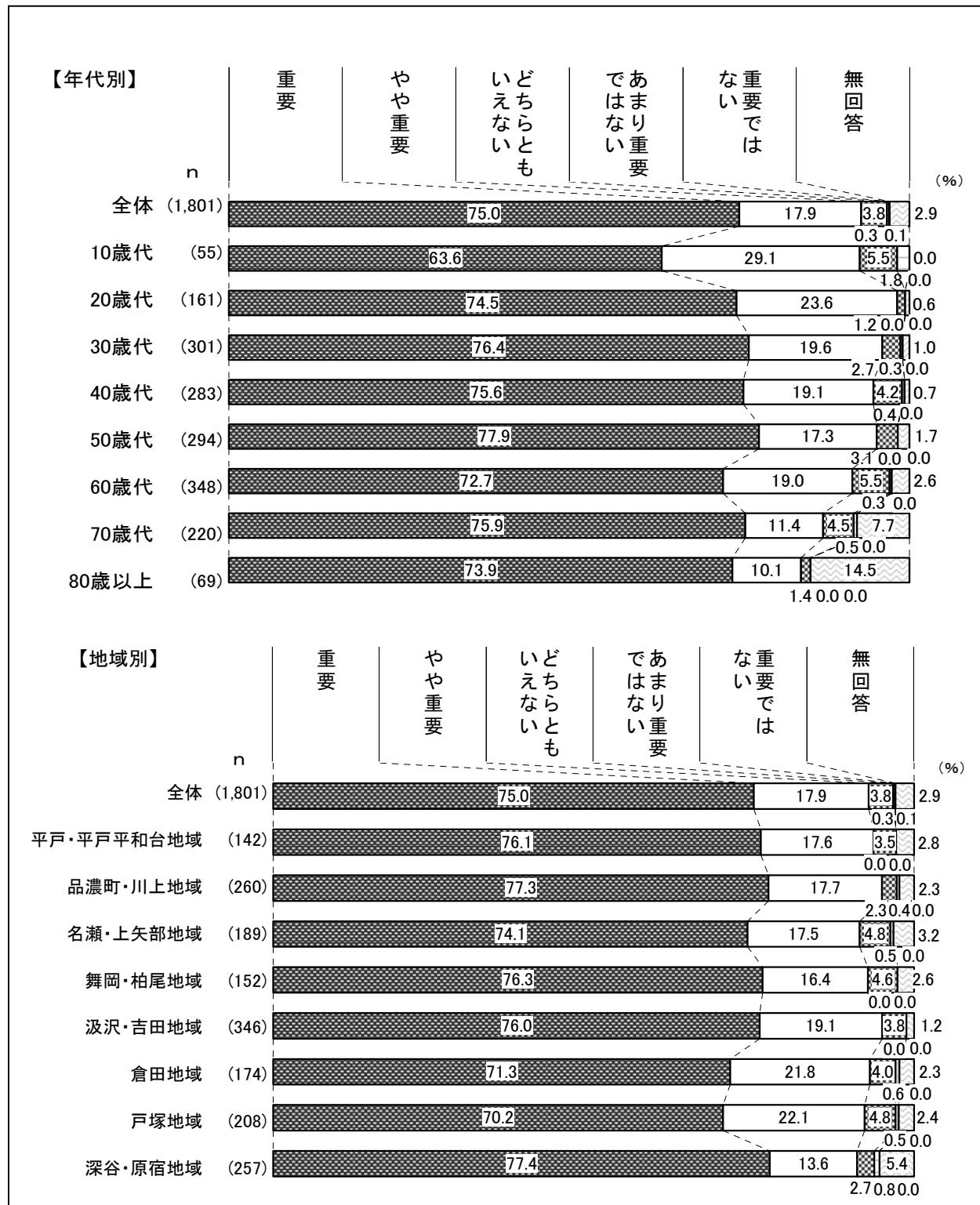
地域別でみると、「良くなった」は倉田地域（10.3%）、深谷・原宿地域（10.1%）が約1割となっているものの、全体的にはどの地域も低い数値となっている。



⑩防犯対策（重要度）

「防犯対策」の重要度について年代別でみると、『重要』層は20歳代（98.1%）が9割台半ばを超えて最も高い。30歳代から50歳代もそれぞれ9割台半ばで高くなっている。

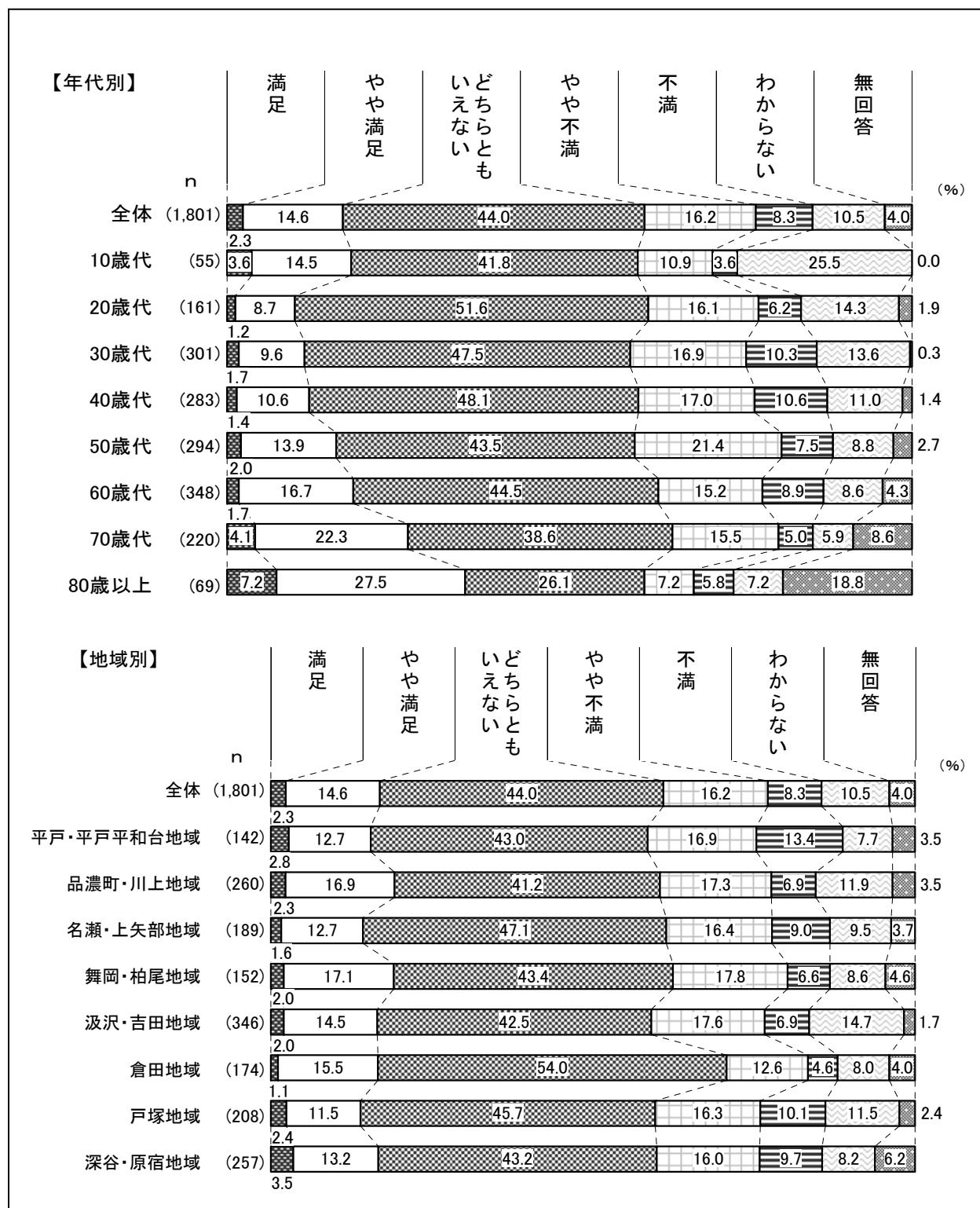
地域別でみると、『重要』層はどの地域も9割台で大きな差はなく、全体的に高くなっている。



⑩防犯対策（満足度）

「防犯対策」の満足度について年代別でみると、10歳代、70歳代、80歳以上は『満足』層が『不満』層よりも高く、20歳代から60歳代は『満足』層が『不満』層よりも低くなっている。『満足』層は10歳代（18.2%）を除けば、年代が高いほど満足度が高くなる傾向にある。

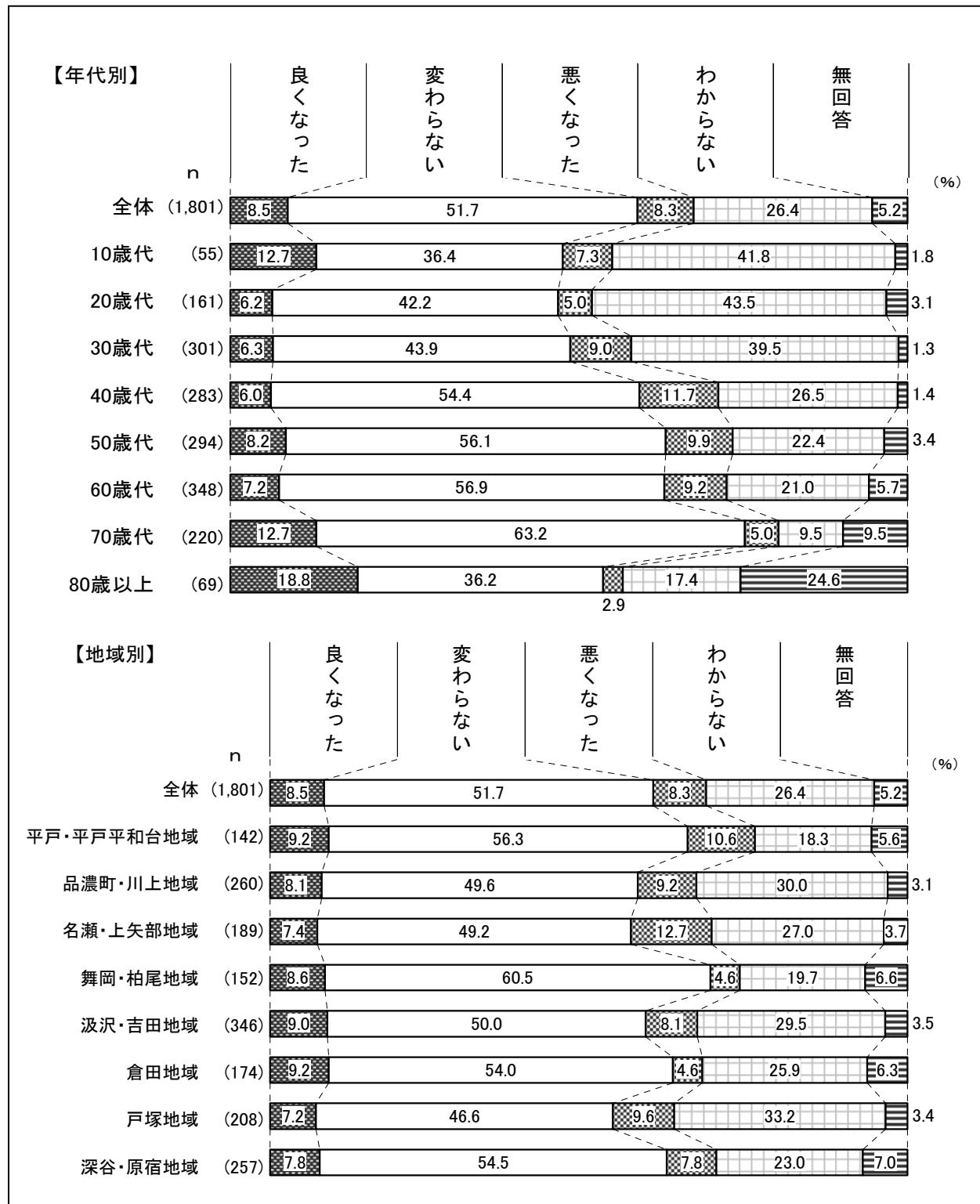
地域別でみると、全ての地域で『満足』層が『不満』よりも低くなっているが、倉田地域は『満足』層（16.7%）と『不満』層（17.2%）に大きな差はなく、意見が分かれている。



⑩防犯対策（以前と比較した変化）

「防犯対策」の以前と比較した変化について年代別でみると、「良くなった」は80歳以上(18.8%)が1割台半ばを超えて最も高くなっている。

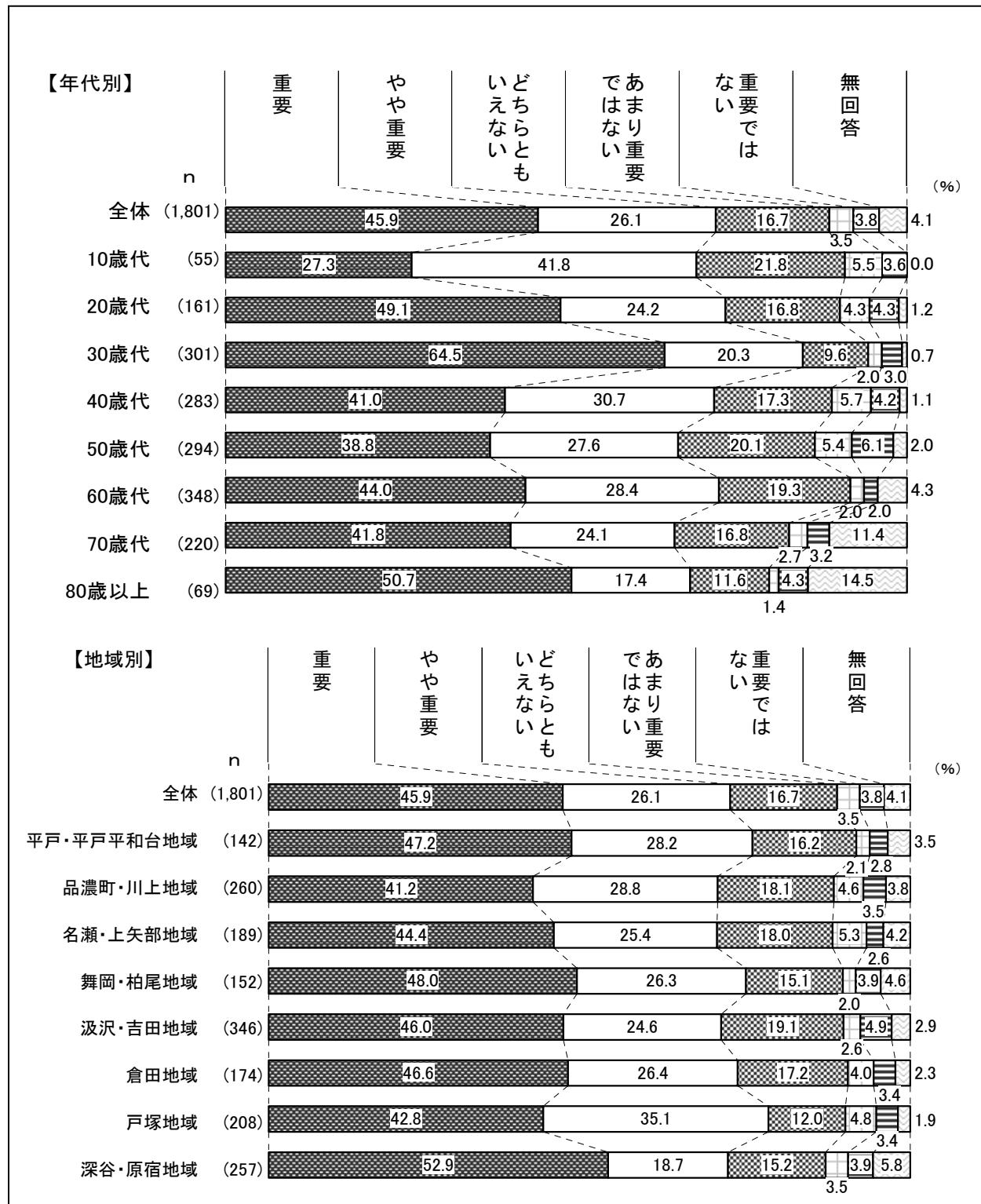
地域別でみると、「悪くなった」は名瀬・上矢部地域(12.7%)が1割台で最も高くなっている。



⑪保育など子育て支援（重要度）

「保育など子育て支援」の重要度について年代別でみると、『重要』層は30歳代（84.7%）が8割台半ばで最も高い。一方、70歳代（65.9%）は6割台半ばで最も低くなっている。

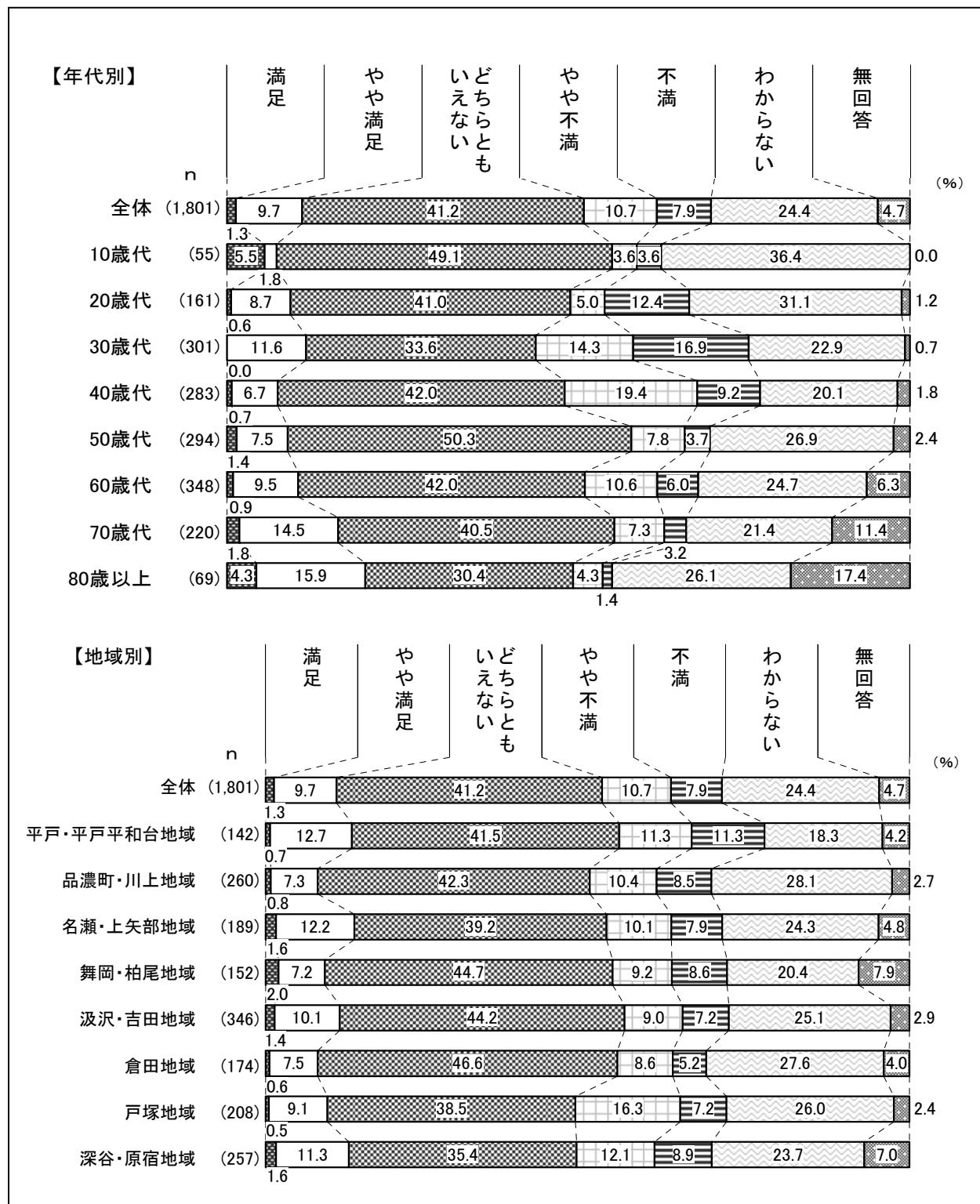
満足度について地域別でみると、『重要』層は戸塚地域（77.9%）が7割台半ばを超えて最も高い。ついで平戸・平戸平和台地域（75.4%）、舞岡・柏尾地域（74.3%）が続いている。



⑪保育など子育て支援（満足度）

「保育など子育て支援」の満足度について年代別でみると、『不満』層は30歳代（31.2%）が3割台で最も高く、ついで40歳代（28.6%）が2割台半ばを超えて続いている。

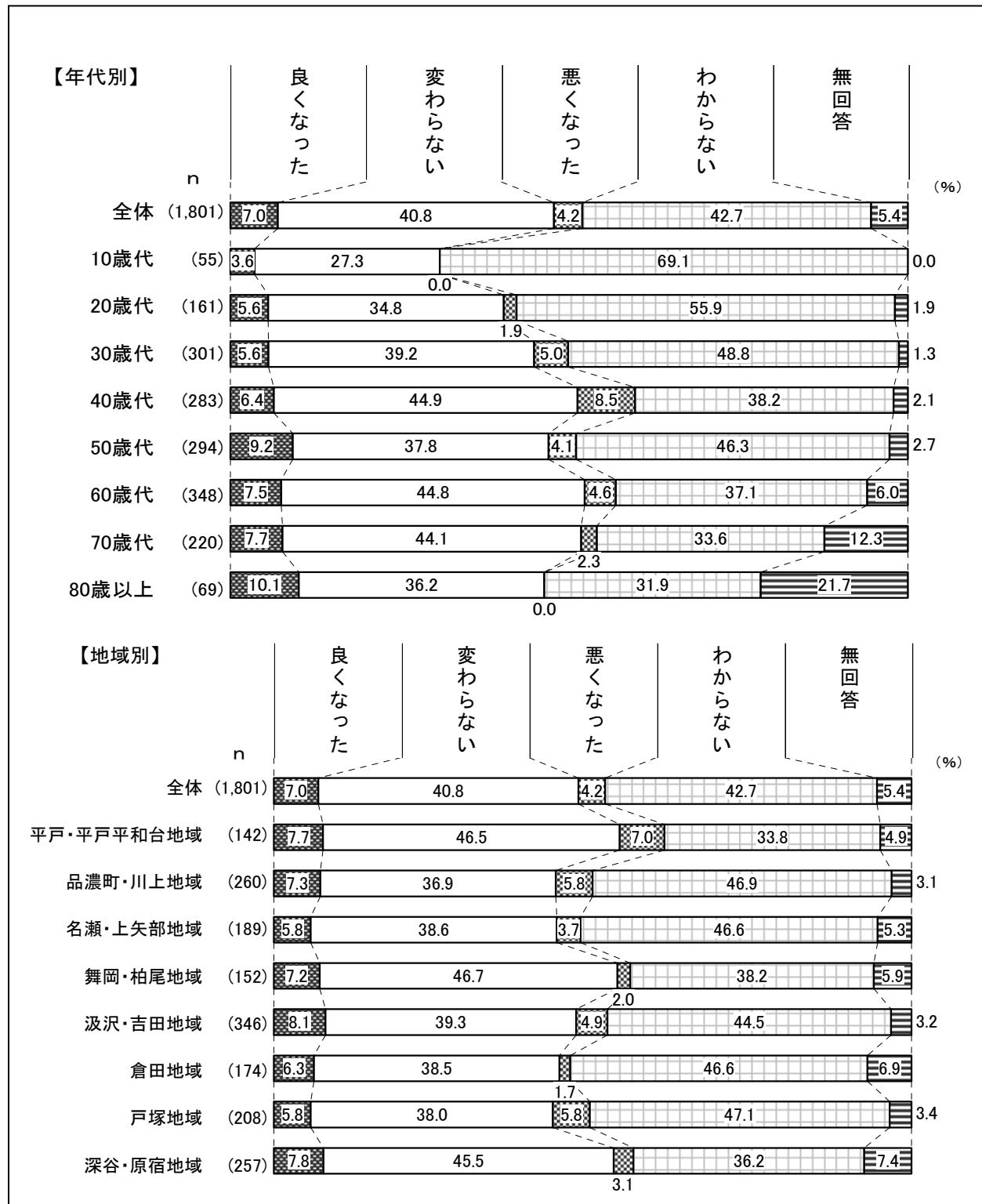
地域別でみると、『不満』層は戸塚地域（23.6%）、平戸・平戸平和台地域（22.5%）、深谷・原宿地域（21.0%）が2割台となっている。



⑪保育など子育て支援（以前と比較した変化）

「保育など子育て支援」の満足度について年代別でみると、「悪くなった」は40歳代（8.5%）が最も高いものの、どの年代も1割に満たず、全体的に低くなっている。

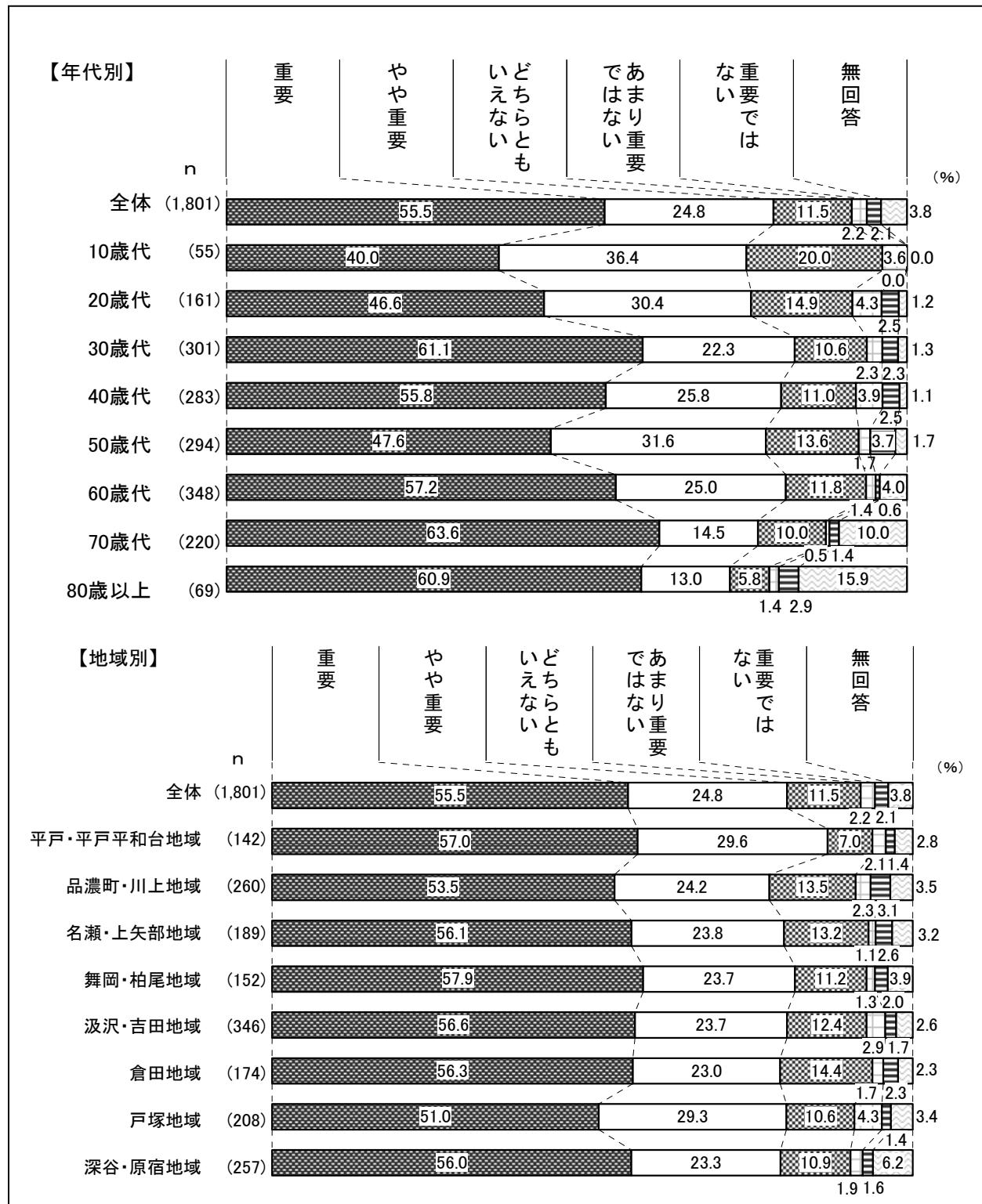
地域別でみると、ほとんどの地域で「良くなった」が「悪くなった」をわずかに上回るが、戸塚地域は「良くなった」と「悪くなった」の割合が同じで、意見が分かれている。



⑫学校教育の充実や青少年の健全育成（重要度）

「学校教育の充実や青少年の健全育成」の重要度について年代別でみると、『重要』層は30歳代(83.4%)、60歳代(82.2%)、40歳代(81.6%)がそれぞれ8割台となっている。

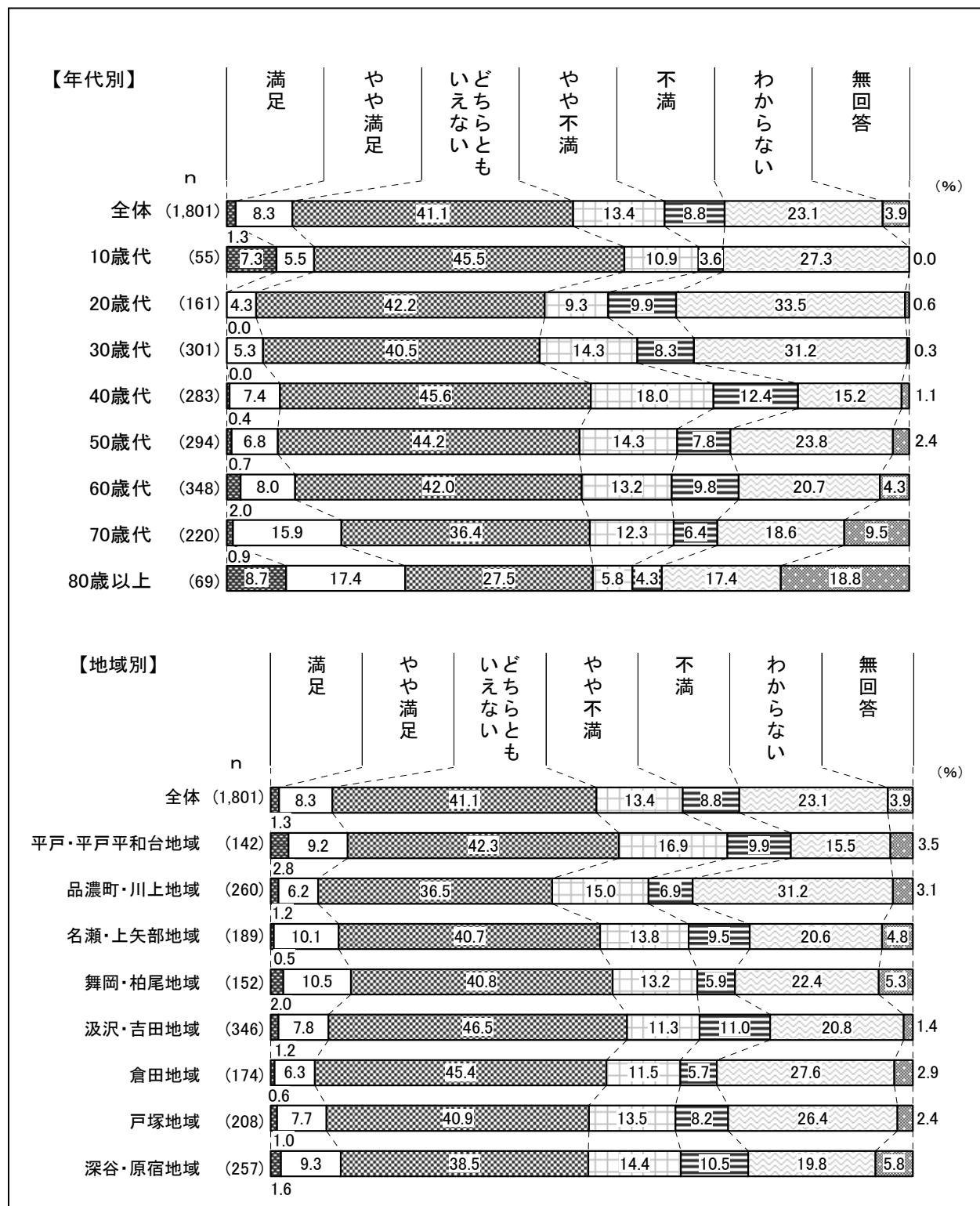
地域別でみると、『重要』層は平戸・平戸平和台地域(86.6%)が8割台半ばで最も高くなっている。



⑫学校教育の充実や青少年の健全育成（満足度）

「学校教育の充実や青少年の健全育成」の満足度について年代別でみると、『満足』層は80歳以上(26.1%)が2割台半ばで最も高い。ついで70歳代(16.8%)が1割台半ばを超えて続いている。一方、『不満』層は40歳代(30.4%)が約3割で最も高くなっている。

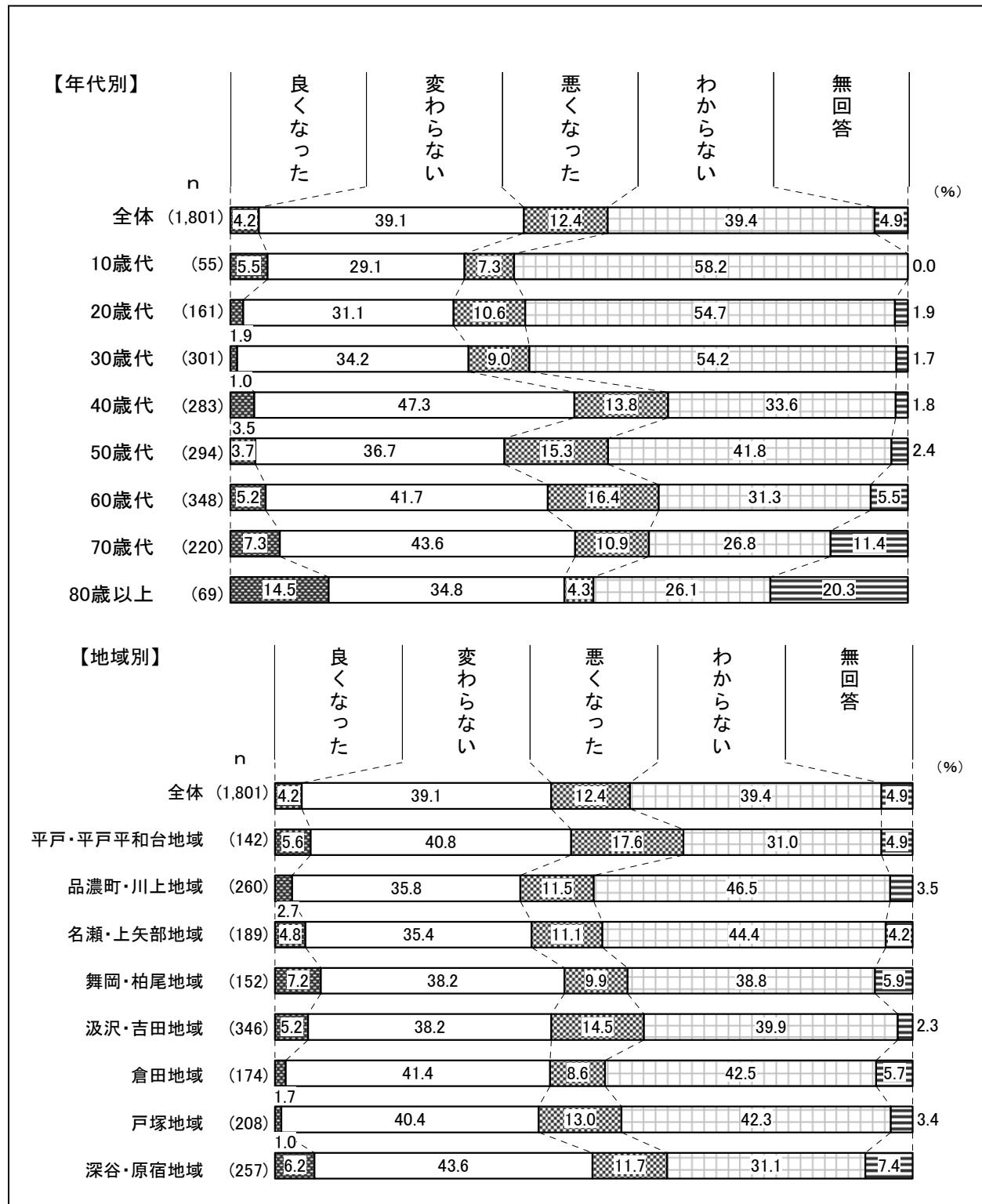
地域別でみると、『不満』層は平戸・平戸平和台地域(26.8%)が2割台半ばを超えて最も高い。ついで深谷・原宿地域(24.9%)が2割台半ばで続いている。



⑫学校教育の充実や青少年の健全育成（以前と比較した変化）

「学校教育の充実や青少年の健全育成」の以前と比較した変化について年代別でみると、「悪くなつた」は60歳代(16.4%)、50歳代(15.3%)が1割台半ばで高くなっている。

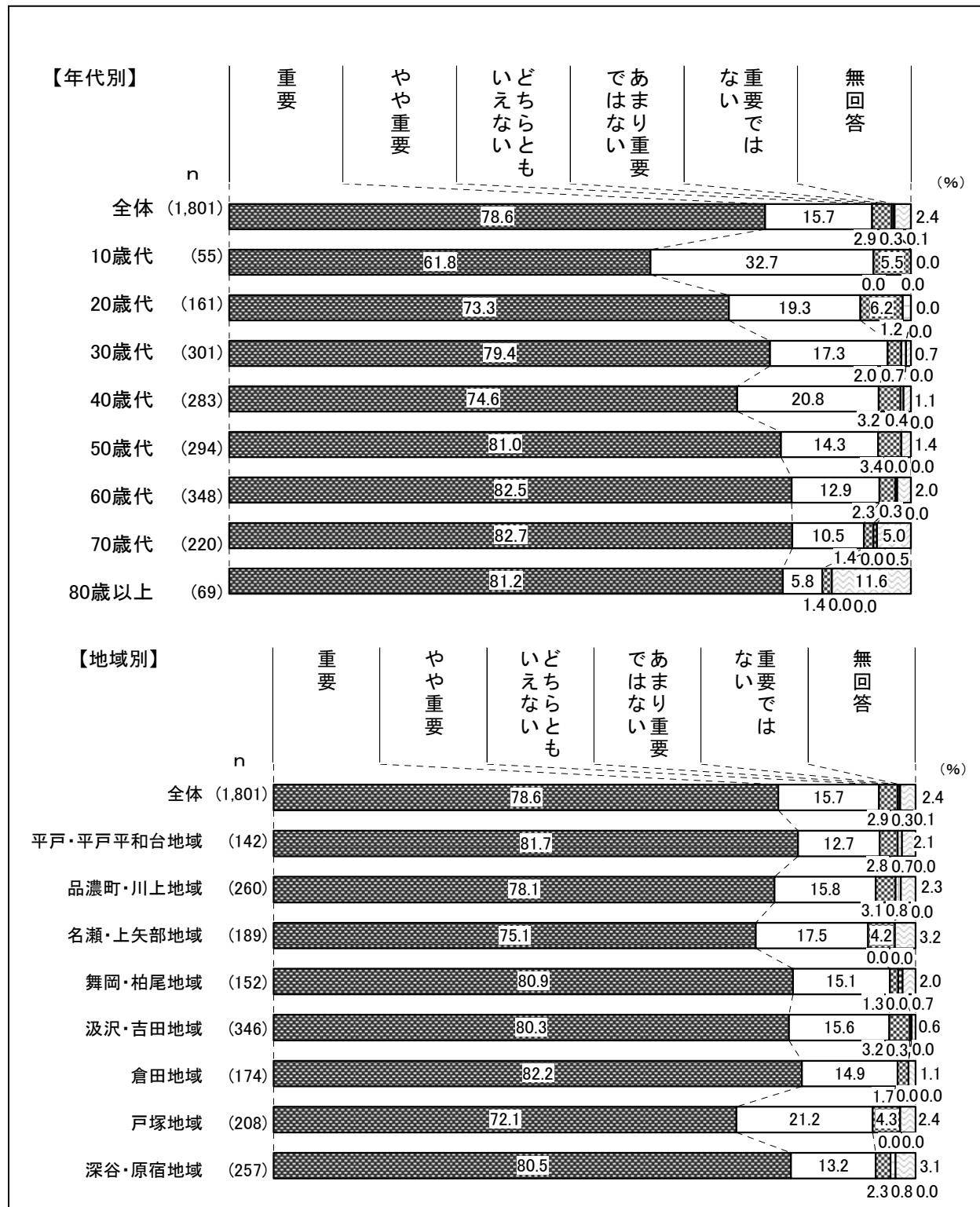
地域別でみると、「悪くなつた」は平戸・平戸平和台地域(17.6%)が1割台半ばを超えて最も高くなっている。



⑬病院や救急医療などの地域医療（重要度）

「病院や地域医療などの地域医療」の重要度について年代別でみると、『重要』層は 80 歳以上 (87.0%) が 9 割に満たないものの、他の年代については 9 割台で、全体的に高くなっている。

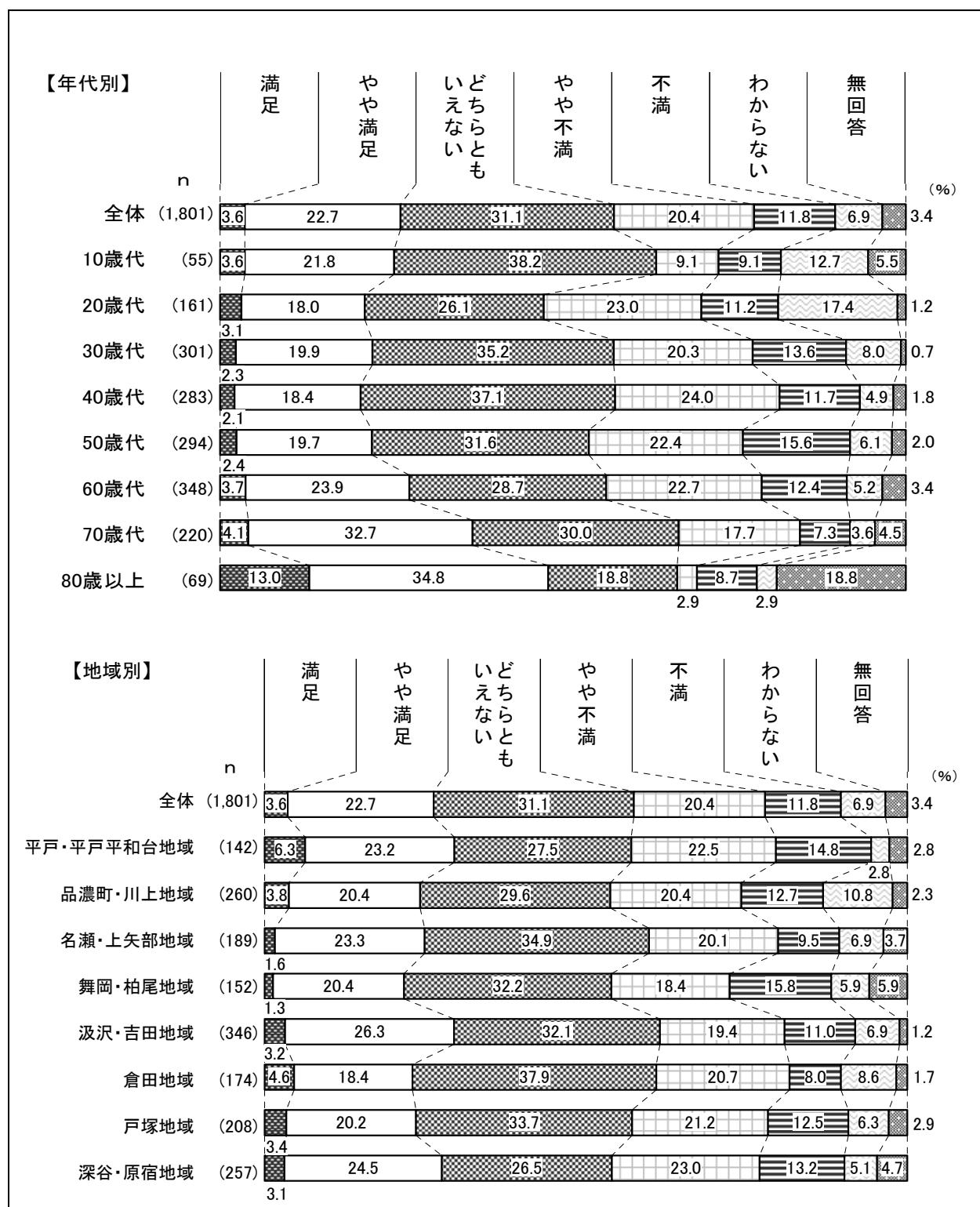
地域別でみると、倉田地域 (97.1%) が 9 割台半ばを超えるなど全ての地域が 9 割台となり、全体的に高くなっている。



⑬病院や救急医療などの地域医療（満足度）

「病院や地域医療などの地域医療」の満足度について年代別でみると、『満足』層は80歳以上(47.8%)が4割台半ばを超えて最も高い。ついで70歳代(36.8%)が3割台半ばを超えて続いている。一方、『不満』層は50歳代(38.1%)が3割台半ばを超えて最も高い。ついで40歳代(35.7%)、60歳代(35.1%)が3割台半ばで続いている。

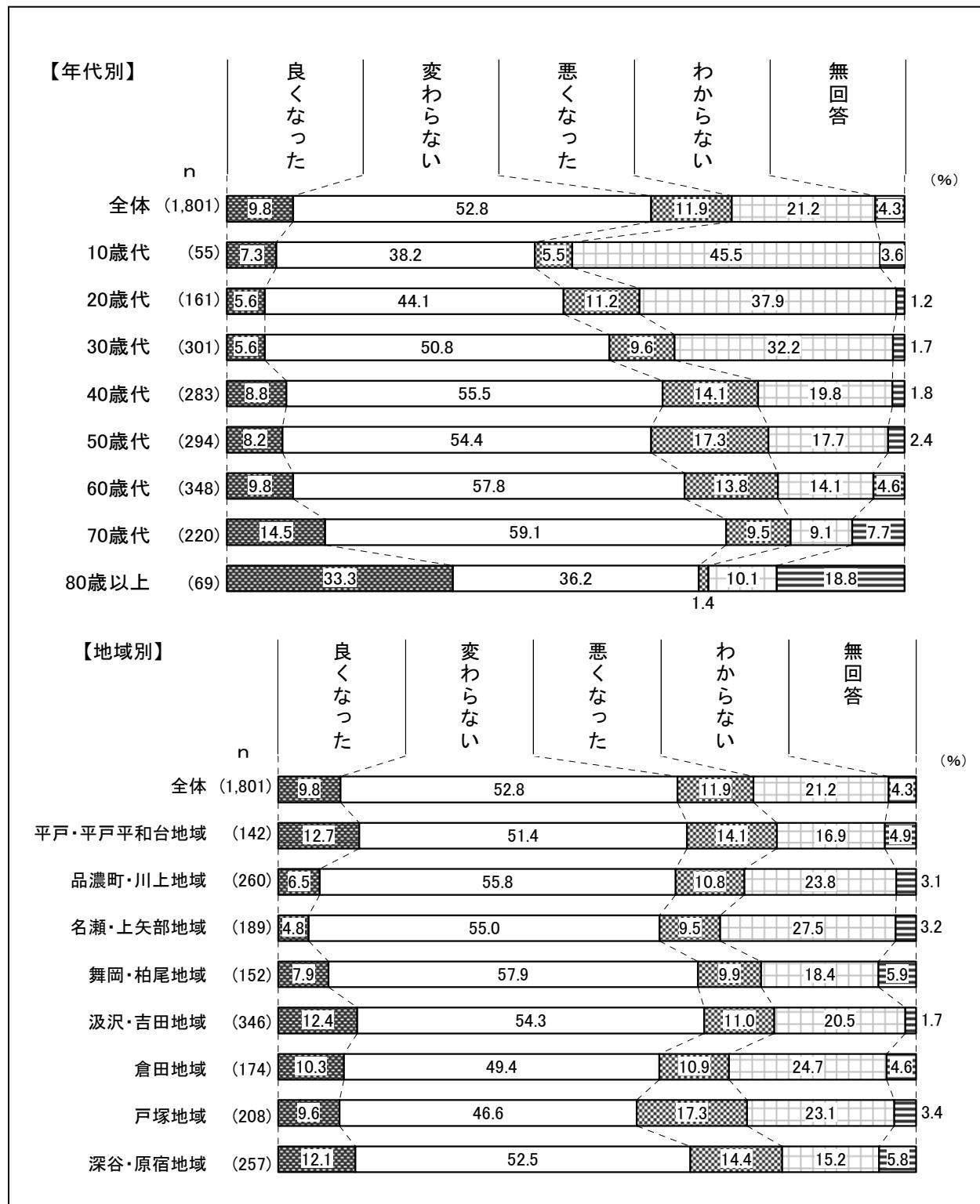
地域別でみると、『満足』層は平戸・平戸平和台地域(29.6%)が約3割で最も高い。また、『不満』層についても平戸・平戸平和台地域(37.3%)が3割台半ばを超えて最も高くなっている。



⑬病院や救急医療などの地域医療（以前と比較した変化）

「病院や地域医療などの地域医療」の以前と比較した変化について年代別でみると、「良くなつた」は80歳以上（33.3%）が3割台で最も高くなっている。

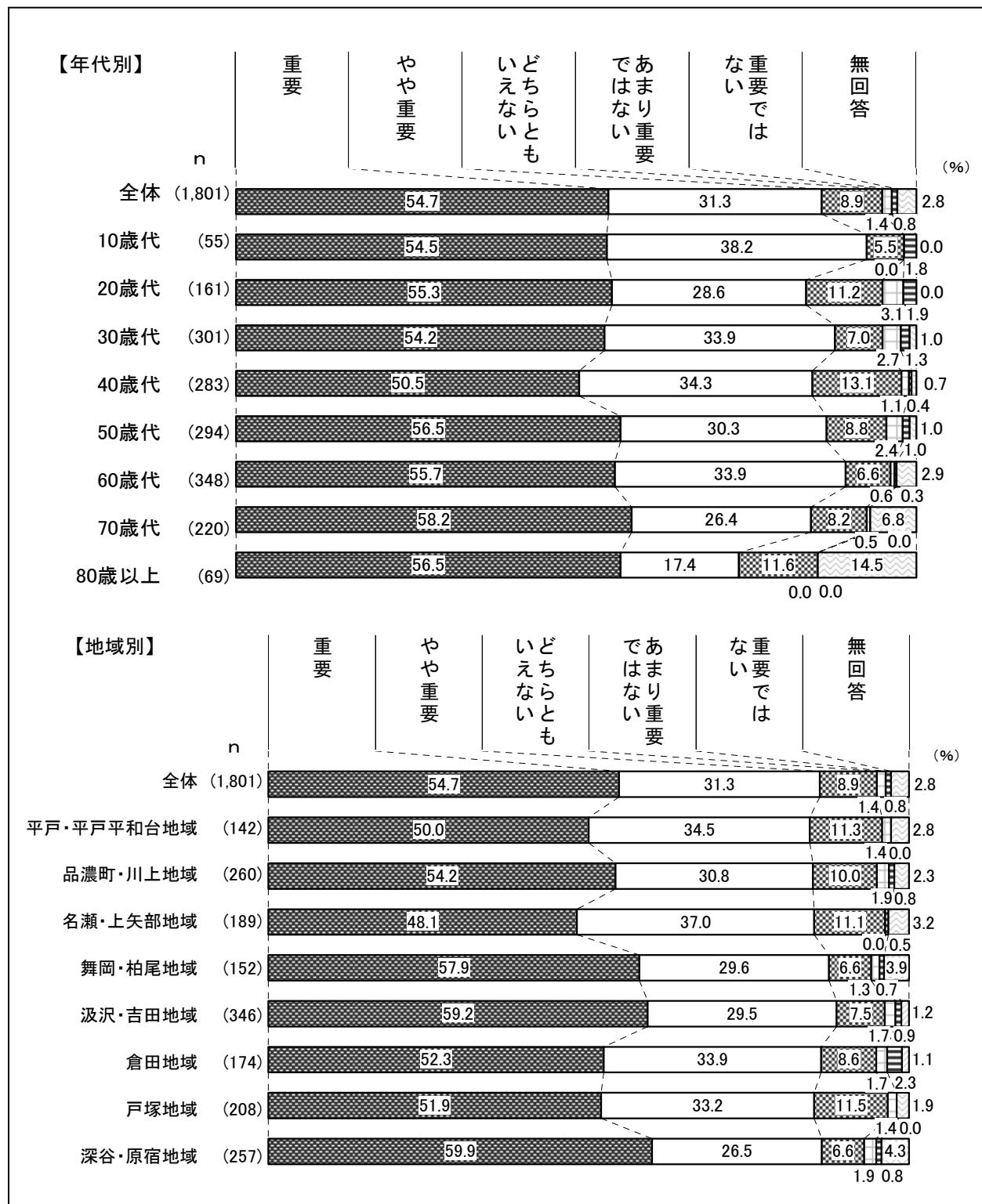
地域別でみると、「悪くなつた」は戸塚地域（17.3%）が1割台半ばを超えて最も高くなっている。



⑭駅舎のバリアフリーなどの誰もが移動しやすいまちづくり（重要度）

「駅舎のバリアフリーなどの誰もが移動しやすいまちづくり」の重要度について年代別でみると、『重要』層は10歳代（92.7%）が9割台で最も高い。ついで60歳代（89.7%）が約9割で続いている。

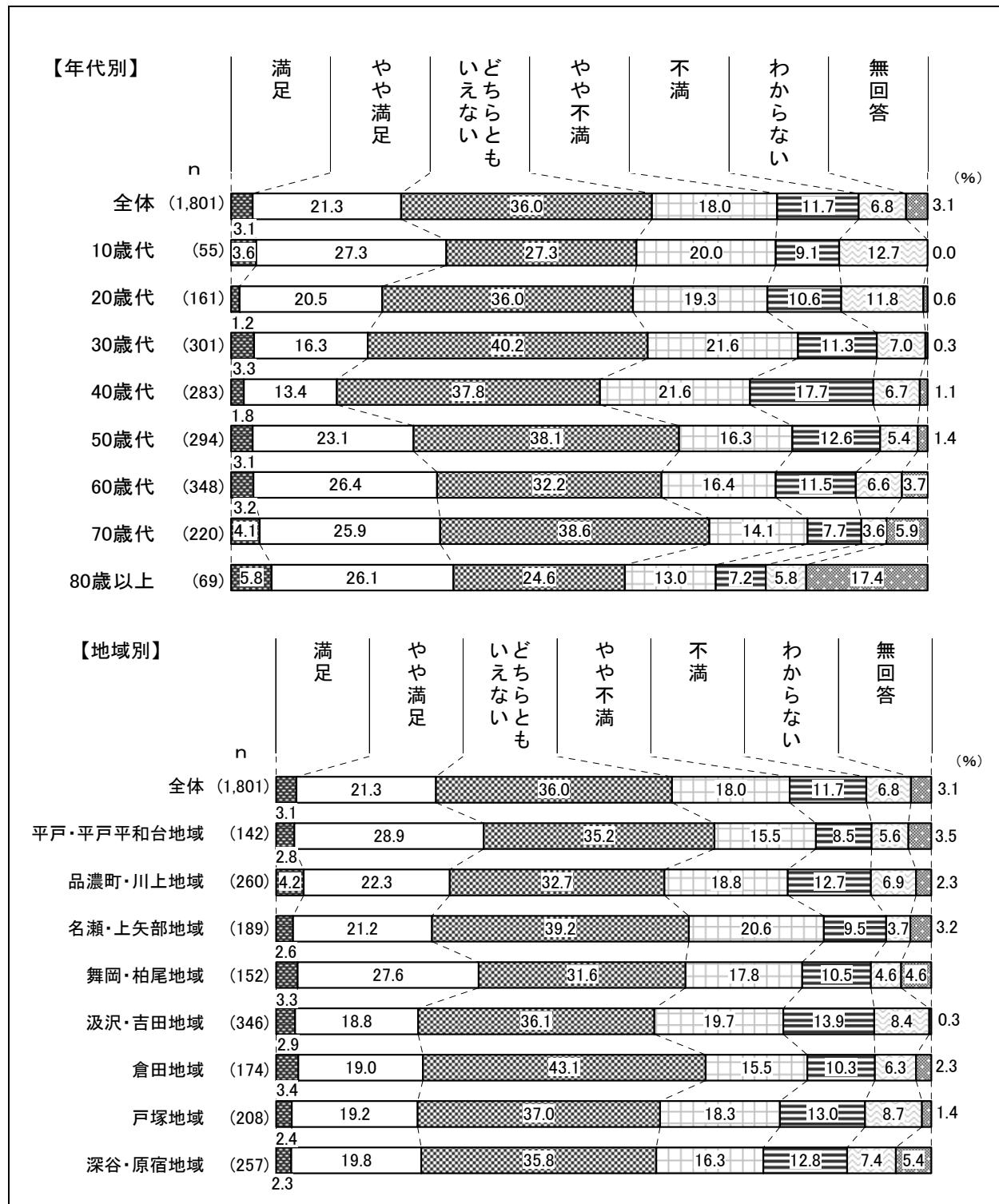
地域別でみると、『重要』層は汲沢・吉田地域（88.7%）、舞岡・柏尾地域（87.5%）がそれぞれ8割台半ばを超えていている。



⑭駅舎のバリアフリーなどの誰もが移動しやすいまちづくり（満足度）

「駅舎のバリアフリーなどの誰もが移動しやすいまちづくり」の満足度について年代別でみると、10歳代と60歳代から80歳以上は『満足』層が『不満』よりも高く、『満足』層はそれぞれ3割前後となっている。一方、20歳代から50歳代は『満足』層が『不満』層よりも低く、『不満』層は40歳代（39.2%）が約4割で最も高くなっている。

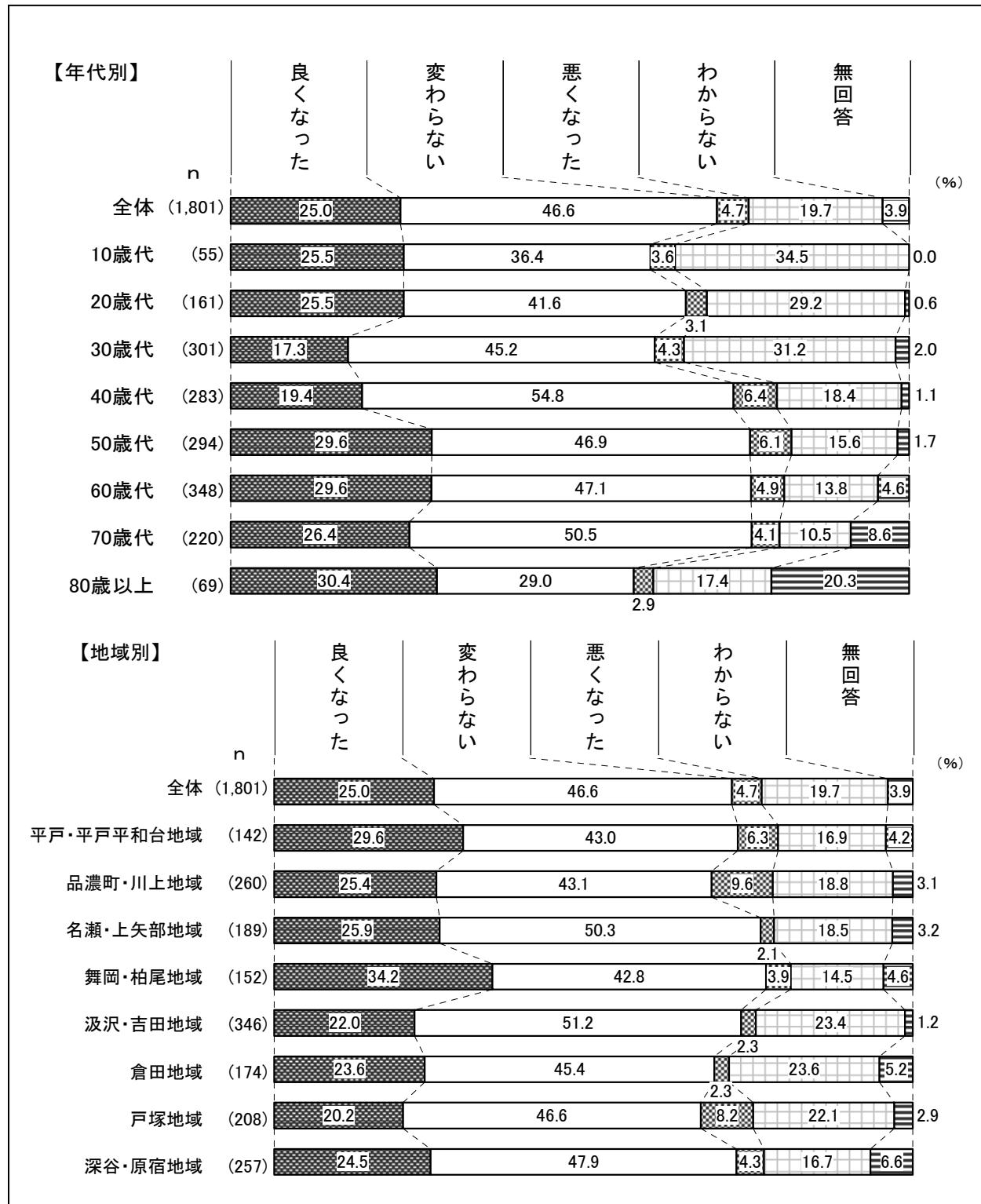
地域別でみると、『満足』層は平戸・平戸平和台地域（31.7%）、舞岡・柏尾地域（30.9%）がそれぞれ3割台で『不満』層を上回る。その他の地域については、『満足』層が『不満』層よりも低くなっている。



⑭駅舎のバリアフリーなどの誰もが移動しやすいまちづくり（以前と比較した変化）

「駅舎のバリアフリーなどの誰もが移動しやすいまちづくり」の以前と比較した変化について年代別でみると、「良くなった」は30歳代(17.3%)、40歳代(19.4%)がそれぞれ2割に満たず、低くなっている。

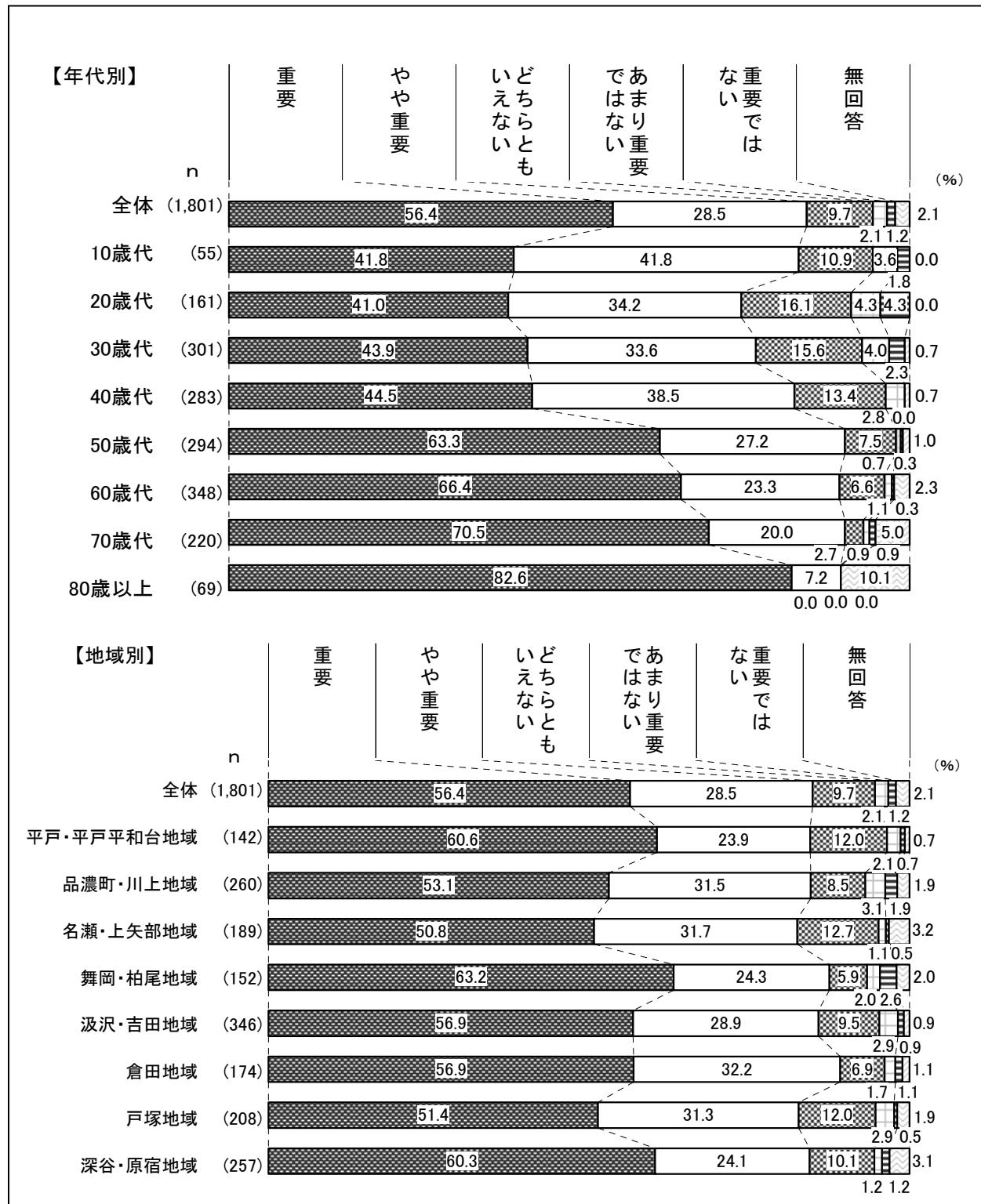
地域別でみると、「良くなった」は舞岡・柏尾地域(34.2%)が3割台半ばで最も高くなっている。



⑯高齢者福祉（重要度）

「高齢者福祉」の重要度について年代別でみると、『重要』層は50歳代から80歳以上がそれぞれ約9割で高い。一方、20歳代（75.2%）や30歳代（77.4%）はそれぞれ7割台半ばで低くなっている。

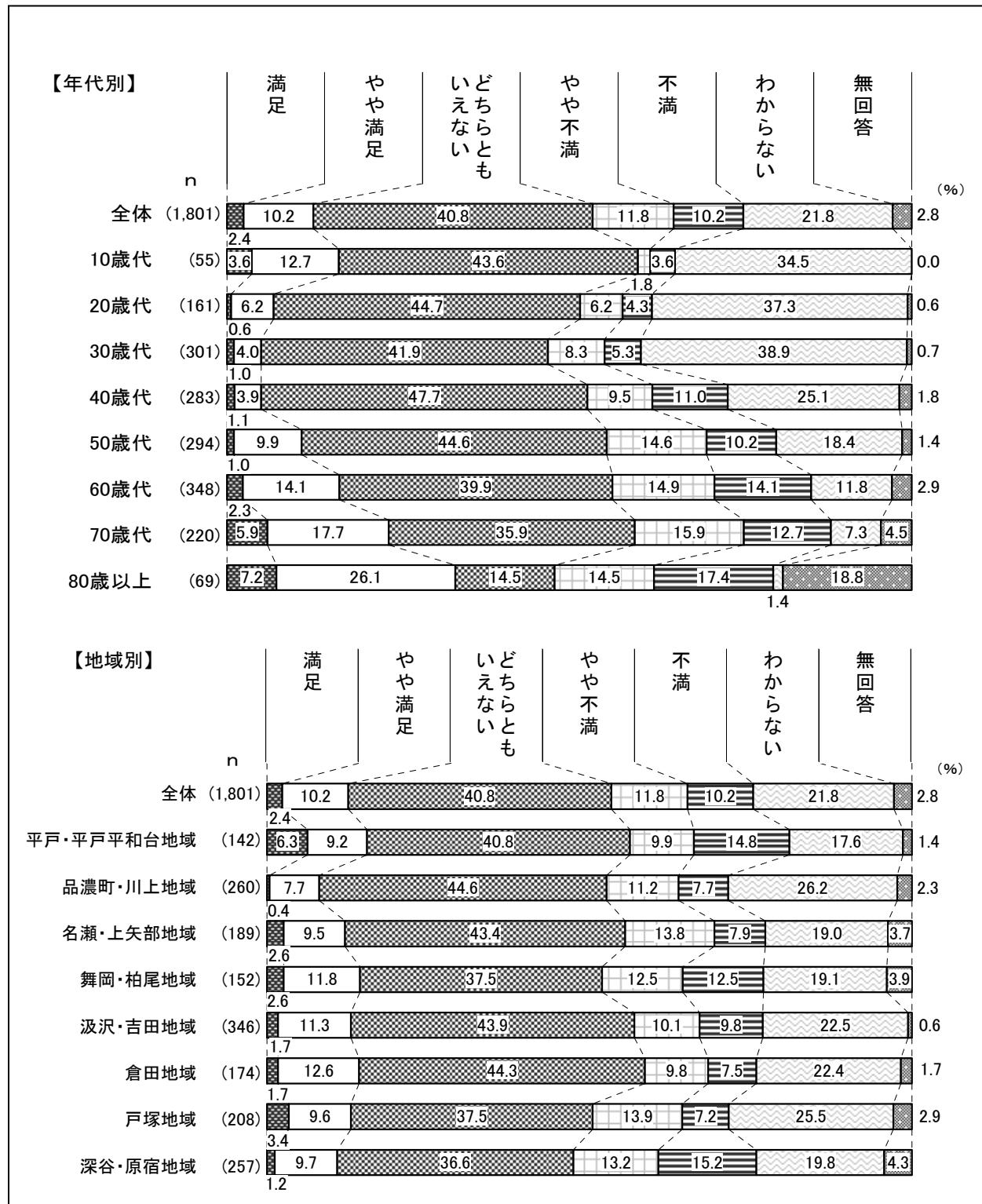
地域別でみると、『重要』層は倉田地域（89.1%）が約9割で最も高くなっている。



⑯高齢者福祉（満足度）

「高齢者福祉」の満足度について年代別でみると、『不満』層は60歳代から80歳以上はそれぞれ約3割で高くなっている。

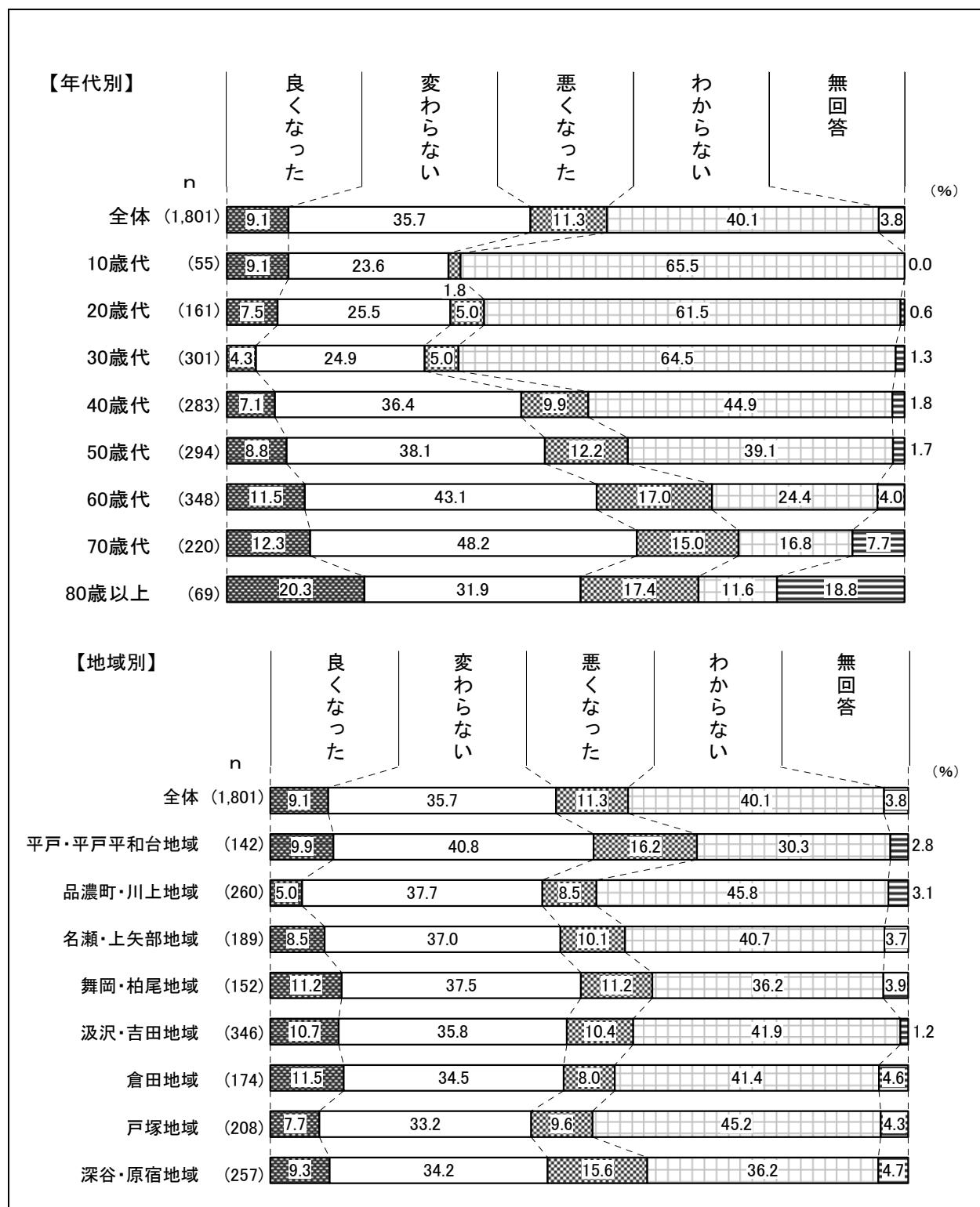
地域別でみると、『不満』層は深谷・原宿地域（28.4%）が2割台半ばを超えて最も高い。ついで舞岡・柏尾地域（25.0%）、平戸・平戸平和台地域（24.6%）がそれぞれ2割台半ばで続いている。



⑯高齢者福祉（以前と比較した変化）

「高齢者福祉」の以前と比較した変化について年代別でみると、「悪くなつた」は80歳以上(17.4%)、60歳代(17.0%)、70歳代(15.0%)がそれぞれ高い。全体的に年代が高いと、割合が高くなる傾向にある。

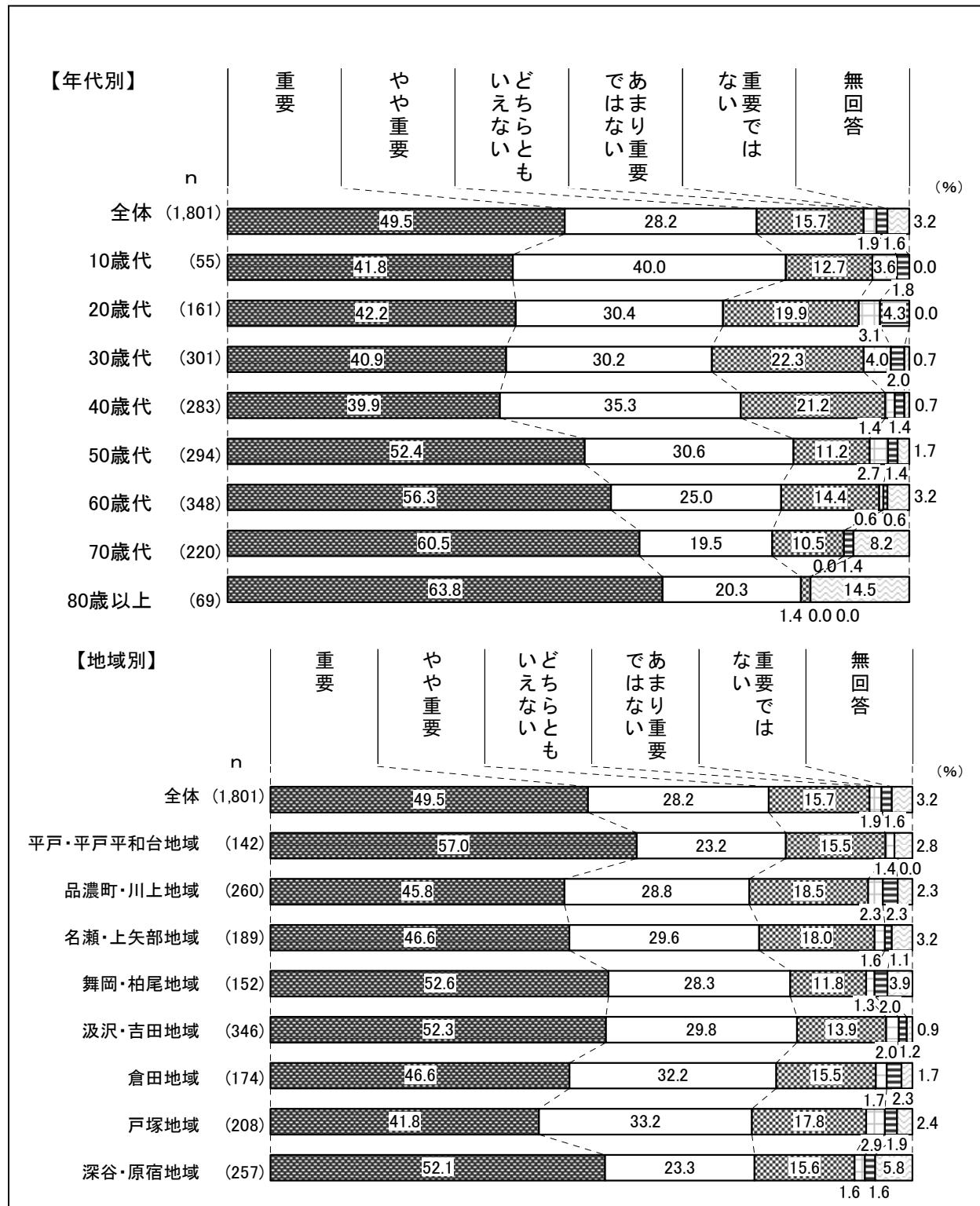
地域別でみると、「悪くなつた」は平戸・平戸平和台地域(16.2%)、深谷・原宿地域(15.6%)がそれぞれ1割台半ばで高くなっている。



⑯障がい者福祉（重要度）

「障がい者福祉」の重要度について年代別でみると、『重要』層は80歳以上(84.1%)が8割台で最も高く、ついで60歳代(81.3%)が続いている。

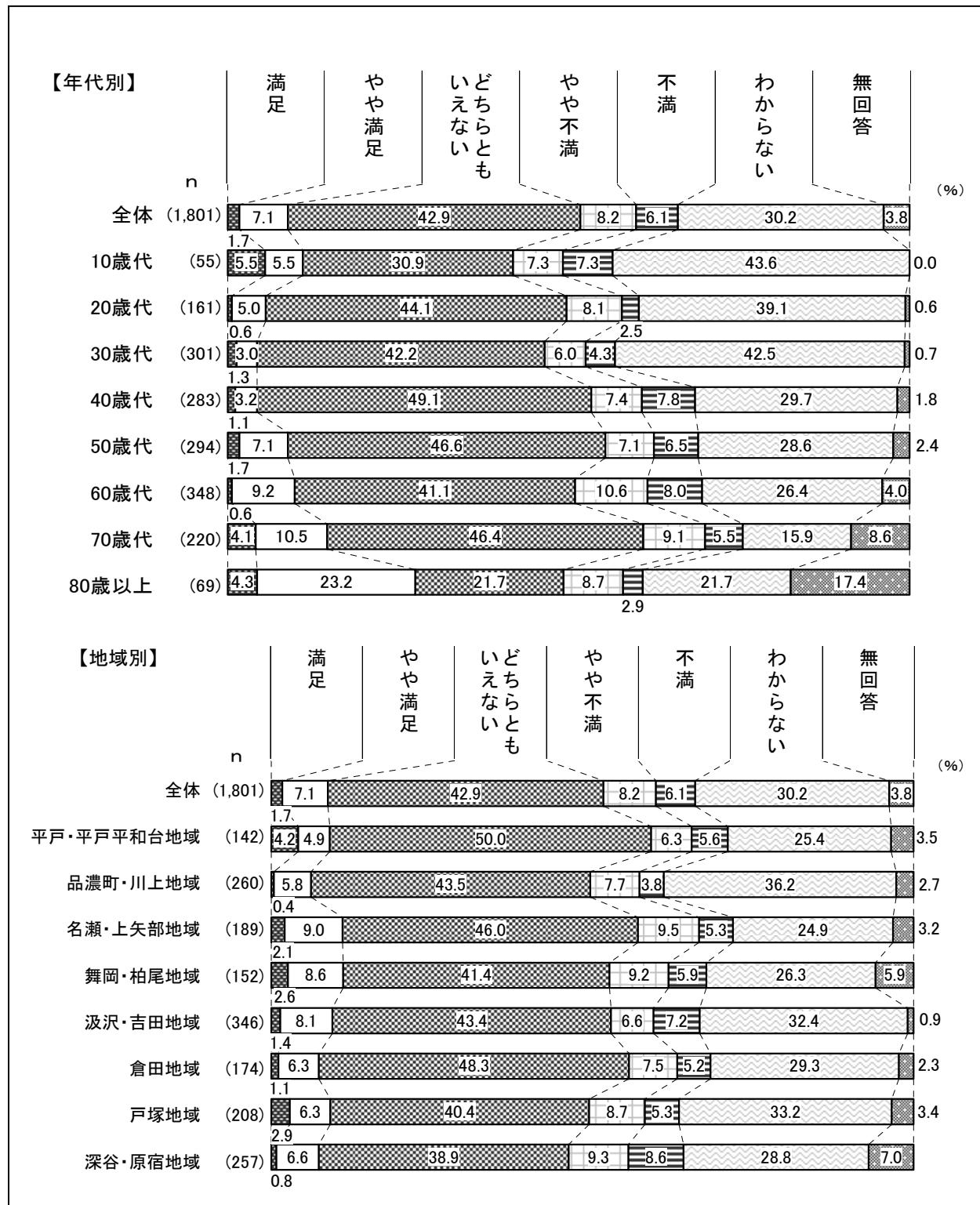
地域別でみると、『重要』層は汲沢・吉田地域(82.1%)が8割台で最も高い。ついで舞岡・柏尾地域(80.9%)、平戸・平戸平和台地域(80.3%)が約8割で続いている。



⑯障がい者福祉（満足度）

「障がい者福祉」の満足度について年代別でみると、『満足』層は80歳以上（27.5%）が2割台半ばを超えて最も高くなっている。

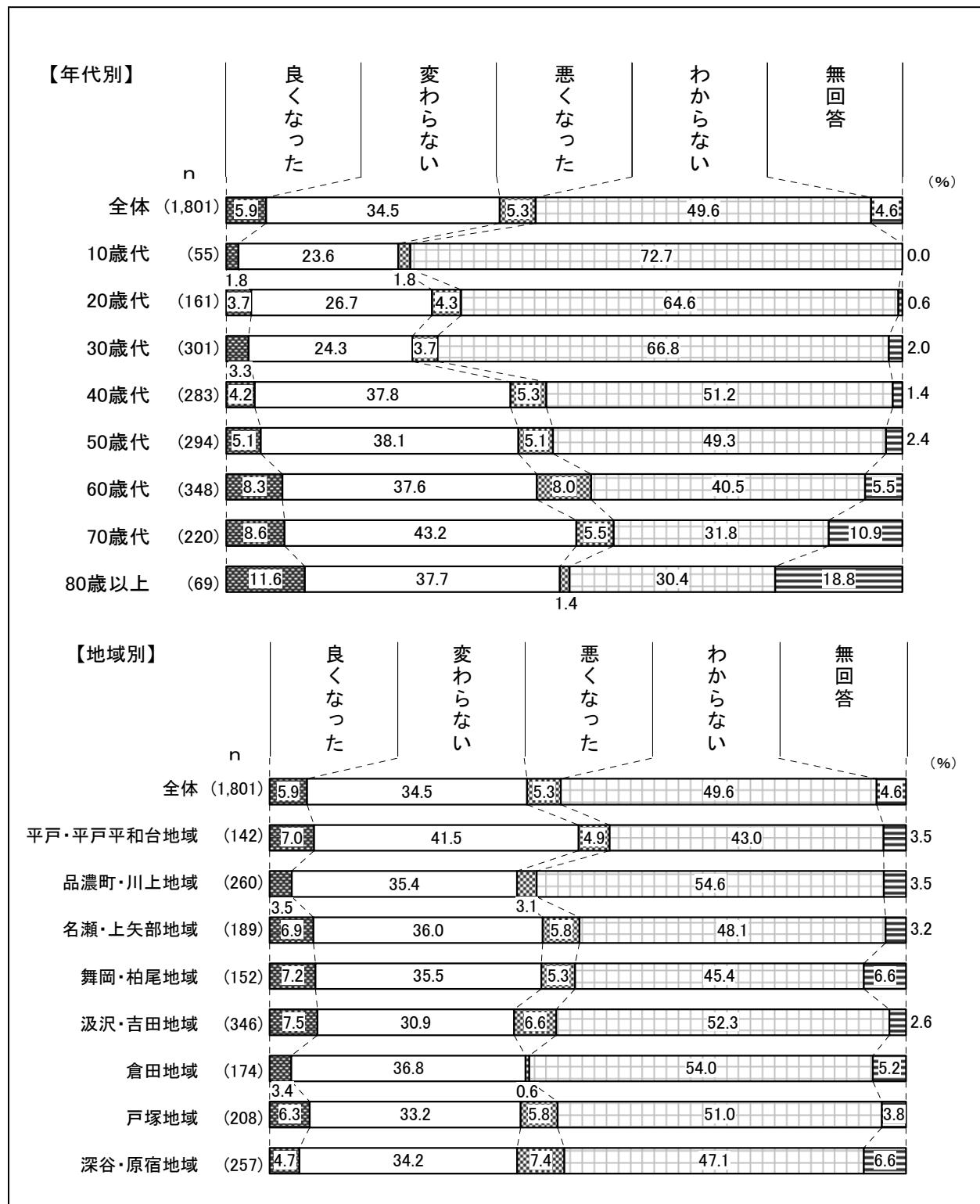
地域別でみると、『不満』層は深谷・原宿地域（17.9%）が1割台半ばを超えて最も高いが、全体的に『満足』層、『不満』層ともに大きな特徴はない。



⑯障がい者福祉（以前と比較した変化）

「障がい者福祉」の以前と比較した変化について年代別でみると、「良くなった」は80歳以上(11.6%)が1割台で最も高くなっている。

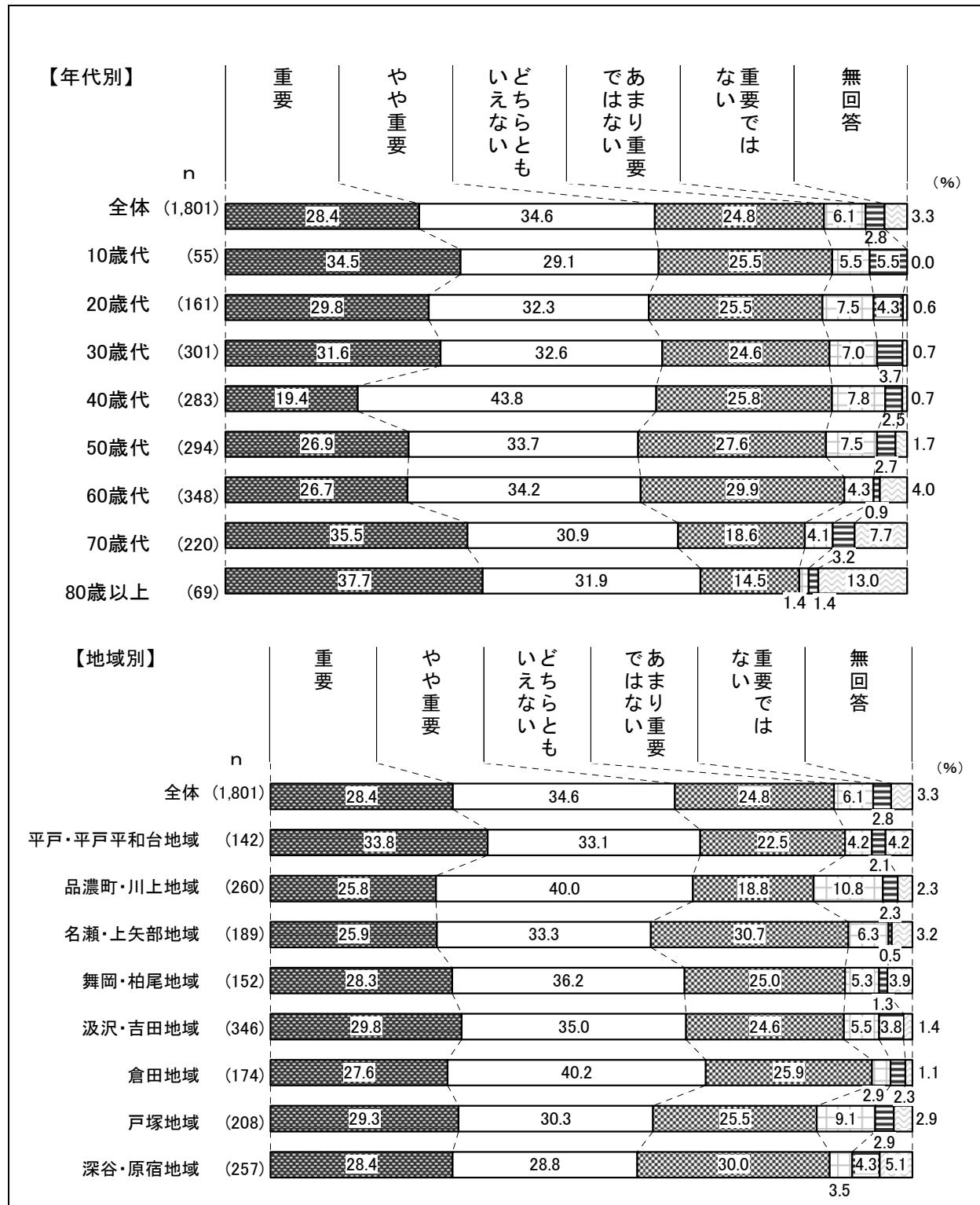
地域別でみると、ほとんどの地域で「良くなった」が「悪くなった」をわずかに上回るが、深谷・原宿地域は「悪くなった」が「良くなった」よりも高い、唯一の地域となっている。



⑪区民利用施設の充実（重要度）

「区民利用施設の充実」の重要度について年代別でみると、『重要』層は80歳以上(69.6%)が約7割で最も高い。ついで70歳代(66.4%)が6割台半ばを超えて高くなっている。

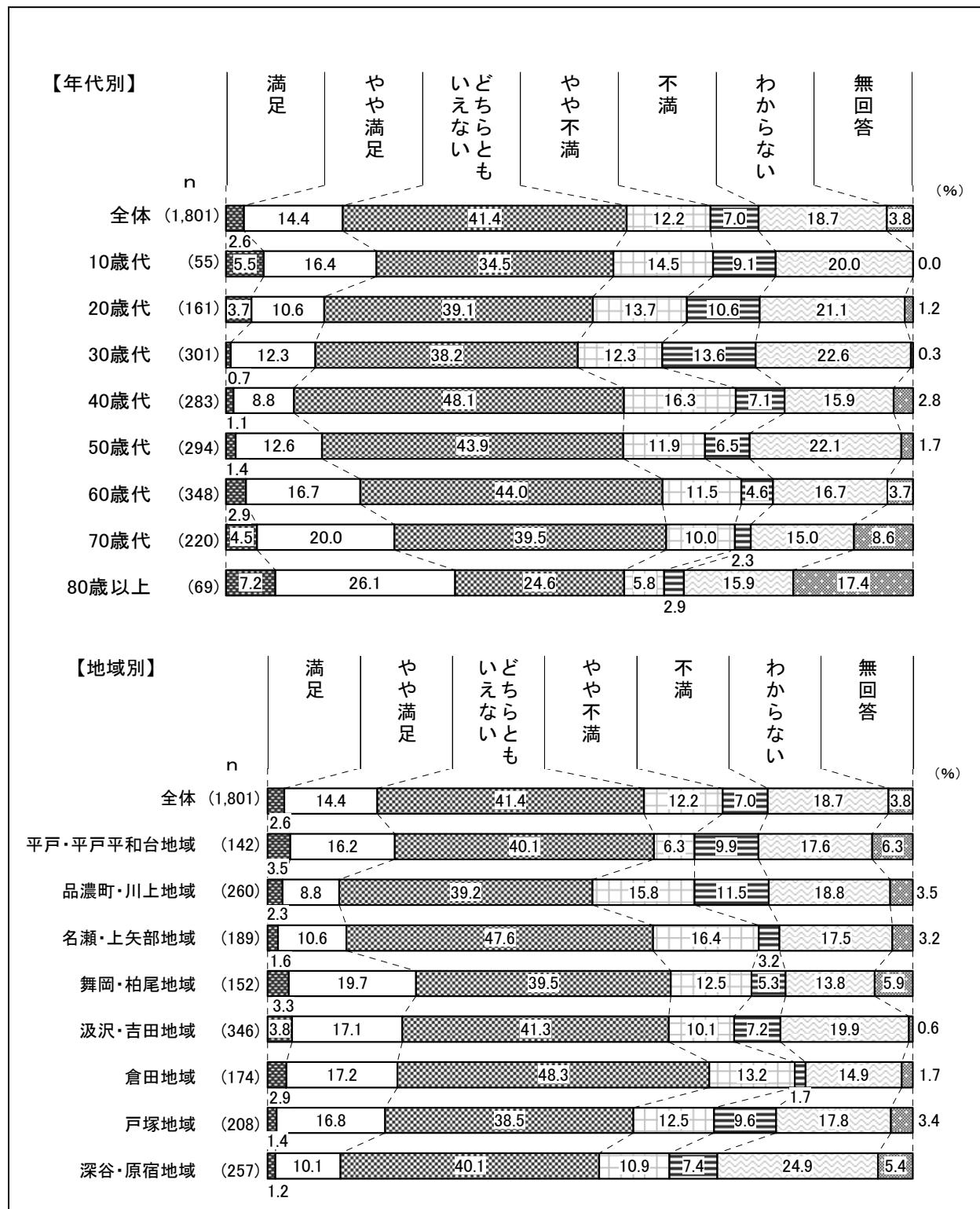
地域別でみると、『重要』層は深谷・原宿地域(57.2%)、名瀬・上矢部地域(59.3%)、戸塚地域(59.6%)がそれぞれ6割に満たず、やや低くなっている。



⑪区民利用施設の充実（満足度）

「区民利用施設の充実」の満足度について年代別でみると、『不満』層は10歳代から40歳代が2割台半ば前後で、50歳代以上の世代と比べて高い傾向にある。

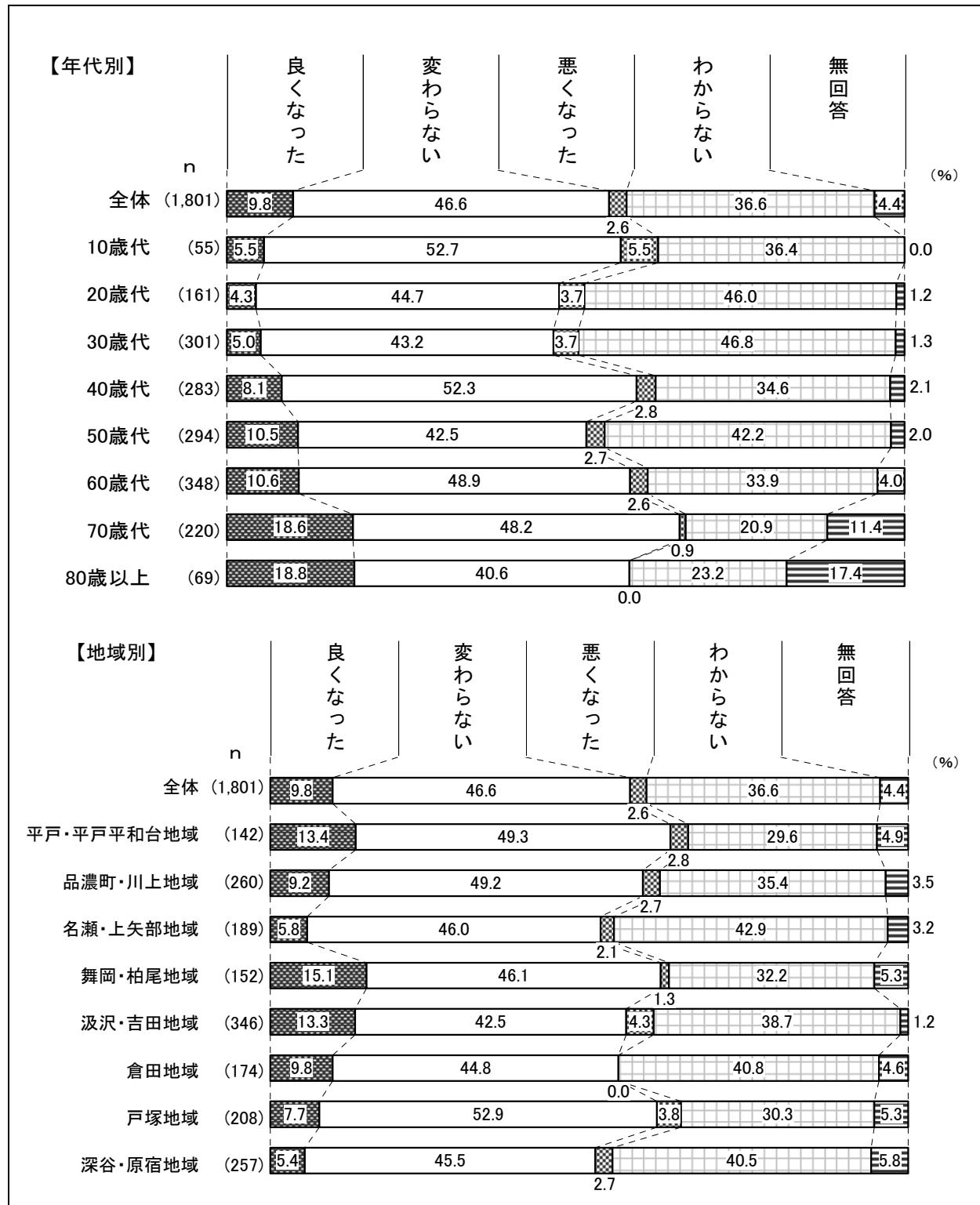
地域別でみると、『不満』層は品濃町・川上地域（27.3%）が2割台半ばを超えて最も高い。ついで戸塚地域（22.1%）が2割台で続いている。



⑪区民利用施設の充実（以前と比較した変化）

「区民利用施設の充実」の以前と比較した変化について年代別でみると、「良くなった」は80歳以上(18.8%)、70歳代(18.6%)がそれぞれ1割台半ばを超えて高い。全体的に年代が高いと割合が高くなる傾向にある。

地域別でみると、「良くなった」は舞岡・柏尾地域(15.1%)が1割台半ばで最も高い。ついで平戸・平戸平和台地域(13.4%)、汲沢・吉田地域(13.3%)が続いている。一方、「変わらない」は戸塚地域(52.9%)が5割台で最も高い。ついで平戸・平戸平和台地域(49.3%)、品濃町・川上地域(49.2%)が約5割で続いている。

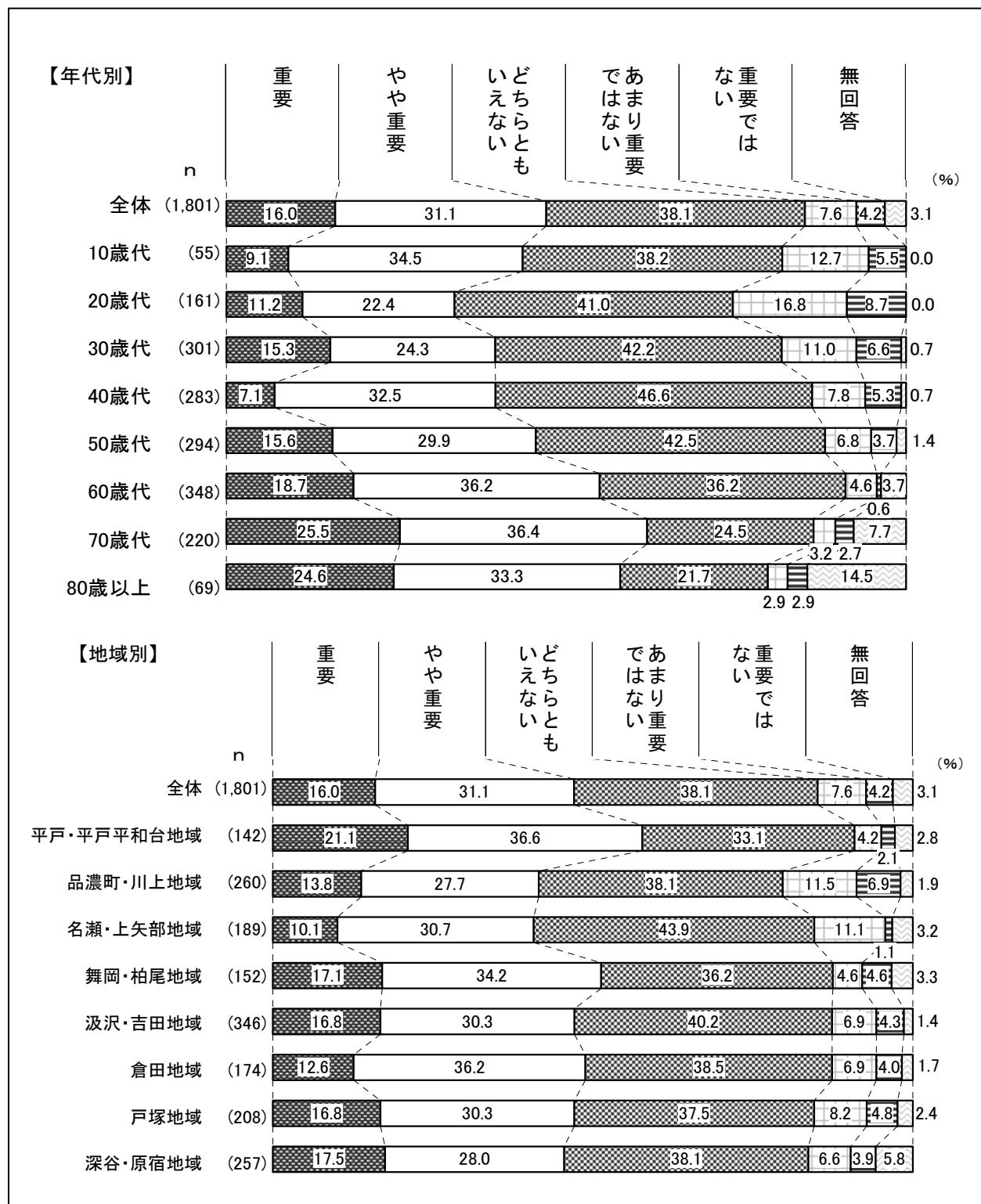


⑯広報・広聴など区政への市民参加の推進（重要度）

「広報・広聴など区政への市民参加の推進」の重要度について年代別でみると、『重要』層は70歳代(61.8%)が6割台で最も高い。ついで80歳以上(58.0%)、60歳代(54.9%)が続いている。

一方、『重要ではない』層（「あまり重要ではない」+「重要ではない」の合計。以下全て同じ。）は20歳代(25.5%)が2割台半ばで最も高くなっている。

地域別でみると、『重要』層は平戸・平戸平和台地域(57.7%)が5割台半ばを超えて最も高い。一方、『重要ではない』層は品濃町・川上地域(18.5%)が1割台半ばを超えて最も高くなっている。

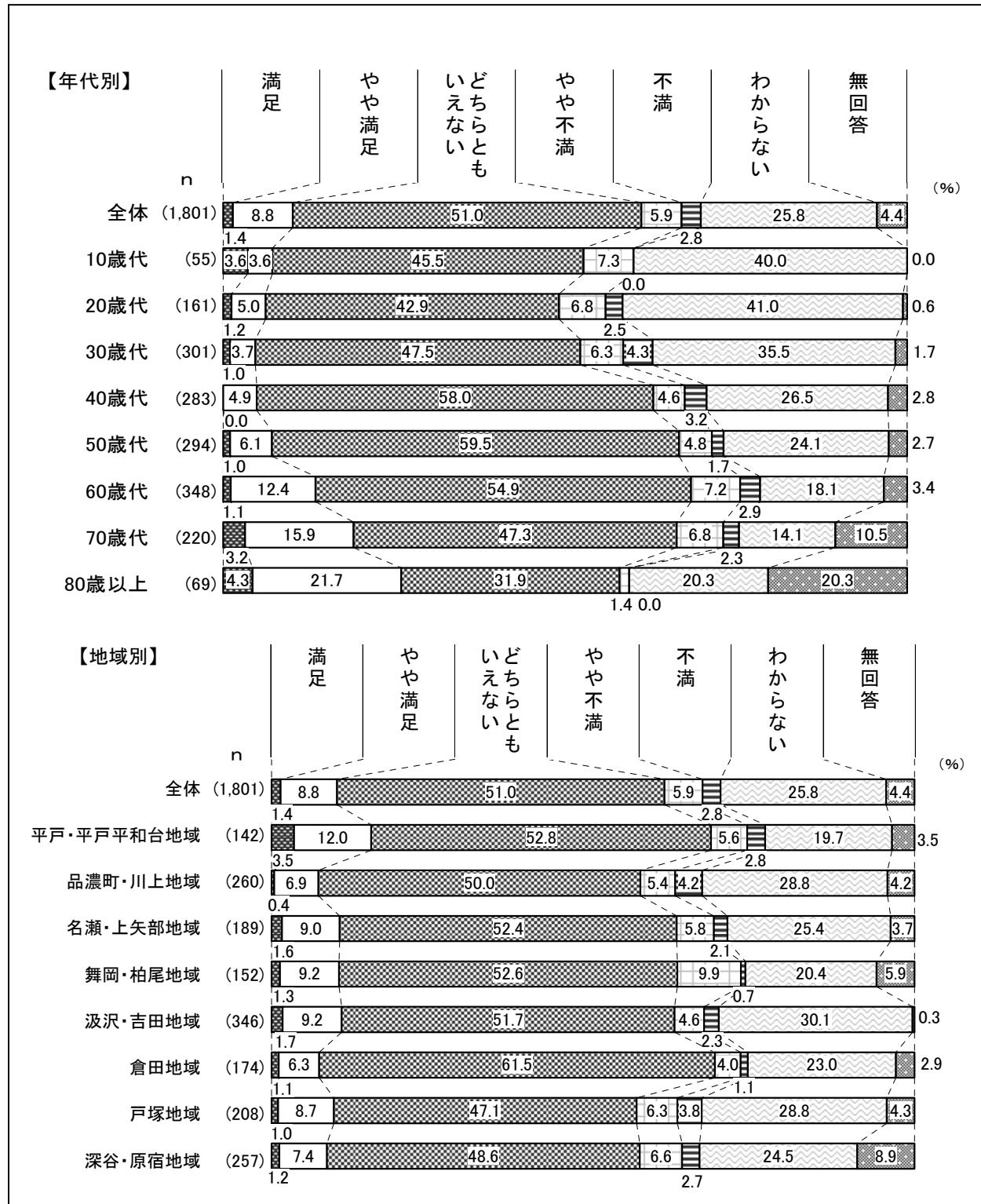


⑯広報・広聴など区政への市民参加の推進（満足度）

「広報・広聴など区政への市民参加の推進」の満足度について年代別でみると、『満足』層は80歳以上(26.1%)が2割台半ばで最も高い。ついで70歳(19.1%)が約2割で続いている。一方、

「わからない」は20歳代(41.0%)、10歳代(40.0%)がそれぞれ約4割で高くなっている。

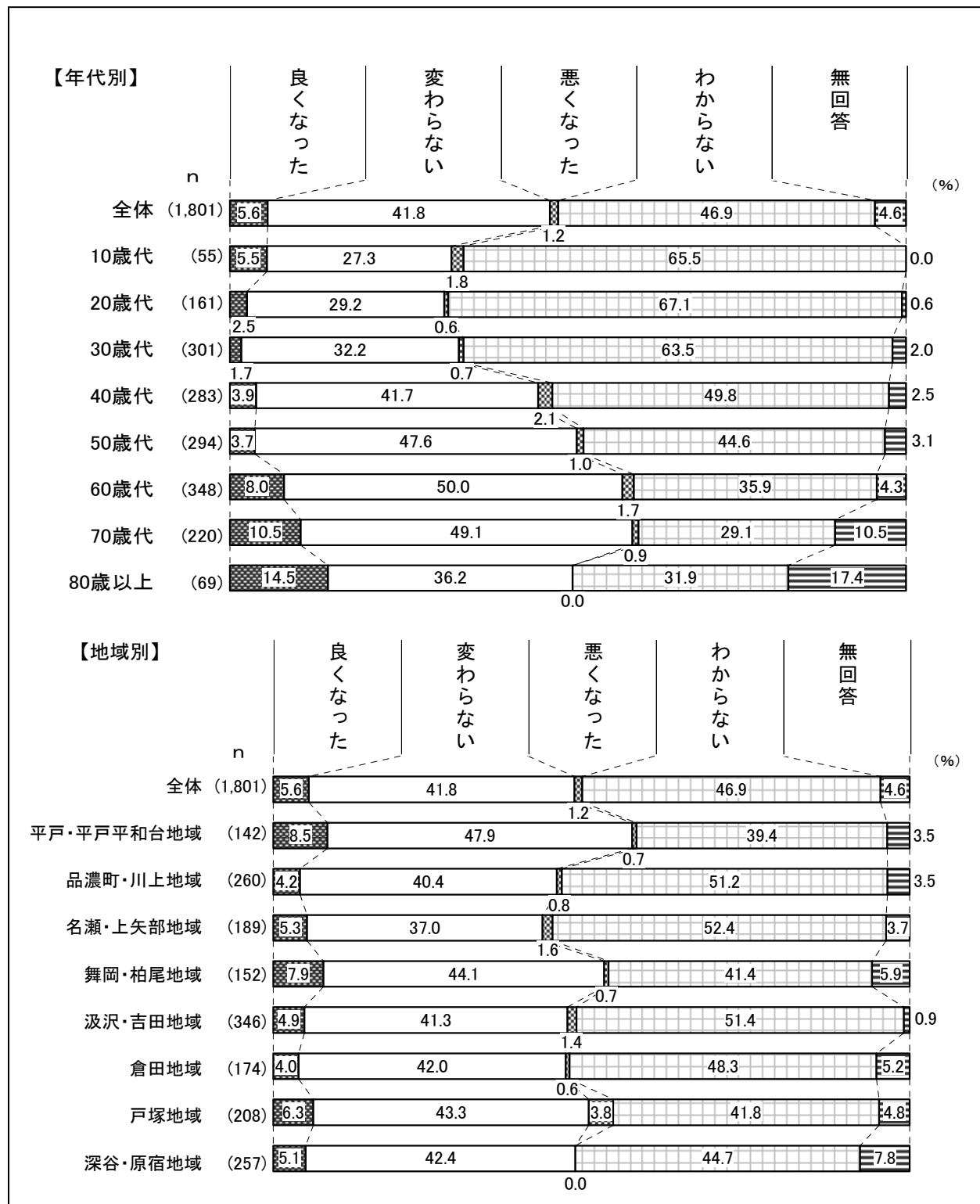
地域別でみると、『満足』層は品濃町・川上地域(15.5%)が1割台半ばで最も高くなっている。



⑯広報・広聴など区政への市民参加の推進（以前と比較した変化）

「広報・広聴など区政への市民参加の推進」の以前と比較した変化について年代別でみると、「良くなつた」は80歳以上(14.5%)が1割台半ばで最も高い。ついで70歳代(10.5%)が約1割で続いている。

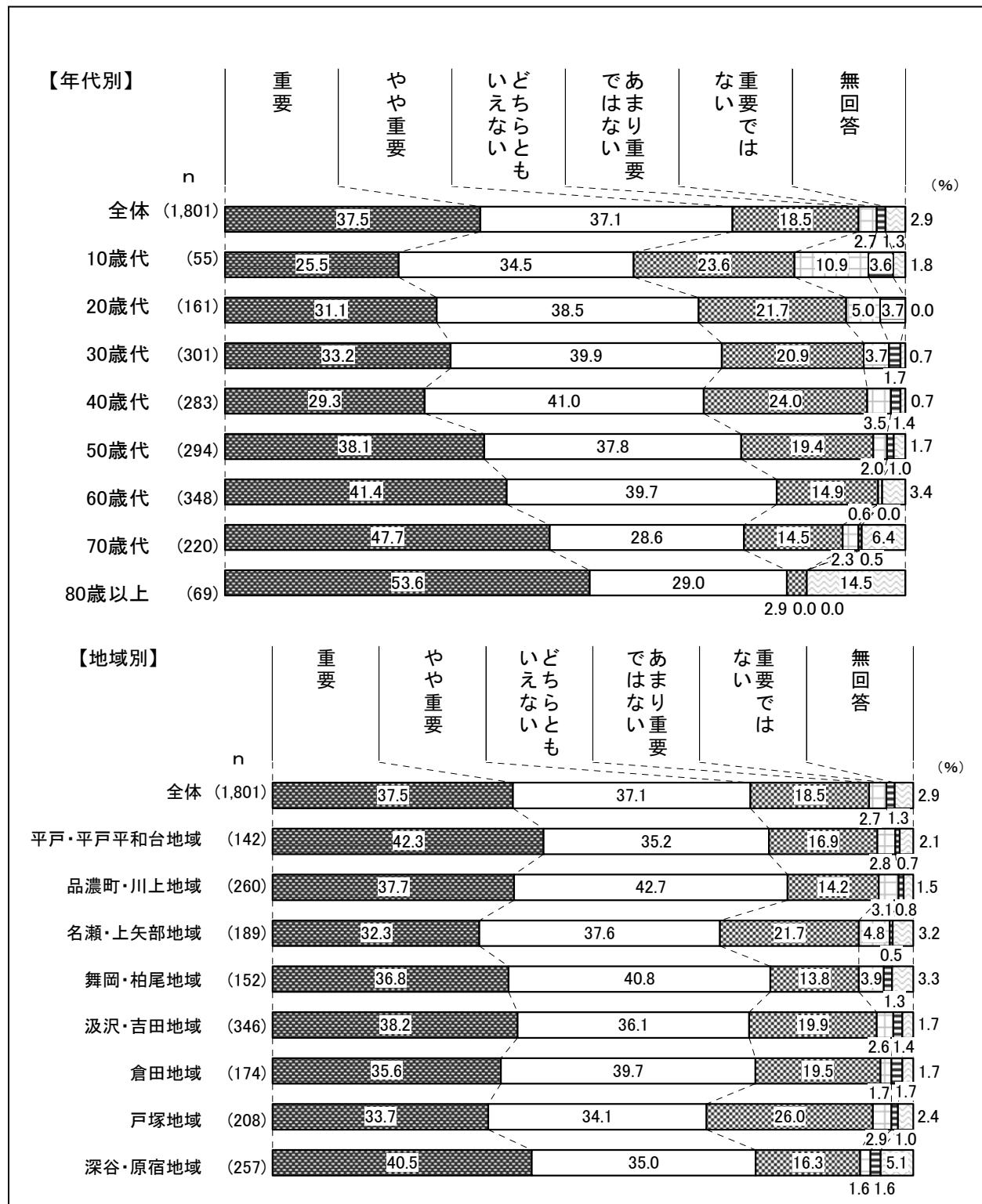
地域別でみると、「良くなつた」は平戸・平戸平和台地域(8.5%)が最も高いものの、どの地域も1割に満たず、全体的に低くなっている。



⑯身近な行政サービス・相談サービス（重要度）

「身近な行政サービス・相談サービス」の重要度について年代別でみると、『重要』層は80歳以上(82.6%)、60歳代(81.0%)がそれぞれ8割を超えて高くなっている。

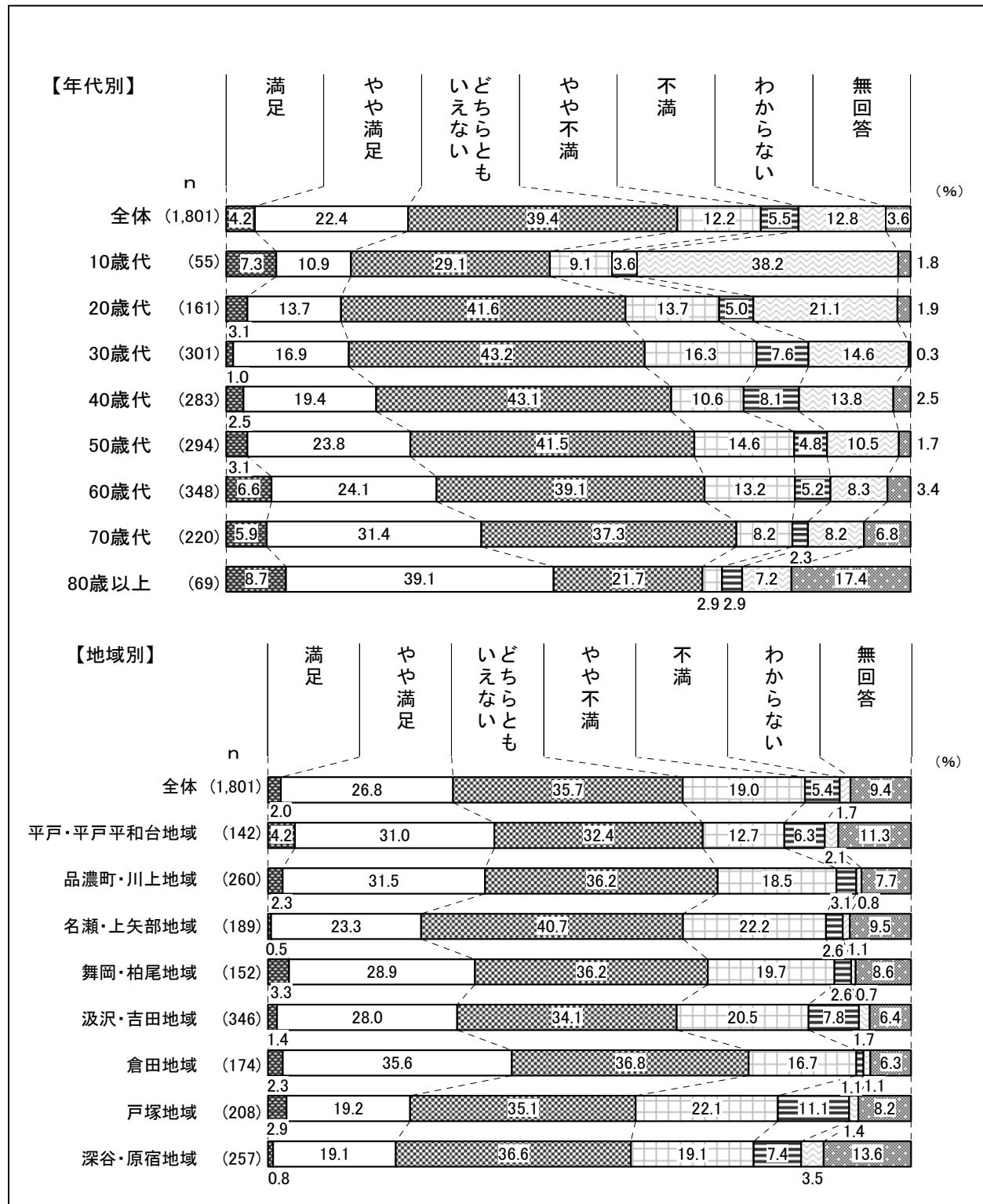
地域別でみると、『重要』層は品濃町・川上地域(80.4%)が約8割で最も高い。ついで舞岡・柏尾地域(77.6%)、平戸・平戸平和台地域(77.5%)が7割台半ばを超えて続いている。



⑯身近な行政サービス・相談サービス（満足度）

「身近な行政サービス・相談サービス」の満足度について年代別でみると、『重要』層は80歳以上(47.8%)が4割台半ばを超えて最も高い。ついで70歳代が3割台半ばを超えて続いている。全体的に年代が高いと、『満足』層が高くなる傾向にある。一方、『不満』層は30歳代(23.9%)が2割台で最も高くなっている。

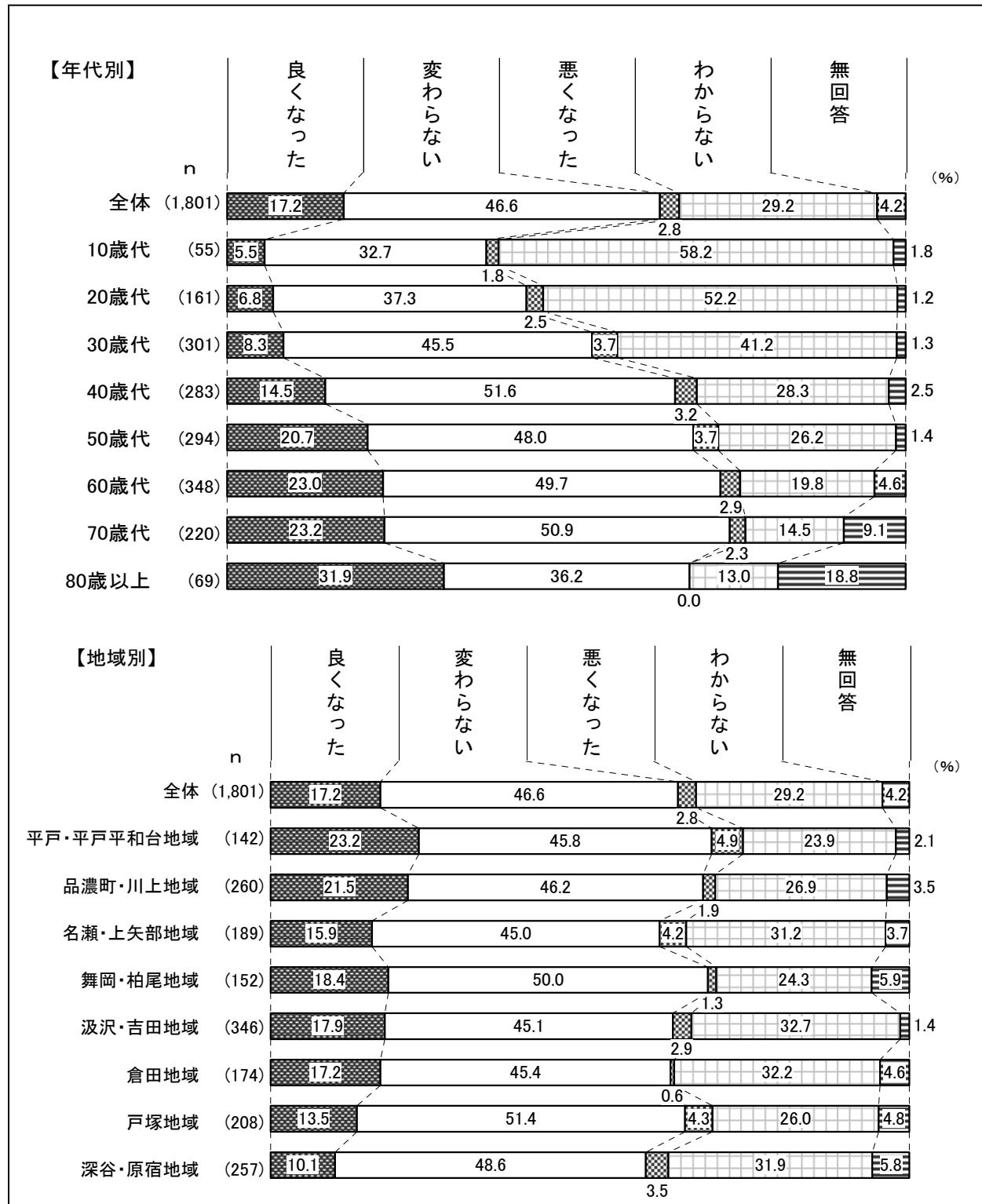
地域別でみると、品濃町・川上地域(31.9%)、汲沢・吉田地域(31.8%)が3割台で高い。一方、深谷・原宿地域(18.7%)は2割に満たず、最も低い。なお、『満足』層が『不満』層よりも低いのは深谷・原宿地域のみである。



⑯身近な行政サービス・相談サービス（以前と比較した変化）

「身近な行政サービス・相談サービス」の以前と比較した変化を年代別でみると、「良くなった」は80歳以上(31.9%)が3割台で最も高い。全体的に年代が高いと、割合が高くなる傾向にある。

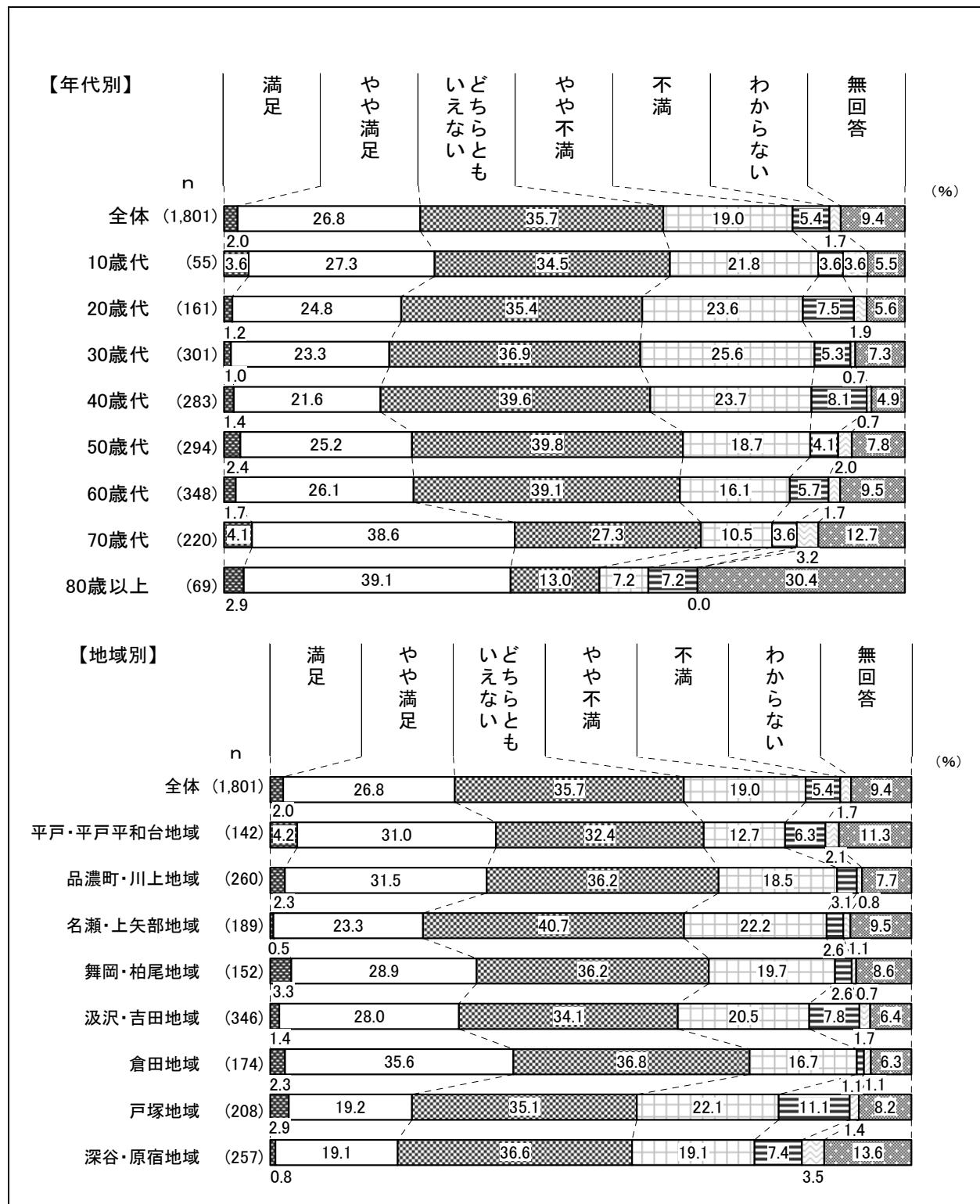
地域別でみると、「良くなった」は平戸・平戸平和台地域(23.2%)、品濃町・川上地域(21.5%)が2割台で高くなっている。



⑯以上を総合して、生活環境全般の満足度（満足度）

「以上を総合して、生活環境全般の満足度」の満足度について年代別でみると、『満足』層は70歳代(42.7%)、80歳以上(42.0%)が4割台で高い。一方、『不満』層は40歳代(31.8%)、20歳代(31.1%)、30歳代(30.9%)が3割台となっている。

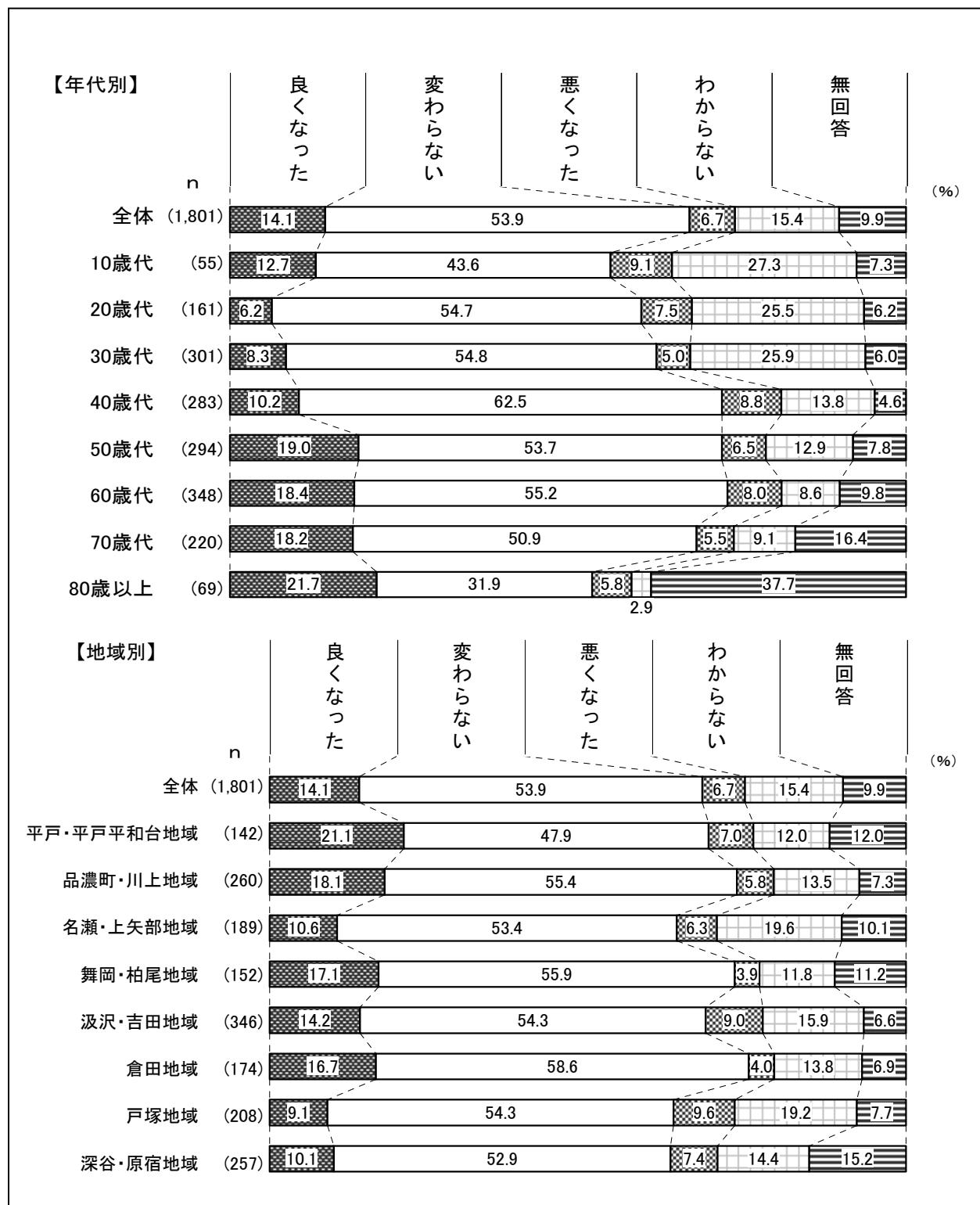
地域別でみると、『満足』層は倉田地域(37.9%)が3割台半ばを超えて最も高い。ついで平戸・平戸平和台地域(35.2%)が3割台半ばで続いている。



⑯以上を総合して、生活環境全般の満足度（以前と比較した変化）

「以上を総合して、生活環境全般の満足度」の以前と比較した変化について年代別でみると、「良くなつた」は50歳代から80歳以上の年代で1割台半ばから2割台である。一方、10歳代から40歳代の年代は1割台あるいは1割にも満たず、40歳代と50歳代を境に傾向が分かれている。

地域別でみると、「良くなつた」は平戸・平戸平和台地域(21.1%)が2割台で最も高くなっている。



【重要度】と【満足度】の関係

右図は、重要度を横軸に、満足度を縦軸に、全 19 項目の分布を描いたものである。(重要度については、「重要」を 2 点、「やや重要」を 1 点、「どちらともいえない」を 0 点、「あまり重要ではない」を -1 点、「重要ではない」を -2 点とし、満足度については、「満足」を 2 点、「やや満足」を 1 点、「どちらともいえない」を 0 点、「やや不満」を -1 点、「不満」を -2 点としてそれぞれ平均値を算出した。)

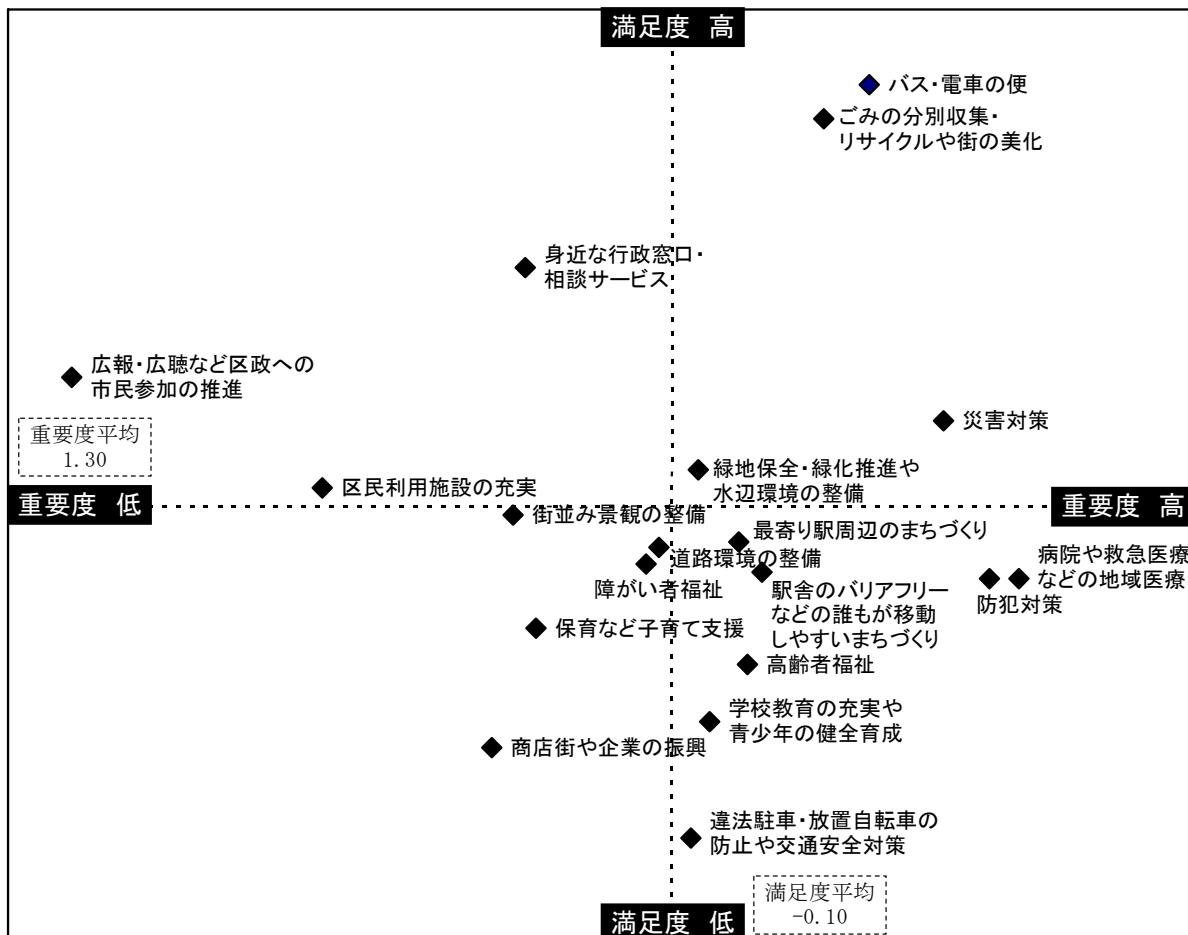
重要度と満足度がともに平均値よりも高かった項目、つまり、今後も力を入れて現在の水準を維持・向上していきたい項目は「バス・電車の便」「緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備」「ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」「災害対策」の 4 項目である。

重要度は平均値より高いが満足度が平均値より低い項目、つまり、重点的な改善を期待されている項目は「違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策」「最寄り駅周辺のまちづくり」「防犯対策」「学校教育の充実や青少年の健全育成」「病院や救急医療などの地域医療」「駅舎のバリアフリーなどの誰もが移動しやすいまちづくり」「高齢者福祉」の 7 項目である。

重要度は平均値より低いが満足度が平均値より高い項目、つまり、現在の水準を維持していきたい項目は、「区民利用施設の充実」「広報・広聴など区政への市民参加の推進」「身近な行政窓口・相談サービス」の 3 項目である。

重要度と満足度がともに平均値より低かった項目、つまり、取り組み方を検討しながら現在の水準を改善していきたい項目は、「道路環境の整備」「街並み景観の整備」「商店街の企業の振興」「保育など子育て支援」「障がい者福祉」の 5 項目である。

図表 施策の重要度・満足度



【重要度】と【以前と比較した変化】の関係

右図は、重要度を横軸に、以前と比較した変化を縦軸に、全 19 項目の分布を描いたものである。(重要度については、「重要」を 2 点、「やや重要」を 1 点、「どちらともいえない」を 0 点、「あまり重要ではない」を -1 点、「重要ではない」を -2 点とし、変化については、「良くなった」を 1 点、「変わらない」を 0 点、「悪くなった」を -1 点として平均値を算出した。)

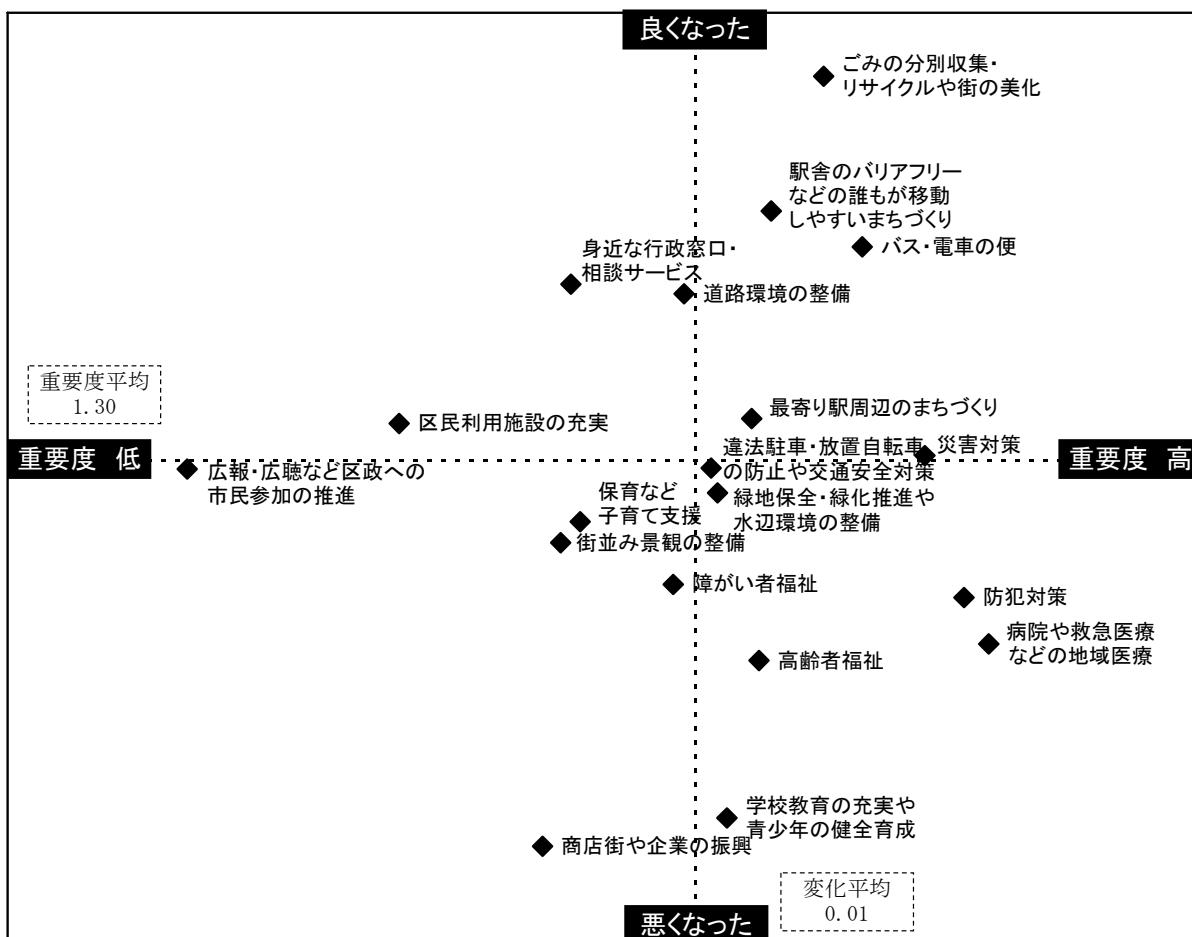
重要度と変化がともに平均値よりも高かった項目、つまり、向上が期待されていて、状況も好転している項目は、「バス・電車の便」「最寄り駅周辺のまちづくり」「ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」「災害対策」「駅舎のバリアフリーなどの誰もが移動しやすいまちづくり」の 5 項目である。

重要度は平均値より高いが変化が平均値より低い項目、つまり、向上が期待されているが、状況が好転していない項目は、「違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策」「緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備」「防犯対策」「学校教育の充実や青少年の健全育成」「病院や救急医療などの地域医療」「高齢者福祉」の 6 項目である。

重要度は平均値より低いが変化が平均値より高い項目、つまり、向上の必要性が他の項目よりも低いが状況が好転している項目は、「道路環境の整備」「区民利用施設の充実」「身近な行政窓口・相談サービス」の 3 項目である。

重要度と変化がともに平均値よりも低かった項目、つまり、向上の必要性が他の項目よりも低く状況も好転していない項目は「街並み景観の整備」「商店街や企業の振興」「保育など子育て支援」「障がい者福祉」「広報・広聴など区政への市民参加の推進」の 4 項目である。

図表 施策の重要度・以前と比較した変化



【満足度】と【以前と比較した変化】の関係

右図は、満足度を横軸に、以前と比較した変化を縦軸に、全 19 項目の分布を描いたものである。(満足度については、「満足」を 2 点、「やや満足」を 1 点、「どちらともいえない」を 0 点、「やや不満」を -1 点、「不満」を -2 点とし、変化については、「良くなった」を 1 点、「変わらない」を 0 点、「悪くなつた」を -1 点として平均値を算出した。)

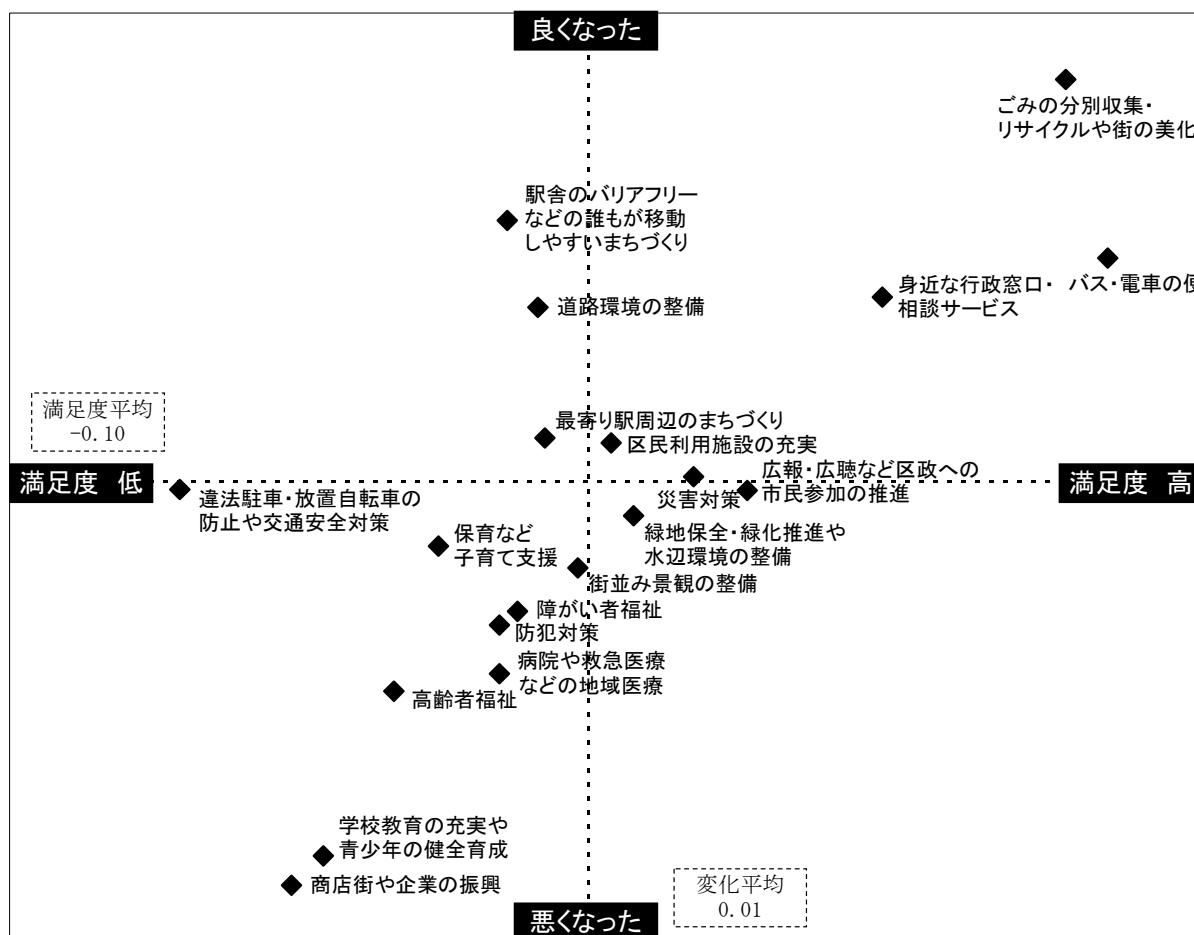
満足度と変化がともに平均値よりも高かった項目、つまり、状況が好転していて満足度が高い項目は「バス・電車の便」「ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」「災害対策」「区民利用施設の充実」「身近な行政窓口・相談サービス」の 5 項目である。

満足度は平均値より高いが変化が平均値より低い項目、つまり、状況は好転していないが満足度は高い項目は「緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備」「広報・広聴など区政への市民参加の推進」の 2 項目である。

満足度は平均値より低いが変化が平均値より高い項目、つまり、状況は好転しているが満足度は低い項目は、「道路環境の整備」「最寄り駅周辺のまちづくり」「駅舎のバリアフリーなどの誰もが移動しやすいまちづくり」の 3 項目である。

満足度と変化がともに平均値よりも低かった項目、つまり、状況が好転せず満足度も低い項目は、「違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策」「街並み景観の整備」「商店街や企業の振興」「防犯対策」「保育など子育て支援」「学校教育の充実や青少年の健全育成」「病院や救急医療などの地域医療」「高齢者福祉」「障がい者福祉」の 9 項目である。

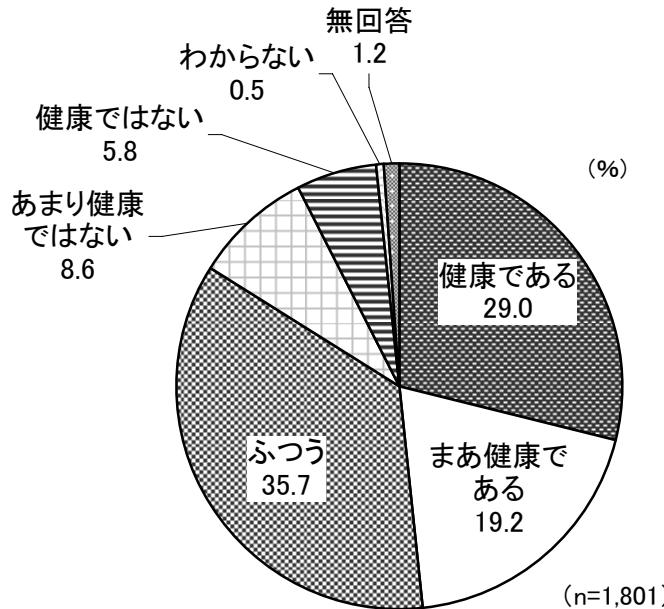
図表 施策の満足度・以前と比較した変化



【 健康づくりについて 】

問2 あなたは現在、健康であると思いますか。(○は1つ)

図表 現在の健康状態



現在の健康状態について聞いたところ、「ふつう」(35.7%) が3割台半ばで最も高く、ついで「健康である」(29.0%)、「まあ健康である」(19.2%) が続いている。また、「健康である」と「まあ健康である」を合わせた『健康である』層 (48.2%) が4割台半ばを超えて、「あまり健康ではない」(8.6%)、「健康ではない」(5.8%) を合わせた『健康ではない』層 (14.4%) を大きく上回る。

性別でみると、『健康である』層は、女性（50.1%）が約5割で、男性（46.9%）より高くなっている。

図表 現在の健康状態（性別）

	全 体	健康である	まあ健康で ある	ふつう	あまり健康 ではない	健康では ない	わからない	無回答
全 体	100.0 1,801	29.0 522	19.2 346	35.7 643	8.6 154	5.8 105	0.5 9	1.2 22
男性	763	30.5	16.4	37.0	7.9	6.6	0.5	1.2
女性	948	27.8	22.3	34.7	8.6	5.1	0.5	0.9

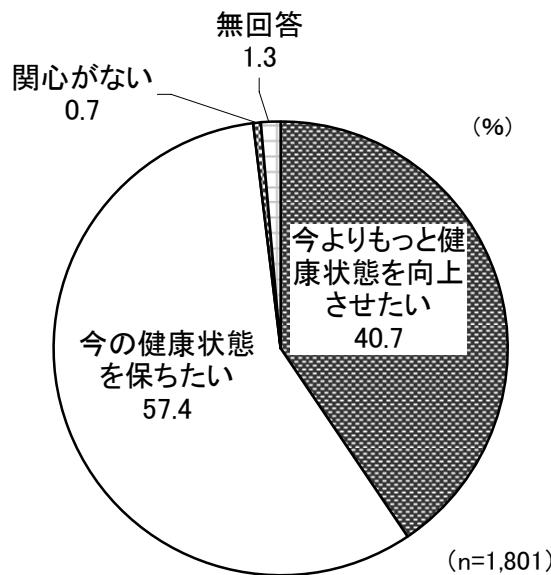
年代別でみると、『健康である』層は10歳代（67.3%）が6割台半ばを超えて最も高い。一方、『健康ではない』層は80歳以上（31.9%）が3割台で最も高い。全体的に『健康である』層は年代が低いと割合が高く、『健康ではない』層は年代が低いと割合が低くなる傾向にある。

図表 現在の健康状態（年代別）

	全 体	健康である	まあ健康で ある	ふつう	あまり健康 ではない	健康では ない	わからない	無回答
全 体	100.0 1,801	29.0 522	19.2 346	35.7 643	8.6 154	5.8 105	0.5 9	1.2 22
10歳代	55	49.1	18.2	27.3	3.6	1.8	0.0	0.0
20歳代	161	44.7	18.6	26.7	5.6	3.1	1.2	0.0
30歳代	301	37.9	18.3	34.2	6.3	2.3	0.3	0.7
40歳代	283	27.9	23.0	36.0	7.1	3.9	1.4	0.7
50歳代	294	22.1	21.1	42.2	8.2	3.4	0.3	2.7
60歳代	348	26.7	17.2	38.5	8.9	8.0	0.0	0.6
70歳代	220	19.1	18.6	35.0	13.2	11.8	0.5	1.8
80歳以上	69	13.0	20.3	31.9	15.9	15.9	0.0	2.9

問3 あなたはご自分の健康状態を今後どのようにしたいと思っていますか。
(○は1つ)

図表 今後の健康状態



今後の健康状態について聞いたところ、「今の健康状態を保ちたい」(57.4%)が5割台半ばを超えて、「今よりもっと健康状態を向上させたい」(40.7%)よりも高くなっている。
一方、「関心がない」(0.7%)は極めて低くなっている。

性別でみると、男女による大きな差は見られない。

今後の健康状態（性別）

	全 体	今よりもっと健康状態を向上させたい	今の健康状態を保ちたい	関心がない	無回答
全 体	100.0 1,801	40.7 733	57.4 1,033	0.7 12	1.3 23
男性	763	42.1	55.4	1.2	1.3
女性	948	41.0	57.8	0.2	0.9

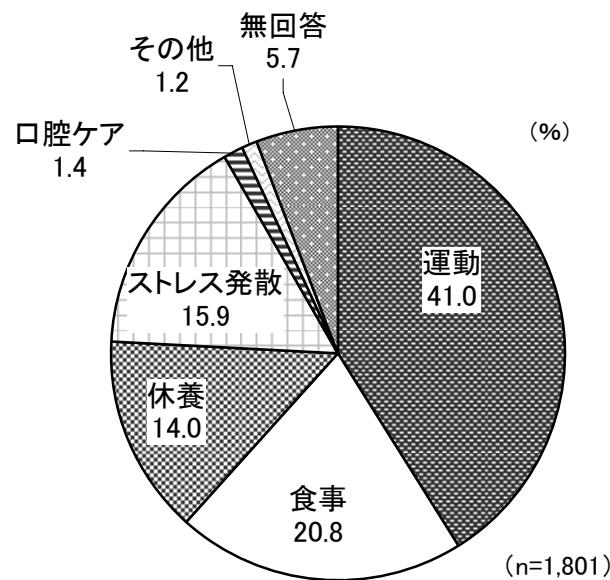
年代別でみると、「今よりもっと健康状態を向上させたい」は 20 歳代（55.9%）が 5 割台半ばで最も高い。ついで 30 歳代（53.5%）が 5 割台で続いている。一方、「今の健康状態を保ちたい」は 60 歳代から 80 歳以上がそれぞれ約 7 割で高くなっている。

今後の健康状態（年代別）

	全 体	今よりもっと健康状態を向上させたい	今の健康状態を保ちたい	関心がない	無回答
全 体	100.0 1,801	40.7 733	57.4 1,033	0.7 12	1.3 23
10 歳代	55	43.6	54.5	1.8	0.0
20 歳代	161	55.9	41.6	1.2	1.2
30 歳代	301	53.5	45.5	0.7	0.3
40 歳代	283	49.8	48.4	1.1	0.7
50 歳代	294	40.5	57.1	0.0	2.4
60 歳代	348	28.4	71.0	0.0	0.6
70 歳代	220	26.8	70.5	0.9	1.8
80 歳以上	69	26.1	69.6	0.0	4.3

問4 あなたの健康づくりのために必要なことはどのようなことだと思いますか。
(○は1つ)

図表 健康づくりに必要なこと



健康づくりに必要なことを聞いたところ、「運動」(41.0%) が約4割で最も高い。ついで「食事」(20.8%)、「ストレス発散」(15.9%)、「休養」(14.0%) が続いている。

性別でみると、「運動」は男性（47.7%）が4割台半ばを超えて、女性（36.1%）よりも高い。一方、「食事」は女性（25.3%）が2割台半ばで男性（15.6%）よりも高くなっている。

健康づくりに必要なこと（性別）

	全 体	運動	食事	休養	ストレス 発散	口腔ケア	その他	無回答
全 体	100.0 1,801	41.0 738	20.8 374	14.0 253	15.9 286	1.4 26	1.2 21	5.7 103
男性	763	47.7	15.6	15.3	13.6	1.2	1.7	4.8
女性	948	36.1	25.3	13.7	17.3	1.5	0.7	5.4

年代別でみると、「運動」は10歳代（52.7%）が5割台で最も高い。「食事」は60歳代から80歳以上がそれぞれ2割台半ばを超えて高くなっている。

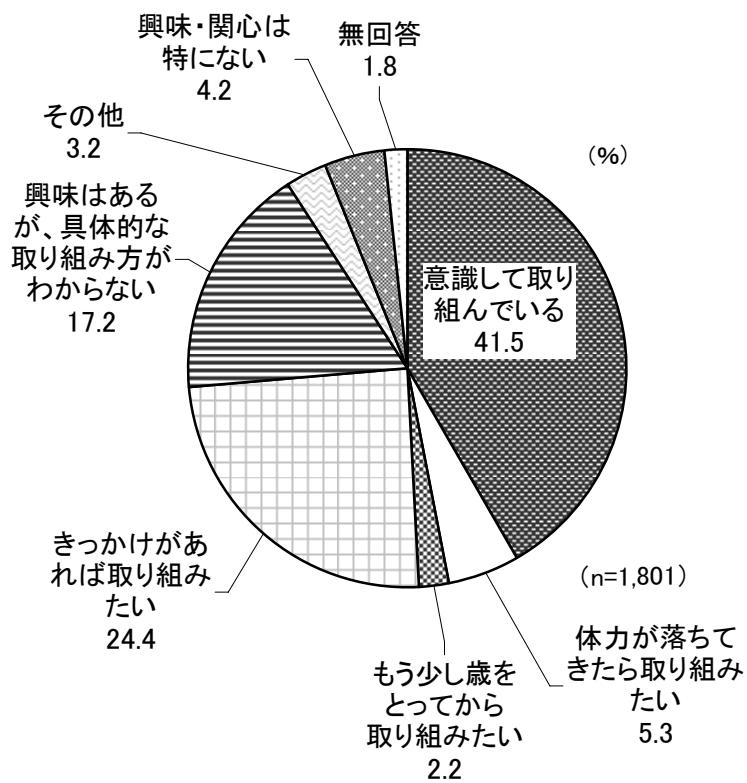
「休養」は30歳代（25.6%）が2割台半ばで最も高くなっている。

健康づくりに必要なこと（年代別）

	全 体	運動	食事	休養	ストレス 発散	口腔ケア	その他	無回答
全 体	100.0 1,801	41.0 738	20.8 374	14.0 253	15.9 286	1.4 26	1.2 21	5.7 103
10歳代	55	52.7	12.7	16.4	12.7	3.6	0.0	1.8
20歳代	161	41.0	16.1	20.5	18.0	0.6	0.6	3.1
30歳代	301	37.5	13.6	25.6	16.9	1.0	1.0	4.3
40歳代	283	40.3	18.7	17.0	19.8	1.1	0.4	2.8
50歳代	294	38.4	21.4	16.3	15.0	0.7	1.4	6.8
60歳代	348	44.3	25.3	6.6	16.4	1.4	1.1	4.9
70歳代	220	45.9	28.6	3.6	9.5	2.3	2.3	7.7
80歳以上	69	29.0	33.3	4.3	11.6	2.9	2.9	15.9

問5 あなたは現在、健康づくりに取り組んでいますか。(○は1つ)

図表 健康づくりへの取組み



健康づくりへの取組みについて聞いたところ、「意識して取り組んでいる」(41.5%) が4割台で最も高い。ついで「きっかけがあれば取り組みたい」(24.4%)、「興味はあるが、具体的な取り組み方がわからない」(17.2%) が続いている。

性別でみると、男女による大きな差はみられない。

図表 健康づくりへの取組み（性別）

	全 体	意識して取り組んでいる	体力が落ちてきたら取り組みたい	もう少し歳をとつてから取り組みたい	きっかけがあれば取り組みたい	興味はあるが、具体的な取り組み方がわからない	その他	興味・関心は特にない	無回答
全 体	100.0 1,801	41.5 748	5.3 96	2.2 40	24.4 440	17.2 310	3.2 58	4.2 76	1.8 33
男性	763	40.8	6.3	2.4	24.5	16.6	2.8	4.8	1.8
女性	948	42.2	4.7	2.2	25.1	17.2	3.8	3.4	1.4

年代別でみると、「意識して取り組んでいる」は70歳代（55.5%）が5割台半ばで最も高い。ついで60歳代（52.3%）が5割台で続いている。

「きっかけがあれば取り組みたい」は40歳代（33.2%）が3割台で最も高くなっている。ついで30歳代（29.6%）、10歳代（29.1%）が約3割で続いている。

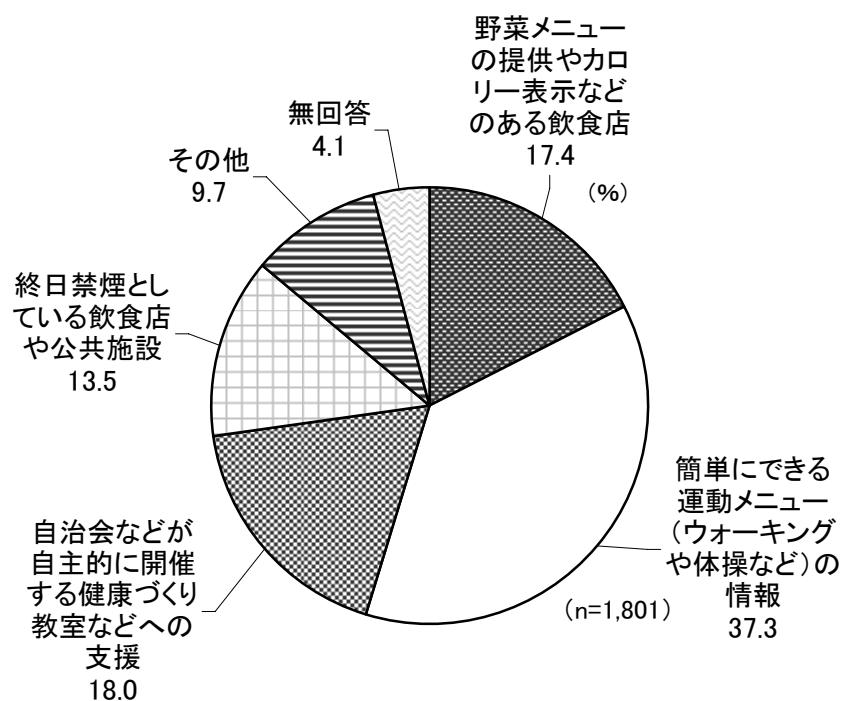
「興味はあるが、具体的な取り組み方がわからない」は20歳代（23.6%）が2割台で最も高い。ついで30歳代（20.9%）、80歳以上（20.3%）が約2割で続いている。

図表 健康づくりへの取組み（年代別）

	全 体	意識して取り組んでいる	体力が落ちてきたら取り組みたい	もう少し歳をとつてから取り組みたい	きっかけがあれば取り組みたい	興味はあるが、具体的な取り組み方がわからない	その他	興味・関心は特にない	無回答
全 体	100.0 1,801	41.5 748	5.3 96	2.2 40	24.4 440	17.2 310	3.2 58	4.2 76	1.8 33
10歳代	55	27.3	5.5	12.7	29.1	14.5	0.0	10.9	0.0
20歳代	161	29.8	6.2	6.2	27.3	23.6	1.2	4.3	1.2
30歳代	301	33.9	7.3	1.3	29.6	20.9	4.7	2.0	0.3
40歳代	283	32.9	8.5	2.1	33.2	14.5	3.9	3.9	1.1
50歳代	294	42.9	3.7	3.1	27.2	13.6	3.4	3.4	2.7
60歳代	348	52.3	4.9	0.9	19.3	16.1	2.6	2.9	1.1
70歳代	220	55.5	1.4	0.0	14.5	14.5	3.6	7.3	3.2
80歳以上	69	44.9	5.8	0.0	10.1	20.3	4.3	8.7	5.8

問6 あなたが健康づくりを進める上で、どのような環境が整備されるとよいと思いますか。(○は1つ)

図表 健康づくりのための環境整備



健康づくりのための環境整備について聞いたところ、「簡単にできる運動メニュー（ウォーキングや体操など）の情報」(37.3%) が3割台半ばを超えて最も高い。ついで「自治会・町内会・団体などが自主的に開催する健康づくり教室などへの支援」(18.0%)、「野菜メニューの提供やカロリー表示などのある飲食店」(17.4%)、「終日禁煙している飲食店や公共施設」(13.5%) が続いている。

性別でみると、「野菜メニューの提供やカロリー表示などのある飲食店」、「自治会などが自主的に開催する健康づくり教室などへの支援」は女性の割合が高い。一方、「簡単にできる運動メニュー（ウォーキングや体操など）の情報」などは男性の割合が高くなっている。

図表 健康づくりのための環境整備（性別）

	全 体	野菜メニューの提供やカロリー表示などのある飲食店	簡単にできる運動メニュー（ウォーキングや体操など）の情報	自治会などが自主的に開催する健康づくり教室などへの支援	終日禁煙としている飲食店や公共施設	その他	無回答
全 体	100.0 1,801	17.4 314	37.3 672	18.0 324	13.5 243	9.7 175	4.1 73
男性	763	14.8	41.0	13.4	15.1	11.8	3.9
女性	948	19.8	34.4	21.5	12.8	8.1	3.4

年代別でみると、全体的に80歳以上（20.3%）を除いて、年代が低いと割合が高くなる傾向にある。その中でも「野菜メニューの提供やカロリー表示などのある飲食店」は10歳代（27.3%）が2割台半ばを超えて最も高い。

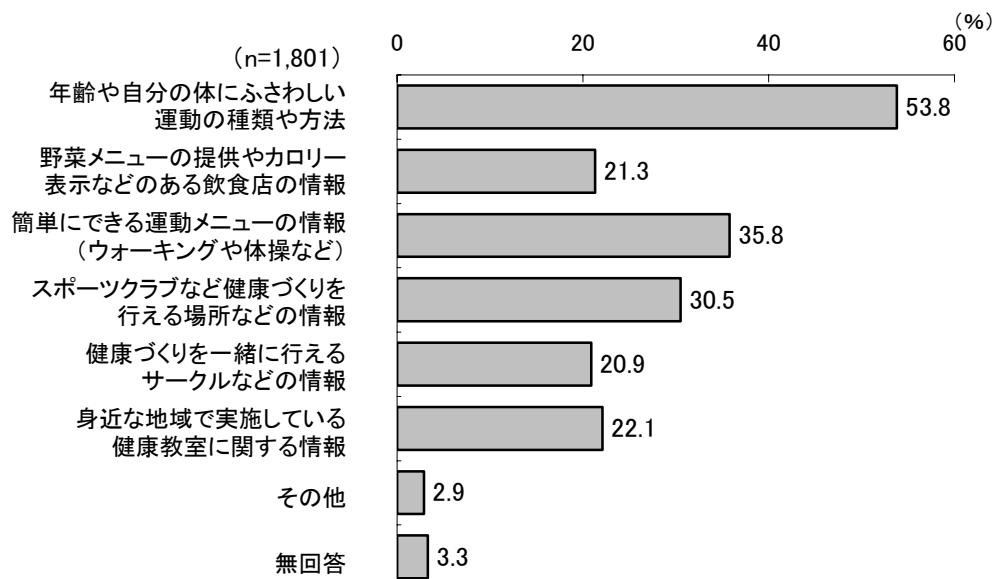
「簡単にできる運動メニュー（ウォーキングや体操など）の情報」は、70歳代（45.9%）が4割台半ばで最も高い。ついで50歳代（41.8%）が4割台で続いている。

図表 健康づくりのための環境整備（年代別）

	全 体	野菜メニューの提供やカロリー表示などのある飲食店	簡単にできる運動メニュー（ウォーキングや体操など）の情報	自治会などが自主的に開催する健康づくり教室などへの支援	終日禁煙としている飲食店や公共施設	その他	無回答
全 体	100.0 1,801	17.4 314	37.3 672	18.0 324	13.5 243	9.7 175	4.1 73
10歳代	55	27.3	38.2	3.6	25.5	5.5	0.0
20歳代	161	24.2	26.7	18.6	18.0	7.5	5.0
30歳代	301	20.6	33.6	15.3	17.3	11.0	2.3
40歳代	283	17.7	35.3	15.5	17.7	11.7	2.1
50歳代	294	16.0	41.8	15.0	10.9	11.6	4.8
60歳代	348	13.5	39.7	25.3	9.8	8.9	2.9
70歳代	220	13.6	45.9	17.3	8.6	9.1	5.5
80歳以上	69	20.3	26.1	26.1	10.1	2.9	14.5

問7 次の項目のうち、知りたいと思う健康づくりの情報はどれですか。
(○はいくつでも)

図表 知りたい健康づくりの情報



知りたい健康づくりの情報について聞いたところ、「年齢や自分の体にふさわしい運動の種類や方法」(53.8%)が5割台で最も高い。ついで「簡単にできる運動メニューの情報（ウォーキングや体操など）」(35.8%)、「スポーツクラブなど健康づくりを行える場所などの情報」(30.5%)が3割台で続いている。

性別でみると、女性が男性より高い項目がほとんどだが、「スポーツクラブなど健康づくりを行える場所などの情報」は男性（34.3%）が女性（28.5%）よりも高くなっている。

図表 知りたい健康づくりの情報（性別）

	全 体	年齢や自分の体にふさわしい運動の種類や方法	野菜メニューの提供やカロリー表示などのある飲食店の情報	簡単にできる運動メニューの情報（ウォーキングや体操など）	スポーツクラブなど健康づくりを行える場所などの情報	健康づくりと一緒に行えるサークルなどの情報	身近な地域で実施している健康教室に関する情報	その他	無回答
全 体	100.0 1,801	53.8 969	21.3 383	35.8 645	30.5 550	20.9 377	22.1 398	2.9 52	3.3 60
男性	763	51.0	17.2	36.0	34.3	18.6	18.0	3.1	3.7
女性	948	56.8	24.9	36.1	28.5	23.3	26.1	2.5	2.2

年代別でみると、「簡単にできる運動メニューの情報（ウォーキングや体操など）」は60歳代（40.5%）、50歳代（39.5%）が約4割で高い。

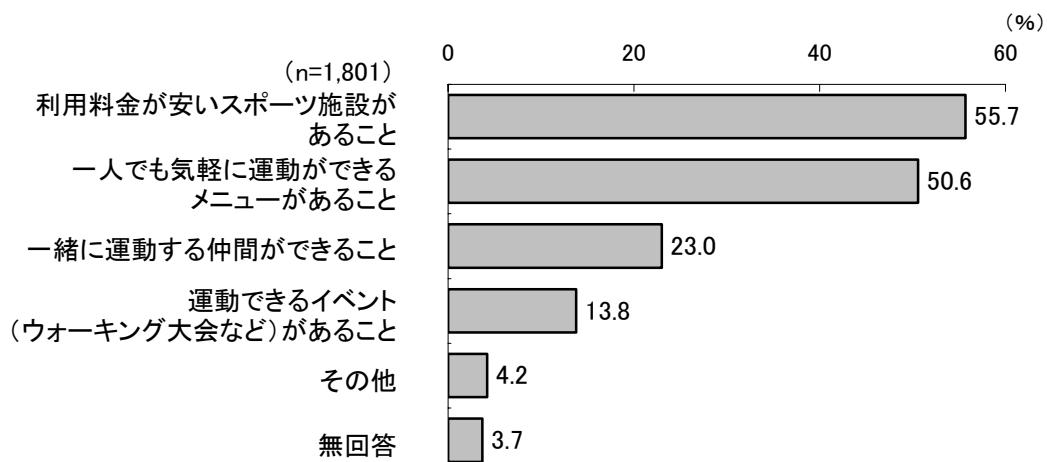
「スポーツクラブなど健康づくりを行える場所などの情報」は、10歳代（52.7%）が5割台で最も高い。一方、80歳以上（2.9%）は1割にも満たず最も低い。全体的に、年代が低いと割合が高くなる傾向にある。

図表 知りたい健康づくりの情報（年代別）

	全 体	年齢や自分の体にふさわしい運動の種類や方法	野菜メニューの提供やカロリー表示などのある飲食店の情報	簡単にできる運動メニューの情報（ウォーキングや体操など）	スポーツクラブなど健康づくりを行える場所などの情報	健康づくりと一緒に行えるサークルなどの情報	身近な地域で実施している健康教室に関する情報	その他	無回答
全 体	100.0 1,801	53.8 969	21.3 383	35.8 645	30.5 550	20.9 377	22.1 398	2.9 52	3.3 60
10歳代	55	50.9	21.8	34.5	52.7	5.5	1.8	1.8	0.0
20歳代	161	55.9	31.7	28.6	42.9	25.5	19.9	1.9	1.9
30歳代	301	53.8	20.9	31.2	43.9	19.3	19.9	3.7	0.7
40歳代	283	54.8	19.4	36.4	41.0	21.9	23.3	3.5	2.1
50歳代	294	51.7	22.1	39.5	30.6	24.5	25.5	1.7	3.4
60歳代	348	53.2	19.3	40.5	19.3	24.4	28.2	2.0	4.0
70歳代	220	55.5	17.7	36.4	13.2	16.8	20.5	4.5	4.5
80歳以上	69	58.0	23.2	36.2	2.9	10.1	10.1	2.9	13.0

問8 あなたが運動に取り組むきっかけとなりそうな環境はどんなものですか。
(○はいくつでも)

図表 運動に取組むきっかけになる環境



運動に取組むきっかけになる環境について聞いたところ、「利用料金が安いスポーツ施設があること」(55.7%)、「一人でも気軽に運動ができるメニュー（ウォーキングや体操など）があること」(50.6%) がそれぞれ5割台で高い。ついで「一緒に運動する仲間ができること」(23.0%)、「運動できるイベント（ウォーキング大会や体操教室など）があること」(13.8%) が続いている。

性別でみると、全体的に女性が男性よりも高い。特に「利用料金が安いスポーツ施設があること」は女性（59.9%）が約6割で、男性（52.8%）よりも高くなっている。

図表 運動に取組むきっかけになる環境（性別）

	全 体	利用料金が安いスポーツ施設があること	一人でも気軽に運動ができるメニューがあること	一緒に運動する仲間ができること	運動できるイベント（ウォーキング大会など）があること	その他	無回答
全 体	100.0 1,801	55.7 1,003	50.6 912	23.0 414	13.8 249	4.2 75	3.7 67
男性	763	52.8	49.4	20.8	13.2	4.6	3.4
女性	948	59.9	52.2	24.9	14.8	3.6	3.2

年代別でみると、「利用料金が安いスポーツ施設があること」は30歳代（77.1%）が7割台半ばを超えて高い。ついで20歳代（70.2%）が約7割で続いている。

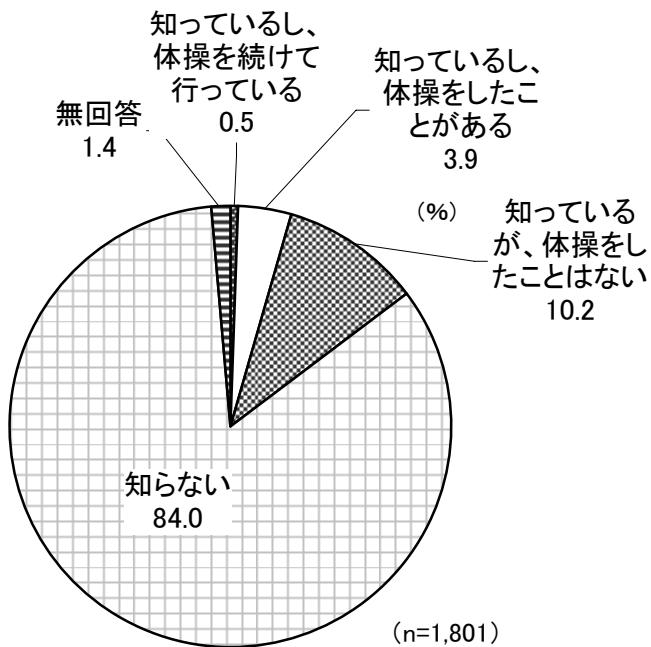
「一人でも気軽に運動ができるメニュー（ウォーキングや体操など）があること」は50歳代から70歳代が約6割で高くなっている。

図表 運動に取組むきっかけになる環境（年代別）

	全 体	利用料金が安いスポーツ施設があること	一人でも気軽に運動ができるメニューがあること	一緒に運動する仲間ができること	運動できるイベント（ウォーキング大会など）があること	その他	無回答
全 体	100.0 1,801	55.7 1,003	50.6 912	23.0 414	13.8 249	4.2 75	3.7 67
10歳代	55	63.6	29.1	38.2	7.3	3.6	0.0
20歳代	161	70.2	36.6	31.1	13.7	6.2	1.2
30歳代	301	77.1	41.9	18.6	14.0	4.3	0.3
40歳代	283	64.3	47.3	20.5	15.5	6.4	1.4
50歳代	294	55.8	58.5	21.8	12.6	3.7	2.7
60歳代	348	45.4	60.3	22.7	17.8	2.3	4.6
70歳代	220	34.1	59.5	25.5	11.8	2.7	7.3
80歳以上	69	24.6	46.4	21.7	8.7	2.9	20.3

問9 戸塚区では、「はまちゃん体操」をみなさんにお勧めしていますが、この体操を知っていますか。(○は1つ)

図表 「はまちゃん体操」の認知度



「はまちゃん体操」の認知度について聞いたところ、「知らない」(84.0%)が8割台で極めて高い。一方、「知っているし、体操を続けて行っている」(0.5%)、「知っているし、体操をしたことがある」(3.9%)、「知っているが、体操をしたことはない」(10.2%)を合わせた『知っている』層(14.6%)は、1割台半ばで低くなっている。

年代別でみると、どの年代も「知らない」の割合が高いが、60歳代から80歳以上は『知っている』層がそれぞれ2割を超える。一方、10歳代（0.0%）、20歳代（2.5%）は1割にも満たず、特に低い。全体的に、年代が高いと割合が高くなる傾向にある。

図表 「はまちゃん体操」の認知度（年代別）

	全 体	知っている し、体操を 続けて 行っている	知っている し、体操を したことが ある	知っている が、体操を したことは ない	知らない	無回答
全 体	100.0 1,801	0.5 9	3.9 70	10.2 184	84.0 1,512	1.4 26
10歳代	55	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
20歳代	161	0.0	0.0	2.5	97.5	0.0
30歳代	301	0.3	1.0	8.3	90.0	0.3
40歳代	283	0.0	2.8	7.4	89.0	0.7
50歳代	294	0.0	2.7	7.1	87.8	2.4
60歳代	348	1.1	5.7	13.5	79.0	0.6
70歳代	220	0.5	9.5	18.6	68.6	2.7
80歳以上	69	1.4	10.1	18.8	65.2	4.3

地域別でみると、『知っている』層は、舞岡・柏尾地域（23.0%）が2割台で最も高い。ついで平戸・平戸平和台地域（16.9%）が1割台半ばを超えて続いている。

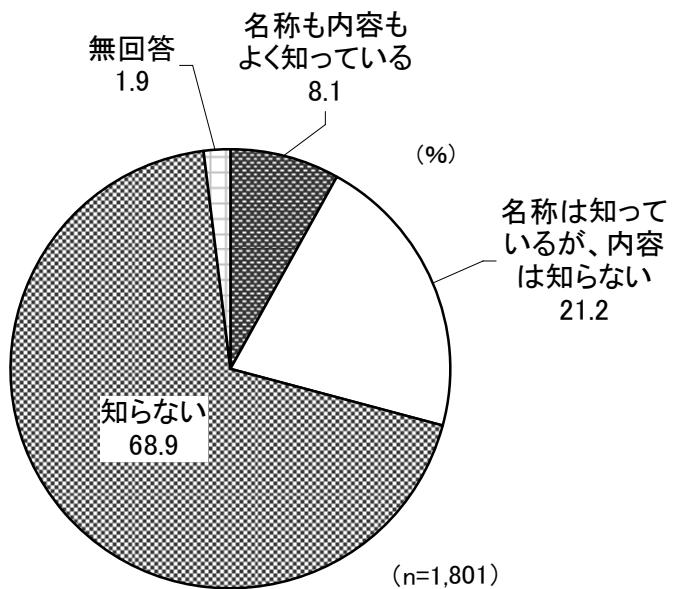
図表 「はまちゃん体操」の認知度（地域別）

	全 体	知っている し、体操を 続けて 行っている	知っている し、体操を したことが ある	知っている が、体操を したことは ない	知らない	無回答
全 体	100.0 1,801	0.5 9	3.9 70	10.2 184	84.0 1,512	1.4 26
平戸・平戸平和台地域	142	0.7	2.1	14.1	81.7	1.4
品濃町・川上地域	260	0.0	3.5	9.2	86.9	0.4
名瀬・上矢部地域	189	0.5	3.7	7.9	85.7	2.1
舞岡・柏尾地域	152	1.3	5.3	16.4	77.0	0.0
汲沢・吉田地域	346	0.0	5.2	9.0	84.1	1.7
倉田地域	174	0.6	2.9	8.0	87.9	0.6
戸塚地域	208	0.5	3.8	10.1	83.7	1.9
深谷・原宿地域	257	0.8	3.1	8.6	86.8	0.8

【 温暖化防止対策（CO—DO30）について 】

問10 あなたは横浜市の脱温暖化行動方針（CO—DO30）を知っていますか。
(○は1つ)

図表 横浜市の脱温暖化行動方針（CO—DO30）の認知度



横浜市の脱温暖化行動方針（CO—DO30）の認知度について聞いたところ、「知らない」(68.9%) が6割台半ばを超えて最も高い。一方、「名称も内容もよく知っている」(8.1%) は1割にも満たず、低くなっている。

性別でみると、「知らない」は男性（72.5%）が女性（67.0%）よりも高くなっている。

図表 横浜市の脱温暖化行動方針（C O - D O 3 O）の認知度（性別）

	全 体	名称も内容 もよく知つ ている	名称は知つ ているが、 内容は知ら ない	知らない	無回答
全 体	100.0 1,801	8.1 145	21.2 381	68.9 1,240	1.9 35
男性	763	6.3	20.1	72.5	1.2
女性	948	9.2	21.7	67.0	2.1

年代別でみると、「名称は知っているが、内容は知らない」は60歳代（35.9%）が3割台半ばで最も高い。ついで70歳代（31.8%）が3割台で続いている。一方、「知らない」は20歳代（90.1%）が約9割で最も高い。ついで10歳代（85.5%）、30歳代（82.7%）がそれぞれ8割台で続いている。

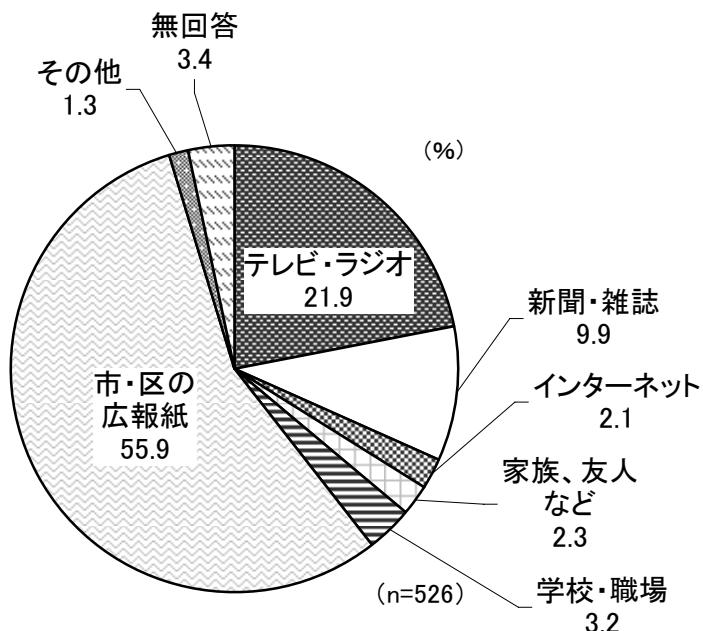
図表 横浜市の脱温暖化行動方針（C O - D O 3 O）の認知度（年代別）

	全 体	名称も内容 もよく知つ ている	名称は知つ ているが、 内容は知ら ない	知らない	無回答
全 体	100.0 1,801	8.1 145	21.2 381	68.9 1,240	1.9 35
10歳代	55	5.5	7.3	85.5	1.8
20歳代	161	3.1	6.8	90.1	0.0
30歳代	301	4.0	13.0	82.7	0.3
40歳代	283	5.3	15.2	79.2	0.4
50歳代	294	9.5	21.1	67.7	1.7
60歳代	348	9.8	35.9	52.9	1.4
70歳代	220	15.5	31.8	48.6	4.1
80歳以上	69	7.2	15.9	65.2	11.6

(問10で「1」・「2」と答えた方に)

問10-1 脱温暖化行動方針（C O - D O 3 0）に関する情報をどこから得されましたか。（○は1つ）

図表 脱温暖化行動方針に関する情報取得元



脱温暖化行動方針に関する情報取得元について聞いたところ、「市・区の広報紙」(55.9%)が5割台半ばで最も高い。ついで「テレビ・ラジオ」(21.9%)、「新聞・雑誌」(9.9%)が続いている。

性別でみると、「テレビ・ラジオ」、「市・区の広報紙」などは女性の割合が高く、「新聞・雑誌」などは男性の割合が高くなっている。

図表 脱温暖化行動方針に関する情報取得元（性別）

	全 体	テレビ・ラジオ	新聞・雑誌	インター ネット	家族、友人 など	学校・職場	市・区の 広報紙	その他	無回答
全 体	100.0 526	21.9 115	9.9 52	2.1 11	2.3 12	3.2 17	55.9 294	1.3 7	3.4 18
男性	201	16.9	12.4	5.0	1.0	6.0	52.7	2.0	4.0
女性	293	24.6	7.8	0.3	3.4	1.4	59.4	1.0	2.0

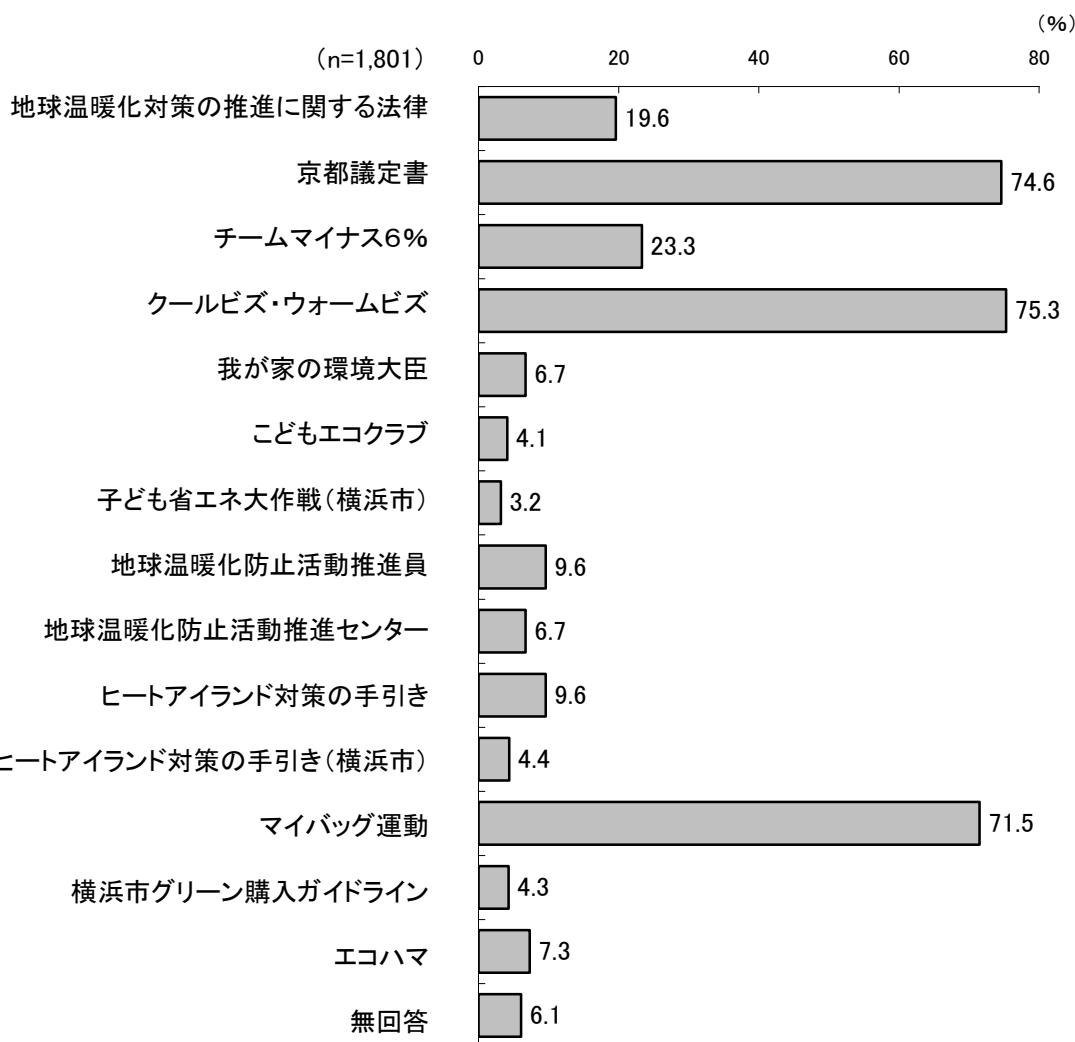
地域別でみると、「市・区の広報紙」は深谷・原宿地域（68.0%）が6割台半ばを超えて最も高い。ついで品濃町・川上地域（64.1%）が6割台半ばで続いている。一方、平戸・平戸平和台地域（46.8%）、戸塚地域（46.8%）はそれぞれ4割台半ばで低くなっている。

図表 脱温暖化行動方針に関する情報取得元（地域別）

	全 体	テレビ・ラジオ	新聞・雑誌	インター ネット	家族、友人 など	学校・職場	市・区の 広報紙	その他	無回答
全 体	100.0 526	21.9 115	9.9 52	2.1 11	2.3 12	3.2 17	55.9 294	1.3 7	3.4 18
平戸・平戸平和台地域	47	25.5	19.1	2.1	0.0	6.4	46.8	0.0	0.0
品濃町・川上地域	64	18.8	6.3	0.0	6.3	3.1	64.1	1.6	0.0
名瀬・上矢部地域	50	18.0	4.0	8.0	4.0	6.0	54.0	4.0	2.0
舞岡・柏尾地域	56	30.4	10.7	0.0	1.8	0.0	50.0	0.0	7.1
汲沢・吉田地域	111	21.6	13.5	1.8	1.8	1.8	55.0	1.8	2.7
倉田地域	48	20.8	10.4	0.0	0.0	2.1	58.3	2.1	6.3
戸塚地域	47	25.5	8.5	2.1	4.3	4.3	46.8	2.1	6.4
深谷・原宿地域	75	16.0	5.3	4.0	1.3	4.0	68.0	0.0	1.3

問11 「地球温暖化」の取組について知っているものをお選びください。
(○はいくつでも)

図表 「地球温暖化」の取組みについて知っているもの



「地球温暖化」の取組みについて知っているものを聞いたところ、「クールビズ・ウォームビズ」(75.3%)、「京都議定書」(74.6%)、「マイバッグ運動」(71.5%) の3つが7割台で高い。ついで「チームマイナス6%」(23.3%)、「地球温暖化対策の推進に関する法律」(19.6%)が続いている。

性別でみると、「地球温暖化対策の推進に関する法律」、「京都議定書」、「チームマイナス6%」などは男性の割合が高く、「クールビズ・ウォームビズ」、「マイバッグ運動」などは女性の割合が高くなっている。

図表 「地球温暖化」の取組みについて知っているもの（性別）

	全 体	地球温暖化対策の推進に関する法律	京都議定書	チームマイナス6%	クールビズ・ウォームビズ	我が家環境大臣	こどもエコクラブ	子ども省エネ大作戦	地球温暖化防止活動推進員	地球温暖化防止活動推進センター
全 体	100.0 1,801	19.6 353	74.6 1,344	23.3 419	75.3 1,357	6.7 120	4.1 73	3.2 57	9.6 173	6.7 120
男性	763	23.5	81.4	26.9	73.7	5.8	2.8	2.4	7.5	5.8
女性	948	16.7	70.7	21.3	79.2	7.3	5.0	3.8	11.2	7.1

	全 体	ヒートアイランド対策の手引き	ヒートアイランド対策の手引き（横浜市）	マイバッグ運動	横浜市グリーン購入ガイドライン	エコハマ	無回答
全 体	100.0 1,801	9.6 173	4.4 80	71.5 1,287	4.3 78	7.3 131	6.1 110
男性	763	10.9	4.3	63.6	4.1	5.4	5.5
女性	948	9.0	4.6	80.1	4.3	8.6	5.6

年代別でみると、「京都議定書」は50歳代(82.7%)、60歳代(81.6%)がそれぞれ8割台で高い。

「チームマイナス6%」は10歳代から30歳代はそれぞれ4割台で高い。一方、60歳代から80歳以上はそれぞれ1割にも満たず、低くなっている。

「クールビズ・ウォームビズ」は30歳代(86.4%)、50歳代(86.4%)がそれぞれ8割台半ばで最も高くなっている。

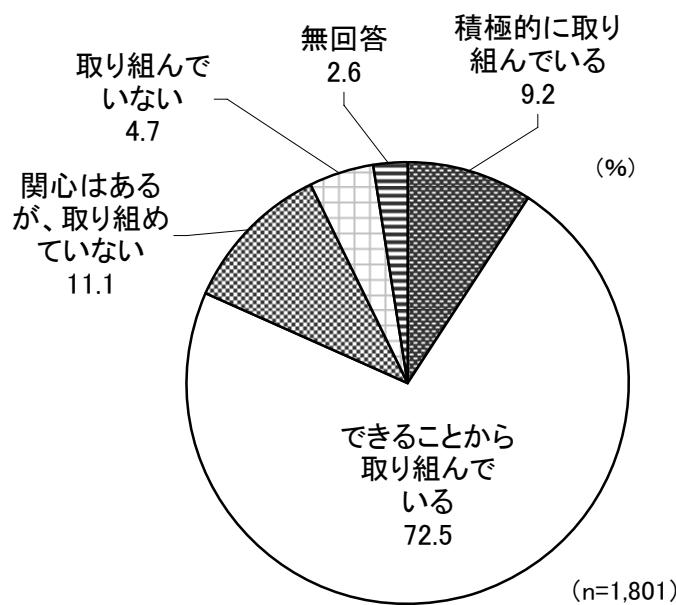
図表 「地球温暖化」の取組みについて知っているもの（年代別）

	全 体	地球温暖化対策の推進に関する法律	京都議定書	チームマイナス6%	クールビズ・ウォームビズ	我が家環境大臣	こどもエコクラブ	子ども省エネ大作戦	地球温暖化防止活動推進員	地球温暖化防止活動推進センター
全 体	100.0 1,801	19.6 353	74.6 1,344	23.3 419	75.3 1,357	6.7 120	4.1 73	3.2 57	9.6 173	6.7 120
10歳代	55	21.8	78.2	41.8	74.5	3.6	1.8	3.6	7.3	3.6
20歳代	161	18.6	69.6	44.7	80.1	6.8	1.9	5.0	8.1	3.1
30歳代	301	18.6	71.8	43.9	86.4	5.3	4.0	2.0	7.3	4.3
40歳代	283	18.0	71.7	30.4	79.5	7.8	6.4	4.2	8.5	4.6
50歳代	294	20.4	82.7	21.4	86.4	7.8	5.1	2.0	10.5	6.1
60歳代	348	20.4	81.6	6.9	73.0	7.8	3.2	3.2	12.1	7.8
70歳代	220	22.7	73.6	3.6	57.7	4.5	2.7	3.6	11.8	14.1
80歳以上	69	18.8	56.5	1.4	36.2	4.3	2.9	2.9	8.7	7.2

	全 体	ヒートアイランド対策の手引き	ヒートアイランド対策の手引き（横浜市）	マイバッグ運動	横浜市グリーン購入ガイドライン	エコハマ	無回答
全 体	100.0 1,801	9.6 173	4.4 80	71.5 1,287	4.3 78	7.3 131	6.1 110
10歳代	55	16.4	5.5	70.9	12.7	9.1	5.5
20歳代	161	6.8	2.5	70.2	3.1	3.1	6.8
30歳代	301	7.6	1.3	77.4	4.0	7.0	3.7
40歳代	283	11.0	3.9	70.0	4.2	4.9	5.3
50歳代	294	10.9	5.8	78.2	6.1	7.8	3.1
60歳代	348	12.4	5.7	77.9	3.7	11.8	3.7
70歳代	220	7.7	7.3	61.8	2.3	6.4	10.9
80歳以上	69	4.3	4.3	40.6	0.0	2.9	20.3

問12 あなたは現在、温暖化防止対策（省エネ、リサイクルなど）に取り組んでいますか。（○は1つ）

図表 温暖化防止対策（省エネ、リサイクルなど）への取組み



温暖化防止対策（省エネ、リサイクルなど）への取組みについて聞いたところ、「できるところから取り組んでいる」（72.5%）が7割台で最も高い。「積極的に取り組んでいる」（9.2%）と「できるところから取り組んでいる」を合わせた『取り組んでいる』層（81.7%）は8割台となり、「関心はあるが取り組めていない」（11.1%）と「取り組んでいない」（4.7%）を合わせた『取り組んでいない』層（15.8%）を大きく上回っている。

性別でみると、『取り組んでいる』層は女性（87.7%）が男性（75.9%）よりも割合が高い。一方、『取り組めていない』層は男性（22.3%）が女性（10.1%）よりも高くなっている。

図表 温暖化防止対策（省エネ、リサイクルなど）への取組み（性別）

	全 体	積極的に取り組んでいる	できることから取り組んでいる	関心はあるが、取り組めていない	取り組んでいない	無回答
全 体	100.0 1,801	9.2 165	72.5 1,306	11.1 200	4.7 84	2.6 46
男性	763	8.3	67.6	15.3	6.9	1.8
女性	948	9.9	77.7	7.3	2.8	2.2

年代別でみると、『取り組んでいる』層は 50 歳代（88.1%）が 8 割台半ばを超えて最も高い。ついで 60 歳代（86.5%）が続いている。

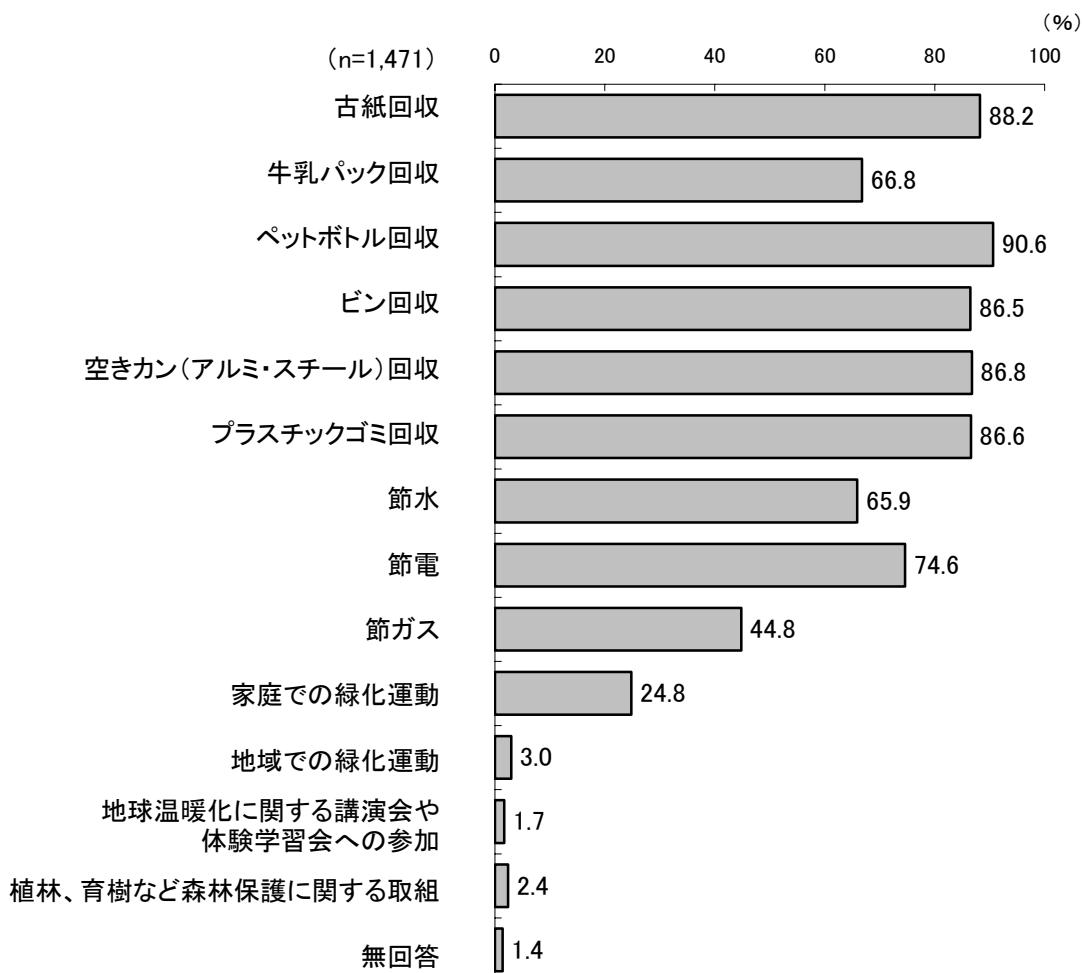
図表 温暖化防止対策（省エネ、リサイクルなど）への取組み（年代別）

	全 体	積極的に取り組んでいる	できることから取り組んでいる	関心はあるが、取り組めていない	取り組んでいない	無回答
全 体	100.0 1,801	9.2 165	72.5 1,306	11.1 200	4.7 84	2.6 46
10 歳代	55	14.5	58.2	16.4	9.1	1.8
20 歳代	161	6.2	68.3	18.0	6.8	0.6
30 歳代	301	5.0	79.1	12.0	3.7	0.3
40 歳代	283	4.9	78.8	10.6	4.9	0.7
50 歳代	294	9.2	78.9	8.8	2.0	1.0
60 歳代	348	10.9	75.6	8.9	2.9	1.7
70 歳代	220	18.6	61.4	8.6	5.9	5.5
80 歳以上	69	5.8	43.5	15.9	15.9	18.8

(問12で「1」・「2」と答えた方に)

問12-1 あなたの取組を教えてください。(○はいくつでも)

図表 現在取り組んでいる温暖化防止対策



現在取り組んでいる温暖化防止対策について聞いたところ、「ペットボトル回収」(90.6%) が約9割で最も高い。ついで「古紙回収」(88.2%)、「空きカン(アルミ・スチール)回収」(86.8%)、「プラスチックゴミ回収」(86.6%)、「ビン回収」(86.5%) が8割台半ばを超えて続いている。

性別でみると、全体的に女性の割合が男性の割合よりも高くなっている。

図表 現在取り組んでいる温暖化防止対策（性別）

	全 体	古紙回収	牛乳パック 回収	ペットボト ル回収	ピン回収	空きカン (アルミ・ スチール) 回収	プラスチッ クゴミ回収	節水	節電	節ガス
全 体	100.0 1,471	88.2 1,297	66.8 983	90.6 1,333	86.5 1,273	86.8 1,277	86.6 1,274	65.9 969	74.6 1,097	44.8 659
男性	579	85.0	63.9	87.9	82.9	83.6	81.9	63.4	73.9	40.2
女性	831	90.3	69.1	92.4	89.4	89.0	89.9	68.0	75.1	47.8

	全 体	家庭での 緑化運動	地域での 緑化運動	地球温暖化 に関する講 演会や体験 学習会への 参加	植林、育樹 など森林保 護に関する 取組	無回答
全 体	100.0 1,471	24.8 365	3.0 44	1.7 25	2.4 36	1.4 20
男性	579	24.0	2.8	1.6	2.9	1.0
女性	831	25.6	2.5	1.6	1.8	1.6

年代別でみると、全体的に年代が高いと割合が高くなる傾向にある。

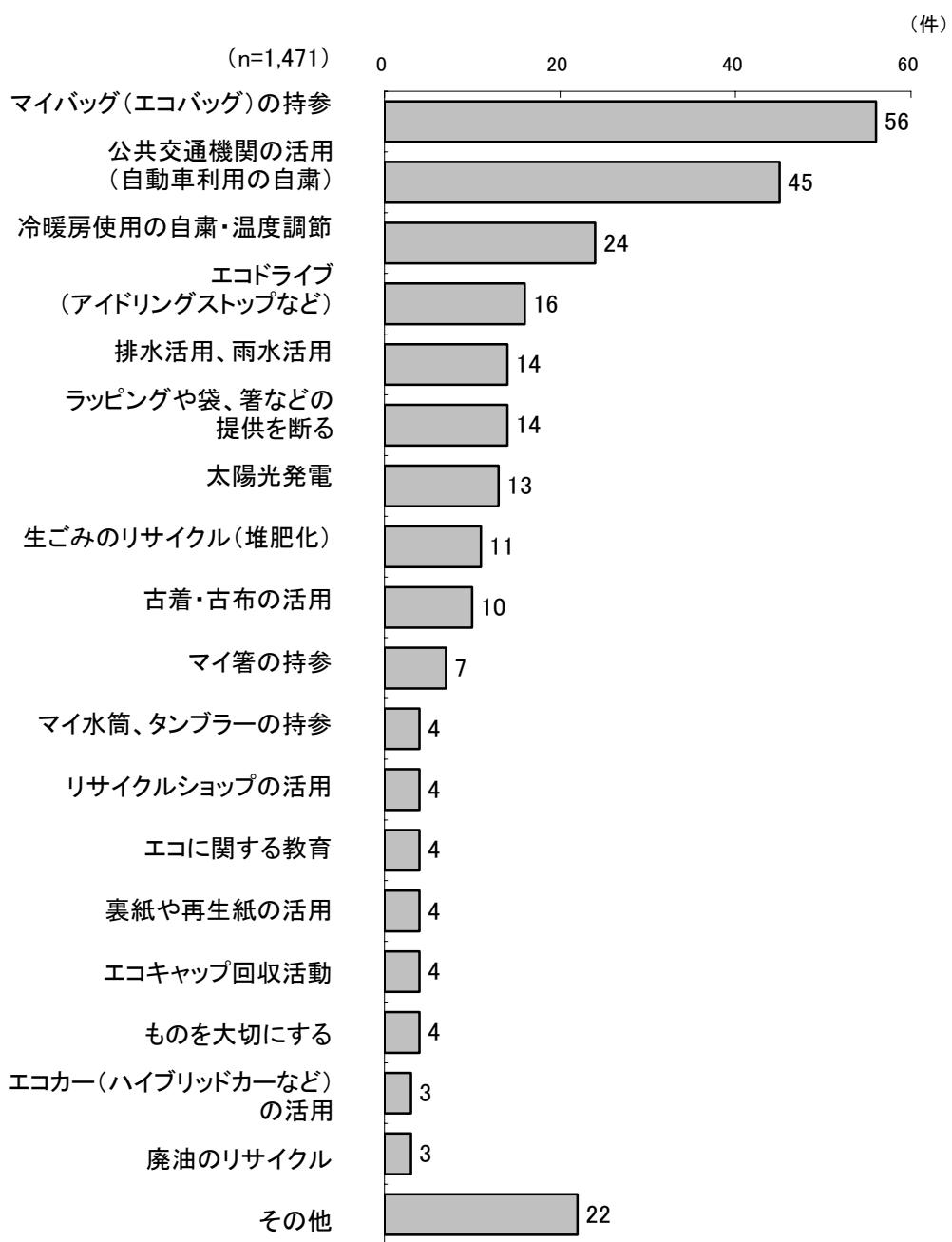
図表 現在取り組んでいる温暖化防止対策（年代別）

	全 体	古紙回収	牛乳パック 回収	ペット ボトル回収	ピン回収	空きカン (アルミ・ スチール) 回収	プラスチッ クゴミ回収	節水	節電	節ガス
全 体	100.0 1,471	88.2 1,297	66.8 983	90.6 1,333	86.5 1,273	86.8 1,277	86.6 1,274	65.9 969	74.6 1,097	44.8 659
10歳代	40	57.5	42.5	67.5	50.0	50.0	57.5	57.5	75.0	32.5
20歳代	120	73.3	53.3	82.5	70.0	70.8	70.8	58.3	69.2	38.3
30歳代	253	86.6	68.0	90.9	84.2	85.4	85.4	62.5	70.8	41.1
40歳代	237	92.0	68.8	91.6	89.5	87.3	89.0	57.8	70.5	39.2
50歳代	259	90.7	69.9	93.4	91.5	92.3	90.7	66.4	73.7	42.5
60歳代	301	91.4	67.4	92.4	91.4	91.4	90.4	73.4	80.7	51.5
70歳代	176	92.0	73.3	92.0	90.3	91.5	89.8	75.0	77.3	54.5
80歳以上	34	91.2	61.8	88.2	91.2	85.3	85.3	79.4	85.3	50.0

	全 体	家庭での 緑化運動	地域での 緑化運動	地球温暖化 に関する講 演会や体験 学習会への 参加	植林、育樹 など森林保 護に関する 取組	無回答
全 体	100.0 1,471	24.8 365	3.0 44	1.7 25	2.4 36	1.4 20
10歳代	40	17.5	5.0	5.0	5.0	0.0
20歳代	120	11.7	0.0	0.8	1.7	2.5
30歳代	253	15.8	0.4	1.2	2.0	0.4
40歳代	237	19.0	1.7	1.3	1.3	0.8
50歳代	259	24.7	2.7	1.2	2.3	1.5
60歳代	301	36.9	5.3	2.3	2.0	1.0
70歳代	176	33.0	4.5	1.7	4.5	2.8
80歳以上	34	35.3	2.9	0.0	0.0	2.9

問12－2 その他に取り組める取組がありましたら、ご自由にご記入ください。

図表 取り組める温暖化防止対策



取り組める温暖化防止対策について自由記述形式で聞いたところ、237名から、のべ262件の意見が寄せられた。

寄せられた意見のうち、「マイバッグ(エコバッグ)の持参」(56件)、「公共交通機関の活用(自動車利用の自粛)」(45件)、「冷暖房使用の自粛・温度調節」(24件)については特に多くの意見が寄せられた。

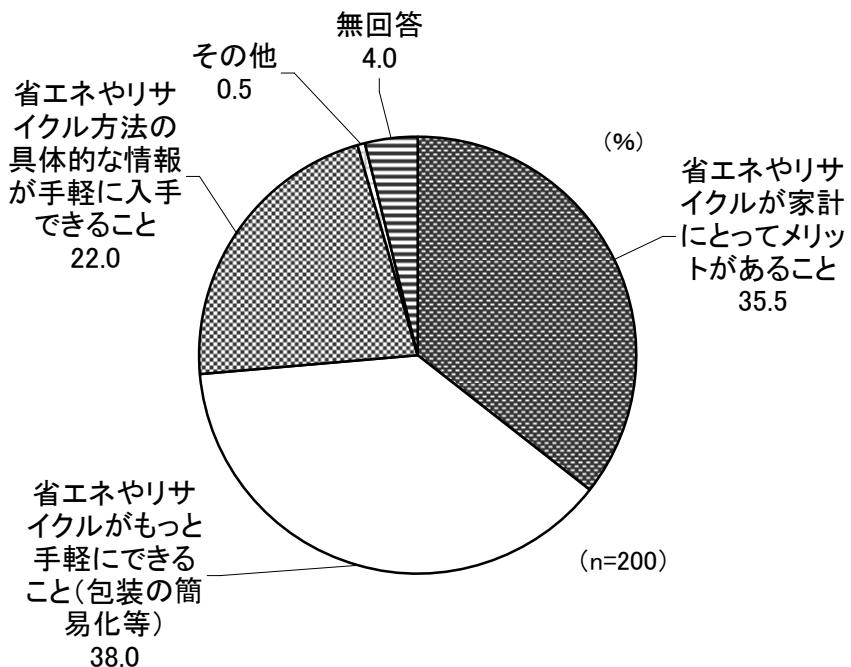
寄せられた意見（抜粋）

- ・ 以前は考えなかったが買物に行く時はマイバッグ持参を心かけ、買物をして包装紙、袋に関してもいらないと意志表示するようにしている。
- ・ 外出はできるだけ自転車、公共交通機関を利用して、自家用車の利用ができるだけ控える。
- ・ エアコンを極力使用せず、扇風機を活用する。もしくは、エアコンの設定温度を高めにし、扇風機を併用して部屋の風を循環させる。
- ・ アイドリングストップの呼びかけ。特に、バスターミナルやタクシー乗り場で、エンジンかけっぱなしの状態をよく見かけるので、停車中の時だけでも、エンジンを切るべきだと思う。
- ・ 風呂の残り湯を洗濯に利用したり、打ち水に使ったりする。
- ・ 過剰包装、スーパー やコンビニのレジ袋を断る。
- ・ 各家庭で太陽熱を利用し、省エネ効果につながる。その為には補助金等でソーラーパネル等を買うことができる様にする。
- ・ 現在、生ごみを土に戻す還元システムに取り組んでいます。ごみと思わずに資源として見れば、わざわざ燃やしてCO₂を出すやり方は間違えているはずです。コンポストだけでなく、団地やマンションでも取り組めるやり方を国や自治体からも推奨して欲しいと思います。
- ・ 古布の回収は、「きれいなもの」に限られていて、可燃ゴミに捨てるのが一般ですが、昔（40～50年前）のように、ボロ布も役にたてる事はないのでしょうか？昔々のようにおさがりを近所でまわす事もないし、けっこう着られるものも可燃ゴミで捨てるのが惜しい気がします。
- ・ マイ箸を持ち歩く。
- ・ タンブラーを持っていって容器を使わないようにする。
- ・ リサイクルショップの利用（売買ともに）
- ・ 子どもへのエコ教育
- ・ メモはいらなくなつた紙の裏を使う。トイレットペーパーなど再生紙を利用する。
- ・ ペットボトルのキャップがワクチンに（外国の病院など）なると聞いて、キャップのみ集めて活動している。大学に持って行っている。
- ・ 豊かな生活の意識を変えて必要最小限の“モノ”で幸せに安全に暮らそうとする心がまえ。“モノ”を持ち過ぎないことがゴミの減量につながると思う。
- ・ 自家用車をハイブリッド車にする。
- ・ 使用済み天ぷら油の回収、リサイクル→ディーゼルシャトルバスに利用する。京都市同様に、交通機関に利用出来る使用済み油の回収を検討して下さい。

・ (問12で「3」と答えた方に)

問12-3 どのようなきっかけがあれば取り組めるようになると思いますか。
(○は1つ)

図表 溫暖化防止対策へのきっかけになること



温暖化防止対策へのきっかけになることについて聞いたところ、「省エネやリサイクルがもっと手軽にできること（包装の簡略化等）」（38.0%）が3割台半ばを超えて最も高いが、「省エネやリサイクルが家計にとってメリットがあること」（35.5%）も3割台半ばで、意見が分かれている。また、「省エネやリサイクル方法の具体的な情報が手軽に入手できること」（22.0%）は2割台となっている。

性別でみると、「省エネやリサイクル方法の具体的な情報が手軽に入手できること」は女性が男性よりも高くなっている。

図表 温暖化防止対策へのきっかけになること（性別）

	全 体	省エネやリサイクルが家計にとってメリットがあること	省エネやリサイクルがもっと手軽にできること（包装の簡易化等）	省エネやリサイクル方法の具体的な情報が手軽に入手できること	その他	無回答
全 体	100.0 200	35.5 71	38.0 76	22.0 44	0.5 1	4.0 8
男性	117	37.6	38.5	19.7	0.9	3.4
女性	69	34.8	34.8	26.1	0.0	4.3

年代別でみると、「省エネやリサイクルが家計にとってメリットがあること」は30歳代（58.3%）が5割台半ばを超えて最も高い。ついで20歳代（41.4%）、40歳代（40.0%）がそれぞれ約4割で続いている。

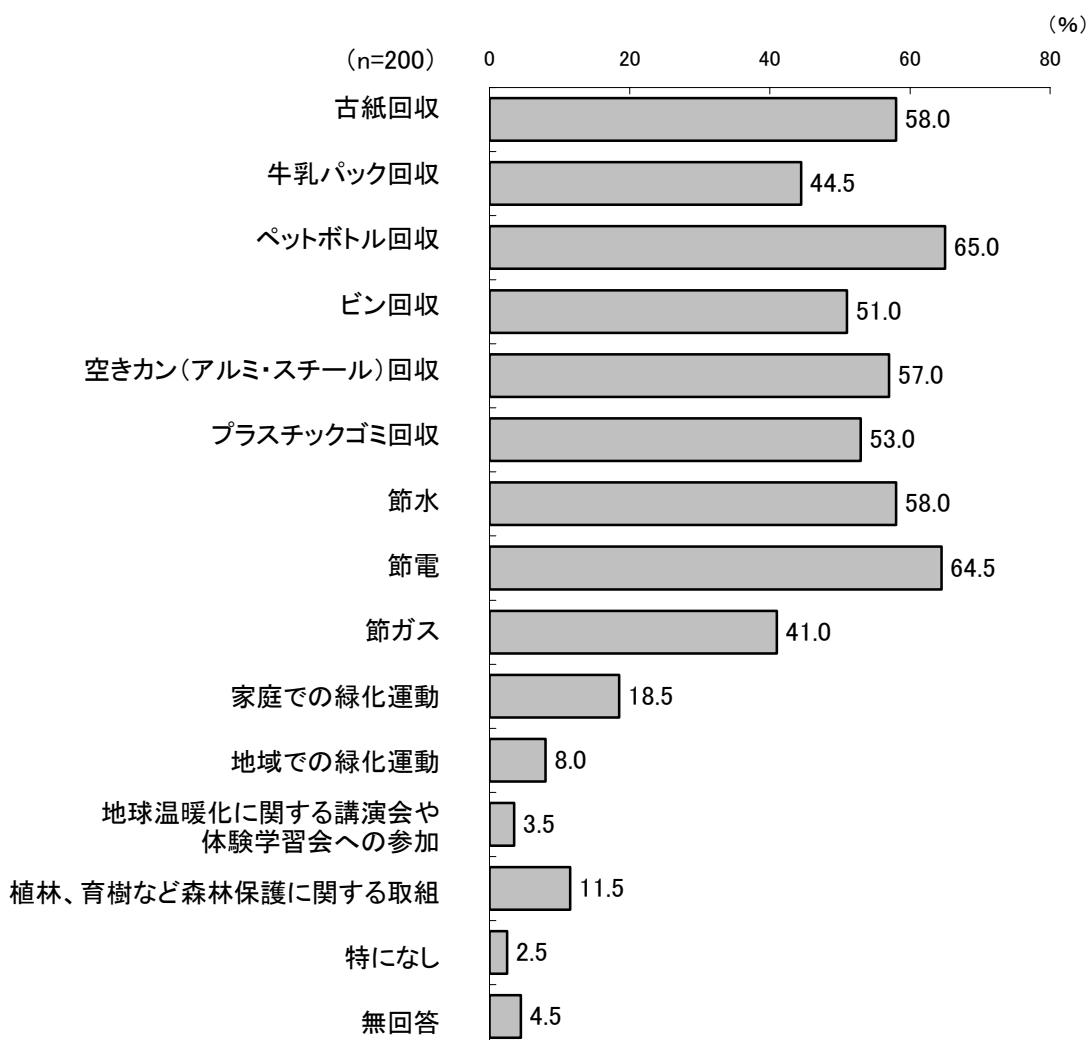
図表 温暖化防止対策へのきっかけになること（年代別）

	全 体	省エネやリサイクルが家計にとってメリットがあること	省エネやリサイクルがもっと手軽にできること（包装の簡易化等）	省エネやリサイクル方法の具体的な情報が手軽に入手できること	その他	無回答
全 体	100.0 200	35.5 71	38.0 76	22.0 44	0.5 1	4.0 8
10歳代	9	22.2	55.6	22.2	0.0	0.0
20歳代	29	41.4	41.4	17.2	0.0	0.0
30歳代	36	58.3	38.9	2.8	0.0	0.0
40歳代	30	40.0	36.7	20.0	0.0	3.3
50歳代	26	34.6	26.9	34.6	0.0	3.8
60歳代	31	25.8	29.0	35.5	3.2	6.5
70歳代	19	15.8	42.1	36.8	0.0	5.3
80歳以上	11	18.2	36.4	18.2	0.0	27.3

(問12で「3」と答えた方に)

問12-4 あなたが取り組めそうな活動があれば教えてください。
(○はいくつでも)

図表 取り組めそうな温暖化防止対策



取り組めそうな温暖化防止対策について聞いたところ、「ペットボトル回収」(65.0%)、「節電」(64.5%) がそれぞれ6割台半ばで高い。ついで「古紙回収」(58.0%)、「節水」(58.0%)、「空きカン(アルミ・スチール)回収」(57.0%) がそれぞれ5割台半ばを超えて続いている。

性別でみると、全体的に女性が男性よりも割合が高く、特に「ペットボトル回収」、「ビン回収」、「プラスチックゴミ回収」は男性との差が大きくなっている。一方、男性は「節ガス」が女性よりも高く、「節電」、「節水」もわずかに女性よりも高くなっている。

図表 取り組めそうな温暖化防止対策（性別）

	全 体	古紙回収	牛乳パック回収	ペットボトル回収	ビン回収	空きカン（アルミ・スチール）回収	プラスチックゴミ回収	節水	節電	節ガス
全 体	100.0 200	58.0 116	44.5 89	65.0 130	51.0 102	57.0 114	53.0 106	58.0 116	64.5 129	41.0 82
男性	117	54.7	39.3	57.3	44.4	51.3	47.9	58.1	65.8	44.4
女性	69	62.3	55.1	84.1	66.7	68.1	66.7	58.0	65.2	39.1

	全 体	家庭での緑化運動	地域での緑化運動	地球温暖化に関する講演会や体験学習会への参加	植林、育樹など森林保護に関する取組	特になし	無回答
全 体	100.0 200	18.5 37	8.0 16	3.5 7	11.5 23	2.5 5	4.5 9
男性	117	17.9	10.3	1.7	10.3	2.6	6.8
女性	69	20.3	4.3	5.8	11.6	2.9	0.0

年代別でみると、「ペットボトル回収」は30歳代（83.3%）が8割台で最も高い。ついで20歳代（75.9%）が7割台半ばで続いている。

図表 取り組めそうな温暖化防止対策（年代別）

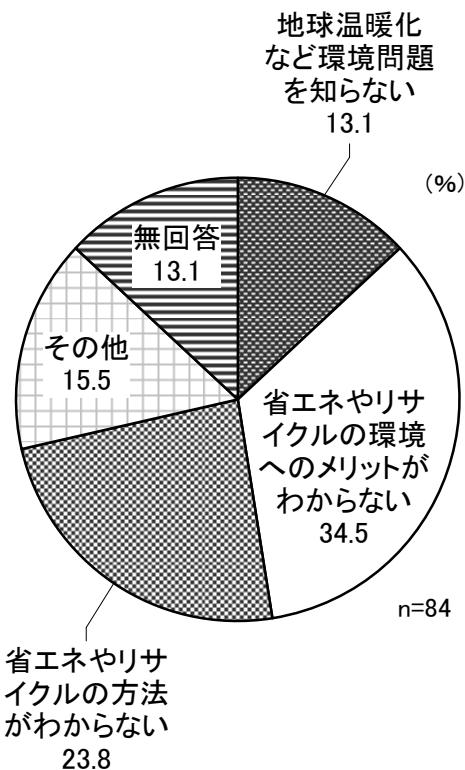
	全 体	古紙回収	牛乳パック回収	ペットボトル回収	ビン回収	空きカン（アルミ・スチール）回収	プラスチックゴミ回収	節水	節電	節ガス
全 体	100.0 200	58.0 116	44.5 89	65.0 130	51.0 102	57.0 114	53.0 106	58.0 116	64.5 129	41.0 82
10歳代	9	66.7	33.3	55.6	44.4	44.4	55.6	66.7	55.6	22.2
20歳代	29	48.3	37.9	75.9	55.2	55.2	55.2	55.2	69.0	41.4
30歳代	36	61.1	55.6	83.3	58.3	66.7	58.3	75.0	77.8	50.0
40歳代	30	60.0	60.0	66.7	60.0	66.7	60.0	63.3	76.7	43.3
50歳代	26	61.5	42.3	61.5	50.0	57.7	57.7	53.8	57.7	42.3
60歳代	31	54.8	29.0	54.8	38.7	48.4	45.2	48.4	58.1	45.2
70歳代	19	47.4	42.1	57.9	52.6	47.4	52.6	47.4	57.9	36.8
80歳以上	11	63.6	45.5	45.5	45.5	54.5	45.5	45.5	36.4	27.3

	全 体	家庭での緑化運動	地域での緑化運動	地球温暖化に関する講演会や体験学習会への参加	植林、育樹など森林保護に関する取組	特になし	無回答
全 体	100.0 200	18.5 37	8.0 16	3.5 7	11.5 23	2.5 5	4.5 9
10歳代	9	22.2	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0
20歳代	29	6.9	3.4	0.0	6.9	6.9	3.4
30歳代	36	16.7	2.8	2.8	5.6	0.0	2.8
40歳代	30	20.0	6.7	3.3	10.0	3.3	0.0
50歳代	26	26.9	19.2	3.8	26.9	0.0	11.5
60歳代	31	19.4	9.7	0.0	9.7	6.5	3.2
70歳代	19	15.8	10.5	10.5	15.8	0.0	10.5
80歳以上	11	27.3	18.2	9.1	9.1	0.0	9.1

(問12で「4」と答えた方に)

問12-5 どうして関心がないのだと思いますか。(○は1つ)

図表 溫暖化防止対策に関心がない理由



温暖化防止対策に関心がない理由について聞いたところ、「省エネやリサイクルの環境へのメリットがわからない」(34.5%) が3割台半ばで最も高い。ついで「省エネやリサイクルの方法がわからない」(23.8%)、「地球温暖化など環境問題を知らない」(13.1%) が続いている。

性別でみると、「地球温暖化など環境問題を知らない」は女性の割合が高い。一方、「省エネやリサイクルの環境へのメリットがわからない」は男性の割合が高くなっている。

図表 温暖化防止対策に関心がない理由（性別）

	全 体	地球温暖化など環境問題を知らない	省エネやリサイクルの環境へのメリットがわからない	省エネやリサイクルの方法がわからない	その他	無回答
全 体	100.0 84	13.1 11	34.5 29	23.8 20	15.5 13	13.1 11
男性	53	9.4	37.7	22.6	20.8	9.4
女性	27	22.2	25.9	25.9	7.4	18.5

年代別でみると、「省エネやリサイクルの環境へのメリットがわからない」は 40 歳代（57.1%）が 5 割台半ばを超えて最も高くなっている。

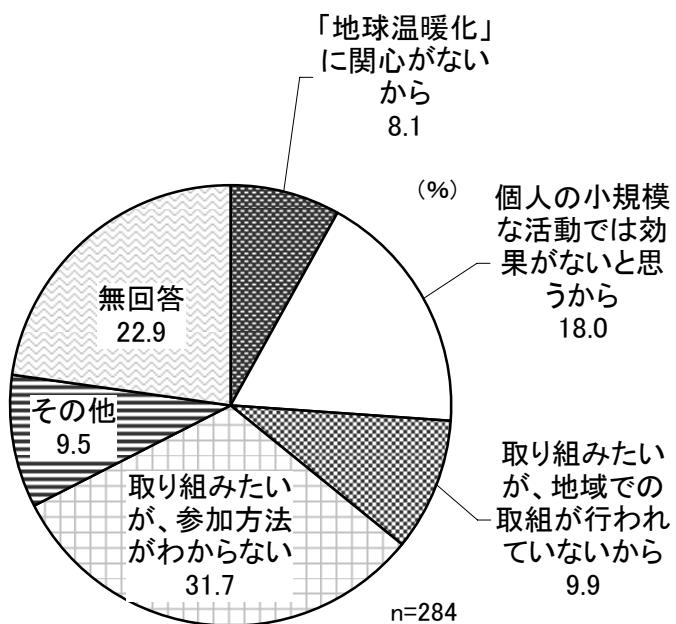
図表 温暖化防止対策に関心がない理由（年代別）

	全 体	地球温暖化など環境問題を知らない	省エネやリサイクルの環境へのメリットがわからない	省エネやリサイクルの方法がわからない	その他	無回答
全 体	100.0 84	13.1 11	34.5 29	23.8 20	15.5 13	13.1 11
10 歳代	5	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0
20 歳代	11	0.0	27.3	27.3	27.3	18.2
30 歳代	11	9.1	18.2	36.4	36.4	0.0
40 歳代	14	21.4	57.1	7.1	14.3	0.0
50 歳代	6	0.0	50.0	16.7	0.0	33.3
60 歳代	10	10.0	30.0	40.0	10.0	10.0
70 歳代	13	15.4	46.2	15.4	7.7	15.4
80 歳以上	11	27.3	18.2	27.3	9.1	18.2

(問12で「3」・「4」と答えた方に)

問12-6 温暖化防止対策に取り組まない理由はなぜですか。(○は1つ)

図表 温暖化防止対策に取り組まない理由



温暖化防止対策に取り組まない理由について聞いたところ、「取り組みたいが、参加方法がわからない」(31.7%) が3割台で最も高い。ついで「個人の小規模な活動では効果がないと思うから」(18.0%) が続いている。

性別でみると、「個人の小規模な活動では効果がないと思うから」などは男性の割合が高い。一方、「取り組みたいが、参加方法がわからない」は女性の割合が高くなっている。

図表 温暖化防止対策に取り組まない理由（性別）

	全 体	「地球温暖化」に関心がないから	個人の小規模な活動では効果がないと思うから	取り組みたいが、地域での取組が行われていないから	取り組みたいが、参加方法がわからない	その他	無回答
全 体	100.0 284	8.1 23	18.0 51	9.9 28	31.7 90	9.5 27	22.9 65
男性	170	8.8	22.4	11.8	28.2	10.0	18.8
女性	96	7.3	11.5	6.3	40.6	8.3	26.0

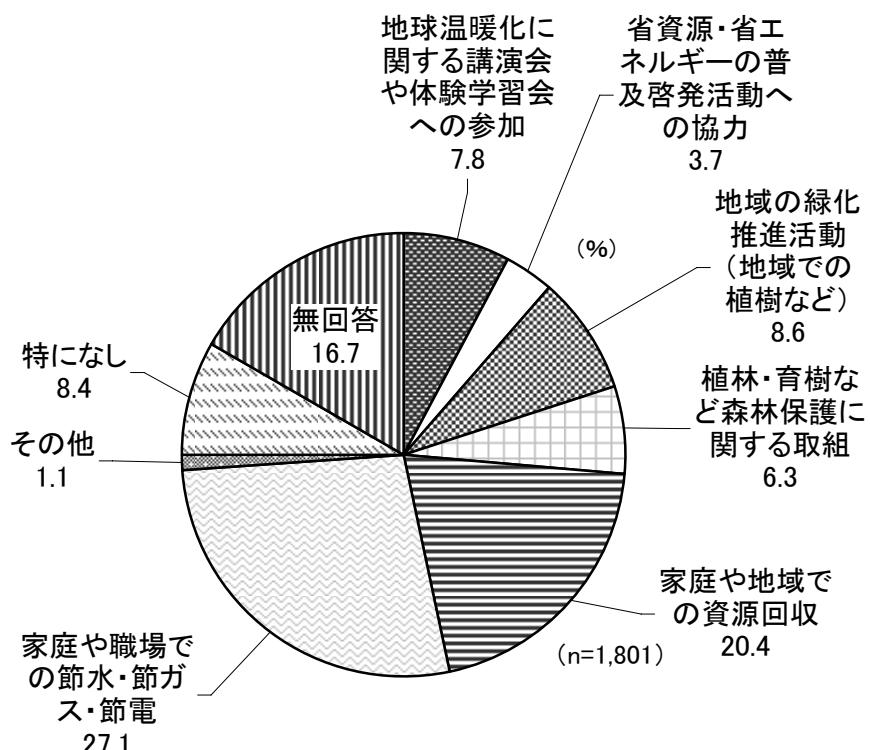
年代別でみると、「個人の小規模な活動では効果がないと思うから」は10歳代（28.6%）、20歳代（27.5%）が2割台半ばを超えて高い。一方、「取り組みたいが、参加方法がわからない」は50歳代（40.6%）が約4割で最も高い。ついで20歳代（37.5%）が3割台半ばを超えて続いている。

図表 温暖化防止対策に取り組まない理由（年代別）

	全 体	「地球温暖化」に関心がないから	個人の小規模な活動では効果がないと思うから	取り組みたいが、地域での取組が行われていないから	取り組みたいが、参加方法がわからない	その他	無回答
全 体	100.0 284	8.1 23	18.0 51	9.9 28	31.7 90	9.5 27	22.9 65
10歳代	14	7.1	28.6	7.1	14.3	7.1	35.7
20歳代	40	7.5	27.5	2.5	37.5	12.5	12.5
30歳代	47	8.5	21.3	6.4	34.0	12.8	17.0
40歳代	44	6.8	18.2	9.1	34.1	9.1	22.7
50歳代	32	6.3	18.8	12.5	40.6	6.3	15.6
60歳代	41	9.8	14.6	12.2	26.8	7.3	29.3
70歳代	32	15.6	0.0	21.9	31.3	6.3	25.0
80歳以上	22	4.5	18.2	9.1	27.3	9.1	31.8

問13 今後参加してみたい地球温暖化防止への取組を教えてください。(○は1つ)

図表 今後参加してみたい地球温暖化防止への取組



今後参加してみたい地球温暖化防止への取組について聞いたところ、「家庭や職場での節水・節ガス・節電」(27.1%) が2割台半ばを超えて最も高い。ついで「家庭や地域での資源回収」(20.4%)、が約2割で続いている。

年代別でみると、「家庭や職場での節水・節ガス・節電」は10歳代（38.2%）が3割台半ばを超えて最も高い。ついで20歳代（36.6%）、30歳代（33.2%）が続いている。

図表 今後参加してみたい地球温暖化防止への取組（年代別）

	全 体	地球温暖化に関する講演会や体験学習会への参加	省資源・省エネルギーの普及啓発活動への協力	地域の緑化推進活動（地域での植樹など）	植林・育樹など森林保護に関する取組	家庭や地域での資源回収	家庭や職場での節水・節ガス・節電	その他	特になし	無回答
全 体	100.0 1,801	7.8 141	3.7 67	8.6 154	6.3 113	20.4 367	27.1 488	1.1 19	8.4 152	16.7 300
10歳代	55	3.6	3.6	9.1	10.9	18.2	38.2	1.8	7.3	7.3
20歳代	161	4.3	4.3	5.6	7.5	16.1	36.6	0.0	6.8	18.6
30歳代	301	5.6	4.3	7.3	8.0	18.3	33.2	0.3	7.6	15.3
40歳代	283	8.1	2.8	10.6	6.4	19.8	24.4	2.1	11.3	14.5
50歳代	294	6.8	3.1	10.9	7.1	19.4	26.2	1.0	7.8	17.7
60歳代	348	11.8	5.2	9.5	5.2	23.9	22.4	0.9	6.6	14.7
70歳代	220	10.9	4.5	7.3	3.2	20.5	25.0	0.9	8.2	19.5
80歳以上	69	2.9	0.0	2.9	5.8	23.2	29.0	4.3	15.9	15.9

地域別でみると、「家庭や地域での資源回収」は舞岡・柏尾地域（27.0%）が2割台半ばを超えて最も高い。一方、「家庭や職場での節水・節ガス・節電」は戸塚地域（36.1%）が3割台半ばで最も高くなっている。

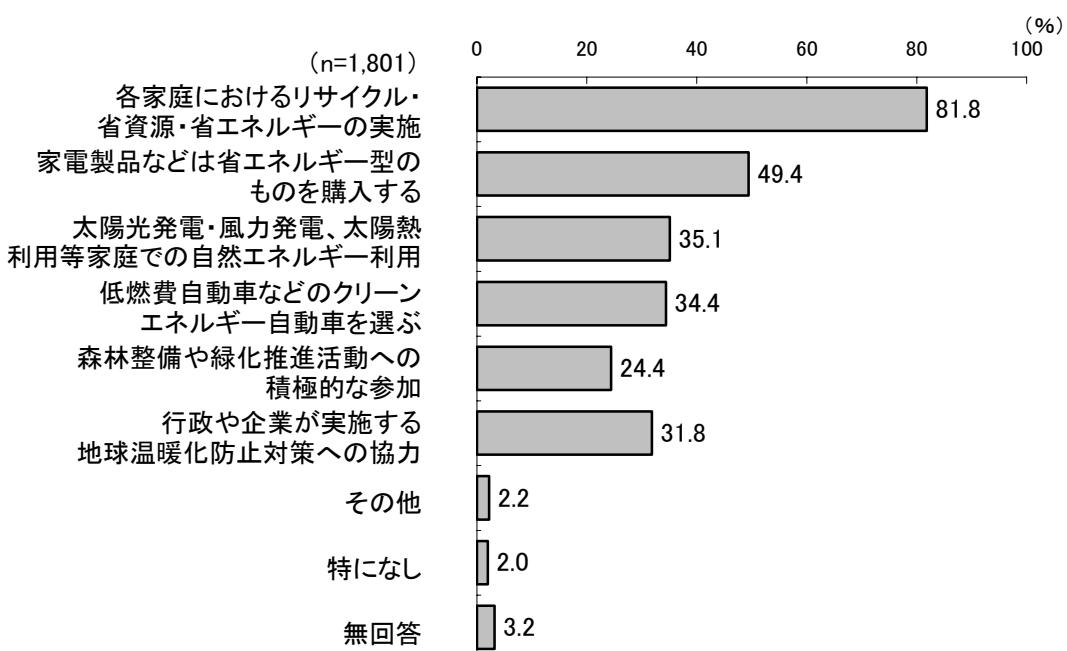
図表 今後参加してみたい地球温暖化防止への取組（地域別）

	全 体	地球温暖化に関する講演会や体験学習会への参加	省資源・省エネルギーの普及啓発活動への協力	地域の緑化推進活動（地域での植樹など）	植林・育樹など森林保護に関する取組	家庭や地域での資源回収	家庭や職場での節水・節ガス・節電	その他	特になし	無回答
全 体	100.0 1,801	7.8 141	3.7 67	8.6 154	6.3 113	20.4 367	27.1 488	1.1 19	8.4 152	16.7 300
平戸・平戸平和台地域	142	10.6	2.8	9.9	7.7	16.2	25.4	2.1	7.7	17.6
品濃町・川上地域	260	7.7	3.5	11.2	4.6	21.2	23.8	2.3	8.5	17.3
名瀬・上矢部地域	189	5.8	4.2	8.5	6.3	20.6	29.6	0.5	8.5	15.9
舞岡・柏尾地域	152	7.2	4.6	8.6	4.6	27.0	23.7	0.7	8.6	15.1
汲沢・吉田地域	346	8.1	3.2	6.1	7.2	19.4	30.1	1.7	9.8	14.5
倉田地域	174	6.9	3.4	11.5	6.9	21.3	21.8	0.0	10.9	17.2
戸塚地域	208	9.1	3.4	6.3	6.7	15.9	36.1	0.0	7.7	14.9
深谷・原宿地域	257	7.4	5.8	8.6	6.2	21.0	27.6	0.8	5.4	17.1

問14 地球温暖化防止のために区民が取り組むべきことは何だと思いますか。

(○は3つ)

図表 地球温暖化防止のために区民が取り組むべきこと



地球温暖化防止のために区民が取り組むべきことについて聞いたところ、「各家庭におけるリサイクル・省資源・省エネルギーの実施」(81.8%)が8割台で特に高い。ついで「家電製品などは省エネルギー型のものを購入する」(49.4%)が約5割で続いている。

性別でみると、「太陽光発電・風力発電、太陽熱利用等家庭での自然エネルギー利用」、「森林整備や緑化推進活動への積極的な参加」などは、男性の割合が高い。一方、「各家庭におけるリサイクル・省資源・省エネルギーの実施」、「家電製品などは省エネルギー型のものを購入する」、「行政や企業が実施する地球温暖化防止対策への協力」などは、女性の割合が高くなっている。

図表 地球温暖化防止のために区民が取り組むべきこと（性別）

	全 体	各家庭におけるリサイクル・省資源・省エネルギーの実施	家電製品などは省エネルギー型のものを購入する	太陽光発電・風力発電、太陽熱利用等家庭での自然エネルギー利用	低燃費自動車などのクリーンエネルギー自動車を選ぶ	森林整備や緑化推進活動への積極的な参加	行政や企業が実施する地球温暖化防止対策への協力	その他	特になし	無回答
全 体	100.0 1,801	81.8 1,473	49.4 889	35.1 633	34.4 619	24.4 439	31.8 572	2.2 40	2.0 36	3.2 58
男性	763	80.5	43.5	39.2	34.5	29.1	29.4	2.6	2.5	2.2
女性	948	84.7	54.4	32.7	34.8	21.5	34.4	1.9	1.3	2.8

年代別でみると、「各家庭におけるリサイクル・省資源・省エネルギーの実施」は 60 歳代 (88.5%) が 8 割台半ばを超えて最も高くなっている。

「家電製品などは省エネルギー型のものを購入する」は 70 歳代 (56.8%) が 5 割台半ばを超えて最も高い。ついで 60 歳代 (54.9%) が 5 割台半ばで続いている。全体的に、年代が高いと割合が高くなる傾向にある。

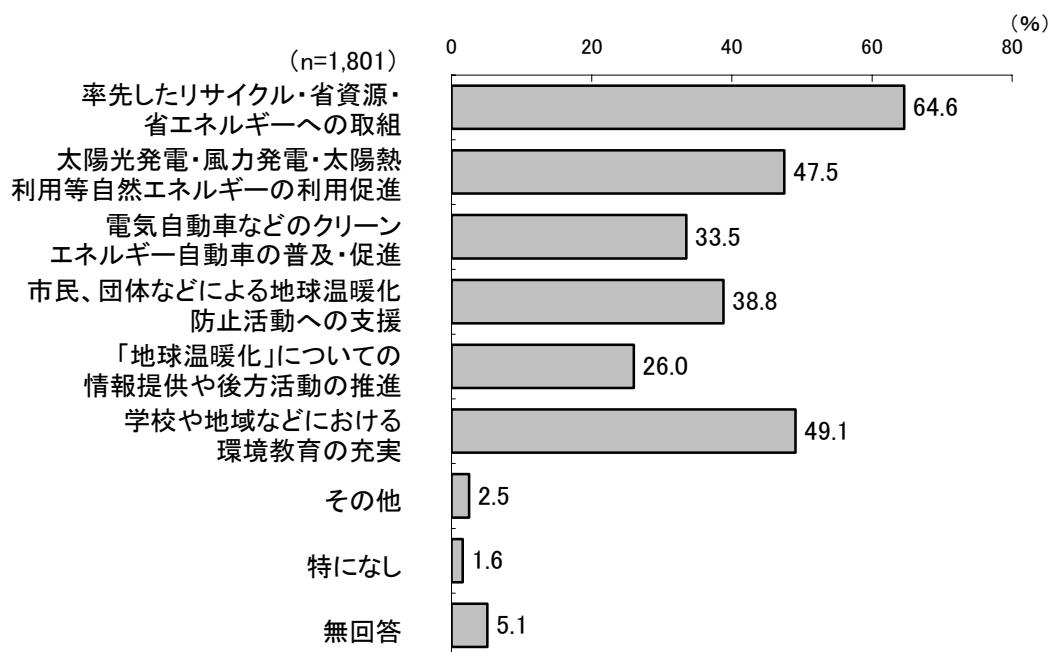
「太陽光発電・風力発電、太陽熱利用等家庭での自然エネルギー利用」は 30 歳代 (48.5%) が 4 割台半ばを超えて最も高くなっている。

図表 地球温暖化防止のために区民が取り組むべきこと（年代別）

	全 体	各家庭におけるリサイクル・省資源・省エネルギーの実施	家電製品などは省エネルギー型のものを購入する	太陽光発電・風力発電、太陽熱利用等家庭での自然エネルギー利用	低燃費自動車などのクリーンエネルギー自動車を選ぶ	森林整備や緑化推進活動への積極的な参加	行政や企業が実施する地球温暖化防止対策への協力	その他	特になし	無回答
全 体	100.0 1,801	81.8 1,473	49.4 889	35.1 633	34.4 619	24.4 439	31.8 572	2.2 40	2.0 36	3.2 58
10 歳代	55	78.2	40.0	38.2	40.0	23.6	38.2	3.6	3.6	1.8
20 歳代	161	81.4	42.9	42.2	36.6	26.7	27.3	4.3	3.1	2.5
30 歳代	301	83.4	43.5	48.5	42.2	25.2	31.2	2.3	1.0	2.0
40 歳代	283	81.3	48.1	40.3	37.1	28.3	30.7	2.5	1.8	1.1
50 歳代	294	84.4	49.0	31.6	36.7	29.3	31.0	2.7	1.7	2.0
60 歳代	348	88.5	54.9	30.2	29.6	24.4	36.5	0.6	0.3	2.0
70 歳代	220	76.8	56.8	25.0	28.6	16.8	31.8	1.4	2.7	5.9
80 歳以上	69	68.1	50.7	18.8	18.8	14.5	27.5	2.9	8.7	10.1

問15 地球温暖化防止のために区役所が取り組むべきことは何だと思いますか。
(○は3つ)

図表 地球温暖化防止のために区役所が取り組むべきこと



地球温暖化防止のために区役所が取り組むべきことについて聞いたところ、「率先したリサイクル・省資源・省エネルギーへの取組」(64.6%) が6割台半ばで最も高く、ついで「学校や地域などにおける環境教育の充実」(49.1%)、「太陽光発電・風力発電・太陽熱利用等自然エネルギーの利用促進」(47.5%) が4割台半ばを超えて続いている。

性別でみると、「率先したリサイクル・省資源・省エネルギーへの取組」、「「地球温暖化」についての情報提供や後方活動の推進」などは、女性の割合が高い。一方、「太陽光発電・風力発電・太陽熱利用等自然エネルギーの利用促進」、「電気自動車などのクリーンエネルギー自動車の普及・促進」などは、男性の割合が高くなっている。

図表 地球温暖化防止のために区役所が取り組むべきこと（性別）

	全 体	率先したリサイクル・省資源・省エネルギーへの取組	太陽光発電・風力発電・太陽熱利用等自然エネルギーの利用促進	電気自動車などのクリーンエネルギー自動車の普及・促進	市民、団体などによる地球温暖化防止活動への支援	「地球温暖化」についての情報提供や後方活動の推進	学校や地域などにおける環境教育の充実	その他	特になし	無回答
全 体	100.0 1,801	64.6 1,163	47.5 855	33.5 604	38.8 699	26.0 468	49.1 884	2.5 45	1.6 28	5.1 91
男性	763	62.4	52.6	37.6	37.5	21.5	47.1	2.5	1.7	4.3
女性	948	67.8	44.4	30.4	40.8	30.6	51.7	2.4	1.3	4.4

年代別でみると、「率先したリサイクル・省資源・省エネルギーへの取組」は 60 歳代（72.4%）が 7 割台で最も高くなっている。

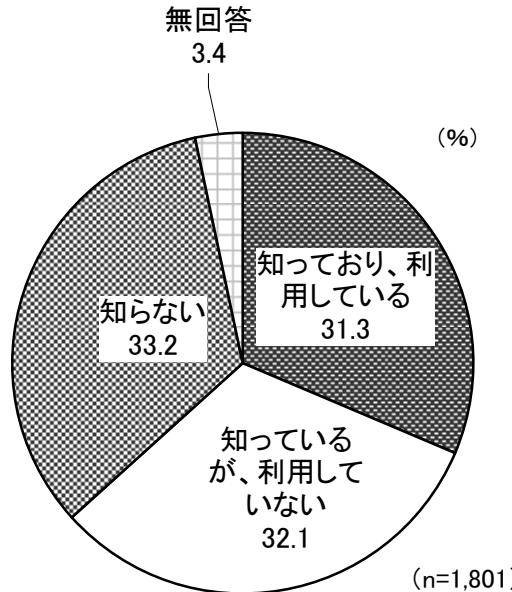
図表 地球温暖化防止のために区役所が取り組むべきこと（年代別）

	全 体	率先したリサイクル・省資源・省エネルギーへの取組	太陽光発電・風力発電・太陽熱利用等自然エネルギーの利用促進	電気自動車などのクリーンエネルギー自動車の普及・促進	市民、団体などによる地球温暖化防止活動への支援	「地球温暖化」についての情報提供や後方活動の推進	学校や地域などにおける環境教育の充実	その他	特になし	無回答
全 体	100.0 1,801	64.6 1,163	47.5 855	33.5 604	38.8 699	26.0 468	49.1 884	2.5 45	1.6 28	5.1 91
10 歳代	55	47.3	54.5	34.5	52.7	23.6	50.9	1.8	1.8	3.6
20 歳代	161	63.4	52.8	41.0	32.3	28.6	50.9	3.7	1.2	3.1
30 歳代	301	67.1	61.8	38.2	31.9	25.2	50.5	3.7	0.3	3.3
40 歳代	283	62.9	53.4	41.7	35.3	20.8	50.9	4.2	2.1	1.8
50 歳代	294	66.7	45.2	29.6	42.2	27.9	52.0	1.4	1.0	3.7
60 歳代	348	72.4	42.5	27.9	42.8	32.2	50.0	1.7	0.3	4.9
70 歳代	220	62.7	35.0	29.5	46.8	22.7	43.6	0.0	3.2	8.2
80 歳以上	69	47.8	24.6	23.2	36.2	27.5	43.5	2.9	7.2	14.5

【 市税の口座振替納税について 】

問 16 あなたは市税の口座振替納税を知っていますか。(○は1つ)

図表 市税の口座振替納税の認知度



市税の口座振替納税の認知度について聞いたところ、「知らない」(33.2%) が3割台で最も高いが、「知っているが、利用していない」(32.1%)、「知っており、利用している」(31.3%)との差はわずかであり、意見が分かれている。

地域別でみると、「知っており、利用している」は舞岡・柏尾地域（42.1%）が4割台で最も高い。一方、「知らない」は品濃町・川上地域（40.8%）が約4割で最も高くなっている。

図表 市税の口座振替納税の認知度（地域別）

	全 体	知つてお り、利用 してい る	知つてい るが、利用 してい ない	知ら ない	無回答
	100.0 1,801	31.3 563	32.1 578	33.2 598	3.4 62
平戸・平戸平和台地域	142	32.4	29.6	33.1	4.9
品濃町・川上地域	260	23.5	35.0	40.8	0.8
名瀬・上矢部地域	189	29.6	30.2	37.0	3.2
舞岡・柏尾地域	152	42.1	28.3	27.0	2.6
汲沢・吉田地域	346	31.2	33.8	31.8	3.2
倉田地域	174	33.9	26.4	35.6	4.0
戸塚地域	208	23.1	38.0	33.7	5.3
深谷・原宿地域	257	36.2	31.9	28.8	3.1

職業別でみると、「知つており、利用している」は無職（44.0%）が4割台半ばで最も高い。一方、「知らない」は学生（93.7%）が9割台で最も高い。ついで専門技術職（48.0%）、現業職（46.6%）、事務職（46.1%）が4割台半ばを超えて続いている。

図表 市税の口座振替納税の認知度（職業別）

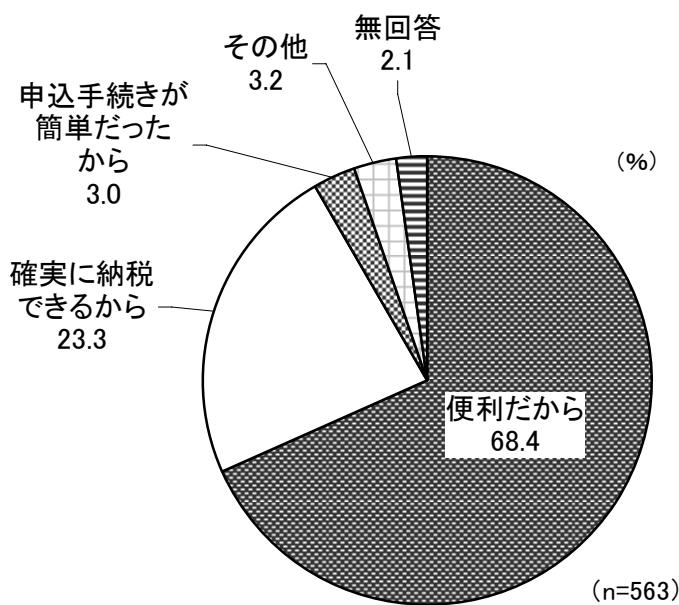
	全 体	知つてお り、利用 してい る	知つてい るが、利用 してい ない	知ら ない	無回答
	100.0 1,801	31.3 563	32.1 578	33.2 598	3.4 62
自営業	103	36.9	49.5	10.7	2.9
管理職	80	37.5	22.5	38.8	1.3
専門技術職	125	20.0	30.4	48.0	1.6
事務職	271	22.9	29.5	46.1	1.5
現業職	221	24.9	26.2	46.6	2.3
主婦・主夫	431	35.0	36.0	25.3	3.7
学生	79	0.0	6.3	93.7	0.0
無職	336	44.0	35.7	13.7	6.5
その他	77	35.1	39.0	24.7	1.3

(問16で「1」と答えた方に)

問16-1 あなたが市税の口座振替納税を利用している理由を教えてください。

(○は1つ)

図表 市税の口座振替納税を利用している理由



市税の口座振替納税を利用している理由について聞いたところ、「便利だから」(68.4%)が6割台半ばを超えて最も高い。ついで「確実に納税できるから」(23.3%)が続いている。一方、「申込手続きが簡単だったから」(3.0%)については1割にも満たず、低くなっている。

年代別でみると、「便利だから」は50歳代（81.4%）が8割台で最も高くなっている。「確実に納税できるから」は80歳以上（34.3%）、70歳代（31.9%）がそれぞれ3割台で高くなっている。

図表 市税の口座振替納税を利用している理由（年代別）

	全 体	便利だから	確実に納税できるから	申込手続きが簡単だったから	その他	無回答
	100.0 563	68.4 385	23.3 131	3.0 17	3.2 18	2.1 12
10歳代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳代	14	57.1	28.6	0.0	7.1	7.1
30歳代	73	74.0	13.7	2.7	9.6	0.0
40歳代	60	75.0	15.0	3.3	5.0	1.7
50歳代	97	81.4	11.3	1.0	2.1	4.1
60歳代	142	64.8	27.5	2.8	2.8	2.1
70歳代	116	61.2	31.9	5.2	0.9	0.9
80歳以上	35	57.1	34.3	5.7	0.0	2.9

職業別でみると、「便利だから」は管理職（83.3%）が8割台で最も高い。「確実に納税できるから」は自営業（34.2%）が3割台で最も高くなっている。

図表 市税の口座振替納税を利用している理由（職業別）

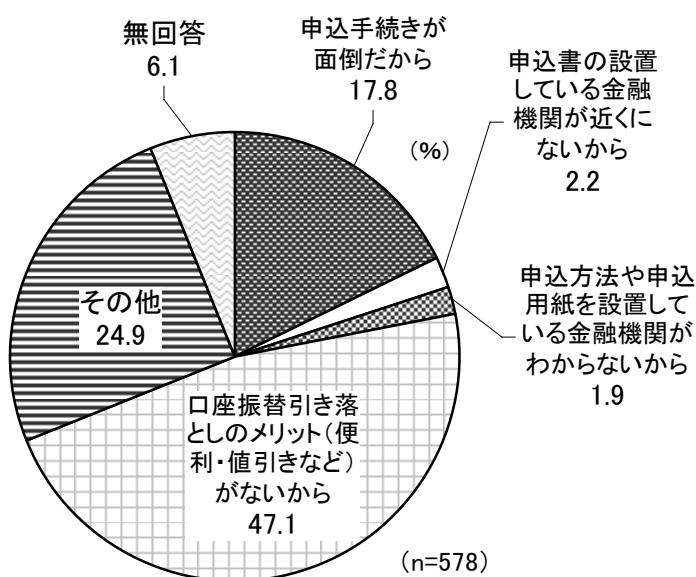
	全 体	便利だから	確実に納税できるから	申込手続きが簡単だったから	その他	無回答
	100.0 563	68.4 385	23.3 131	3.0 17	3.2 18	2.1 12
自営業	38	63.2	34.2	0.0	0.0	2.6
管理職	30	83.3	6.7	0.0	3.3	6.7
専門技術職	25	76.0	0.0	4.0	20.0	0.0
事務職	62	77.4	14.5	1.6	4.8	1.6
現業職	55	67.3	20.0	3.6	7.3	1.8
主婦・主夫	151	66.9	27.2	2.0	1.3	2.6
学生	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無職	148	64.2	27.7	5.4	1.4	1.4
その他	27	74.1	18.5	3.7	3.7	0.0

(問16で「2」と答えた方に)

問16-2 あなたが市税の口座振替納税を利用しない理由を教えてください。

(○は1つ)

図表 市税の口座振替納税を利用しない理由



市税の口座振替納税を利用しない理由について聞いたところ、「口座振替引き落としのメリット（便利・値引きなど）がないから」（47.1%）が4割台半ばを超えて最も高い。ついで「申込み手続きが面倒だから」（17.8%）が続いている。

「その他」（24.9%）であがった意見としては、「給与からの天引き」、「現状で不便を感じない」、「現金で支払いたい」などの意見が主に寄せられている。

年代別でみると、「申し込み手続きが面倒だから」は20歳代（26.5%）、30歳代（24.4%）がそれぞれ2割台半ばで高い。「口座振替引き落としのメリット（便利・値引きなど）がないから」は40歳代（50.0%）が5割で最も高くなっている。

図表 市税の口座振替納税を利用しない理由（年代別）

	全 体	申込手続き が面倒 だから	申込書の設 置してい る金融機関が 近くにない から	申込方法や 申込用紙を 設置してい る金融機関 がわからな いから	口座振替引 き落としの メリット (便利・値 引きなど) がないから	その他	無回答
	100.0 578	17.8 103	2.2 13	1.9 11	47.1 272	24.9 144	6.1 35
10歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
20歳代	34	26.5	2.9	5.9	44.1	20.6	0.0
30歳代	86	24.4	2.3	1.2	44.2	22.1	5.8
40歳代	98	18.4	1.0	4.1	50.0	22.4	4.1
50歳代	108	16.7	0.0	0.0	46.3	32.4	4.6
60歳代	144	13.9	2.1	1.4	48.6	25.0	9.0
70歳代	68	13.2	2.9	1.5	47.1	26.5	8.8
80歳以上	19	15.8	10.5	5.3	47.4	10.5	10.5

職業別でみると、「申し込み手続きが面倒だから」は専門技術職（26.3%）が2割台半ばで最も高い。「口座振替引き落としのメリット（便利・値引きなど）がないから」は管理職（55.6%）、現業職（55.2%）がそれぞれ5割台半ばで高くなっている。

図表 市税の口座振替納税を利用しない理由（職業別）

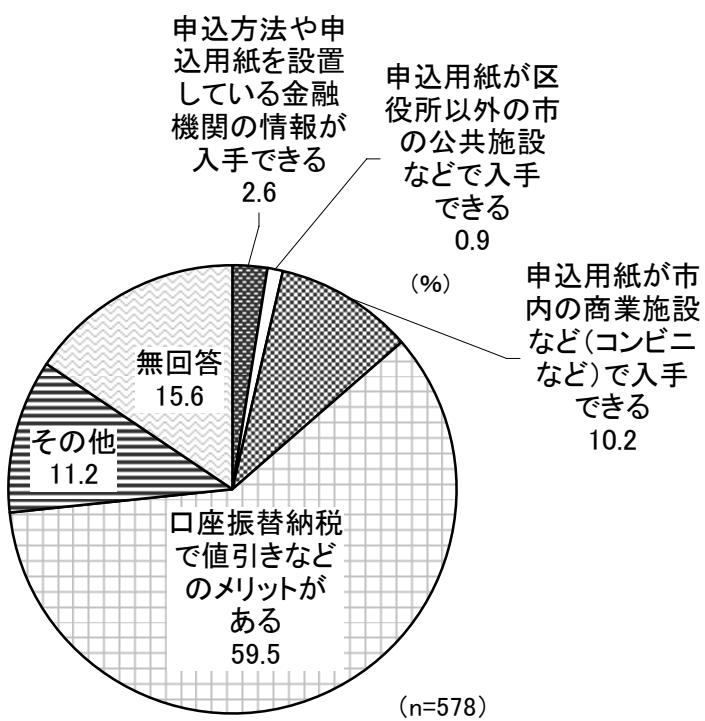
	全 体	申込手続き が面倒 だから	申込書の設 置してい る金融機関が 近くにない から	申込方法や 申込用紙を 設置してい る金融機関 がわからな いから	口座振替引 き落としの メリット (便利・値 引きなど) がないから	その他	無回答
	100.0 578	17.8 103	2.2 13	1.9 11	47.1 272	24.9 144	6.1 35
自営業	51	15.7	3.9	0.0	51.0	21.6	7.8
管理職	18	22.2	0.0	5.6	55.6	11.1	5.6
専門技術職	38	26.3	2.6	0.0	50.0	18.4	2.6
事務職	80	16.3	0.0	3.8	45.0	32.5	2.5
現業職	58	19.0	0.0	1.7	55.2	19.0	5.2
主婦・主夫	155	16.1	1.9	2.6	47.1	27.1	5.2
学生	5	0.0	20.0	20.0	0.0	60.0	0.0
無職	120	20.8	2.5	0.8	40.8	24.2	10.8
その他	30	10.0	3.3	0.0	50.0	30.0	6.7

(問16で「2」と答えた方に)

問16-3 どんなきっかけがあれば市税の口座振替納税を利用しますか。

(○は1つ)

図表 市税の口座振替納税を利用するきっかけとなること



市税の口座振替納税を利用するきっかけとなることについて聞いたところ、「口座振替納税で値引きなどのメリットがある」(59.5%)が約6割で最も高い。ついで「申込用紙が市内の商業施設など(コンビニなど)で入手できる」(10.2%)が約1割で続いている。

年代別でみると、「口座振替納税で値引きなどのメリットがある」は40歳代（69.4%）が約7割で最も高くなっている。

図表 市税の口座振替納税を利用するきっかけとなること（年代別）

		申込方法や申込用紙を設置している金融機関の情報が入手できる	申込用紙が区役所以外の市の公共施設などで入手できる	申込用紙が市内の商業施設など（コンビニなど）で入手できる	口座振替納税で値引きなどのメリットがある	その他	無回答
	100.0 578	2.6 15	0.9 5	10.2 59	59.5 344	11.2 65	15.6 90
10歳代	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
20歳代	34	2.9	2.9	14.7	64.7	5.9	8.8
30歳代	86	0.0	1.2	11.6	64.0	9.3	14.0
40歳代	98	1.0	0.0	10.2	69.4	6.1	13.3
50歳代	108	1.9	0.9	8.3	56.5	17.6	14.8
60歳代	144	3.5	1.4	8.3	56.3	11.1	19.4
70歳代	68	5.9	0.0	13.2	48.5	17.6	14.7
80歳以上	19	5.3	0.0	5.3	63.2	0.0	26.3

職業別でみると、「口座振替納税で値引きなどのメリットがある」は専門技術職（78.9%）が約8割で最も高い。ついで現業職（69.0%）が約7割で続いている。

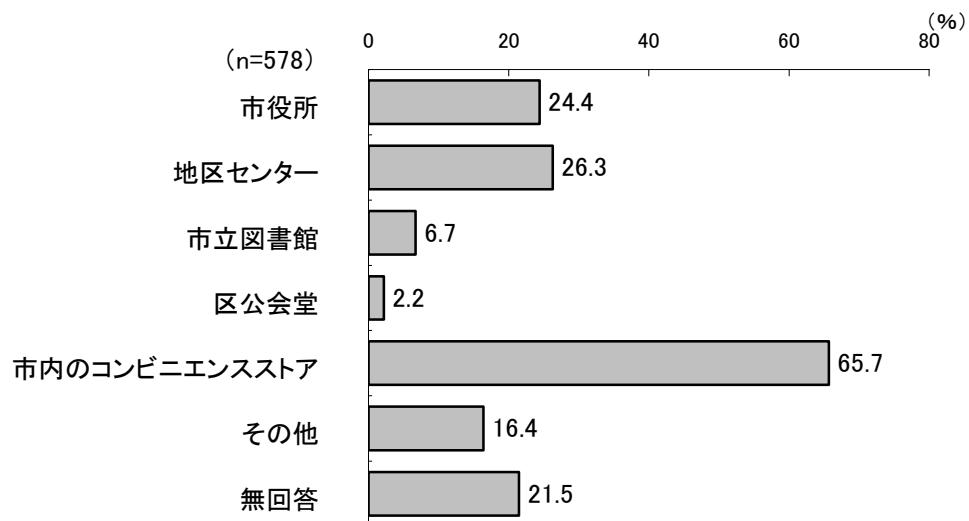
図表 市税の口座振替納税を利用するきっかけとなること（職業別）

		申込方法や申込用紙を設置している金融機関の情報が入手できる	申込用紙が区役所以外の市の公共施設などで入手できる	申込用紙が市内の商業施設など（コンビニなど）で入手できる	口座振替納税で値引きなどのメリットがある	その他	無回答
	100.0 578	2.6 15	0.9 5	10.2 59	59.5 344	11.2 65	15.6 90
自営業	51	0.0	0.0	7.8	60.8	13.7	17.6
管理職	18	5.6	0.0	11.1	55.6	16.7	11.1
専門技術職	38	0.0	0.0	2.6	78.9	5.3	13.2
事務職	80	2.5	2.5	11.3	56.3	10.0	17.5
現業職	58	0.0	1.7	12.1	69.0	6.9	10.3
主婦・主夫	155	3.9	0.6	7.7	62.6	10.3	14.8
学生	5	0.0	0.0	60.0	0.0	0.0	40.0
無職	120	3.3	0.0	13.3	50.8	15.0	17.5
その他	30	3.3	3.3	10.0	56.7	16.7	10.0

(問16で「2」と答えた方に)

問16－4 どのような施設に申込用紙（口座振替依頼書）があれば、市税の口座振替納税を利用しますか。（○は3つ）

図表 口座振替納税利用のきっかけとなる申込用紙設置施設



口座振替納税利用のきっかけとなる申込用紙設置施設について聞いたところ、「市内のコンビニエンスストア」(65.7%)が6割半ばで最も高い。ついで「地区センター」(26.3%)、「市役所」(24.4%)が2割台半ばで続いている。

地域別でみると、「市役所」は戸塚地域（32.9%）が3割台で最も高い。「地区センター」は品濃町・川上地域（38.5%）が3割台半ばを超えて最も高い。「市内のコンビニエンスストア」は舞岡・柏尾地域（74.4%）が7割台半ばで最も高い。ついで平戸・平戸平和台地域（73.8%）が7割台で続いている。

図表 口座振替納税利用のきっかけとなる申込用紙設置施設（地域別）

	全 体	市役所	地区 センター	市立図書館	区公会堂	市内のコン ビニエンス ストア	その他	無回答
	100.0 578	24.4 141	26.3 152	6.7 39	2.2 13	65.7 380	16.4 95	21.5 124
平戸・平戸平和台地域	42	14.3	23.8	0.0	4.8	73.8	19.0	21.4
品濃町・川上地域	91	14.3	38.5	7.7	0.0	60.4	18.7	25.3
名瀬・上矢部地域	57	19.3	26.3	0.0	5.3	64.9	10.5	24.6
舞岡・柏尾地域	43	27.9	30.2	11.6	4.7	74.4	14.0	16.3
汲沢・吉田地域	117	27.4	22.2	6.0	0.0	65.0	15.4	20.5
倉田地域	46	23.9	19.6	10.9	0.0	65.2	13.0	21.7
戸塚地域	79	32.9	21.5	11.4	5.1	65.8	20.3	19.0
深谷・原宿地域	82	28.0	26.8	3.7	2.4	64.6	19.5	22.0

職業別でみると、「市内のコンビニエンスストア」は専門技術職（81.6%）が8割台で最も高い。ついで現業職（75.9%）が7割台半ばで続いている。

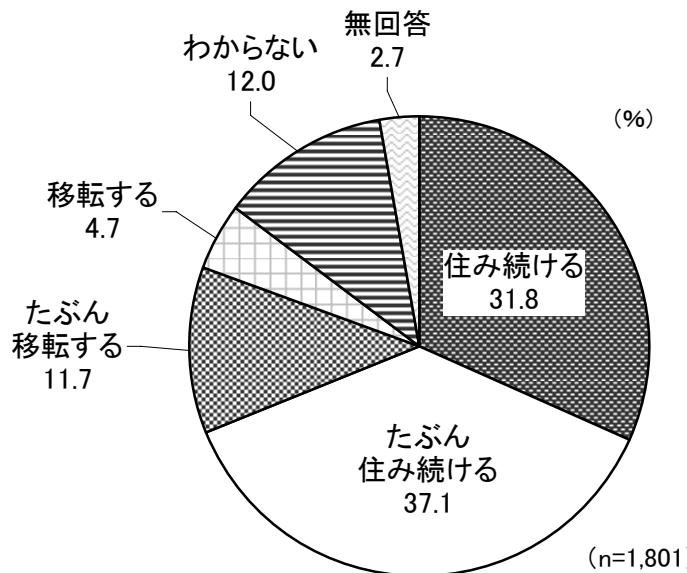
図表 口座振替納税利用のきっかけとなる申込用紙設置施設（職業別）

	全 体	市役所	地区 センター	市立図書館	区公会堂	市内のコン ビニエンス ストア	その他	無回答
	100.0 578	24.4 141	26.3 152	6.7 39	2.2 13	65.7 380	16.4 95	21.5 124
自営業	51	19.6	23.5	2.0	3.9	54.9	17.6	29.4
管理職	18	16.7	33.3	5.6	0.0	50.0	22.2	16.7
専門技術職	38	28.9	18.4	7.9	5.3	81.6	26.3	13.2
事務職	80	21.3	25.0	10.0	1.3	66.3	21.3	17.5
現業職	58	22.4	25.9	5.2	5.2	75.9	17.2	15.5
主婦・主夫	155	23.9	27.7	7.7	1.3	66.5	12.3	21.3
学生	5	20.0	20.0	0.0	0.0	60.0	0.0	40.0
無職	120	28.3	30.0	5.8	2.5	59.2	15.8	27.5
その他	30	26.7	20.0	3.3	0.0	73.3	16.7	16.7

【 定住意向について 】

問17 あなたは、これからもずっと今のお住まいに住み続けるお気持ちですか。
(○は1つ)

図表 戸塚区への定住意向



戸塚区への定住意向について聞いたところ、「たぶん住み続ける」(37.1%) が3割台半ばを超えて最も高く、「住み続ける」(31.8%) と「たぶん住み続ける」を合わせた『定住意向』層 (69.0%) は、約7割となり、「たぶん移転する」(11.7%) と「移転する」(4.7%) を合わせた『移転意向』層 (16.4%) を大きく上回る。

地域別でみると、『定住意向』層は倉田地域（74.1%）、深谷・原宿地域（73.5%）、平戸・平戸平和台地域（73.2%）がそれぞれ7割台で高い。一方、『移転意向』層は品濃町・川上地域（23.5%）が2割台で最も高い。ついで戸塚地域（19.2%）が約2割で続いている。

図表 戸塚区への定住意向（地域別）

	全 体	住み続ける	たぶん 住み続ける	たぶん 移転する	移転する	わからない	無回答
	100.0 1,801	31.8 573	37.1 669	11.7 210	4.7 85	12.0 216	2.7 48
平戸・平戸平和台地域	142	38.0	35.2	12.0	2.8	8.5	3.5
品濃町・川上地域	260	25.8	37.3	15.4	8.1	11.2	2.3
名瀬・上矢部地域	189	28.0	39.2	10.6	4.2	16.4	1.6
舞岡・柏尾地域	152	34.9	33.6	11.8	2.6	13.8	3.3
汲沢・吉田地域	346	30.1	37.6	11.6	5.5	12.1	3.2
倉田地域	174	33.3	40.8	7.5	3.4	12.1	2.9
戸塚地域	208	26.4	39.4	12.5	6.7	13.9	1.0
深谷・原宿地域	257	37.0	36.6	11.3	2.7	10.9	1.6

居住開始時期別でみると、『定住意向』層は昭和40～49年（84.0%）、昭和30～39年（83.6%）、昭和50～59年（80.3%）がそれぞれ8割台で高くなっている。一方、『移転意向』層は平成17年以降（30.8%）が約3割で最も高い。ついで平成12～16年（24.4%）が2割台半ばで続いている。

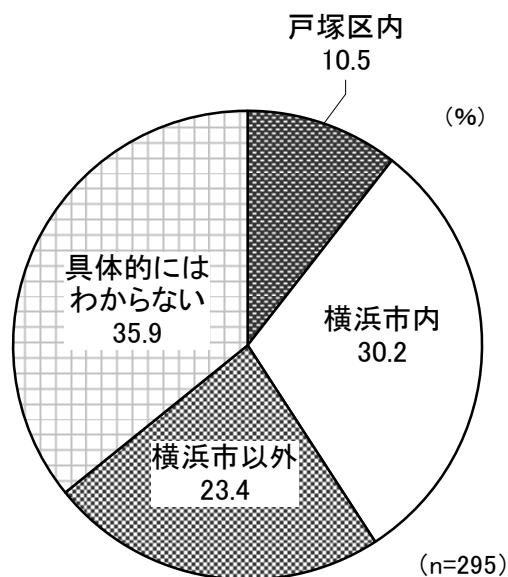
図表 戸塚区への定住意向（居住開始時期別）

	全 体	住み続ける	たぶん 住み続ける	たぶん 移転する	移転する	わからない	無回答
	100.0 1,801	31.8 573	37.1 669	11.7 210	4.7 85	12.0 216	2.7 48
昭和20年以前	23	60.9	17.4	4.3	0.0	8.7	8.7
昭和20～29年	19	63.2	5.3	0.0	0.0	26.3	5.3
昭和30～39年	73	58.9	24.7	4.1	0.0	11.0	1.4
昭和40～49年	187	52.9	31.0	3.7	3.2	4.3	4.8
昭和50～59年	320	40.3	40.0	8.8	1.9	8.1	0.9
昭和60～平成6年	325	26.5	42.2	12.0	3.1	14.2	2.2
平成7～11年	244	24.6	42.2	10.7	3.3	17.2	2.0
平成12～16年	254	17.7	42.9	17.7	6.7	12.6	2.4
平成17年以降	312	20.8	32.4	18.9	11.9	13.5	2.6

(問17で「3」「4」と答えた方に)

問17-1 現実の問題は別として、次の移転先としては、戸塚区内、横浜市内、横浜市以外のいずれを希望されますか。(○は1つ)

図表 希望する移転先



希望する移転先について聞いたところ、「具体的にはわからない」(35.9%)が3割台半ばで最も高い。具体的な移転先の中では、「横浜市内」(30.2%)が約3割で最も高く、以下「横浜市以外」(23.4%)、「戸塚区内」(10.5%)の順となっている。

地域別でみると、「横浜市内」は舞岡・柏尾地域（40.9%）が約4割で最も高い。「横浜市以外」は品濃町・川上地域（31.1%）が3割台で最も高くなっている。

図表 希望する移転先（地域別）

	全 体	戸塚区内	横浜市内	横浜市以外	具体的にはわからない
	100.0 295	10.5 31	30.2 89	23.4 69	35.9 106
平戸・平戸平和台地域	21	4.8	28.6	14.3	52.4
品濃町・川上地域	61	8.2	23.0	31.1	37.7
名瀬・上矢部地域	28	10.7	32.1	17.9	39.3
舞岡・柏尾地域	22	9.1	40.9	18.2	31.8
汲沢・吉田地域	59	10.2	37.3	27.1	25.4
倉田地域	19	10.5	36.8	10.5	42.1
戸塚地域	40	15.0	27.5	20.0	37.5
深谷・原宿地域	36	13.9	19.4	25.0	41.7

居住開始時期別でみると、「横浜市内」は平成7～11年（41.2%）が4割台で最も高い。横浜市以外は平成12～16年（30.6%）、平成7～11年（29.4%）が約3割で高くなっている。

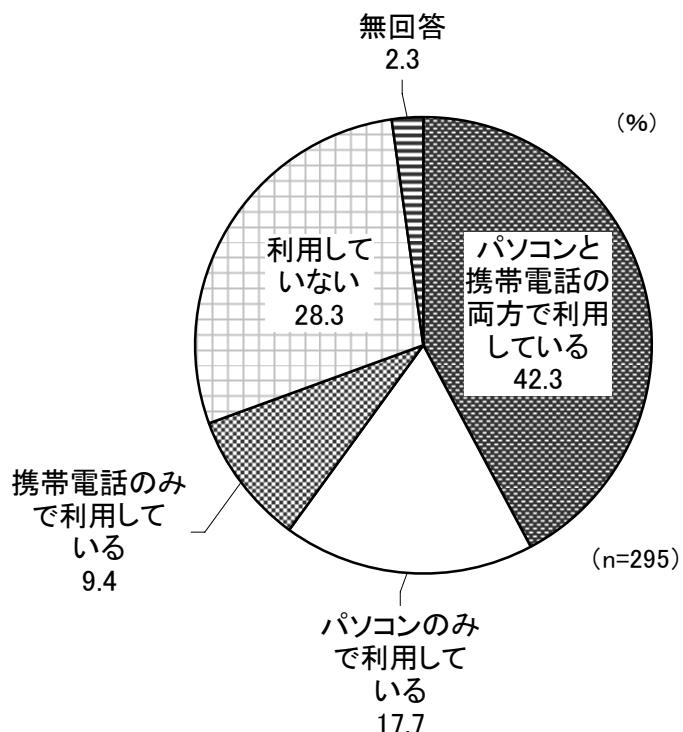
図表 希望する移転先（居住開始時期別）

	全 体	戸塚区内	横浜市内	横浜市以外	具体的にはわからない
	100.0 295	10.5 31	30.2 89	23.4 69	35.9 106
昭和20年以前	1	0.0	0.0	0.0	100.0
昭和20～29年	0	0.0	0.0	0.0	0.0
昭和30～39年	3	66.7	33.3	0.0	0.0
昭和40～49年	13	23.1	38.5	7.7	30.8
昭和50～59年	34	5.9	38.2	17.6	38.2
昭和60～平成6年	49	4.1	34.7	24.5	36.7
平成7～11年	34	2.9	41.2	29.4	26.5
平成12～16年	62	16.1	22.6	30.6	30.6
平成17年以降	96	10.4	25.0	20.8	43.8

【 その他 】

問 18 あなたは、インターネットを利用していますか（電子メールのみを使用している場合も含みます）。（○は 1 つ）

図表 インターネット利用の有無



インターネット利用の有無について聞いたところ、「パソコンと携帯電話の両方で利用している」(42.3%) が 4 割台で最も高い。ついで「利用していない」(28.3%)、「パソコンのみで利用している」(17.7%)、「携帯電話のみで利用している」(9.4%) と続いている。

性別でみると、「パソコンと携帯電話の両方で利用している」、「パソコンのみで利用している」は男性の割合が高い。一方、「携帯電話のみで利用している」、「利用していない」は女性の割合が高くなっている。

図表 インターネット利用の有無（性別）

	全 体	パソコンと 携帯電話の 両方で利用 している	パソコン のみで利用 している	携帯電話 のみで利用 している	利用して いない	無回答
全 体	100.0 1,801	42.3 761	17.7 318	9.4 170	28.3 510	2.3 42
男性	763	46.4	21.4	6.6	24.1	1.6
女性	948	40.7	15.5	11.4	30.0	2.4

年代別でみると、「パソコンと携帯電話の両方で利用している」は10歳代（80.0%）が8割で最も高い。全体的に、年代が低いと割合が高くなる傾向にある。

一方、「利用していない」は80歳以上（76.8%）が7割台半ばで最も高い。全体的に、年代が高いと割合が高くなる傾向にある。

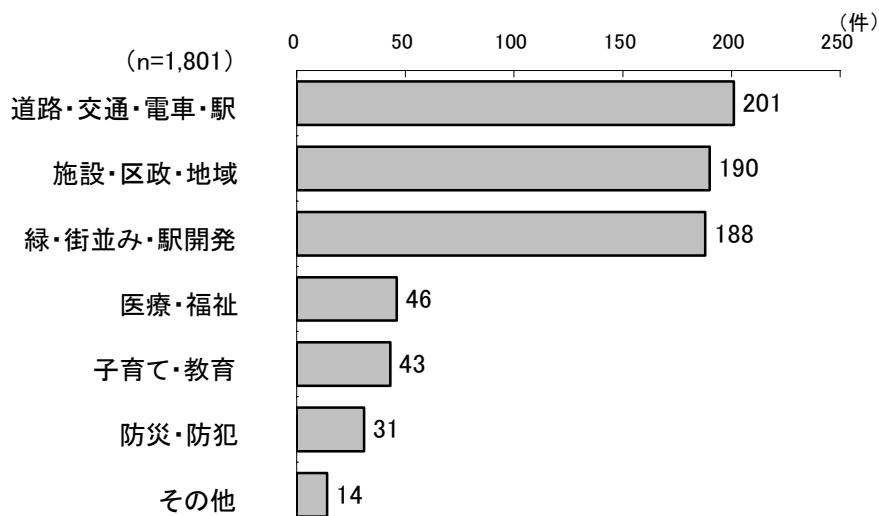
図表 インターネット利用の有無（年代別）

	全 体	パソコンと 携帯電話の 両方で利用 している	パソコン のみで利用 している	携帯電話 のみで利用 している	利用して いない	無回答
全 体	100.0 1,801	42.3 761	17.7 318	9.4 170	28.3 510	2.3 42
10歳代	55	80.0	9.1	7.3	1.8	1.8
20歳代	161	71.4	10.6	12.4	5.0	0.6
30歳代	301	71.1	13.3	10.0	4.7	1.0
40歳代	283	58.3	22.3	7.8	10.6	1.1
50歳代	294	38.1	24.1	11.6	25.2	1.0
60歳代	348	19.5	23.6	8.0	47.1	1.7
70歳代	220	11.4	12.7	9.1	61.4	5.5
80歳以上	69	2.9	7.2	2.9	76.8	10.1

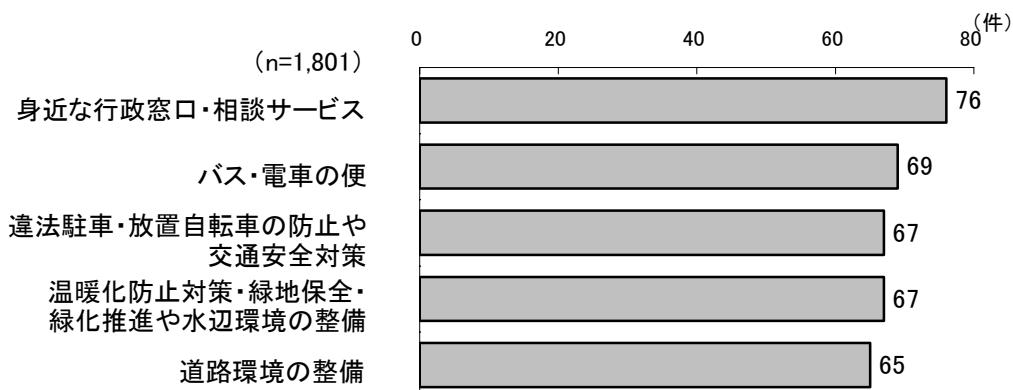
III 自由回答

問 19 戸塚区政について、具体的なご意見、ご要望、ご提案などございましたら、自由にご記入下さい。

図表 戸塚区についての意見・提案（大分類）



図表 戸塚区についての意見・提案（中分類・上位5分類）



戸塚区政についての意見・提案を聞いたところ、476 件の具体的な記述があり、のべ 713 件の意見が寄せられた。

寄せられた意見の大分類の内訳としては、「道路・交通・電車・駅」(201 件) に関する記述が最も多い。ついで「施設・区政・地域」(190 件)、「緑・街並み・駅開発」(188 件) が続いている。

中分類の内訳としては、「身近な行政窓口・相談サービス」(76 件) が最も多い。ついで「バス・電車の便」(69 件)、「違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策」(67 件)、「温暖化防止対策・緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備」(67 件)、「道路環境の整備」(65 件) が続いている。

図表 戸塚区についての意見・提案（全分類一覧）

大分類	中分類	小分類	大分類	中分類	小分類	
道路・交通・電車・駅	バス・電車の便	東戸塚駅	温暖化防止対策・緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備	67	緑地保全	
		バス			環境問題	
		乗り継ぎ			公園	
		電車			柏尾川	
		戸塚駅			河川環境	
		駅			環境整備	
	違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策	駐輪場			遊歩道	
		路上の喫煙			空き地利用	
		駐車場			戸塚駅	
		放置自転車			東戸塚駅	
		違法駐車			戸塚駅・東戸塚駅	
施設・区政・地域		危ない自転車			ごみ収集	
		取り締まり強化			街の美化	
		危ない車			リサイクル	
		危ないバイク			具体例	
		安全対策			街並み整備	
道路環境の整備	道路	マンション乱立				
	歩道	環境整備				
	踏み切り	鳩の糞害				
	自転車	商店街や企業の振興				
	信号	商店街				
	施設・区政・地域				電車	歩道
身近な行政窓口・相談サービス	区職員対応	全体				
	利便性の強化	パリアフリー				
	情報周知	バス				
	行政サービス	駅				
	区職員教育	病院不足				
	図書館	健康診断				
	施設の充実	不妊治療支援				
	運動施設	予防接種支援				
	区役所	病院の入院				
施設・区政・地域	区民利用施設の充実	プール			高齢者福祉	
		イベント			施設の充実	
		地区センター			障がい者福祉	
		区役所支所			障がい者福祉	
		コンサートホール			子育て支援	
		憩いの場			保育園	
		トイレ			健診	
		区政			学童保育	
		財政関係			イベント	
		アンケート			学校教育	
施設・区政・地域	区政・税制など	その他			健全育成	
		情報周知			学校環境	
		職員			学校給食	
		地域交流			治安の維持	
		市民ボランティア			街路灯	
		市民活動			少年非行	
					交番	
					パトロール	
					災害対策	
					水害対策	
施設・区政・地域	広報・広聴など区政への市民参加の推進				災害対策	
					総計	
					14	
					713	

寄せられた意見（抜粋）

道路・交通・電車・駅

バス・電車の便

- ・ 東戸塚駅の整備。ここ 10 年位で駅周辺を中心に大型マンションが増え利用者が多くなつたと思う。ラッシュ時駅ホームが混雑しすぎて危険な状況だと思います。
- ・ 柏尾川沿いはマンションが多いのにバスが通つてない。何とかしてほしい。
- ・ 東戸塚駅に湘南新宿ライン（快速）が停車して欲しい。
- ・ 駅周辺の町づくりよりも駅を大きくした方がいいと思います。戸塚駅は地下が暗い感じ。『駅ナカ』という言葉があるように駅自体が明るく、働いてサッと買い物ができる、バスに乗るのが理想。戸塚はあんなに駅が小さいのに高層マンションばかりできて、朝のラッシュは人であふれかえっている。危険なのでホームを広げて欲しい。

違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策

- ・ 戸塚駅前の再開発については、有料駐車場・有料・無料（多少駅から離れていてもOK）の自転車置場及び大型二輪の有料駐輪場を設置してほしい。チッポケなものでは無く、これから住民が倍になつても対応できる位のスペースを確保してほしい（もし設計変更ができるなら）また、タクシー乗り場を 2、3ヶ所から乗れるようにし、タクシーの客待ちの駐車をなくし、駐前をスッキリさせる。（駅前ロータリーは一般者立入禁止するなども検討した方が良い）
- ・ 歩きタバコを全面禁止にしてほしい（罰則有り）。それでなくても歩行者が安心して歩けるところがせまいのに危なすぎる。
- ・ 放置自転車の処分をもっとびしくしたらどうでしょうか。違反の紙をはられても、それに乗つて帰つて翌朝又違反駐輪させては何の役にも立たないように思います。
- ・ 道路が狭いにもかかわらず、路上駐車が多いため渋滞が多い。
- ・ 環状 2 号線を走る車の交通マナーは目に余るものがあります。歩行者用の信号が青になつても平気で通る車ばかり。交通安全のためにも、区でも考えて頂きたい。

道路環境の整備

- ・ 戸塚は歩道のない細い道が多い。車も歩くのも危険なので道路整備に力を入れてほしい。東戸塚駅西口から東口への車の通れる道を整備してほしい。駅北側の横須賀線を渡る橋は細くて危険。もっと安全に線路を渡れる橋かトンネルを作つていただきたい。
- ・ とにかく歩道が悪い。駅周辺の歩道がせまく、電柱もあり、ベビーカーも通れない所も多い。
- ・ 戸塚駅の踏切の渋滞をどうにかしてください。かなり不便です。

施設・区政・地域

身近な行政窓口・相談サービス

- ・ 様々な分野で区民の理解を得られるような情報提供を積極的に行っていただきたいです。
- ・ 以前に比べると市、区の職員は大変親切に判りやすくなっているが、何か話の成りゆきがつまつくると『それは、決まっている事だから…とか、そのような事はやっていません…とか』切り口上になる時がある。対策がなければ、どのように打開したらいいか、解決する為にはどのような手が打てるか、次回の問題点は?…民間並みに努力と覚悟がほしい。
- ・ 子供の検診や、役所の手続きなど、東戸塚でも可能にして欲しい。(今は、基本的な事しか行政センターで出来ないため)
- ・ 各月でも構わないので、区が行っているサービスにどの様なものがあるかを一般に周知、公告して欲しい。区にどんなサービスがあるかを、「調べなければわからない」状況は、おかしいと思う。

区民利用施設の充実

- ・ 図書館をもっと充実させて欲しいです。(ほしい本が無いことが多い)
- ・ 中高年の人々にパソコンのボランティア活動をしていますが、区内には施設が少なく、あっても環境が良くないので(中には男女共同参画センターなどもあるが)横浜駅西口の神奈川県民センターなどに出かけているので、是非施設の充実をはかつてもらいたい。

区政・税制など

- ・ 大きすぎるといって分割した、栄区、泉区の新興地においしい所がいってしまい、現戸塚には魅力的な区政を感じられない。体質が古いままで行政が活性化していると思えない。もっと、都市型にするのか、田舎ベースを守るのか、コンセプトをうち出すべきだと思う。商業施設も東戸塚に開発が集中して、戸塚にはほんとうに何もない感じる。再開発の完成に期待したい。区民として利用できる施設は、在宅者にはよいが、勤労者は使えないのでもっと夜間開放を検討してほしい。
- ・ 徹底的にムダを省き、財政を健全化して下さい。他の自治体の模範となるような先進的な行政を行って下さい。高齢者が生き生きできる戸塚区を作って下さい。

広報・広聴など区政への市民参加の推進

- ・ 戸塚区の広報誌を通じて、区内、町内会、自治会等の活動等を、順番で全町内会を紹介、及ユニークな催し物等を掲載して下さい。

緑・街並み・駅開発

温暖化防止対策・緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備

- ・ あまりにも街に緑が少ない。もっと緑化活動を真剣に進めてほしい。
- ・ 環境の事を考えオール電化を考えているが同時に太陽光発電を取り入れたら、さらに効果的なのもわかってはいるが、費用がかかりすぎて、なかなかそこまで出来ない方が多い、と聞いた。補助制度が充実したら積極的に取り組む家庭も増えると思うので検討して欲しい。
- ・ 温暖化防止対策といって、すぐ高いお金を出して設備を整えるのではなく、今ある設備の中で電球を一本減らす、車にクーラーはつけない等、普通の住民のしているエコを取り入れて欲しい。

最寄り駅周辺のまちづくり

- ・ 戸塚駅の再開発計画については、ただ今工事中ですが、時間が掛り過ぎると思います。駅利用が大変に不便で有り、もっと早く完工出来ないのかと思います。
- ・ 東戸塚駅は乗降客が多くなったが、市が所轄する、東口の駅の施設が非常に汚い。
- ・ より住み易くするという点においては開発することは悪くはないが、戸塚の昔ながらの自然ある風景をなくさないようにしてほしい。ある地区の自然を保全しているから良しとするのではなく、温暖化対策という面でも緑地全体を守ってほしい。(人工の緑地を作るという意味でなく)また、町並みを整備して、統一感と風情と清潔感のある町にしてほしい。(特にマンションなどの建物は、近年ひどく景観を損なう色合いのものが目立ってきてると感じる。)駅前の再開発については商業施設や外観に力を入れるよりも、他の駅にあるような、駐輪場や託児所の設置などより区民の助けとなるようにしてほしい。多くの区民の意見を公正に取り入れて、また、区政だけに限ったことではないが、何時でもよりよい方向へ計画を変える柔軟性を持ってほしい。

ごみの分別収集・リサイクルや街の美化

- ・ 家の前がゴミ集積所になっているが分別されてないゴミは持つて行ってくれないので困っています。いつもちらかしてバラバラになってカラスがつづいたりします。藤沢とか茅ヶ崎の様に個別収集にして欲しい。そうすればゴミの分別も良くなると思います。少しならお金払うのはしかたないと思います。それが街の美化になると思います。
- ・ ゴミの分別をもっと徹底してほしい。商業施設等、不十分なところもあるので。そしてリサイクルの徹底を！！それから、家庭ゴミ収集、有料化にしてほしい。

街並み景観の整備

- ・ 歩道が狭い、歩道がなく危険な場所が多い。電柱を撤去し、地中化にするべき。街路灯が少ない。
- ・ 土地が次々とマンションに変わっていくので不安。公園などゆとりある開発をしてほしい。

商店街や企業の振興

- 町内でシャッターのおりてしまった店が何軒もあります。もっと活気のある町であってほしいと思います。

医療・福祉

駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり

- 一部歩道がない所があります。歩行者が安心して通れる歩道を作ってもらいたいです。
- 道路をもう少し広く道路標示などわかりやすくしてほしい。バス・電車・改札などベビーカーなどでスムーズに行ける様に階段・エレベーター（エレベーターは人数がかぎられていたり急いでいる時など乗れるまで待っていなくてはならないので）などの設置場所をもう少し考えてほしいです。階段がとにかく多く急で子供がいると大変だと考えるためバス・電車の利用がほとんどありません。階段の他にスロープなどつけて頂けたらもっとバス・電車の利用が増えて行くと思います。
- 戸塚駅東口バスターミナルは追う礼者、障害者には大変不便です。横断歩道もエレベーターもないので、階段の上り降り、とっても大変です。

病院や救急医療などの地域医療

- 産婦人科の病院が少ない。
- 現在不妊治療を行っています。なかなか子供が出来ずに悩む夫婦の多さに病院へ行き驚きました。少子化を深刻に受け止めてほしいと思います。経済的不担は大きいし、精神的不担も大きいと思います。現在体外授精での補助はあるけれど、もっと様々な補助を増やしてほしいと思います。また様々な情報の提供も積極的に取り上げて行ってほしいです。

高齢者福祉

- 在宅介護が不可能となった高齢の要介護者が、希望するときに円滑に入居できるよう、特別養護老人ホームの整備拡充を強く要望したい。

障がい者福祉

- 障害のある子ども（17才）がおりますので、障害者がもっと生活しやすい環境になればいいな…と思います。今はまだまだ…だと思います。

子育て・教育

保育など子育て支援

- ・ 子育て支援にも積極的にとりくんではほしい。少子化というわりには、待機児童（保育園）も多いしなかなか入れない。公園も少ない。親子が集まるきがるな場もない（お金が高い等）。その他諸々。藤沢市では「市民の家」というものが30ヵ所近くあるようです。使用料も安く、すばらしいと思います。多く核家族化していく中地域相談する人もなく大変な子育て、たくさん子育て支援があつて良いと思います。
- ・ 子どもを保育園に入れたくても、保育園はいっぱい預けたくても無理。もっと保育園などの数を増やせないのでしょうか。
- ・ 乳幼児健診が午後になってしまった。午後は子どもの昼寝の時間なのになぜ午後になってしまったのかという声をよく聞きます。（港南区は、午前中ということ）午前中に戻してほしい。

学校教育の充実や青少年の健全育成

- ・ 青少年の育成に力を入れて頂きたい。非行少年がずいぶんと増えたと感じる。普通に交番の前で、タバコを吸っている学生がいても、誰も注意をしないし、自分が小学校の頃と比べると、叱れる大人が少なくなったのか…。駐車違反を捕まえるより、非行少年の指導に最優先していただきたい。

防災・防犯

防犯対策

- ・ 住宅街の防犯対策に力を入れて欲しい。
- ・ 近くの宇田川の横の歩道は夜、街灯が少なくこわいです。専念寺からハーモスまでの間、もう少しアカリを増やしてほしいです。
- ・ 戸塚区名瀬町交番がないが、この地区広範囲で防犯上2ヶ所程度の設置を切望する。

災害対策

- ・ 様々な地区での緑化推進は、防災（洪水 etc）を考えても、絶対に必要だと思う。道路整備も、本当に必要な場所なのか！？それよりも、大雨の時に浸水してしまう場所、危険な場所、大地震が起きた時に、崩れてしまう可能性のある建築物、土地の把握・整備を希望しています。

IV 資料（調查票）

平成20年度 戸塚区区民意識アンケート調査票

生活環境全般に対する重要度・満足度についておうかがいします。

問1 あなたは以下(①~⑩)のことがらについて、

【1】あなたにとって、どの程度重要だと思いますか。

【2】現在、どの程度満足していますか。

【3】また、以前に比べてどのように変化していると思いますか。

(それぞれについて○は1つだけ)

	【1】重要度					【2】現在の満足度					【3】以前に比べて				
	重要	やや重要	いどちらうとも いえないとも	ではない 重要な 重要で はない	重要で はない	満足	やや満足	いどちらうとも いえないとも	やや不満	不満	わからない	良くなつた	変わらない	悪くなつた	わからぬ
① バス・電車の便	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
② 道路環境の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
③ 違法駐車・放置自転車の 防止や交通安全対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
④ 最寄り駅周辺のまち づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑤ 街並み景観の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑥ 商店街や企業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑦ 緑地保全・緑化推進や 水辺環境の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑧ ごみの分別収集・リサ イクルや街の美化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑨ 災害対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑩ 防犯対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑪ 保育など子育て支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑫ 学校教育の充実や青 少年の健全育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑬ 病院や救急医療など の地域医療	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑭ 駅舎のバリアフリー など、誰もが移動しや すいまちづくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑮ 高齢者福祉	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑯ 障がい者福祉	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑰ 区民利用施設の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑱ 広報・広聴など区政へ の市民参加の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑲ 身近な行政窓口・相談 サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑳ 以上を総合して、 生活環境全般の満足度	/	/	/	/	/	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4

健康づくりについておうかがいします。

問2 あなたは現在、健康であると思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|-------------|----------|
| 1 健康である | 3 ふつう | 5 健康ではない |
| 2 まあ健康である | 4 あまり健康ではない | 6 わからない |

問3 あなたはご自分の健康状態を今後どのようにしたいと思っていますか。
(○は1つ)

- | |
|---------------------|
| 1 今よりもっと健康状態を向上させたい |
| 2 今の健康状態を保ちたい |
| 3 関心がない |

問4 あなたの健康づくりのために必要なことはどのようなことだと思いますか。
(○は1つ)

- | | | |
|------|----------|----------|
| 1 運動 | 3 休養 | 5 口腔ケア |
| 2 食事 | 4 ストレス発散 | 6 その他() |

問5 あなたは現在、健康づくりに取り組んでいますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| 1 意識して取り組んでいる | 5 興味はあるが、具体的な取り組み方がわからない |
| 2 体力が落ちてきたら取り組みたい | 6 その他() |
| 3 もう少し歳をとってから取り組みたい | 7 興味・関心は特になし |
| 4 きっかけがあれば取り組みたい | |

問6 あなたが健康づくりを進める上で、どのような環境が整備されるとよいと思いますか。(○は1つ)

- | |
|--------------------------------------|
| 1 野菜メニューの提供やカロリー表示などのある飲食店 |
| 2 簡単にできる運動メニュー（ウォーキングや体操など）の情報 |
| 3 自治会・町内会・団体などが自主的に開催する健康づくり教室などへの支援 |
| 4 終日禁煙としている飲食店や公共施設 |
| 5 その他() |

問7 次の項目のうち、知りたいと思う健康づくりの情報はどれですか。

(○はいくつでも)

- 1 年齢や自分の体にふさわしい運動の種類や方法
- 2 野菜メニューの提供やカロリー表示などのある飲食店の情報
- 3 簡単にできる運動メニューの情報（ウォーキングや体操など）
- 4 スポーツクラブなど健康づくりを行える場所などの情報
- 5 健康づくりを一緒に行えるサークルなどの情報
- 6 身近な地域で実施している健康教室に関する情報
- 7 その他（ ）

問8 あなたが運動に取り組むきっかけとなりそうな環境はどんなものですか。

(○はいくつでも)

- 1 利用料金が安いスポーツ施設があること
- 2 一人でも気軽に運動ができるメニュー（ウォーキングや体操など）があること
- 3 一緒に運動する仲間ができること
- 4 運動できるイベント（ウォーキング大会や体操教室など）があること
- 5 その他（ ）

問9 戸塚区では、「はまちゃん体操」をみなさんにお勧めしていますが、この体操を知っていますか。(○は1つ)

- 1 知っているし、体操を続けて行っている
- 2 知っているし、体操をしたことがある
- 3 知っているが、体操をしたことはない
- 4 知らない

温暖化防止対策（CO－DO30）についておうかがいします。

問10 あなたは横浜市の脱温暖化行動方針（CO－DO30）を知っていますか。
(○は1つ)

- 1 名称も内容もよく知っている
- 2 名称は知っているが、内容は知らない
- 3 知らない

(問10で「1」・「2」と答えた方に)

→問10-1 脱温暖化行動方針（CO－DO30）に関する情報をどこから得られましたか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1 テレビ・ラジオ | 5 学校・職場 |
| 2 新聞・雑誌 | 6 市・区の広報紙 |
| 3 インターネット | 7 その他 () |
| 4 家族、友人など | |

問11 「地球温暖化」の取組について知っているものをお選びください。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| 1 地球温暖化対策の推進に関する法律 | 8 地球温暖化防止活動推進員 |
| 2 京都議定書 | 9 地球温暖化防止活動推進センター |
| 3 チームマイナス6% | 10 ヒートアイランド対策の手引き |
| 4 クールビズ・ウォームビズ | 11 ヒートアイランド対策の手引き
(横浜市) |
| 5 我が家の環境大臣 | 12 マイバッグ運動 |
| 6 こどもエコクラブ | 13 横浜市グリーン購入ガイドライン |
| 7 子ども省エネ大作戦(横浜市) | 14 エコハマ |

問12 あなたは現在、温暖化防止対策（省エネ、リサイクルなど）に取り組んでいますか。
(○は1つ)

- 1 積極的に取り組んでいる
- 2 できることから取り組んでいる
- 3 関心はあるが、取り組めていない
- 4 取り組んでいない

→ 問12-3へお進みください

→ 問12-5へお進みください

(問12で「1」・「2」と答えた方に)

→ 問12-1 あなたの取組を教えてください。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|-------------------------------|
| 1 古紙回収 | 8 節電 |
| 2 牛乳パック回収 | 9 節ガス |
| 3 ペットボトル回収 | 10 家庭での緑化運動 |
| 4 ビン回収 | 11 地域での緑化運動 |
| 5 空きカン（アルミ・スチール）回収 | 12 地球温暖化に関する講演会や
体験学習会への参加 |
| 6 プラスチックゴミ回収 | |
| 7 節水 | 13 植林、育樹など森林保護に
関する取組 |

→ 問12-2 その他に取り組める取組がありましたら、ご自由にご記入ください。

→ 問13へお進みください

(問12で「3」と答えた方に)

問12-3 どのようなきっかけがあれば取り組めるようになると思いますか。
(○は1つ)

- 1 省エネやリサイクルが家計にとってメリット（換金など）があること
- 2 省エネやリサイクルがもっと手軽にできること（包装の簡易化や回収場所などの増加）
- 3 省エネやリサイクル方法の具体的な情報が手軽に入手できること
- 4 その他（ ）

問12-4 あなたが取り組めそうな活動があれば教えてください。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|---------------------------|
| 1 古紙回収 | 8 節電 |
| 2 牛乳パック回収 | 9 節ガス |
| 3 ペットボトル回収 | 10 家庭での緑化運動 |
| 4 ビン回収 | 11 地域での緑化運動 |
| 5 空きカン（アルミ・スチール）回収 | 12 地球温暖化に関する講演会や体験学習会への参加 |
| 6 プラスチックゴミ回収 | 13 植林、育樹など森林保護に関する取組 |
| 7 節水 | 14 特になし |

(問12で「4」と答えた方に)

問12-5 どうして関心がないのだと思いますか。(○は1つ)

- 1 地球温暖化など環境問題を知らない
- 2 省エネやリサイクルの環境へのメリットがわからない
- 3 省エネやリサイクルの方法がわからない
- 4 その他（ ）

(問12で「3」・「4」と答えた方に)

問12-6 温暖化防止対策に取り組まない理由はなぜですか。(○は1つ)

- 1 「地球温暖化」に関心がないから
- 2 個人の小規模な活動では効果がないと思うから
- 3 取り組みたいが、地域での取組が行われていないから
- 4 取り組みたいが、参加方法がわからない
- 5 その他（ ）

(ここからは、皆さま全員におうかがいします。)

問13 今後参加してみたい地球温暖化防止への取組を教えてください。(○は1つ)

- 1 地球温暖化に関する講演会や体験学習会への参加
- 2 省資源・省エネルギーの普及啓発活動への協力
- 3 地域の緑化推進活動（地域での植樹など）
- 4 植林・育樹など森林保護に関する取組
- 5 家庭や地域での資源回収
- 6 家庭や職場での節水・節ガス・節電
- 7 その他（ ）
- 8 特になし

問14 地球温暖化防止のために区民が取り組むべきことは何だと思いますか。

(○は3つ)

- 1 各家庭におけるリサイクル・省資源・省エネルギーの実施
- 2 家電製品などは省エネルギー型のものを購入する
- 3 太陽光発電・風力発電、太陽熱利用など、家庭での自然エネルギーの利用
- 4 自動車購入の際は、低燃費自動車やハイブリッド自動車などのクリーンエネルギー自動車を選ぶ
- 5 森林整備や緑化推進活動への積極的な参加
- 6 行政や企業が実施する地球温暖化防止対策への協力
- 7 その他（ ）
- 8 特になし

問15 地球温暖化防止のために区役所が取り組むべきことは何だと思いますか。

(○は3つ)

- 1 率先したリサイクル・省資源・省エネルギーへの取組
- 2 太陽光発電・風力発電・太陽熱利用など、自然エネルギーの利用促進
- 3 電気自動車や天然ガス自動車などのクリーンエネルギー自動車の普及・促進
- 4 市民、団体などによる地球温暖化防止活動への支援
- 5 「地球温暖化」についての情報提供や後方活動の推進
- 6 学校や地域などにおける環境教育の充実
- 7 その他（ ）
- 8 特になし

市税の口座振替納税についておうかがいします。

問16 あなたは市税の口座振替納税を知っていますか。(○は1つ)

1 知っており、利用している

2 知っているが、利用していない

3 知らない

→ 問17へお進みください

(問16で「1」と答えた方に)

→ 問16-1 あなたが市税の口座振替納税を利用している理由を教えてください。
(○は1つ)

1 便利だから

2 確実に納税できるから

3 申込手続きが簡単だったから

4 その他()

(問16で「2」と答えた方に)

問16-2 あなたが市税の口座振替納税を利用しない理由を教えてください。(○は1つ)

1 申込手続きが面倒だから

2 申込書(口座振替依頼書)の設置している金融機関が近くにないから

3 申込方法や申込用紙(口座振替依頼書)を設置している金融機関がわからぬから

4 口座振替引き落としのメリット(便利・値引きなど)がないから

5 その他()

→ 問16-3 どんなきっかけがあれば市税の口座振替納税を利用しますか。(○は1つ)

1 申込方法や申込用紙(口座振替依頼書)を設置している金融機関の情報が入手できる

2 申込用紙(口座振替依頼書)が区役所以外の市の公共施設などで入手できる

3 申込用紙(口座振替依頼書)が市内の商業施設など(コンビニなど)で入手できる

4 口座振替納税で値引きなどのメリットがある

5 その他()

→ 問16-4 どのような施設に申込用紙(口座振替依頼書)があれば、市税の口座振替納税を利用しますか。(○は3つ)

1 市役所

2 地区センター

3 市立図書館

4 区公会堂

5 市内のコンビニエンスストア

6 その他()

定住意向についておうかがいします。

問17 あなたは、これからもずっと今のお住まいに住み続けるお気持ちですか。(○は1つ)

- 1 住み続ける
- 2 たぶん住み続ける
- 3 たぶん移転する
- 4 移転する
- 5 わからない

(問17で「3」「4」と答えた方に)

→問17-1 現実の問題は別として、次の移転先としては、戸塚区内、横浜市内、横浜市以外のいずれを希望されますか。(○は1つ)

- | | |
|--------|--------------|
| 1 戸塚区内 | 3 横浜市以外 |
| 2 横浜市内 | 4 具体的にはわからない |

その他

問18 あなたは、インターネットを利用していますか(電子メールのみを使用している場合も含みます)。(○は1つ)

- 1 パソコンと携帯電話の両方で利用している
- 2 パソコンのみで利用している
- 3 携帯電話のみで利用している
- 4 利用していない

問19 戸塚区政について、具体的なご意見、ご要望、ご提案などございましたら、自由にご記入ください。

あなた自身についておうかがいします。

問20 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

1 男性

2 女性

問21 あなたの年齢をお答えください。(○は1つ)

1 16~19歳	6 40~44歳	1 1 65~69歳
2 20~24歳	7 45~49歳	1 2 70~74歳
3 25~29歳	8 50~54歳	1 3 75~79歳
4 30~34歳	9 55~59歳	1 4 80歳以上
5 35~39歳	10 60~64歳	

問22 あなたの居住している町名をお答えください。(○は1つ)

1 平戸町	1 1 南舞岡一～四丁目	2 1 戸塚町
2 平戸一～五丁目	1 2 柏尾町	2 2 深谷町
3 品濃町	1 3 上柏尾町	2 3 俣野町
4 上品濃	1 4 汲沢町	2 4 原宿一～五丁目
5 川上町	1 5 汲沢一～八丁目	2 5 小雀町
6 前田町	1 6 矢部町	2 6 東俣野町
7 秋葉町	1 7 鳥が丘	2 7 影取町
8 名瀬町	1 8 吉田町	
9 上矢部町	1 9 上倉田町	
10 舞岡町	2 0 下倉田町	

問23 あなたのご家族などについておうかがいします。(それぞれ項目ごとに○は1つ)

A	同居している未就学のお子さんがいますか。	1 いる	2 いない
B	同居している小学生のお子さんがいますか。	1 いる	2 いない
C	同居・別居を問わず、65~74歳のご家族がいますか。	1 いる	2 いない
D	同居・別居を問わず、75歳以上のご家族がいますか。	1 いる	2 いない
E	日中、家で子どもの世話をする方がいますか。	1 いる	2 いない
F	共働きをしていますか。	1 している	2 していない

問24 あなたのお宅の家族形態は、この中のどれにあたりますか。同居の方のみでお答えください。(○は1つ)

- | | |
|------------|----------------|
| 1 ひとり暮らし | 4 祖父母と親と子（3世代） |
| 2 夫婦だけ | 5 その他（ ） |
| 3 親と子（2世代） | |

問25 あなたの現在のご職業をお聞かせください。(○は1つ)

- | |
|--------------------------------------|
| 1 自営業（農林漁業、商工サービス業、自由業の自営業主および家族従業者） |
| 2 管理職（会社の部長級以上、官公庁の課長級以上など） |
| 3 専門技術職（勤務医師、研究所研究員、技師など） |
| 4 事務職（事務職、営業職、教員など） |
| 5 現業職（生産工程、販売・サービス、運転手、保安職などの従事者） |
| 6 主婦・主夫 |
| 7 学生 |
| 8 無職 |
| 9 その他（ ） |

問26 あなたのお住まいは、この中のどれにあたりますか。(○は1つ)

- 1 持家（一戸建て）
- 2 持家（マンション・共同住宅）
- 3 借家（一戸建て）
- 4 借家（マンション・共同住宅、社宅、公務員住宅、寮）
- 5 その他（ ）

問27 あなたは、こちら（現住所）にいつごろからお住まいになっていますか。
(○は1つ)

- 1 昭和20年（1945年）以前〔終戦前、64年以上前〕
- 2 昭和20～29年（1945～1954年）〔終戦後、54～63年前〕
- 3 昭和30～39年（1955～1964年）〔44～53年前〕
- 4 昭和40～49年（1965～1974年）〔34～43年前〕
- 5 昭和50～59年（1975～1984年）〔24～33年前〕
- 6 昭和60～平成6年（1985～1994年）〔14～23年前〕
- 7 平成7～11年（1995～1999年）〔9～13年前〕
- 8 平成12～16年（2000～2004年）〔4～8年前〕
- 9 平成17年（2005年）以降〔4年未満〕

お疲れ様でした。質問は以上です。ご協力ありがとうございました。
お手数ですが同封の返信用封筒に入れ、10月10日(金)までにご投函ください。

平成 20 年度戸塚区区民意識アンケート調査報告書

平成 20 年 12 月

発 行：戸塚区役所 区政推進課 企画調整担当

〒244-0003

横浜市戸塚区戸塚町 157-3

電 話：045（866）8328

F A X：045（862）3054